

カラービデオカメラ
BRC-AM7

このガイドでは、カラービデオカメラ BRC-AM7の設定と操作について説明します。

必要に応じて、関連する他の機器の取扱説明書も併せてお読みください。

概要

本機の活用例

[システム構成例](#)

[本機1台を付属の赤外線リモコンで操作するとき](#)

[本機1台をタブレットやコンピューターで操作するとき](#)

[本機1台を別売のリモートコントローラーで操作するとき](#)

[複数の本機を別売のリモートコントローラーで操作するとき](#)

本機の各部の名称と働き

[前面部](#)

[端子部](#)

[側面部](#)

[底面部](#)

[赤外線リモコン（付属）の各部の名称と働き](#)

Web App画面

[Web App画面について](#)

[画面共通部分の各部の名称と働き](#)

[ライブ操作画面の各部の名称と働き](#)

[PTZ AFR設定画面の各部の名称と働き](#)

[再生操作画面の各部の名称と働き](#)

[設定画面の各部の名称と働き](#)

[カメラメニュー](#)

[カメラ画面表示](#)

準備

本機を設置する

[据え置き設置する](#)

[高所に据え置き設置する](#)

[天井に設置する](#)

[ケーブルを接続する](#)

[本機をネットワーク機器に有線接続する](#)

[本機と別売のリモートコントローラーをRS-422で有線接続する](#)

[電源を接続する](#)

[DC電源を使う](#)

[PoE++電源を使う](#)

[パン・チルトリセットを行う](#)

撮影前の設定

Web Appで本機の初期設定を行う

[WebブラウザでWeb Appにアクセスする](#)

[本機の初期設定を行う](#)

[本機の設定を初期化する](#)

[本機の基本動作を設定する](#)

メモリーカードを準備する

[メモリーカードについて](#)

[推奨メモリーカードについて](#)

[メモリーカードを入れる](#)

[メモリーカードを取り出す](#)

[メモリーカードをフォーマット（初期化）する](#)

[残りの記録可能時間を確認する](#)

[メモリーカードを修復する](#)

撮影

基本操作

[録画を開始/停止する](#)

[メモリーカードを切り替える](#)

[音声を確認する](#)

[タイムデータ](#)

[記録内容を確認する（レックレビュー）](#)

画角を調節する

[画角調節操作を行う画面](#)

カメラの向きを調節する

- [Web Appでカメラの向きを調節する](#)
- [パン・チルトの動作速度を設定する](#)
- [パン・チルト動作の加速度を設定する](#)
- [付属の赤外線リモコンでカメラの向きを調節する](#)

ズームを調節する

- [ズームタイプを設定する](#)
- [Web Appでズームを調節する](#)
- [Web Appでズームの動作速度を設定する](#)
- [付属の赤外線リモコンでズームを調節する](#)

カメラの向きやズーム位置を保存/復元する

- [Web Appでカメラの向きやズーム位置、フォーカス設定を保存/復元する](#)
- [Web Appでプリセットポジションの名前を変更する](#)
- [Web Appで保存したプリセットポジションを別の新しい画角で置き替える](#)
- [Web Appで保存したプリセットポジションを削除する](#)
- [プリセットポジションを復元するときの移動速度（Pan-Tilt/Zoom/Focus）を変更する](#)
- [付属の赤外線リモコンでカメラの向きやズーム位置を保存/復元する](#)

カメラのフレーミングを自動的に行う（PTZオートフレーミング）

- [PTZオートフレーミングについて](#)
- [PTZオートフレーミングの初期設定を行う](#)
- [自動追尾する人物を任意に指定する（手動追尾開始モード）](#)
- [指定した位置に登場した人物を自動的に選択して追尾する（自動追尾開始モード）](#)
- [PTZオートフレーミングの構図プリセットを呼び出す](#)
- [PTZオートフレーミングの構図プリセットの名前を変更する](#)
- [PTZオートフレーミングの構図プリセットを別の新しい構図で置き替える](#)
- [付属の赤外線リモコンでPTZオートフレーミングを実行する](#)
- [離れたところからPTZオートフレーミングの状態を確認する](#)

フォーカスを調節する

[フォーカス調節操作を行う画面](#)

フォーカスを手動調節する（マニュアルフォーカス）

- [Web Appでフォーカスを手動調節する](#)
- [付属の赤外線リモコンでフォーカスを手動調節する](#)
- [ピントを合わせる位置を指定してフォーカスを調節する（スポットフォーカス）](#)
- [一時的に自動でフォーカスを合わせる（プッシュオートフォーカス（AF））](#)

フォーカスを自動調節する（オートフォーカス）

- [Web Appでフォーカスを自動調節する](#)
- [付属の赤外線リモコンでフォーカスを自動調節する](#)
- [オートフォーカスの対象領域/位置を設定する（フォーカスエリア）](#)
- [フォーカスエリアを素早く変更する（フォーカセット）](#)
- [フォーカスエリア枠をタッチ操作で移動する（タッチフォーカスエリア）](#)
- [オートフォーカスの動作を調節する（AFトランジション速度/AF乗り移り感度）](#)
- [Web Appでオートフォーカスの対象を手動設定する（AFアシスト）](#)
- [オートフォーカス中に付属の赤外線リモコンで手動フォーカスする](#)
- [オートフォーカス中に一時的に手動でフォーカスを合わせる（プッシュマニュアルフォーカス）](#)

[人物を検出してAF追尾する](#)

[被写体を指定してAF追尾する（リアルタイムトラッキングAF）](#)

明るさを調節する

[明るさの調節操作を行う画面](#)

[明るさを自動調節するときの目標レベルを設定する](#)

アイリスを調節する

- [アイリスを自動調節する](#)
- [アイリスを手動調節する](#)

ゲインを調節する

- [ゲインを自動調節する](#)
- [ゲインを手動調節する](#)

シャッターを調節する

- [シャッターを自動調節する](#)
- [シャッターを手動調節する](#)

光量を調節する（NDフィルター）

[NDフィルターについて](#)

[プリセットモードで調節する](#)

[バリエブルモードで自動調節する](#)

[バリエブルモードで手動調節する](#)

自然な色合いに調節する（ホワイトバランス）

[ホワイトバランスの調節操作を行う画面](#)

[ホワイトバランスを自動調節する](#)

[ホワイトバランスを手動調節する](#)

[オートホワイトバランスを実行する](#)

収録する音声を設定する

[音声の設定を行う画面](#)

[音声入力機器を選ぶ](#)

[録音レベルを自動調節する](#)

[録音レベルを手動調節する](#)

便利な機能

[ダイレクトメニュー操作](#)

[アサインブルボタン](#)

[スロー&クイックモーション](#)

[メモリーカードAとメモリーカードBの両方に記録する（2スロット同時記録）](#)

[映像信号モニター](#)

[クリップフラグ](#)

プロキシ記録

[プロキシ記録の概要](#)

[プロキシ記録で撮影する](#)

好みのルックで撮影する

[ルックの概要](#)

[ルックを選ぶ](#)

[好みの基本ルックをインポートする](#)

[ルックをカスタマイズする](#)

[ルックを保存する](#)

[基本ルックを削除する](#)

ポストプロダクションでルックを調節する前提で撮影する

[ポストプロダクションでルックを調節する前提で撮影する](#)

[SDI2出力/HDMI出力およびストリーミングにLUTを適用する](#)

[LUTを変更する](#)

設定データの保存と読み込み

[設定データの保存と読み込みについて](#)

[ALLファイルを保存する](#)

[ALLファイルを読み込む](#)

ネットワーク機能

ファイルの転送

[ファイルの転送について](#)

[準備：ファイルの転送先を登録する](#)

[記録したプロキシクリップを順次転送する](#)

ファイルを選んで転送する

[サムネイル画面からメモリーカードのプロキシクリップを転送する](#)

[サムネイル画面からメモリーカードのオリジナルクリップを転送する](#)

[ファイルの転送状況を確認する](#)

[セキュアなFTP転送を行う](#)

ストリーミングを設定する

[ストリーミングについて](#)

[ストリーミング方式を設定する](#)

[ストリーミングのビデオコーデックを設定する](#)

[ストリーミングのオーディオコーデックを設定する](#)

[ストリーミングを開始する/停止する](#)

サムネイル画面

[サムネイル画面](#)

クリップを再生/操作する

[記録したクリップを再生する](#)

[記録したクリップを操作する](#)

カメラメニューと詳細設定

[カメラメニューの構成](#)

カメラメニューの操作方法

[カメラメニューの操作方法](#)

[文字列を入力する](#)

Userメニュー

[\[User\]](#)

Edit Userメニュー

[\[Edit User\]](#)

Shootingメニュー

[\[ISO/Gain\]](#)

[\[ND Filter\]](#)

[\[Shutter\]](#)

[\[Auto Exposure\]](#)

[\[White\]](#)

[\[White Setting\]](#)

[\[Offset White\]](#)

[\[Focus\]](#)

[\[S&Q Motion\]](#)

[\[LUT On/Off\]](#)

[\[NIGHTSHOT\]](#)

[\[Noise Suppression\]](#)

[\[Flicker Reduce\]](#)

Projectメニュー

[\[Base Setting\]](#)

[\[Rec Format\]](#)

[\[Flexible ISO Setting\]](#)

[\[Simul Rec\]](#)

[\[Proxy Rec\]](#)

[\[SDI/HDMI Rec Control\]](#)

[\[Assignable Button\]](#)

Paint/Lookメニュー

[\[Scene File\]](#)

[\[Base Look\]](#)

[\[Reset Paint Settings\]](#)

[\[Black\]](#)

[\[Knee\]](#)

[\[Detail\]](#)

[\[Matrix\]](#)

[\[Multi Matrix\]](#)

Pan-Tiltメニュー

[\[P/T Acceleration\]](#)

TC/Mediaメニュー

[\[Timecode\]](#)

[\[TC Display\]](#)

[\[Users Bit\]](#)

[\[HDMI TC Out\]](#)

[\[Clip Name Format\]](#)

[\[Update Media\]](#)

[\[Format Media\]](#)

[\[Media Life\]](#)

Monitoringメニュー

[\[Output Format\]](#)

[\[Display On/Off\]](#)

[\[Video Signal Monitor\]](#)

[\[Marker\]](#)

Audioメニュー

[\[Audio Input\]](#)

[\[Audio Output\]](#)

Thumbnailメニュー

[\[Display Clip Properties\]](#)

[\[Set Clip Flag\]](#)

[\[Lock/Unlock Clip\]](#)

[\[Delete Clip\]](#)

[\[Copy Clip\]](#)

[\[Transfer Clip\]](#)

[\[Transfer Clip \(Proxy\)\]](#)

[\[Filter Clips\]](#)

[\[Customize View\]](#)

Technicalメニュー

[\[Color Bars\]](#)

[\[Genlock\]](#)

[\[Tally\]](#)

[\[Rec Review\]](#)

[\[Zoom\]](#)

[\[Lens\]](#)

[\[APR\]](#)

Networkメニュー

[\[Wired LAN\]](#)

[\[File Transfer\]](#)

Maintenanceメニュー

[\[Language\]](#)

[\[Hours Meter\]](#)

Shootingメニューの設定値と初期値について

[\[ISO/Gain\] メニューの設定値と初期値](#)

[\[AGC Limit\] メニューの設定値と初期値](#)

[\[Video Format\] / \[Quality\] / \[Bit Rate\] の設定値](#)

[撮影モードごとの画質に関する設定状態の保存について](#)

Webメニューと詳細設定

[Webメニュー構成](#)

[Webメニューの操作方法](#)

Shootingメニュー

[\[Focus\]](#)

Projectメニュー

[\[Base Setting\]](#)

[\[Rec Format\]](#)

[\[Simul Rec\]](#)

[\[Proxy Rec\]](#)

[\[All File\]](#)

Paint/Lookメニュー

[\[Base Look\]](#)

Pan-Tiltメニュー

[\[P/T Speed\]](#)

[\[P/T Acceleration\]](#)

[\[P/T Range Limit\]](#)

[\[P/T Direction\]](#)

[\[P/T Preset\]](#)

Monitoringメニュー

[\[Output Format\]](#)

[\[Output Display\]](#)

Audioメニュー

[\[Audio Input\]](#)

[\[Audio Output\]](#)

Technicalメニュー

[\[Tracking Data Output\]](#)

[\[Tally\]](#)

[\[IR Remote\]](#)

[\[RCP/MSU\]](#)

Networkメニュー

[\[Camera Name\]](#)

[\[User\]](#)

[\[Wired LAN\]](#)

[\[File Transfer\]](#)

[\[FTP Server 1\]](#)、[\[FTP Server 2\]](#)、[\[FTP Server 3\]](#)

[\[SSL\]](#)

[\[SSH\]](#)

[\[Referer Check\]](#)

[\[Brute Force Attack Protection\]](#)

Streamメニュー

[\[Stream\]](#)

[\[Video Stream\]](#)

[\[Audio Stream\]](#)

Maintenanceメニュー

[\[Language\]](#)

[\[Clock Set\]](#)

[\[Reset\]](#)

[\[Information\]](#)

[\[System Log\]](#)

[\[HTTP Access Log\]](#)

[\[Service\]](#)

[\[EULA\]](#)

[\[Software\]](#)

外部機器接続

[外部モニターや記録装置を接続する](#)

RCP/MSU（別売）と接続する

[RCP/MSUとの接続について](#)

[本機とRCPを1対1で接続する](#)

[MSU/カメラリモートコントロールソフトウェアを使ったマルチカメラ環境で本機を使用する](#)

[対応機能一覧](#)

[リモートコントローラーRM-IP500（別売）で操作する](#)

[リモートコントローラーRM-IP500（別売）での操作について](#)

[リモートコントローラーRM-IP500を有線LANで接続する](#)

[Camera Remote SDKを活用する](#)

[Camera Remote SDKについて](#)

[外部機器との同期](#)

[外部機器との同期について](#)

[映像信号の位相を合わせる（ゲンロック）](#)

[他機のタイムコードにロックさせる](#)

[外部マイクや外部オーディオ機器を接続する](#)

[コンピューターでクリップを管理・編集する](#)

[光ファイバー信号を出力する](#)

[タリー信号を接続する](#)

[トラッキングデータ（free-d）を出力する](#)

付録

[使用上のご注意](#)

[出力のフォーマットと制限](#)

[トラブル時の対処](#)

[エラー/警告表示](#)

[メニュー項目一覧](#)

[プリセットポジションの保存項目](#)

[ブロックダイヤグラム](#)

[ライセンスについて](#)

[保証書とアフターサービス](#)

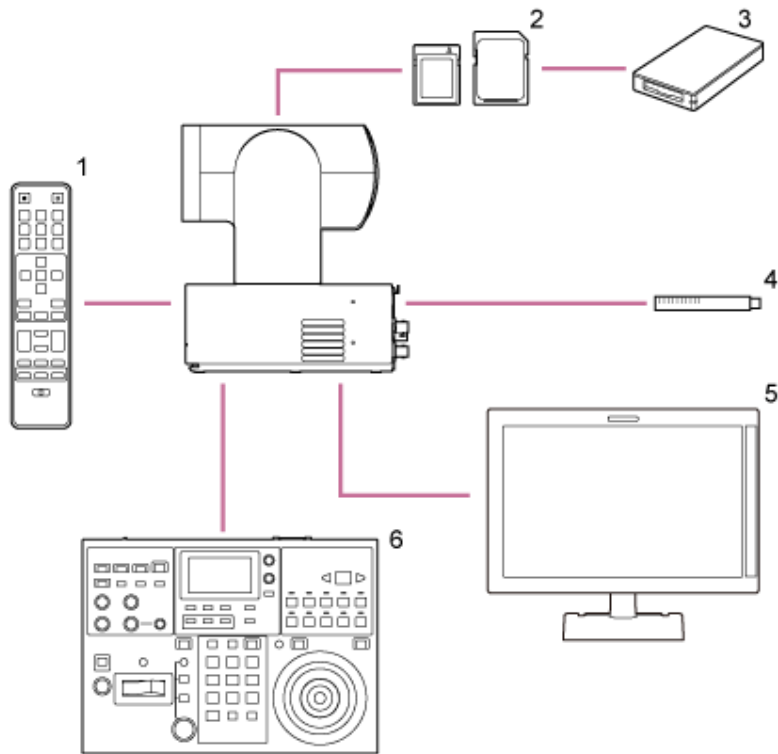
[仕様](#)

[商標について](#)

カラービデオカメラ
BRC-AM7

システム構成例

本機は、別売機器との組み合わせにより、さまざまなシステムを構成できます。



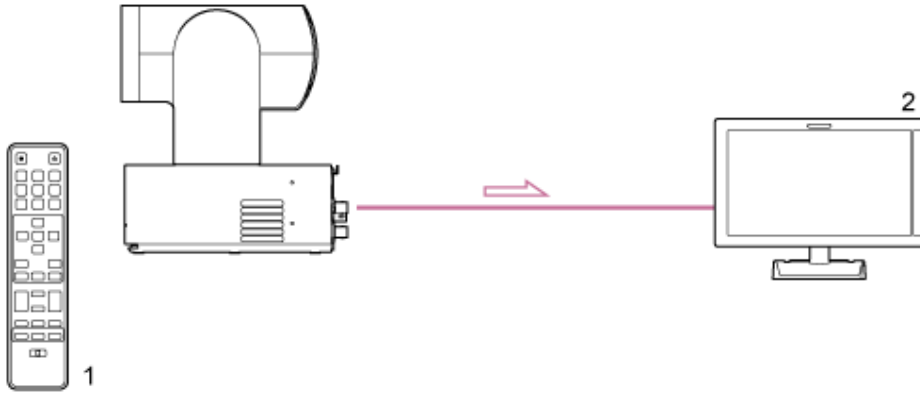
1. 赤外線リモコン (付属)
2. CFexpress Type Aメモリーカード / SDXCメモリーカード
3. CFexpress Type Aカードリーダー / SDカードリーダー
4. マイクホン ECM-678、ECM-674、ECM-680S*
* XLR 5ピン→3ピン変換ケーブルEC-0.5X5F3Mが必要です。
5. ビデオモニター
6. リモートコントローラー RM-IP500

TP1001752229

カラービデオカメラ
BRC-AM7

本機1台を付属の赤外線リモコンで操作するとき

付属の赤外線リモコンで本機1台をリモート操作できます。



— 映像信号
→ 信号の流れ

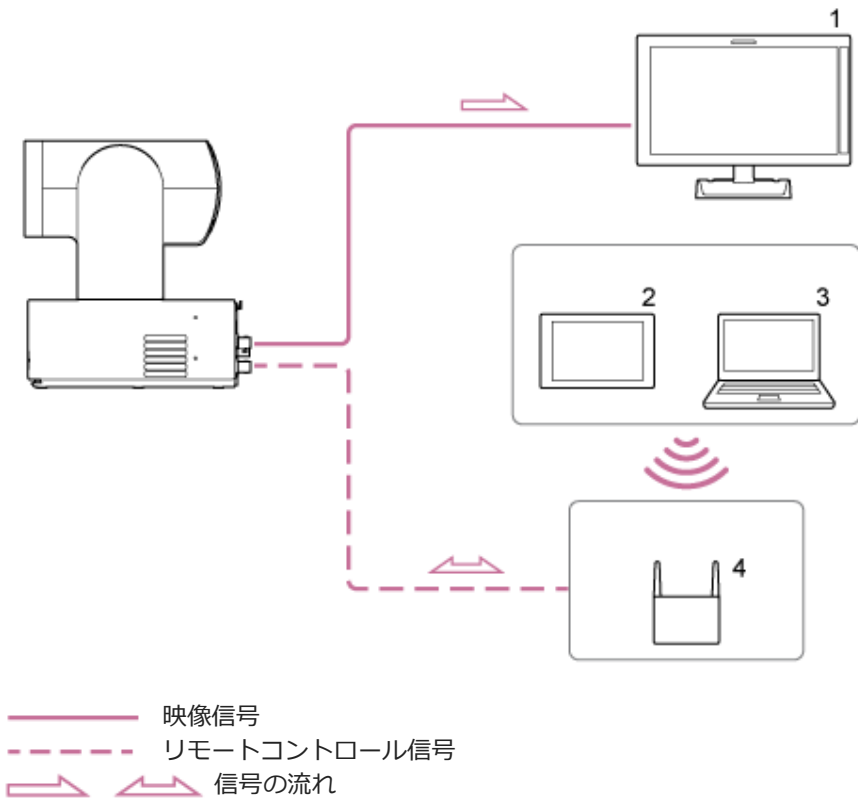
1. 赤外線リモコン (付属)
2. ビデオモニター

TP1001752230

カラービデオカメラ
BRC-AM7

本機1台をタブレットやコンピューターで操作するとき

本機をタブレットやコンピューターと接続してWebブラウザから操作できます。



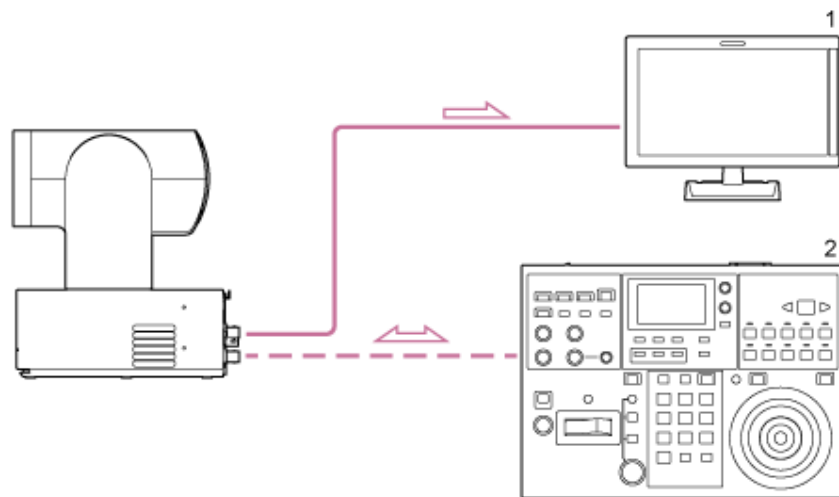
1. ビデオモニター
2. タブレット
3. コンピューター
4. アクセスポイント

TP1001752231

カラービデオカメラ
BRC-AM7

本機1台を別売のリモートコントローラーで操作するとき

リモートコントローラーで本機をリモート操作できます。



— 映像信号
- - - リモートコントロール信号
⇨ ⇩ 信号の流れ

1. ビデオモニター

2. リモートコントローラー RM-IP500

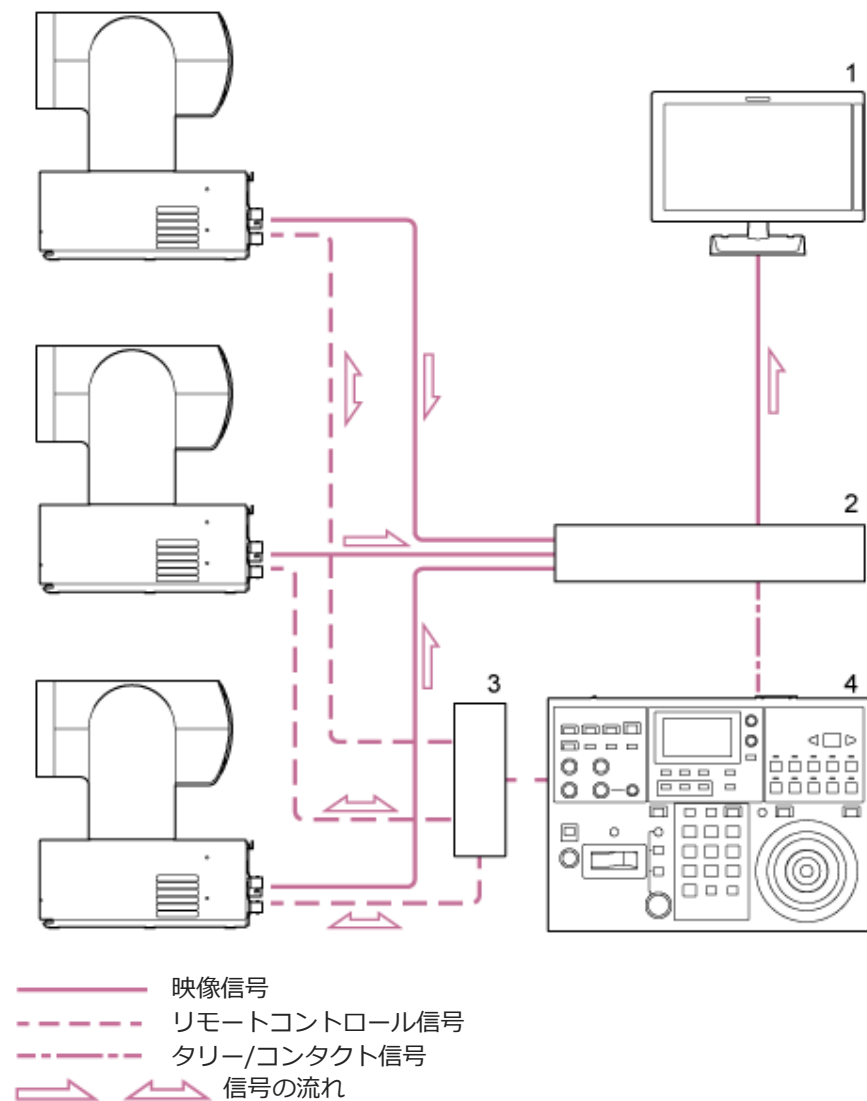
TP1001752232

カラービデオカメラ
BRC-AM7

複数の本機を別売のリモートコントローラーで操作するとき

VISCA over IPでの接続の場合

1台のリモートコントローラーで本機を100台までリモート操作できます。

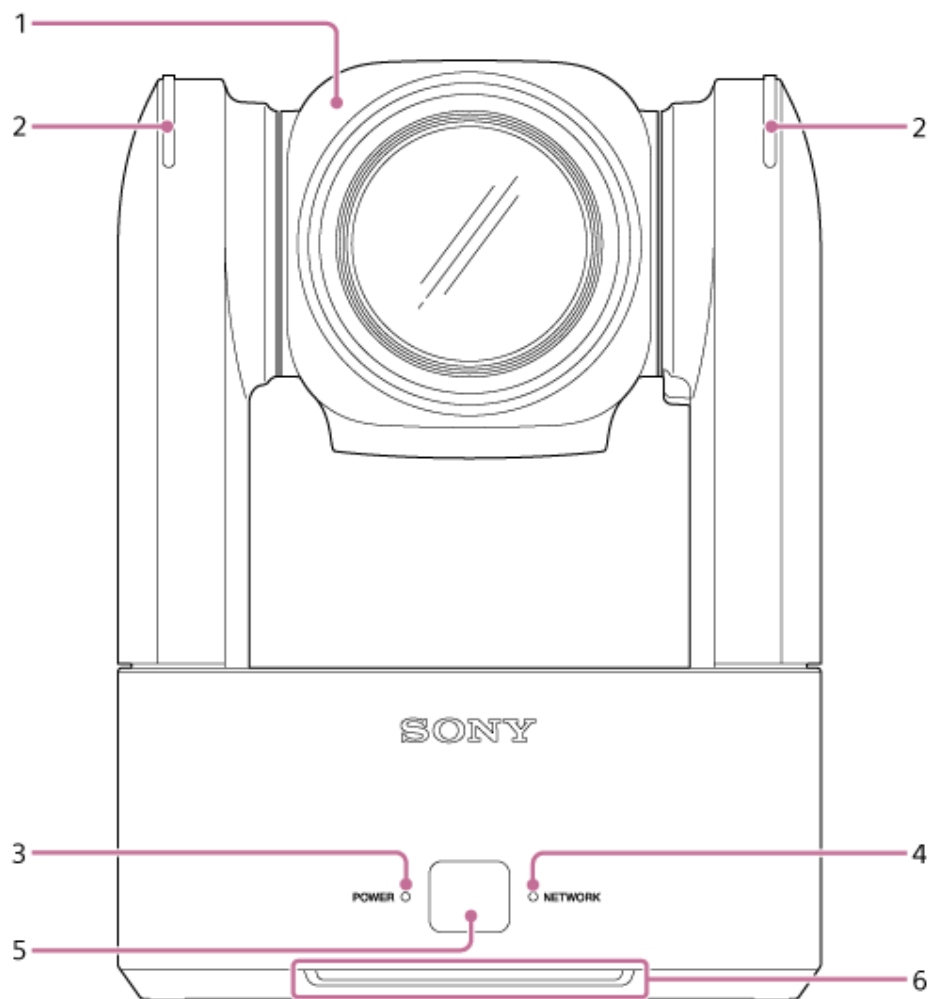


1. ビデオモニター
2. ビデオスイッチャー
3. Ethernetハブ
4. リモートコントローラー RM-IP500

カラービデオカメラ
BRC-AM7

前面部

本機前面部の各部の名称と働きを説明します。



1. カメラヘッド

ご注意

- カメラヘッドに強い衝撃を与えないでください。

2. 記録/タリーランプ

設定方法についてはWebメニューまたはカメラメニューの [Technical] - [Tally] - [Tally Control] をご覧ください。設定を [Internal] (記録ランプ) にすると、メモリーカードへの記録中に赤色で点灯します。記録メディアの残容量が少なくなったり異常が発生したりすると点滅します。

- 詳しくは、「エラー/警告表示」をご覧ください。

設定を [External] (タリーランプ) にすると、外部からのタリー信号に従って、赤色、緑色または黄色で点灯します。

- 詳しくは、「タリー信号を接続する」をご覧ください。

[PTZ AFR] (PTZオートフレーミング) に設定すると、オートフレーミングの動作状態に応じてタリーランプが青色で点灯または点滅します。

- 詳しくは、「離れたところからPTZオートフレーミングの状態を確認する」をご覧ください。

3. POWER (パワー) ランプ

4. NETWORK (ネットワーク) ランプ

POWERランプ、およびNETWORKランプの表示色、点灯/点滅/消灯状態の組み合わせで本機の状態を知ることができます。

POWERランプ	NETWORKランプ	本機の状態
緑色で点灯*1	緑色で点灯	電源オン (ネットワーク接続)
	消灯	電源オン (ネットワーク未接続)
緑色で点滅	消灯	電源オン処理中
オレンジ色で点滅	消灯	電源スタンバイ処理中
オレンジ色で点灯	消灯	電源スタンバイ状態
黄色で点滅	消灯	ソフトウェアアップデート中
オレンジ色で低速点滅*2	緑色で低速点滅*2	本機が正常に動作できない状態です。詳細はシステムログをご覧ください。スタンバイ状態にする、または電源を入れなおしても復旧しない場合、ソニーのサービス窓口までご相談ください。
オレンジ色で高速点滅*3	緑色で高速点滅*3	本機に異常が発生しています。ソニーのサービス窓口までご相談ください。

*1 付属の赤外線リモコンからの操作を受信すると緑色で点滅します。

*2 低速：点滅周期は1秒に1回程度

*3 高速：点滅周期は1秒に4回程度

5. 赤外線リモコン受光部

付属の赤外線リモコンの受光部です。

6. 吸気口

ご注意

- 故障の原因になりますので、ふさがないでください。

関連項目

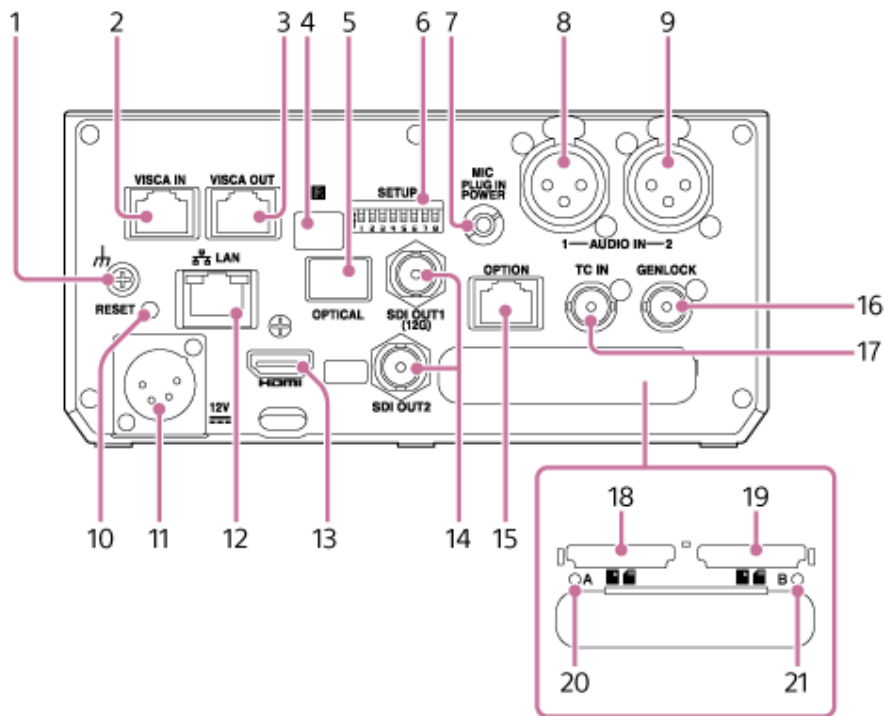
- エラー/警告表示
- 離れたところからPTZオートフレーミングの状態を確認する
- タリー信号を接続する
- [Tally]
- [Tally]

TP1001752234

カラービデオカメラ
BRC-AM7

端子部

本機端子部の各部の名称と働きを説明します。



1. ㏊ (アース) 端子

コンセントのアース端子やアース棒などと接続して、接地してください。

2. VISCA IN端子

別売のリモートコントローラーと接続します。

複数のカメラを接続するときは、前のカメラのVISCA RS-422 OUT端子と接続します。

3. VISCA OUT端子

複数のカメラを接続するとき、次のカメラのVISCA RS-422 IN端子と接続します。

4. 赤外線リモコン受光部 (背面)

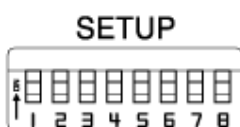
付属の赤外線リモコンの受光部です。

5. OPTICAL出力端子

SFP+モジュール (別売) を接続することにより、SDI OUT1 (12G) 端子の信号を光変換して出力できます。

- 詳しくは、「光ファイバー信号を出力する」をご覧ください。

6. SETUPスイッチ



以下の設定を行います。

スイッチ1、2 : 操作する赤外線リモコン (付属) を選択します。

スイッチ1設定	スイッチ2設定	説明
OFF（初期設定）	OFF（初期設定）	リモコンIDが1に設定されている赤外線リモコン（付属）の操作を受け付けません。 初期設定です。
OFF	ON	リモコンIDが2に設定されている赤外線リモコン（付属）の操作を受け付けません。
ON	OFF	リモコンIDが3に設定されている赤外線リモコン（付属）の操作を受け付けません。
ON	ON	予備

スイッチ3：RESETスイッチを押したときの本機の設定のリセット対象を設定します。

設定	説明
OFF（初期設定）	ネットワーク接続用の設定だけをリセットします。本機のネットワーク設定、セキュリティ設定、ユーザー情報（ユーザー名およびパスワード）が初期化されます。
ON	全設定を工場出荷設定にリセットします。

スイッチ4：VISCAおよびVISCA over IP通信の有効/無効を設定します。設定はカメラの起動時に反映されます。本機をリモートコントローラーRM-IP500と接続して使用する場合はONに設定してください。

設定	説明
OFF（初期設定）	VISCAのコマンドに反応しません。
ON	VISCAのコマンドを受け付けます。

ご注意

- 管理者パスワードが設定されていない場合はスイッチの状態に関わらずVISCA通信は無効となります。管理者パスワードの設定は「本機の初期設定を行う」をご覧ください。

スイッチ5：VISCA IN/OUT端子のボーレートを設定します。設定はカメラの起動時に反映されます。

設定	説明
OFF（初期設定）	ボーレートを9600 bpsに設定します。
ON	ボーレートを38400 bpsに設定します。

スイッチ6、7：予備です。使用しません。

スイッチ8：IPアドレスを特定の値に設定します。

設定	説明
OFF（初期設定）	ユーザーが任意にIPアドレスを設定します。
ON	本機を起動したとき、IPアドレスを192.168.0.100に設定します（強制固定IPアドレスモード）。 ご注意 ● 起動後WebメニューでIPアドレスを変更した場合、このスイッチはOFFに設定してください。

7. MIC端子（ステレオφ3.5）

φ3.5 mmステレオミニジャック（3極）のマイクを接続する端子です。

8. AUDIO IN 1端子 (XLRタイプ3ピンコネクター)

9. AUDIO IN 2端子 (XLRタイプ3ピンコネクター)

外部マイクや外部オーディオ機器などの信号を入力します。

- 詳しくは、「外部マイクや外部オーディオ機器を接続する」をご覧ください。

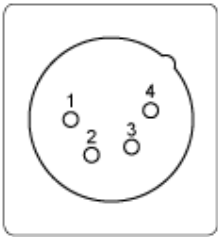
10. RESETスイッチ

ペン先などで5秒以上押しすと、本機の設定を工場出荷時の設定にリセットします。

SETUPスイッチのスイッチ3の設定状態により、リセット対象をネットワーク接続用の設定のみとするかすべての設定とするかを選択できます。

11. DC IN端子 (XLRタイプ4ピンコネクター)

本機に外部電源を供給するためのDC IN (DC電源入力) 端子 (XLR4ピン、凸) です。入力電圧はDC 12 V (11~17 V) に対応しています。



No.	信号
1	GND
2	NC
3	NC
4	DC IN (11 V~17 V)

ご注意

- 電源ケーブルを長く引き伸ばした場合、負荷により電圧低下が発生します。入力電圧は本機動作時に電源端子端で12 Vを下回らないよう、運用前に確認してください。
- 本機は電圧を監視しています。11.5 Vを下回ると、[Voltage Low] を検出しWeb App、タリー、フロントLEDに警告を表示します。
- 11.0 Vを下回ると、[Insufficient Voltage] を検出して複数の機能を停止し、Web App、タリー、フロントLEDに警告を表示します。[Insufficient Voltage] を検出した場合、電圧が上昇しても自動復帰しません。安定した電源を用意してから、一度電源ケーブルを抜いて、電源を再投入してください。

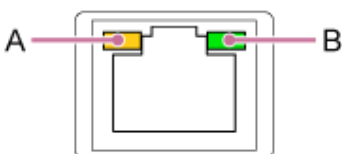
12. 品番 LAN (ネットワーク) 端子 (RJ-45)

ネットワークケーブル (カテゴリ5e以上) を使用してネットワーク通信および本機にPoE++* 給電を行うための端子です。

* PoE++ : Power over Ethernet Plus Plusの略です。IEEE802.3bt (Type 4 Class 8)に準拠しています。接続について詳しくは、電源供給装置の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- PoE++で動作中は一部の機能が制限されます。詳しくは「PoE++電源を使う」をご覧ください。



A : Speed LEDの状態表示

表示	接続速度
消灯	10 Mbpsで接続
	100 Mbpsで接続
オレンジ点灯	1000 Mbpsで接続

B : Link/ACT LEDの状態表示

表示	接続状態
消灯	リンクなし
緑点滅	リンクが確立してデータがアクティブ
緑点灯	アクティブリンク

ご注意

- 本製品は、ルーターやファイアウォールなどの保護機能を通してインターネットに接続をしてください。このような接続をしない場合、セキュリティ上の問題が生じる可能性があります。

13. HDMI端子

本機からの映像をHDMI信号として出力します。

- 詳しくは、「外部モニターや記録装置を接続する」の「HDMI OUT端子（Type Aコネクタ）」をご覧ください。

14. SDI OUT 1 (12G)端子 / SDI OUT 2端子

SDI OUT 1 (12G)端子：本機からの映像を12G/6G/3G/1.5G SDI信号として出力します。

SDI OUT 2端子：本機からの映像を3G/1.5G SDI信号として出力します。

- 詳しくは、「外部モニターや記録装置を接続する」の「SDI OUT端子（BNC型）」をご覧ください。

15. OPTION端子

外部機器とのタリー信号の接続に使用します。

- 詳しくは、「タリー信号を接続する」をご覧ください。

16. GENLOCK端子

外部同期信号を入力します。

- 詳しくは、「映像信号の位相を合わせる（ゲンロック）」をご覧ください。

17. TC IN端子

基準となるタイムコード信号を外部から入力します。

- 詳しくは、「他機のタイムコードにロックさせる」をご覧ください。

18. CFexpress Type A / SDカードスロット (A)

19. CFexpress Type A / SDカードスロット (B)

記録メディアを挿入します。

- 詳しくは、「メモリーカードを入れる」をご覧ください。

20. アクセスランプA

21. アクセスランプB

記録メディア挿入時に点灯または点滅します。

- 詳しくは、「メモリーカードを入れる」をご覧ください。

関連項目

- 外部マイクや外部オーディオ機器を接続する
- PoE++電源を使う
- 他機のタイムコードにロックさせる
- 外部モニターや記録装置を接続する
- タリー信号を接続する
- 光ファイバー信号を出力する
- 本機の初期設定を行う
- 映像信号の位相を合わせる（ゲンロック）
- メモリーカードを入れる

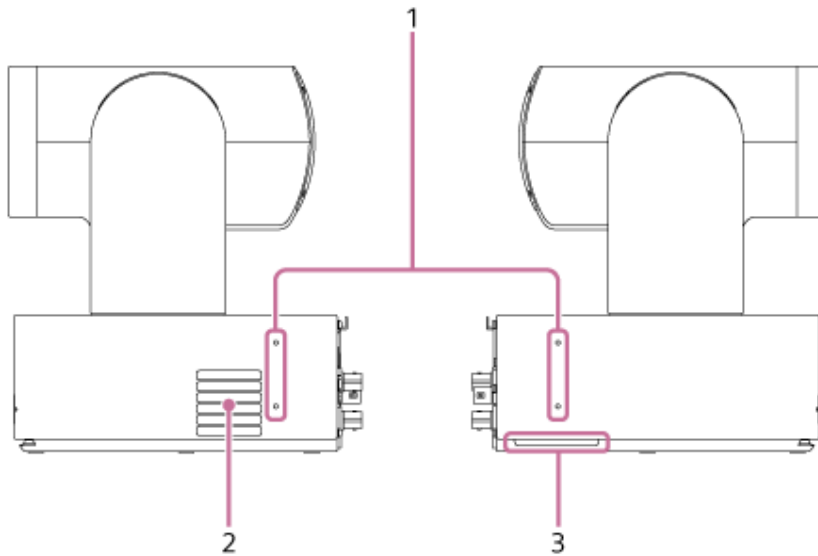
TP1001752235

5-065-326-01(1) Copyright 2024 Sony Corporation

カラービデオカメラ
BRC-AM7

側面部

本機側面部の各部の名称と働きを説明します。



1. 拡張用ネジ穴 (4箇所)

M3ネジ対応でネジの長さは最長で6 mmです。

ご注意

- 故障の原因になりますので、6 mm以上のネジは使用しないでください。

2. 排気口

本体内部の熱を外部に排出します。

ご注意

- 故障の原因になりますので、排気口をふさがないでください。
- 排気口付近は高温になることがあります。ご注意ください。

3. 吸気口

ご注意

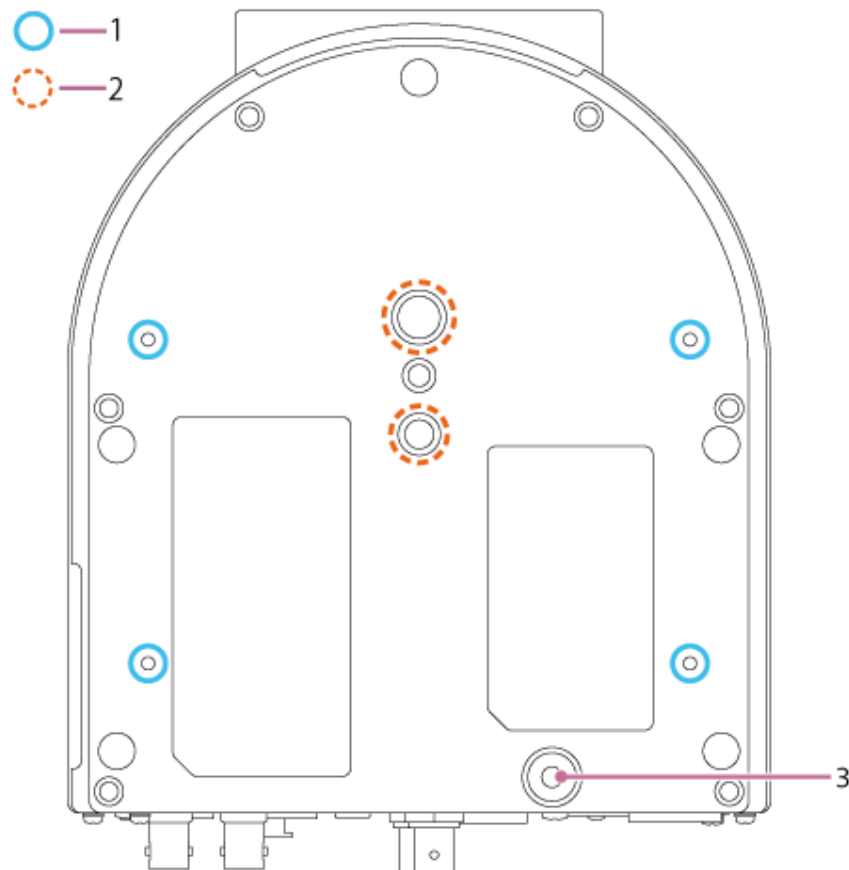
- 故障の原因になりますので、ふさがないでください。

TP1001752236

カラービデオカメラ
BRC-AM7

底面部

本機底面部の各部の名称と働きを説明します。



1. 高所設置用シーリングブラケット (A) 取り付けネジ穴 (4箇所、有効ネジ深さ : 5.5 mm)

本機を天井や高所の棚などに設置するとき、付属のシーリングブラケットを付属のネジ4本でこのネジ穴に固定します。

- 設置については、「高所に据え置き設置する」および「天井に設置する」をご覧ください。

2. 三脚取り付け用ネジ穴 (1/4インチ、3/8インチ)

1/4-20UNCネジ、3/8-16UNCネジに対応しています。三脚 (別売り、ネジの長さ5.5 mm以下) を取り付けます。

ご注意

- 故障の原因になりますので、5.5 mmより長いネジは使用しないでください。

3. 落下防止ワイヤーロープ取り付け用ネジ

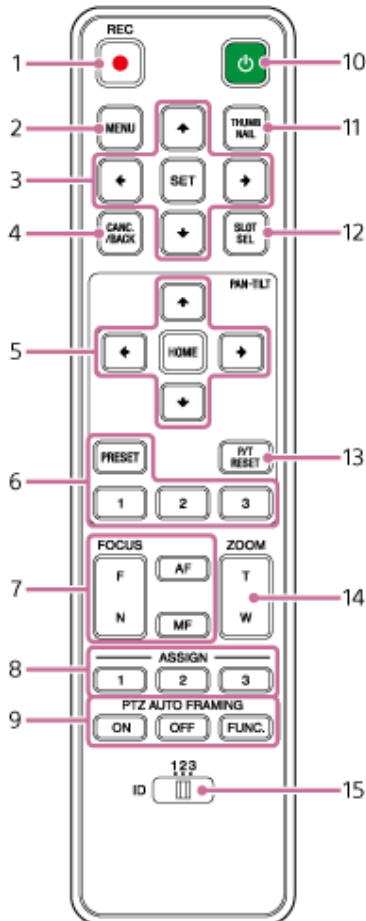
ご注意

- 必ず同梱のワイヤーロープとネジを取り付けてください。
- ワイヤーロープを取り付けていない状態でネジを取り付けしないでください。

カラービデオカメラ
BRC-AM7

赤外線リモコン（付属）の各部の名称と働き

赤外線リモコン（付属）の各部の名称と働きを説明します。



1. REC●（録画START/STOP）ボタン

録画を開始または停止するときに押します。

2. MENUボタン

カメラメニューを表示または非表示にするときに押します。

3. GUI操作ボタン

本機のカメラメニューやボタン付きメッセージなど、画面表示を操作するときに押します。

4. CANCEL./BACKボタン

本機のカメラメニューで設定をキャンセルしたり、一つ前の画面に戻るときに押します。

5. パン・チルト操作ボタン

矢印ボタンでカメラのパン・チルト操作を行います。HOMEボタンを押すと、カメラの向きが正面に戻ります。

6. プリセットポジション操作ボタン

PRESET（プリセット）ボタンを押しながら1～3ボタンを押すと、カメラの向きやズーム、ピント調節の設定状態が押した番号ボタンに記憶されます。

設定を記憶した番号ボタンを押すと、記憶した状態を呼び出します。

7. フォーカス操作ボタン

ピント合わせに使います。

自動でピントを調節する場合は、AFボタンを押します。

手動で調節する場合は、MFボタンを押してから、遠くの被写体にピントを合わせるときはF（遠方）ボタンを、近くの被写体にピントを合わせるときはN（近傍）ボタンを押します。

8. アサインブルボタン1~3

カメラメニューでアサインブルボタンに割り当てた機能を実行します。

アサインブルボタンに [Direct Menu]（ダイレクトメニュー）の機能を割り当てると、GUI操作ボタンで露出やホワイトバランスなどの調節操作が行えます。

- カメラメニューで割り当てる手順については、「アサインブルボタン」をご覧ください。
- ダイレクトメニューについては「ダイレクトメニュー操作」をご覧ください。

9. PTZ AUTO FRAMINGボタン

ONボタン：PTZオートフレーミングを実行します。

OFFボタン：PTZオートフレーミングを停止します。

FUNC.：本機では使用しません。

10. 電源ボタン

スタンバイ状態から本機の電源を入れるとき、またはスタンバイ状態にするときに押します。

11. THUMBNAILボタン

本機のメモリーカードに記録されているクリップのサムネイル画面を表示します。

- サムネイル画面については、「サムネイル画面」をご覧ください。

サムネイル画面では、GUI操作ボタンでクリップの選択と再生操作が行えます。

12. SLOT SEL（メモリーカードスロット(A)/(B)選択）ボタン

メモリーカードが2枚装着されているときに、記録するメモリーカードを切り替えます。

サムネイル画面を表示しているときにこのボタンを押すと、閲覧するメモリーカードが切り替わります。

13. P/T RESET（パン・チルトリセット）ボタン

パン・チルトの初期化動作を実行します。POWERランプとNETWORKランプが同時に点滅している場合や、Web Appの画面操作部に「Execute Pan-Tilt Reset」と表示されている場合に押してください。

14. ズーム操作ボタン

被写体を大きくする場合は、T（望遠）ボタンを押します。

被写体を小さくする場合は、W（広角）ボタンを押します。

15. CAMERA SELECTスイッチ

赤外線リモコンで操作したいカメラ（本機）のIDを選択します。カメラのIDは端子部のCAMERA SETUPスイッチのスイッチ1および2で設定します。

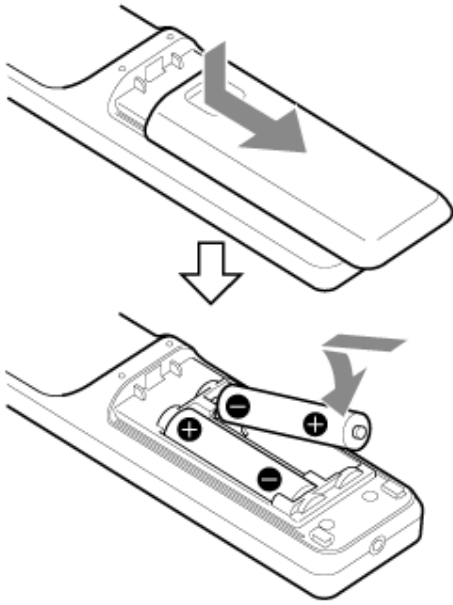
ご注意

- 近くに同じIDに設定したカメラがある場合、付属の赤外線リモコンで同時に動作してしまいます。近くに設置するカメラは、違うIDに設定することをおすすめします。

赤外線リモコンの電池について

赤外線リモコンには、別売の単3形乾電池が2個必要です。

以下の図を参考に電池を赤外線リモコンに入れてください。



ご注意

- 破裂の原因となりますので、マンガン乾電池またはアルカリ乾電池以外は使わないでください。
- 使用済みの電池は、国または地域の法令に従って処理してください。

関連項目

- [アサインブルボタン](#)
- [ダイレクトメニュー操作](#)
- [サムネイル画面](#)
- [記録したクリップを再生する](#)
- [記録したクリップを操作する](#)

TP1001752238

カラービデオカメラ
BRC-AM7

Web App画面について

タブレットまたはコンピューターを接続して、Webブラウザから本機のパン・チルト、ズーム操作、録画、録画映像の再生、および本機の設定を行うことができます（以降、本機能をWeb Appと呼びます）。

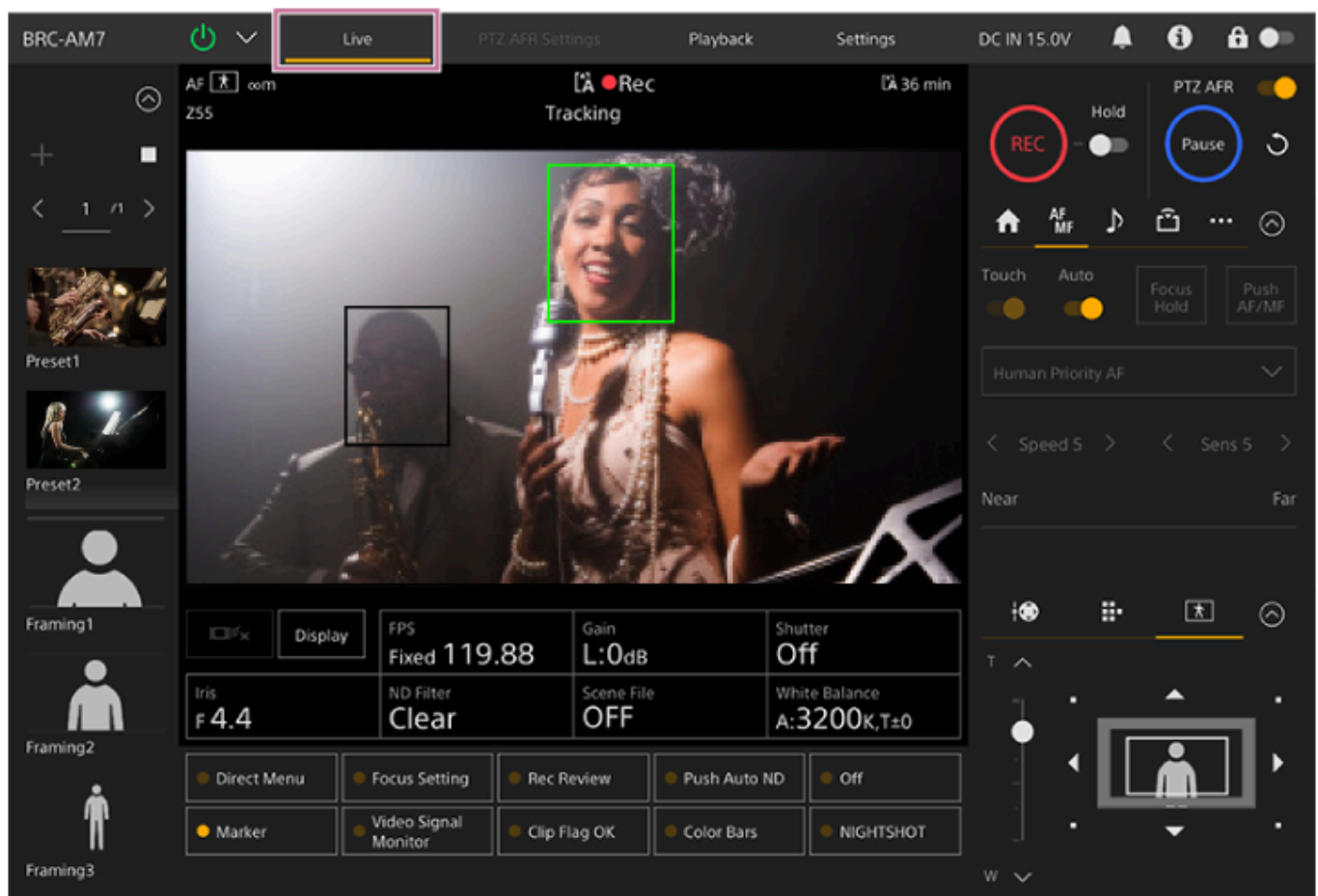
- Web Appの起動については「WebブラウザでWeb Appにアクセスする」をご覧ください。

ご注意

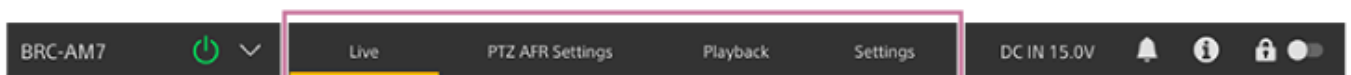
- Web Appはカメラの音声出力には対応していません。

Web Appを起動すると、以下のライブ操作画面が表示されます。

ライブ操作画面

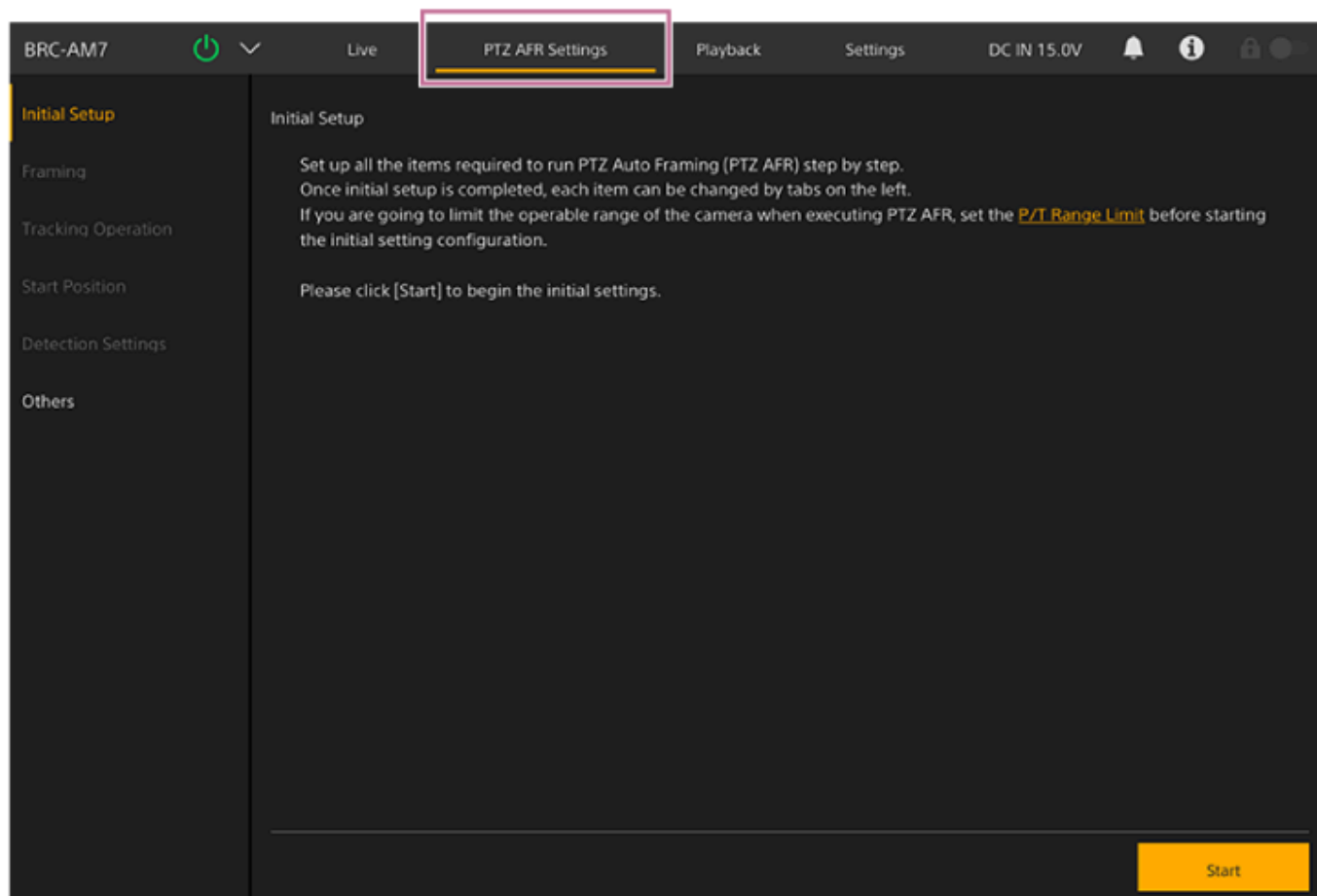


- ライブ操作画面の詳細は、「ライブ操作画面の各部の名称と働き」をご覧ください。画面上部にライブ操作画面および再生操作画面で共通のボタンやアイコンが表示されます。
- 画面の共通部分については、「画面共通部分の各部の名称と働き」をご覧ください。共通部分の操作画面切り替えタブを押すことで画面を切り替えることができます。



PTZ AFR設定画面

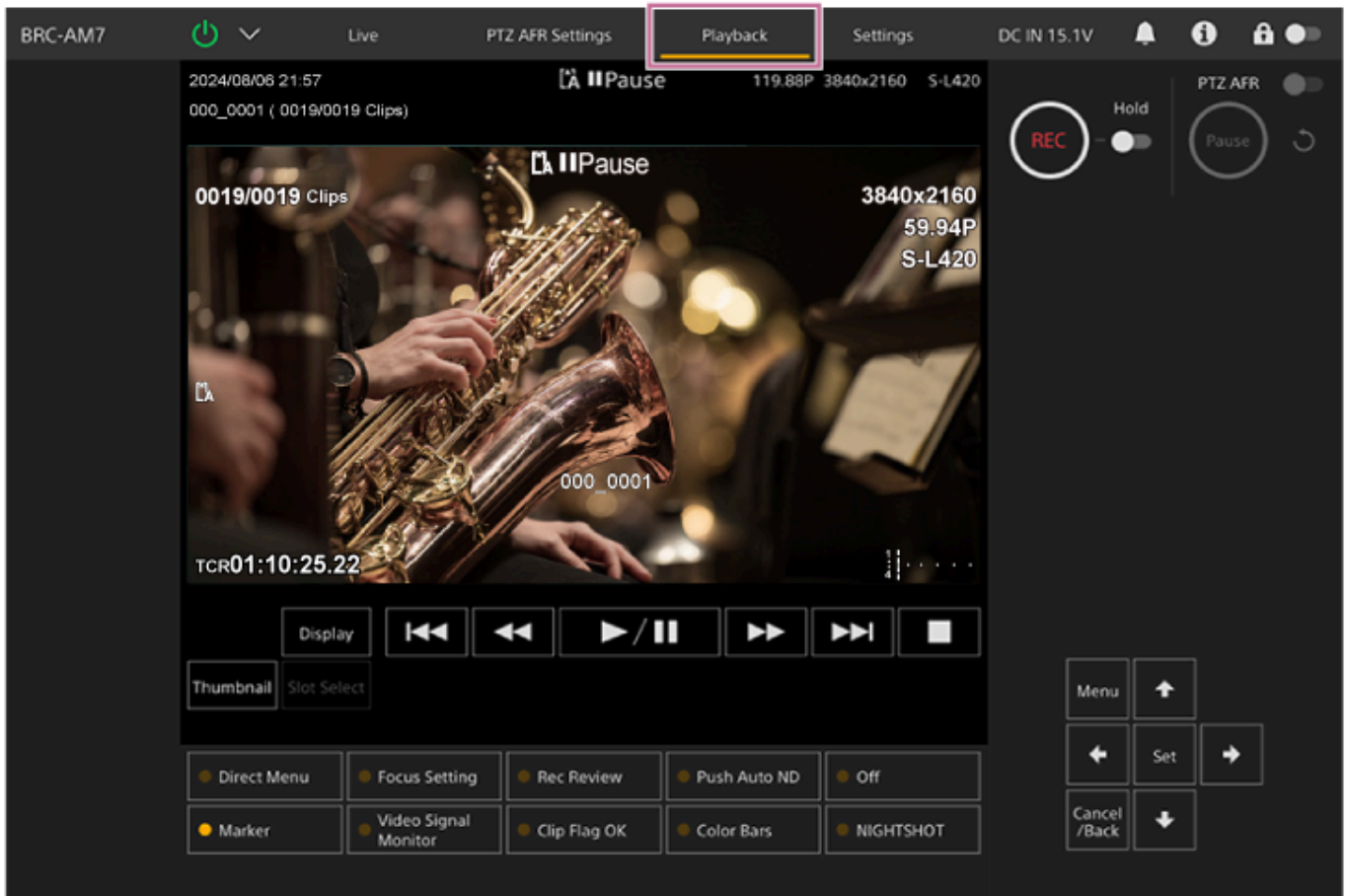
PTZオートフレーミングの初期設定を行う画面です。



- 設定方法は「PTZ AFR設定画面の各部の名称と働き」および「PTZオートフレーミングの初期設定を行う」をご覧ください。

再生操作画面

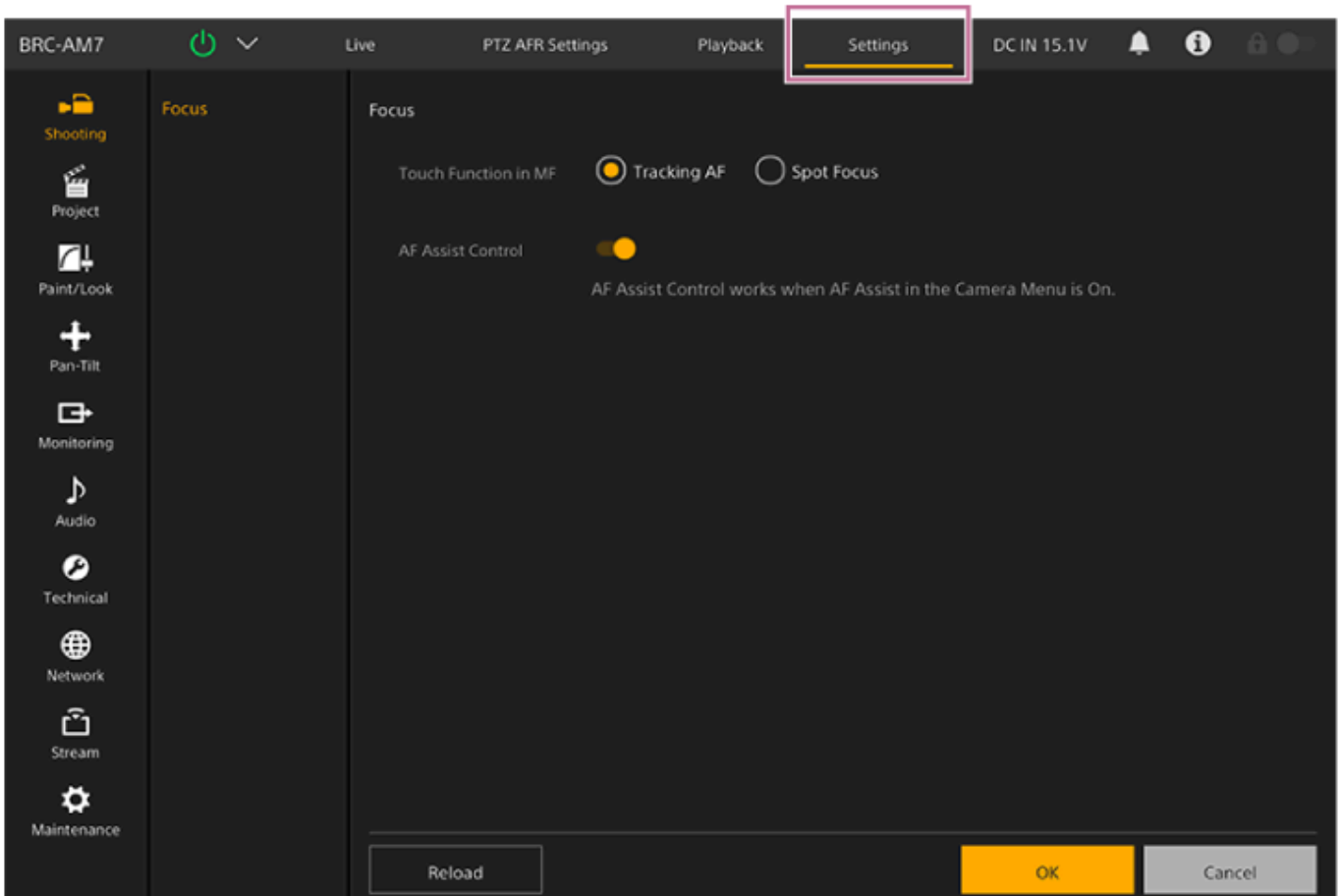
[Playback] タブを押すと、再生操作画面が表示されます。



- 再生操作画面の詳細は、「再生操作画面の各部の名称と働き」をご覧ください。

設定画面

[Settings] タブを押すと、設定画面（以降、Webメニューと呼びます）が表示されます。



- 設定画面の詳細は、「設定画面の各部の名称と働き」をご覧ください。
- 本ヘルプガイドでは、Web Appの設定画面をWebメニューと呼びます。

ご注意

- Webメニューでは [OK] ボタンを押すまで設定内容が確定されません。 [OK] ボタンがあるページで設定変更したときは、必ず [OK] ボタンを押してください。

関連項目

- [WebブラウザでWeb Appにアクセスする](#)
- [ライブ操作画面の各部の名称と働き](#)
- [画面共通部分の各部の名称と働き](#)
- [PTZ AFR設定画面の各部の名称と働き](#)
- [PTZオートフレーミングの初期設定を行う](#)
- [再生操作画面の各部の名称と働き](#)
- [設定画面の各部の名称と働き](#)

TP1001752239

カラービデオカメラ
BRC-AM7

画面共通部分の各部の名称と働き

画面共通部分の各部の名称と働きについて説明します。



1. カメラ名

本機の名前が表示されます。

名前はWebメニューの [Network] メニュー > [Camera Name] で変更できます。

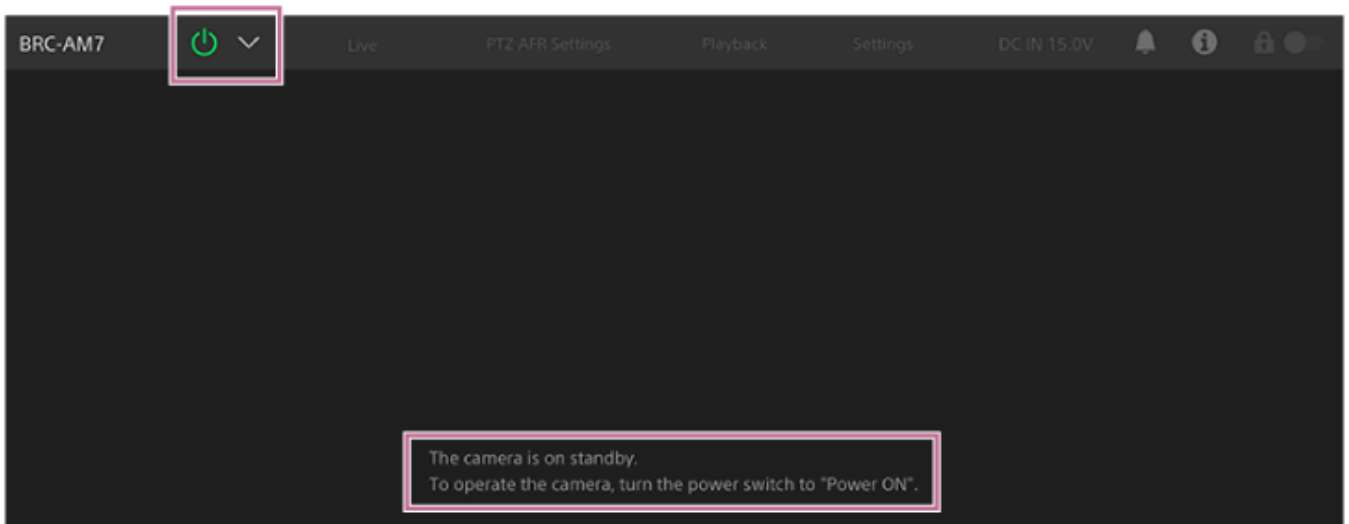
外部からのタリー信号に従って背景の色が変わります。

2. 電源スイッチ

本機の電源がオンの場合、スイッチメニューの [Power ON] にチェックマークが付きます。

電源スイッチを押して、スイッチメニューの [Power Standby] を選ぶと、本機の電源スタンバイ状態になります。

電源スタンバイ状態のときは、以下の画面が表示されます。



電源をオンに戻すときは、電源スイッチを押して、スイッチメニューの [Power ON] を選びます。

3. 操作画面切り替え部

タブを押して操作画面を切り替えます。


[Live] タブ : ライブ操作画面を表示します。

[PTZ AFR Settings] タブ : PTZオートフレーミングの初期設定画面を表示します。

[Playback] タブ : 再生操作画面を表示します。


[Settings] タブ : 設定画面 (Webメニュー) を表示します。

4. DC IN電圧、または温度異常警告

DC IN電圧値が表示されます。本機の温度が異常になると  (温度異常警告) マークが表示されます。

5. 通知マーク

メッセージがある場合、マーク表示が以下に変わります。

 (Notifications On)

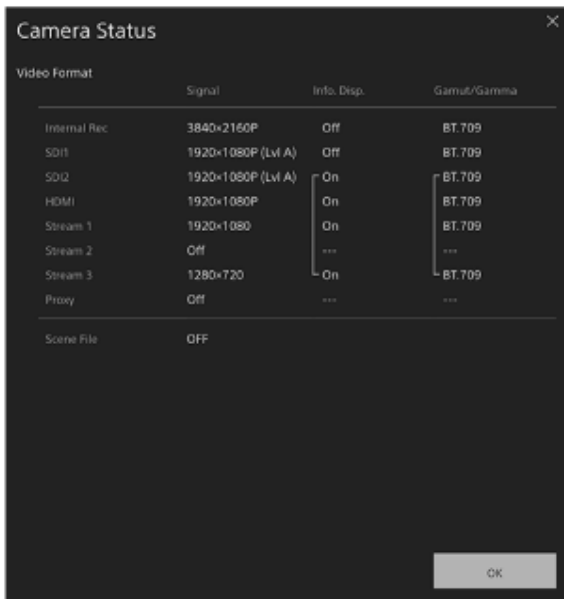
カメラ映像部に表示されたメッセージ内容に応じて対処してください。

ご注意



- Webメニューの [Monitoring] メニュー-> [Output Display] の [SDI2/HDMI/Stream] がオフになっている場合は、メッセージが表示されません。オンにしてメッセージの内容をご確認ください。



6. (Camera Status) ボタン

ボタンを押すと、別画面でカメラ内記録映像・出力映像の信号情報の状態が表示されます。



7. 画面操作ロックスイッチ

  (Operation Unlock) : スイッチを左にすると、ライブ操作画面および再生操作画面の操作ができます。

  (Operation Lock) : スイッチを右にすると、ライブ操作画面および再生操作画面の操作をロックして誤動作を防止できます。

TP1001752240

カラービデオカメラ
BRC-AM7

ライブ操作画面の各部の名称と働き

ライブ操作画面の各部の名称と働きについて説明します。
PTZオートフレーミングがオフの場合



PTZオートフレーミングがオンの場合



1. プリセットポジション操作部

プリセットに登録されている画角がサムネイルで表示されます。サムネイルをダブルタップすると、そのプリセットに記憶された画角が復元されます。

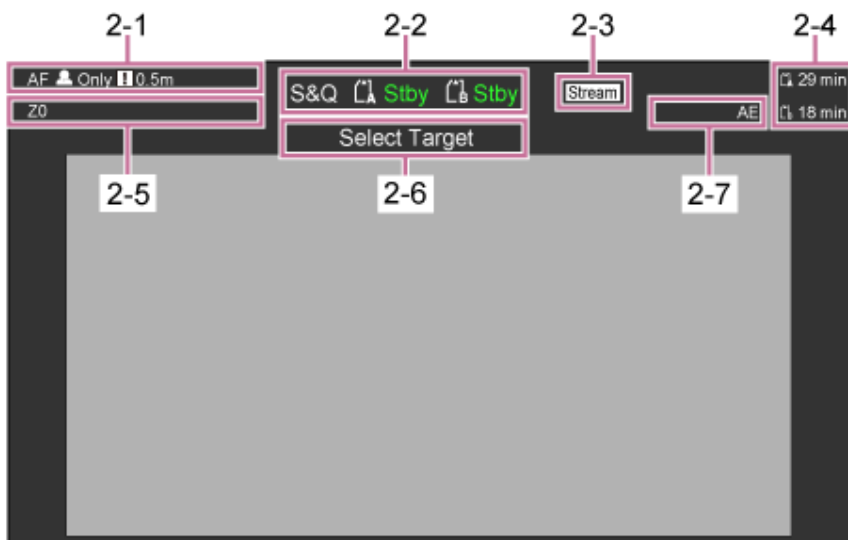
- プリセットポジションについては、「Web Appでカメラの向きやズーム位置、フォーカス設定を保存/復元する」をご覧ください。

2. カメラ映像部

撮影中の映像と本機の状態が表示されます。

HDMI出力と同じ映像が表示されます。

映像の上部には以下の状態が表示されます。また外部からのタリー信号に応じて、映像の周囲に赤、緑または黄の枠が表示されます。



No.	表示	説明
2-1	フォーカスモード表示	「カメラ画面表示」の「フォーカスモード表示」をご覧ください。
2-2	記録モード/スロットA/B/動作状態表示	「カメラ画面表示」の「記録モード/スロットA/B/動作状態表示」をご覧ください。
2-3	ストリーミング配信状態表示	ストリーミング配信中表示されます（[Stream Setting]が[RTMP]または[SRT-Caller]の場合のみ）。
2-4	メディア残量表示	「カメラ画面表示」の「メディア残量表示」をご覧ください。
2-5	ズームポジション表示	「カメラ画面表示」の「ズームポジション表示」をご覧ください。
2-6	PTZオートフレーミング状態表示	PTZオートフレーミングが有効なときに表示されます。
2-7	AEモード/AEレベル表示	「カメラ画面表示」の「AEモード/AEレベル表示」をご覧ください。

【Display】ボタン

ボタンを押すと、映像上にカメラ情報が表示されます。
カメラ情報表示中にもう一度押すと、カメラ情報が非表示になります。



マーカーのほか、一部のオートフォーカス関連の表示やメッセージなどは状態に応じて表示され、【Display】ボタンを押しても非表示にすることはできません。

- 表示されるカメラ情報については、「カメラ画面表示」をご覧ください。

リアルタイムトラッキングAF終了ボタン

ボタンを押すと、被写体のトラッキングを終了します。



- 詳細は、「被写体を指定して追尾する（リアルタイムトラッキングAF）」をご覧ください。

3. 録画START/STOPボタン

ボタンを押すと録画が開始されます。録画中は録画START/STOPボタンが赤く点灯します。

録画中に押すと、録画が停止します。

HoldスイッチをHold状態にすると、録画START/STOPボタンの誤操作を防ぐことができます。

4. PTZ AFR操作部

PTZ AFRスイッチをオンにすると、PTZオートフレーミングが有効になります。カメラ映像部で追尾したい人物をタップしてください。

あらかじめPTZ AFR設定画面で、特定の位置に登場した人物を自動追尾するように設定することもできます。詳細は「PTZオートフレーミングの初期設定を行う」ほかをご覧ください。

追尾中は[Pause] ボタンの周りが青点灯します。

青点滅しているときはオペレーターの対応が必要な状態です。カメラ操作部に表示されるメッセージを確認して対応してください。

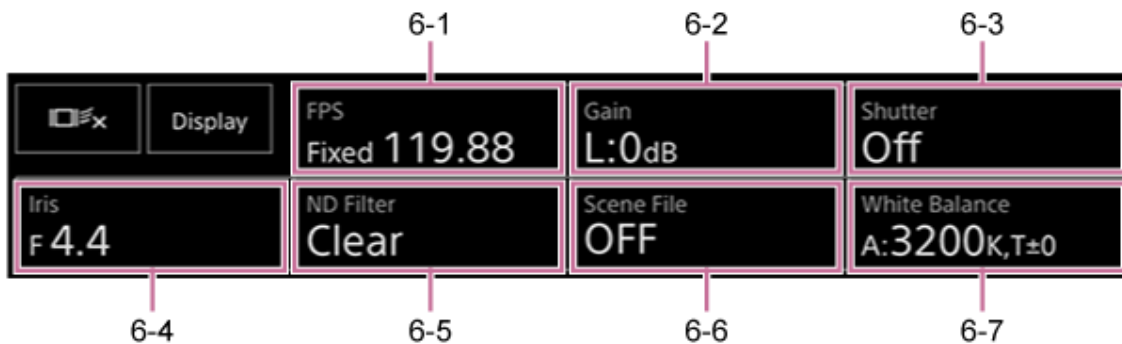
5. 構図プリセット操作部

プリセット登録されている構図がサムネイルで表示されます。サムネイルをダブルタップすると、そのプリセットに記憶された構図が復元されます。

PTZオートフレーミングが有効なときに表示されます。

6. カメラ基本設定部

撮影に必要な基本設定状態がボタンで表示されます。ボタンを押すと、その機能の設定画面が「7. カメラ基本設定調節パネル」に表示されます。



- 6-1 [FPS]
- 6-2 [ISO/Gain]
- 6-3 [Shutter]
- 6-4 [Iris]
- 6-5 [ND Filter]
- 6-6 [Scene File / Base Look/LUT]
- 6-7 [White Balance]

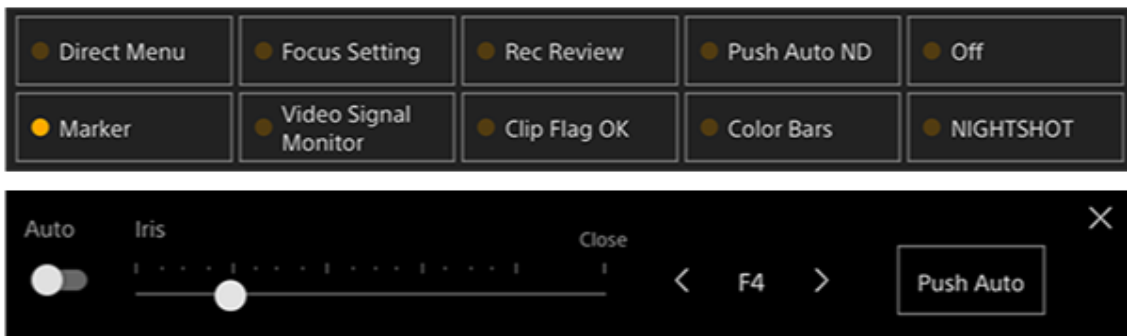
- 詳細は、各機能の説明をご覧ください。

機能	参照先
[FPS]	「スロー&クイックモーション」
[ISO/Gain]	「ゲインを調節する」の「ゲインを自動調節する」および「ゲインを手動調節する」
[Shutter]	「シャッターを調節する」の「シャッターを自動調節する」および「シャッターを手動調節する」
[Iris]	「アイリスを調節する」の「アイリスを自動調節する」および「アイリスを手動調節する」
[ND Filter]	「光量を調節する (NDフィルター)」の「NDフィルターについて」
[Scene File]	「好みのルックで撮影する」の「ルックの概要」ほか各項
[Base Look/LUT]	「ポストプロダクションでルックを調節する前提で撮影する」

機能	参照先
[White Balance]	「ホワイトバランスの調節操作を行う画面」

7. アサインボタン/カメラ基本設定調節パネル

通常はアサインボタンが表示されています。「6. カメラ基本設定部」のボタンを押すと、その設定項目が表示されます。[X] ボタンまたはカメラ基本設定部のボタンを再び押すと、アサインボタンの表示に戻ります。



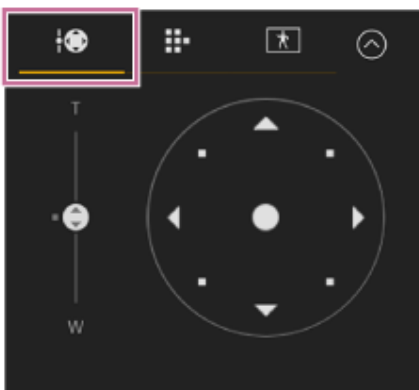
- アサインボタンの詳細は、「アサインボタン」をご覧ください。
- カメラ基本設定調節パネルの詳細は、各機能の説明をご覧ください。

8. 画角操作部/ GUI操作部/ AFR構図調節部

画角操作部、GUI操作部およびAFR構図調節部は、上部のタブで切り替えます。

画面右上の (Close) ボタンを押すと操作部が非表示になり、誤操作を防止することができます。操作部が表示されていない場合は、 (Open) ボタンを押すと表示されます。

画角操作部は、画角の調節に使用します。画角操作部は、 (パンチルトズーム) タブを押すと表示されます。



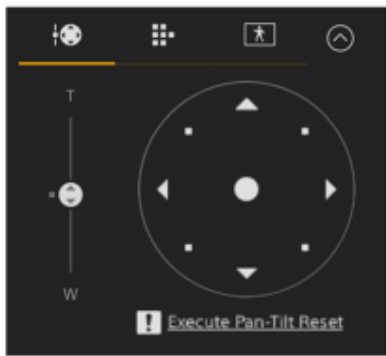
- 操作方法は、「画角を調節する」をご覧ください。

ヒント

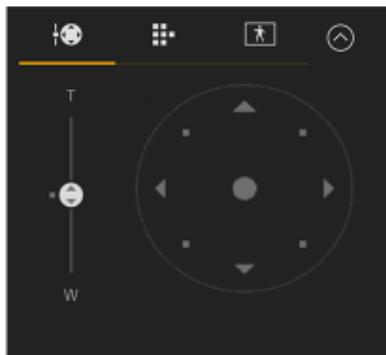
- 画角操作部のジョイスティック部分は、パン・チルト操作が無効な場合やパン・チルトの初期化が必要な場合に下記の表示となります。
 - パン・チルト動作が未初期化の場合





- パン・チルト動作の再初期化が必要な場合

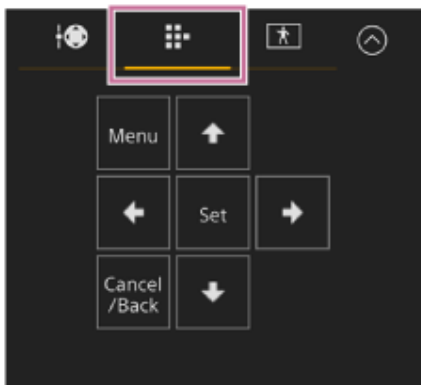


＝パン・チルト動作が無効な状態の場合




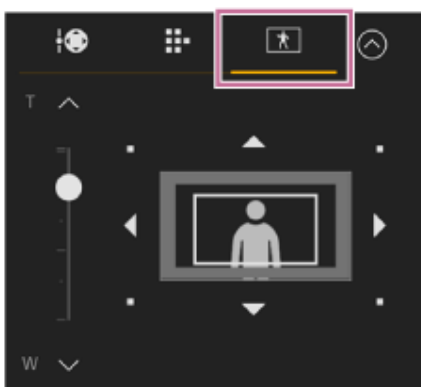
- 「パン・チルト動作が未初期化の場合」および「パン・チルト動作の再初期化が必要な場合」はジョイスティック下のメッセージを押すことで、カメラ操作部の  (パンチルトリセット) ボタンに簡単にアクセスできます。

GUI操作部はカメラメニューの操作やクリップ再生操作などに使用します。GUI操作部は、 (Cam GUI) タブを押すと表示されます。



- 操作方法は、「カメラメニューの操作方法」および「記録したクリップを再生する」をご覧ください。

AFR構図調節部は、PTZオートフレーミングの構図を調節に使用します。AFR構図調節部は、 (AFR構図調節) タブを押すと表示されます。





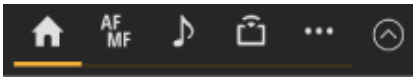
操作方法は、「自動追尾する人物を任意に指定する（手動追尾開始モード）」をご覧ください。

9. カメラ操作部

カメラの操作上必要になる機能の設定を行います。

画面上部のタブで表示する画面を切り替えます。

画面右上の  (Close) ボタンを押すと操作部が非表示になり、誤操作を予防することができます。操作部が表示されていない場合は、 (Open) ボタンを押すと表示されます。



- 詳細は、各機能の操作箇所をご覧ください。

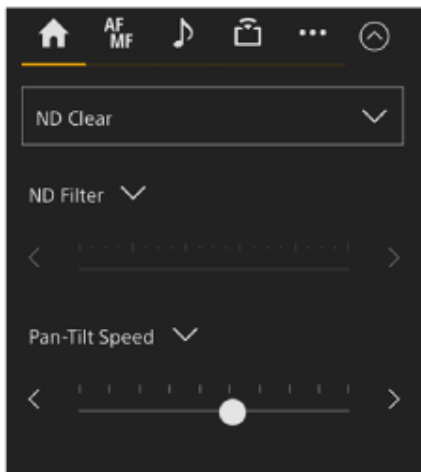
(Main) タブ

頻繁に操作する機能の設定項目が表示されます。

上下にあるスライダーの機能を [▼] ボタンを押して表示されるリストから選択することができます。選択できる機能は以下のとおりです。

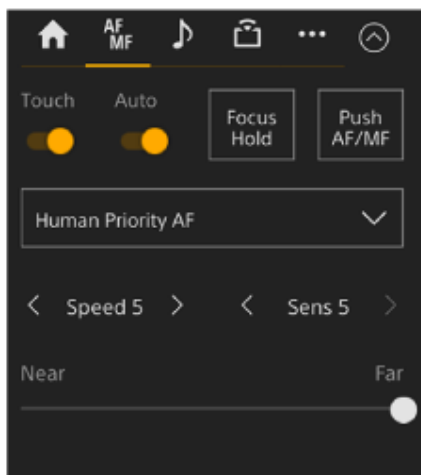
- [ND Filter]
- [Iris]
- [ISO] *
- [Gain] *
- [AE Level]
- [Zoom Speed]
- [Pan-Tilt Speed]

* 設定に応じていずれかが表示されます。



(Focus) タブ

フォーカスに関する設定項目が表示されます。



(Audio) タブ

音声に関する設定項目が表示されます。



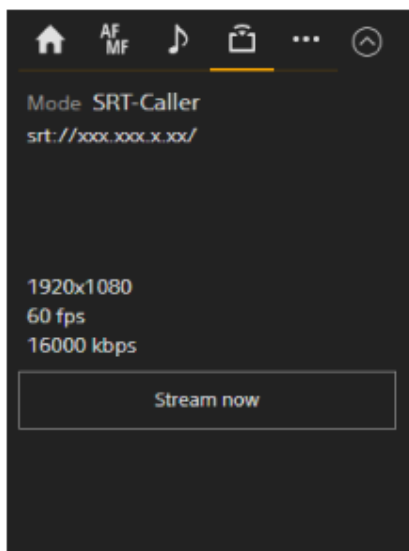
(Stream) タブ

ストリーミングに関する設定項目が表示されます。

ストリーミング方式の設定により、表示される項目が異なります。

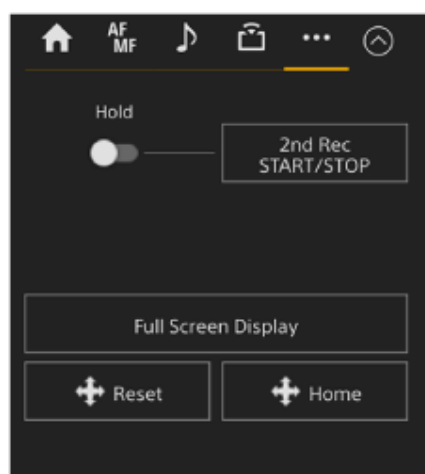
[RTMP] または [SRT-Caller] を設定した場合は、ここで配信の開始/停止を行います。

- 詳しくは「ストリーミングを設定する」の「ストリーミングについて」ほかをご覧ください。
- 接続に失敗したときエラー情報を表示します。エラー情報の詳細は「エラー/警告表示」をご覧ください。



(Others) タブ

その他の機能に関する設定項目が表示されます。



[Full Screen Display] ボタンを押すと、Webブラウザが新しいタブを開いてカメラ映像部の映像を全面で表示します。映像表示のみを行い、タッチAFなどの操作はできません。

ご注意

- 元のタブでライブ操作画面は引き続き動作しています。操作の必要がなければタブを閉じて同時接続数を減らすことをおすすめします。

関連項目

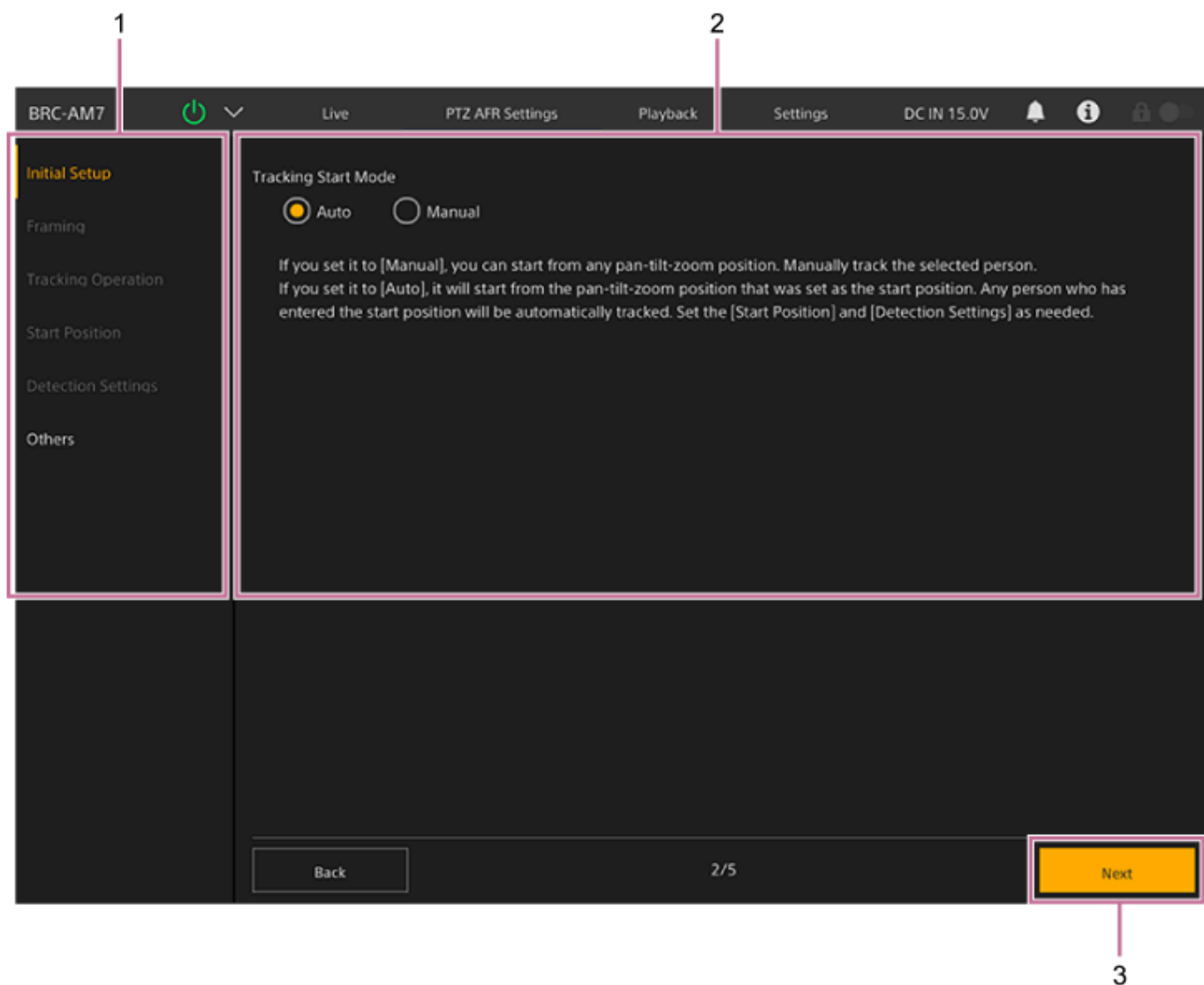
- [Web Appでカメラの向きやズーム位置、フォーカス設定を保存/復元する](#)
- [PTZオートフレーミングの初期設定を行う](#)
- [自動追尾する人物を任意に指定する（手動追尾開始モード）](#)
- [カメラ画面表示](#)
- [被写体を指定してAF追尾する（リアルタイムトラッキングAF）](#)
- [スロー&クイックモーション](#)
- [ゲインを自動調節する](#)
- [ゲインを手動調節する](#)
- [シャッターを自動調節する](#)
- [シャッターを手動調節する](#)
- [アイリスを自動調節する](#)
- [アイリスを手動調節する](#)
- [PTZオートフレーミングについて](#)
- [NDフィルターについて](#)
- [ルックの概要](#)
- [ポストプロダクションでルックを調節する前提で撮影する](#)
- [ホワイトバランスの調節操作を行う画面](#)
- [アサイナブルボタン](#)
- [記録したクリップを再生する](#)
- [カメラメニューの操作方法](#)
- [ストリーミングについて](#)
- [エラー/警告表示](#)

TP1001752241

カラービデオカメラ
BRC-AM7

PTZ AFR設定画面の各部の名称と働き

PTZオートフレーミングの初期設定を行う画面です。



1. 設定項目タブ

設定項目が表示されます。PTZオートフレーミングの初期設定時は [Initial Setup] と [Others] のみが選択できます。初期設定完了後は個別に設定できます。

2. 設定画面

設定画面、および設定ガイダンスが表示されます。

3. [Start] ボタン

PTZオートフレーミングの初回設定時のみ表示されます。

[Start] ボタンを押すとPTZオートフレーミングの初回設定が始まります。画面のガイダンスを参考に各設定項目を順に設定します。

詳しくは「PTZオートフレーミングの初期設定を行う」をご覧ください。

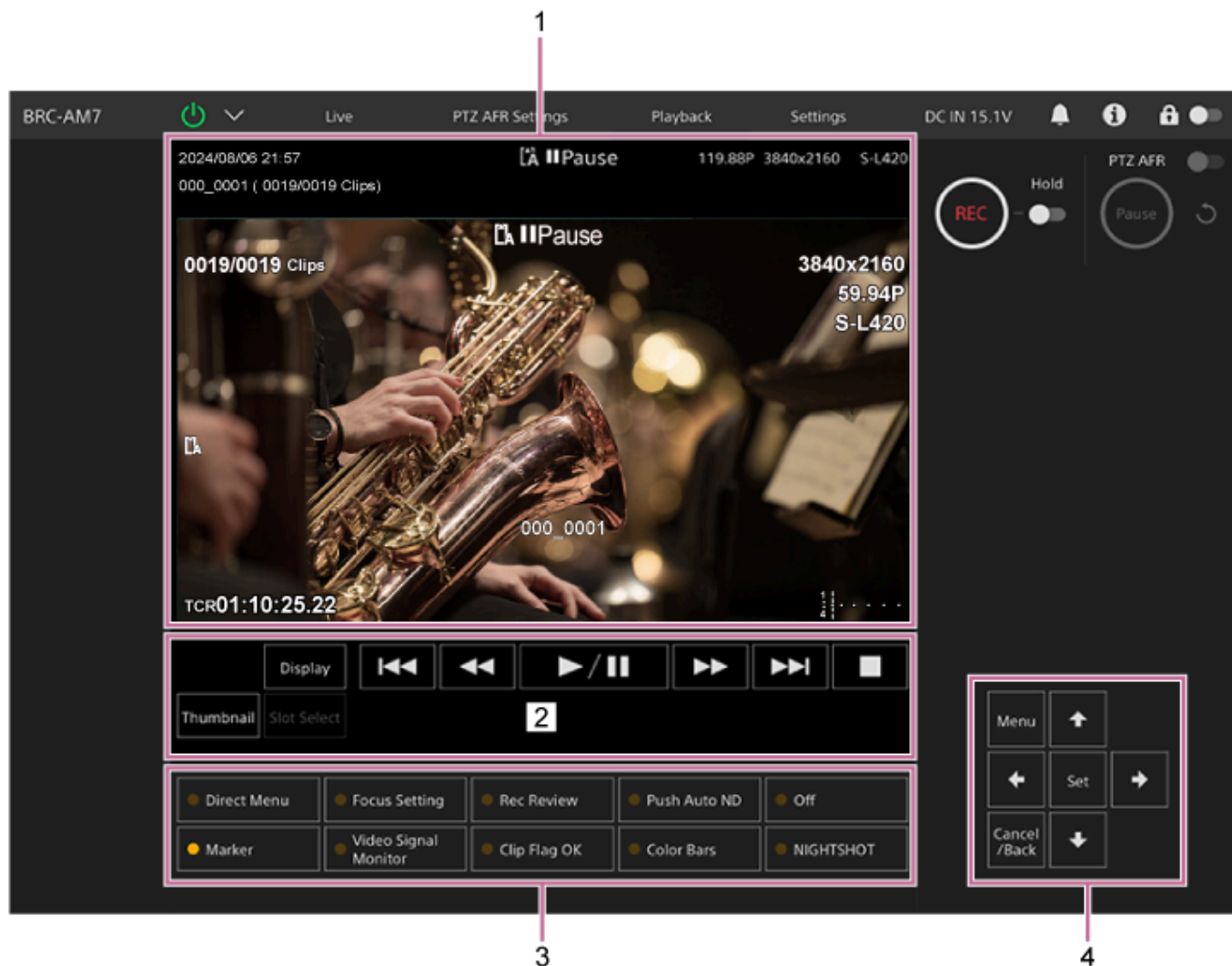
関連項目

- [PTZオートフレーミングの初期設定を行う](#)

カラービデオカメラ
BRC-AM7

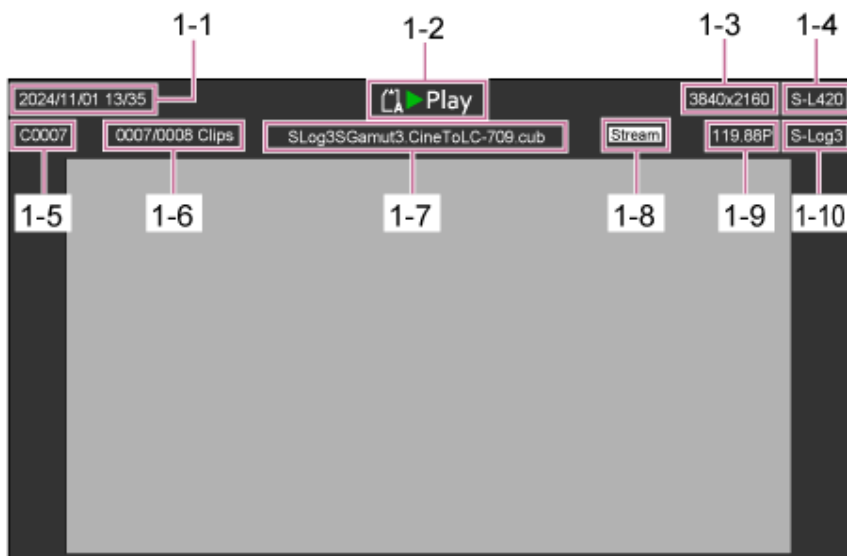
再生操作画面の各部の名称と働き

再生操作画面の各部の名称と働きについて説明します。



1. カメラ映像部

再生映像とその情報が表示されます。再生停止中は、カメラ撮影画面が表示されます。



- 1-1 撮影日時
- 1-2 再生動作状態表示
- 1-3 再生フォーマット（画サイズ）表示
- 1-4 再生フォーマット（コーデック）表示
- 1-5 クリップ名表示
- 1-6 クリップ番号/クリップ総数
- 1-7 LUT名表示
- 1-8 ストリーム状態表示
- 1-9 再生フォーマット（フレームレートとスキャン方式）表示
- 1-10 記録ルック表示

2. 再生操作部



再生操作関連ボタン

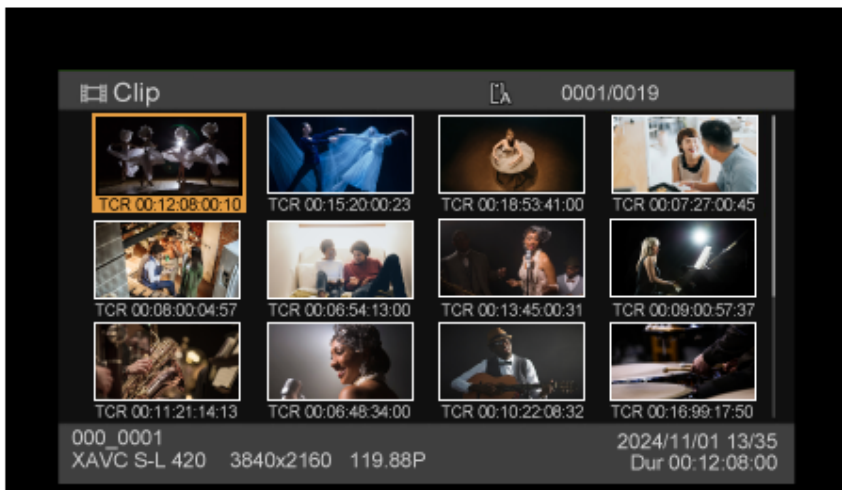
ボタン	機能
▶ (Play/Pause) ボタン	クリップを再生します。再生中は一時停止します。
⏭ (Fast Forward) ボタン、⏮ (Fast Reverse) ボタン	クリップを高速再生します。ボタンを押すと再生速度が3段階で変わります。
⏩ (Next) ボタン、⏪ (Previous) ボタン	クリップの先頭または前後のクリップに移動します。
■ (Stop) ボタン	再生を停止します。

【Display】ボタン

ボタンを押すと、映像上の画面表示が切り替わります。

【Thumbnail】ボタン

メモリーカードに収録されているクリップをカメラ映像部にサムネイルで表示します。



サムネイル画面表示中に [Thumbnail] ボタンを押すと、サムネイル画面を終了し、カメラ映像に戻ります。

- サムネイル画面の詳細は、「サムネイル画面」をご覧ください。

[Slot Select] ボタン

再生対象のメディアを切り替えます。

3. アサインボタン

本機の機能を割り当てたアサインボタンが表示されます。

- アサインボタンの詳細は、「アサインボタン」をご覧ください。

4. GUI操作部

GUI操作部はカメラメニューの操作やクリップ再生操作などに使用します。



- 操作方法は、「カメラメニューの操作方法」および「記録したクリップを再生する」をご覧ください。

関連項目

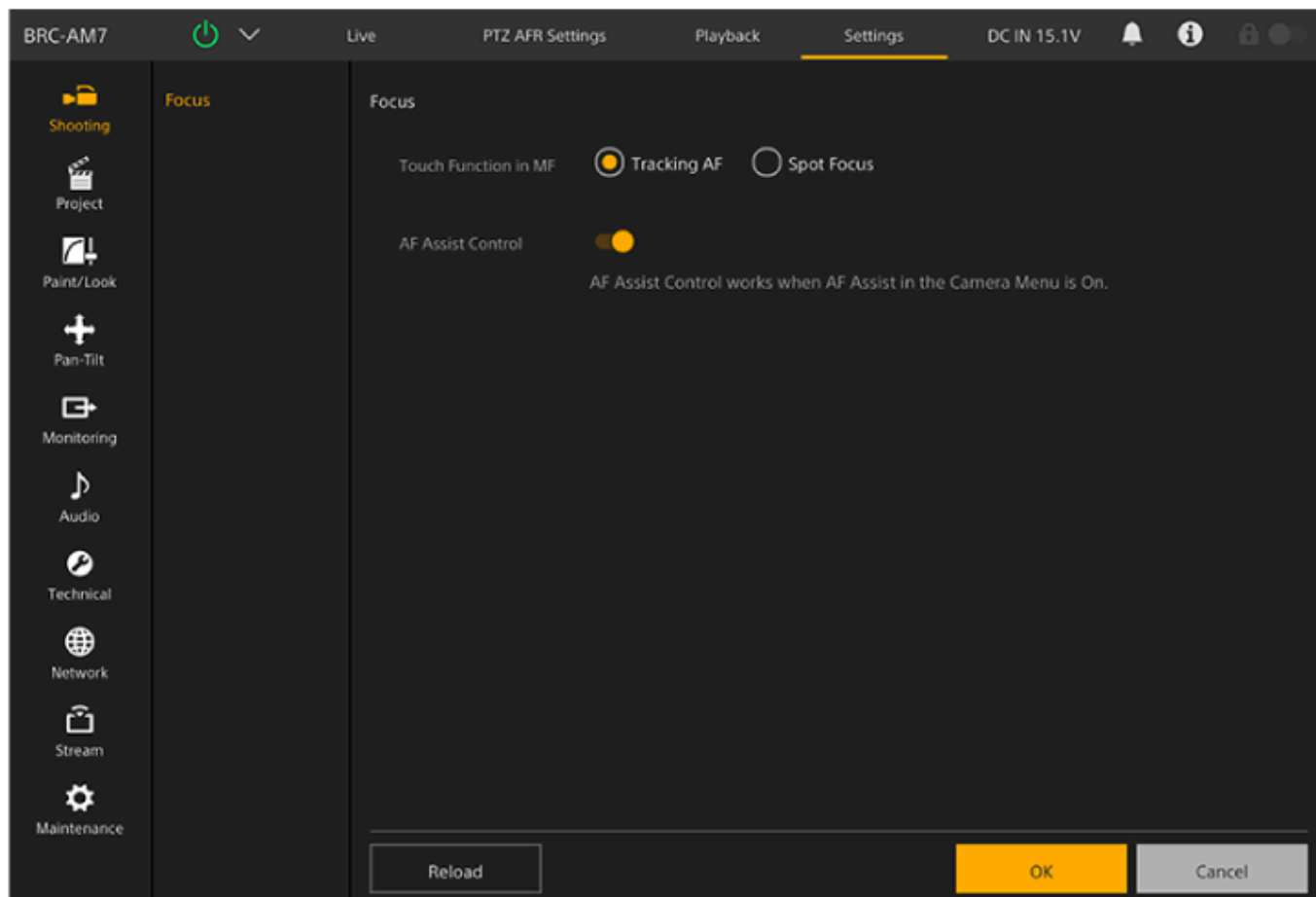
- [サムネイル画面](#)
- [アサインボタン](#)
- [記録したクリップを再生する](#)

TP1001752242

カラービデオカメラ
BRC-AM7

設定画面の各部の名称と働き

設定画面では、Webメニューで本機の初期設定、ネットワーク設定、撮影、再生に必要な各種設定を行います。



ご注意

- Webメニューでは原則として [OK] ボタンを押すまで設定内容が確定されません。[OK] ボタンがあるページで設定変更したときは、必ず [OK] ボタンを押してください。
- 設定画面の詳細は、「Webメニュー構成」をご覧ください。

関連項目

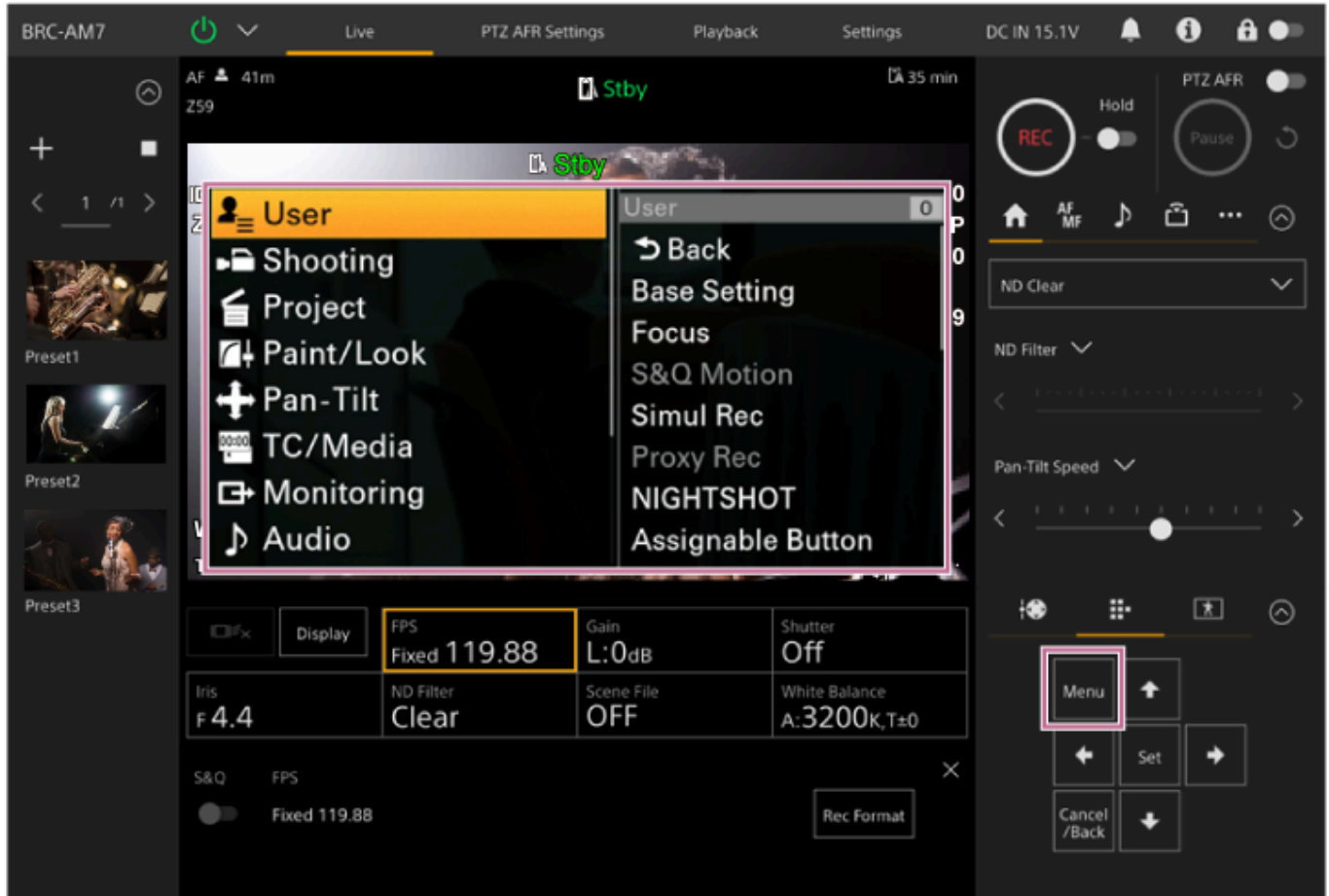
- [Webメニュー構成](#)

TP1001752243

カラービデオカメラ
BRC-AM7

カメラメニュー

ライブ操作画面や再生操作画面のGUI操作部の [Menu] ボタンを押すと、カメラ映像部にカメラメニューが表示されます。



カメラメニューでは撮影や再生に必要な各種設定を行うことができます。
カメラメニュー表示中に [Menu] ボタンを押すと、カメラメニューが消えます。
カメラメニューの操作はGUI操作部で行います。

- カメラメニューの詳細は、「カメラメニューの構成」をご覧ください。

ご注意

- Webメニューの [Monitoring] メニュー > [Output Display] で [SDI2/HDMI/Stream] をオフ (画面表示を重畳しない設定) にすると、カメラ映像部にカメラメニューが表示されなくなります。ただし、カメラメニューが表示されてなくてもGUI操作部の操作は有効です。誤動作を避けるため、[SDI2/HDMI/Stream] がオフのときは、GUI操作部での操作は行わないでください。

関連項目

- [カメラメニューの構成](#)

TP1001752244

カラービデオカメラ
BRC-AM7

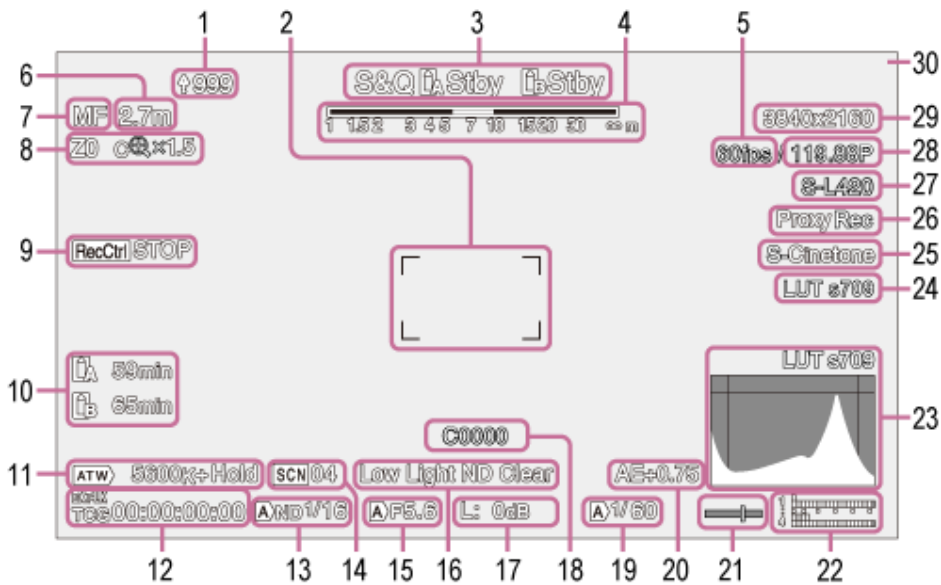
カメラ画面表示

カメラからの出力映像に本機の状態や設定を重ねて表示することができます。画面表示を重畳する出力は、Webメニューの [Monitoring] メニュー > [Output Display] から設定できます。

表示/非表示の切り替えは、[Display] ボタンで行います。非表示にした場合も、ダイレクトメニューの操作中は表示されます。

カメラメニューの [Monitoring] メニュー > [Display On/Off] の設定で、項目ごとに表示/非表示を選択することもできます。

撮影中の画面に表示される情報



1. アップロード中表示/転送ファイル残数表示

- ファイルの転送については「ファイルの転送」の「ファイルの転送について」ほかをご覧ください。

2. フォーカスエリア表示

オートフォーカスでフォーカスを合わせる領域が表示されます。

- オートフォーカスについては「フォーカスを自動調節する (オートフォーカス)」の「Web Appでフォーカスを自動調節する」ほかをご覧ください。

3. 記録モード/スロットA/B/動作状態表示

表示	意味
● Rec	記録中
Stby	記録待機中

4. 被写界深度表示


5. スロー&クイックモーション撮影フレームレート表示

- スロー&クイックモーションについては「スロー&クイックモーション」をご覧ください。





6. フォーカスポジション表示

- フォーカスの位置が表示されます。

7. フォーカスモード表示

表示	意味
Focus Hold	Focus Holdモード
MF	MFモード
AF	AFモード
 (リアルタイムトラッキングAFモード)	リアルタイムトラッキングAFモード

被写体認識AF

表示	意味
 (人物検出AFアイコン)	人物検出AF時に表示
 Only (人物限定AFアイコン)	人物限定AF時に表示
 (PTZ AFR中AFアイコン)	PTZオートフレーミング中に表示
 (保存された追尾顔あり)	保存された追尾顔があるときに表示
 (AF一時停止アイコン)	AFが一時停止になったときに表示*

* 追尾対象の顔が保存されていない状態で顔が検出されないとき、または追尾対象の顔が保存されているが、追尾対象の顔が検出されないときに表示されます。


- 被写体認識AFについては「人物を検出してAF追尾する」をご覧ください。

8. ズームポジション表示

ズームの位置が0（広角端）～99（望遠端）の範囲で表示されます。

カメラメニューの [Technical] メニュー > [Lens] の [Zoom Position Display] の設定で、バー表示または焦点距離表示に変えることもできます。

全画素超解像ズームを有効にすると、以下の表示が追加されます。

表示	意味
 (全画素超解像ズーム機能有効)	全画素超解像ズーム機能が有効
倍率数値	全画素超解像ズーム中


- ズームについては「ズームを調節する」の「ズームタイプを設定する」ほかをご覧ください。

9. SDI出力/HDMI出力のRec Control状態表示

RECコントロール信号の出力状態を表示します。

- 詳しくは「外部モニターや記録装置を接続する」をご覧ください。

10. メディア残量表示

メモリーカードがプロテクトされている場合は、 (プロテクト) マークが表示されます。

11. ホワイトバランス表示

表示	意味
 (ATW)	自動モード

表示	意味
 Hold (ATW Hold)	自動モード一時停止
W:P	プリセットモード
W:A	メモリーAモード

12. タイムコード外部ロック表示/タイムデータ表示

他機のタイムコードにロックさせると「EXT-LK」と表示されます。

- タイムコードについては「タイムデータ」をご覧ください。

13. NDフィルター表示

表示	意味
 (A)	自動モード

- NDフィルターについては「光量を調節する (NDフィルター)」をご覧ください。

14. シーンファイル表示

- シーンファイルについては「好みのルックで撮影する」の「ルックの概要」ほかをご覧ください。



15. アイリス表示

アイリスの位置 (F値) が表示されます。

- アイリスについては「アイリスを調節する」の「アイリスを自動調節する」および「アイリスを手動調節する」をご覧ください。

16. 映像レベル注意表示

17. ゲイン表示

表示	意味
 (A)	自動モード
L	プリセットLモード
 (一時調節モード)	一時調節モード

- ゲインについては「ゲインを調節する」の「ゲインを自動調節する」および「ゲインを手動調節する」をご覧ください。

18. クリップ名表示

記録中または次に記録するクリップの名前を表示します。

19. シャッター表示

- シャッターについては「シャッターを調節する」の「シャッターを自動調節する」および「シャッターを手動調節する」をご覧ください。

20. AEモード/AEレベル表示

- AEについては「明るさを自動調節するときの目標レベルを設定する」をご覧ください。

21. 水準器表示

本機カメラヘッドの水平方向の傾きが±1°刻みで±15°まで表示されます。

22. オーディオレベルメーター

各チャンネルのオーディオレベルを表示します。

23. 映像信号モニター

ウェーブフォーム、ベクトルスコープ、ヒストグラムを表示します。

オレンジの線は輝度レベルマーカーの設定値を表します。

ログ撮影モードのときは、表示の上にもモニター対象としているLUTの種類などが表示されます。

- 詳細は「映像信号モニター」をご覧ください。
- ログ撮影モードについては「本機の基本動作を設定する」の「撮影モードを設定する」をご覧ください。

24. モニタリングルック表示

ログ撮影モードのときに、モニターLUTの設定を表示します。

- LUTの設定については、「ポストプロダクションでルックを調節する前提で撮影する」ほかをご覧ください。
- ログ撮影モードについては「本機の基本動作を設定する」の「撮影モードを設定する」をご覧ください。

25. 基本ルック/記録ルック表示

基本ルックの設定値を表示します。

ログ撮影モードのときは、メモリーカードに記録される映像信号を表示します。

- 基本ルックについては、「好みのルックで撮影する」の「ルックの概要」をご覧ください。
- ログ撮影モードについては「本機の基本動作を設定する」の「撮影モードを設定する」をご覧ください。

26. プロキシ状態表示

27. 記録フォーマット（コーデック）表示

メモリーカードに記録されるフォーマット名称を表示します。

記録フォーマット（コーデック）はWebメニューまたはカメラメニューの [Project] メニュー > [Rec Format] の [Codec] で設定します。

28. 記録フォーマット（フレームレートとスキャン方式）表示

29. 記録フォーマット（画サイズ）表示

メモリーカードに記録される画サイズを表示します。

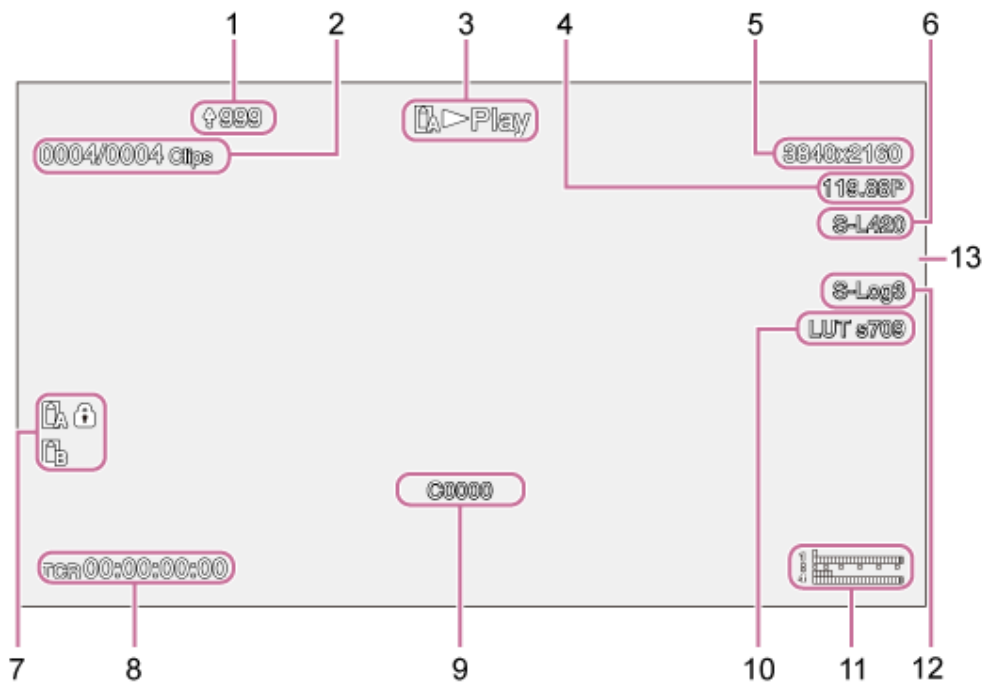
記録フォーマット（画サイズ）はWebメニューまたはカメラメニューの [Project] メニュー > [Rec Format] の [Video Format] で設定します。


30. タリー表示

外部からのタリー信号に応じて、映像の周囲に赤、緑または黄の枠が表示されます。

再生中の画面に表示される情報

再生画像には、次のような情報が重ねて表示されます。



1. アップロード中表示/転送ファイル残数表示
2. クリップ番号
3. 再生動作状態表示
4. 再生フォーマット（フレームレートとスキャン方式）表示
5. 再生フォーマット（画サイズ）表示
6. 再生フォーマット（コーデック）表示
7. メディア表示
メモリーカードがプロテクトされている場合は、（プロテクト）マークが表示されます。
8. タイムデータ表示
9. クリップ名表示
10. モニタリングルック表示
11. オーディオレベルメーター
再生オーディオレベルを表示します。
12. 記録ルック表示
13. タリー表示

関連項目

- [ファイルの転送について](#)
- [Web Appでフォーカスを自動調節する](#)
- [本機の基本動作を設定する](#)
- [スロー&クイックモーション](#)
- [人物を検出してAF追尾する](#)
- [ズームタイプを設定する](#)
- [外部モニターや記録装置を接続する](#)
- [タイムデータ](#)

- ルックの概要
- アイリスを自動調節する
- アイリスを手動調節する
- ゲインを自動調節する
- ゲインを手動調節する
- シャッターを自動調節する
- シャッターを手動調節する
- 明るさを自動調節するときの目標レベルを設定する
- 映像信号モニター
- ポストプロダクションでルックを調節する前提で撮影する
- [Clip Name Format]

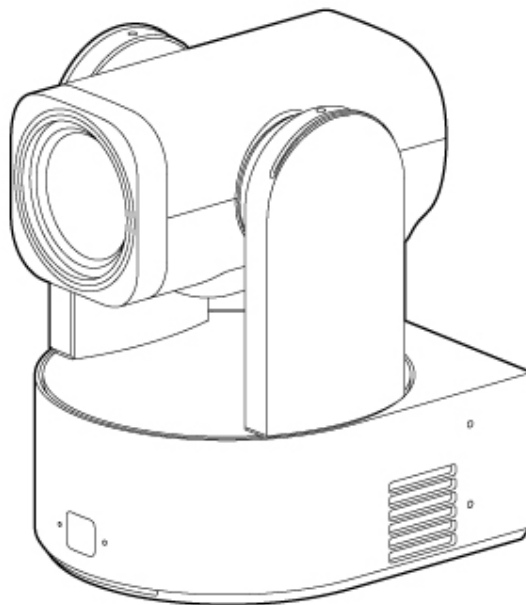
TP1001752245

5-065-326-01(1) Copyright 2024 Sony Corporation

カラービデオカメラ
BRC-AM7

据え置き設置する

本機をデスクトップ上や三脚を取り付けて設置する場合の手順を説明します。



設置時のご注意

- 故障の原因になりますので、カメラヘッドを持って作業しないでください。

1 設置スペースを確認する。

デスクトップに設置する場合

本機はカメラヘッドの旋回スペースや背面の配線スペースを考慮の上、平らなところに設置してください。

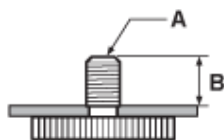
ご注意

- 揺れのない安定した場所に設置してください。設置場所の揺れにより、画揺れの原因になります。
- やむを得ず傾いたところに設置するときは、水平に対して、 $\pm 15^\circ$ 以内のところに設置し、落下防止処置を施してください。

三脚を取り付けて設置する場合

底面の三脚取り付け用ネジ穴に三脚を取り付けます。

三脚の取付け部のネジは取付け面から飛び出し量が下記のものを使用し、ハンドドライバーで締めこんでください。



A : 三脚取り付け用ネジ 1/4-20UNCネジまたは3/8-16UNCネジ

B : 飛び出し量 (4.5 mm~5.5 mm)

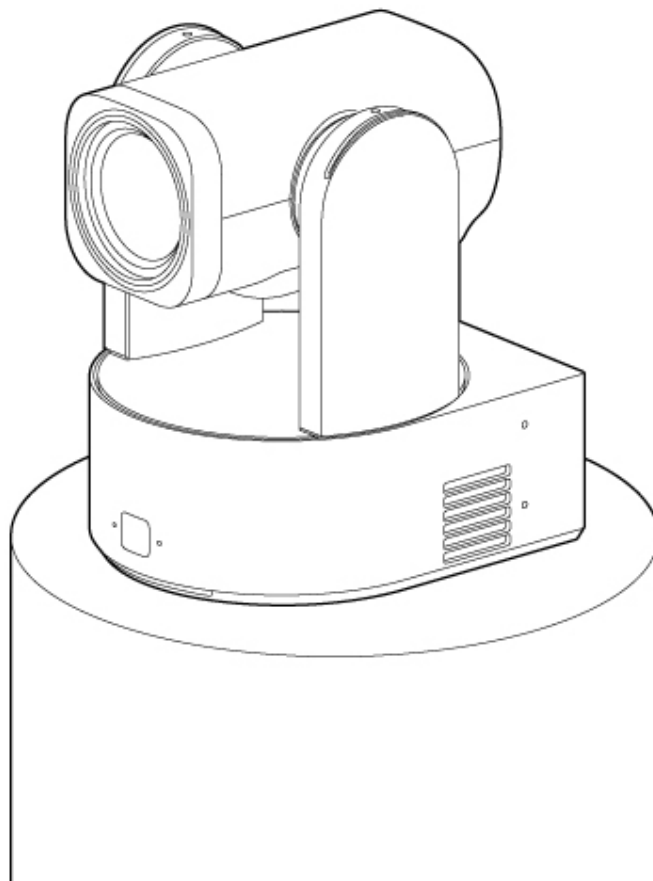


- 三脚用ネジによる固定は、高所への設置には使用しないでください。

カラービデオカメラ
BRC-AM7

高所に据え置き設置する

本機を付属のシーリングブラケットを使用して、高所に据え置きで設置する場合の手順を説明します。



警告

- 高所に設置する場合は、専門の工事業者に依頼してください。
- 高所への設置は、設置部および使用する取り付け部材（付属品を除く）が、200 kg以上の強度があることをお確かめの上、本ヘルプガイドの指示どおりに取り付けてください。十分な強度がないと落下して大けがの原因となります。
- 落下防止のため、本機に付属の落下防止ワイヤーロープを必ず取り付けてください。
- 高所へ設置した場合は、1年に一度は取り付けがゆるんでいないことを点検してください。また、使用状況に応じて点検の間隔を短くしてください。

設置時のご注意

- 故障の原因になりますので、カメラヘッドを持って作業しないでください。

1 高所設置に必要なアクセサリと設置スペースを確認する。

作業開始の前に以下のものが揃っていることを確認してください。

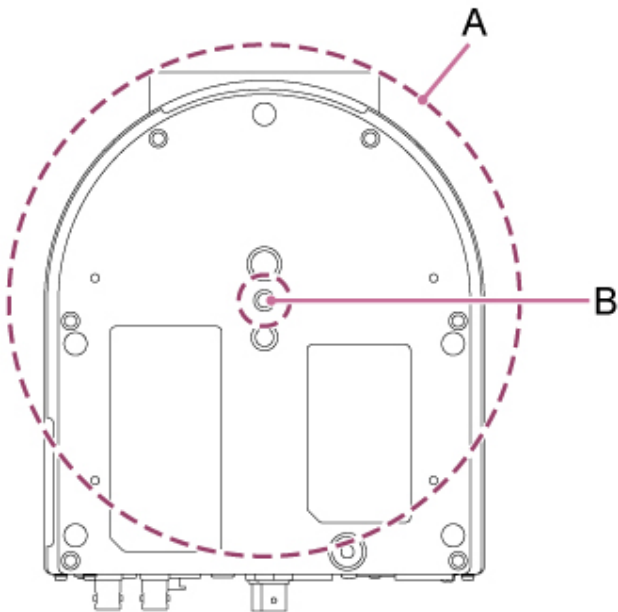
- シーリングブラケット (A) (1)
- シーリングブラケット (B) (1)
- 落下防止ワイヤーロープ (1)
- ネジ+PSW M3x8 (6)
- 落下防止ワイヤーロープ固定用ステンレスネジ +PSW M4x8 (1)

ご注意

- 落下防止ワイヤーロープは、本機を吊り下げることを想定し設計されています。本機以外の負荷は加えないでください。

設置スペース

下記図面を参考にして、レンズの旋回スペースや背面の配線スペースを考慮しながら、設置場所と取り付け方向を決めてください。



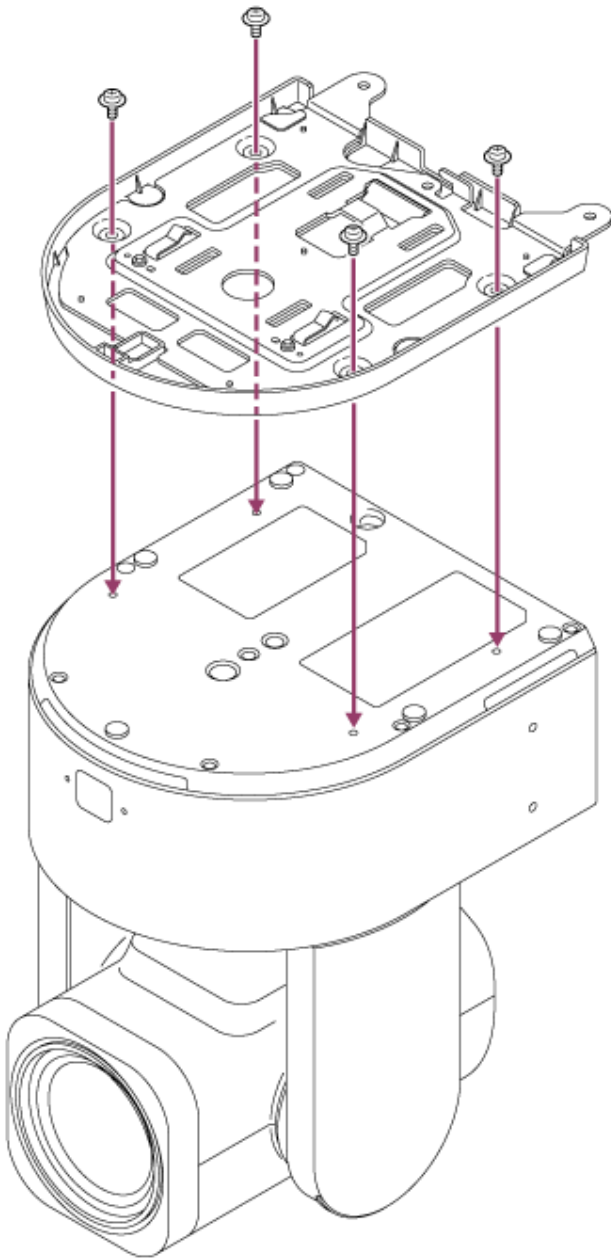
A : カメラヘッド部可動領域 (Φ199 mm)

B : 設置部材のワイヤーロープ通し穴 (Φ20 mm)

ご注意

- 揺れのない安定した場所に設置してください。設置場所の揺れにより、画揺れの原因になります。
- やむを得ず傾いたところに設置するときは、水平に対して、±15°以内のところに設置し、落下防止処置を施してください。

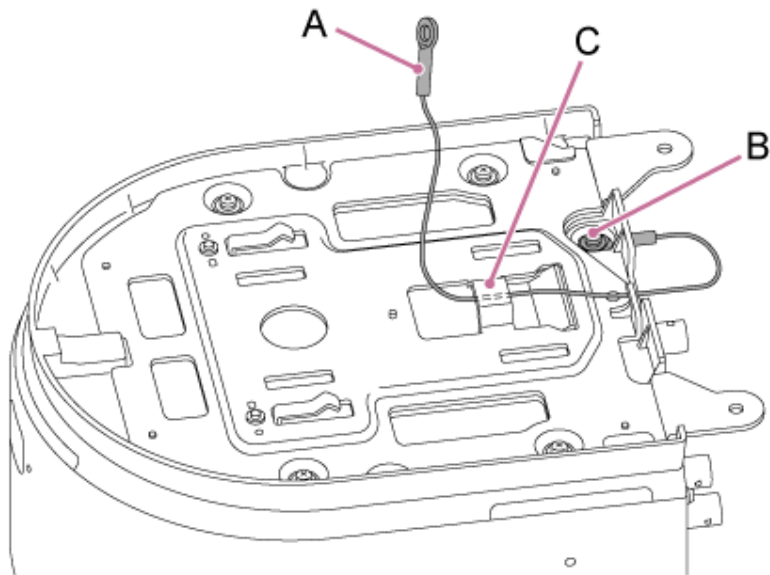
2 シーリングブラケット (A) を付属のネジ (M3 × 8) 4本で本機の底面に取り付ける。



⚠ 注意

取り付けには付属のネジをご使用ください。付属品以外のネジを使用した場合、本機内部を破損する恐れがあります。

- 3 落下防止ワイヤーロープをシーリングブラケット (A) のワイヤーロープ用金具を通し、付属のネジ (M4x8) 1本で本体の取り付け部にしっかりと固定する。



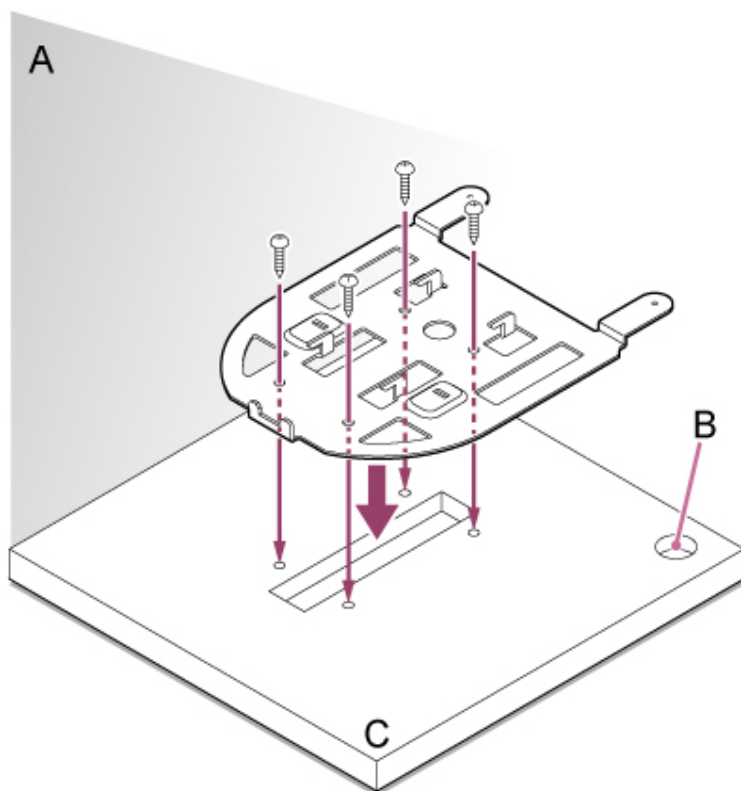
- A : 付属のワイヤーロープ
- B : 付属のネジ (M4×8)
- C : ワイヤーロープ用金具



取り付けには付属のネジをご使用ください。付属以外のネジをご使用になると、ワイヤーロープの機能が有効に働かない可能性があります。

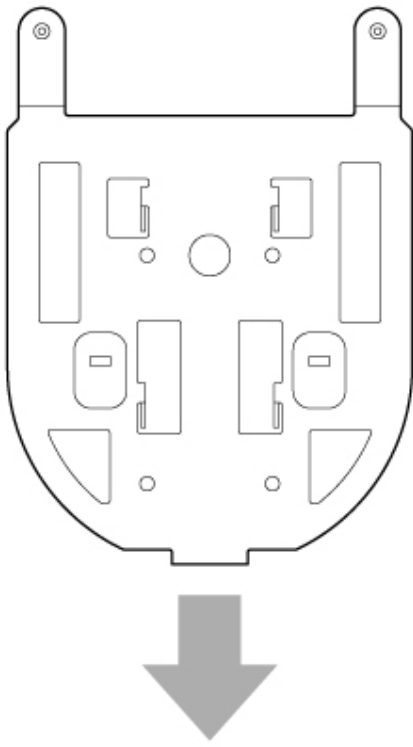
4 シーリングブラケット (B) を、本体を設置する棚などの設置部に取り付ける。

取り付けネジは付属していません。



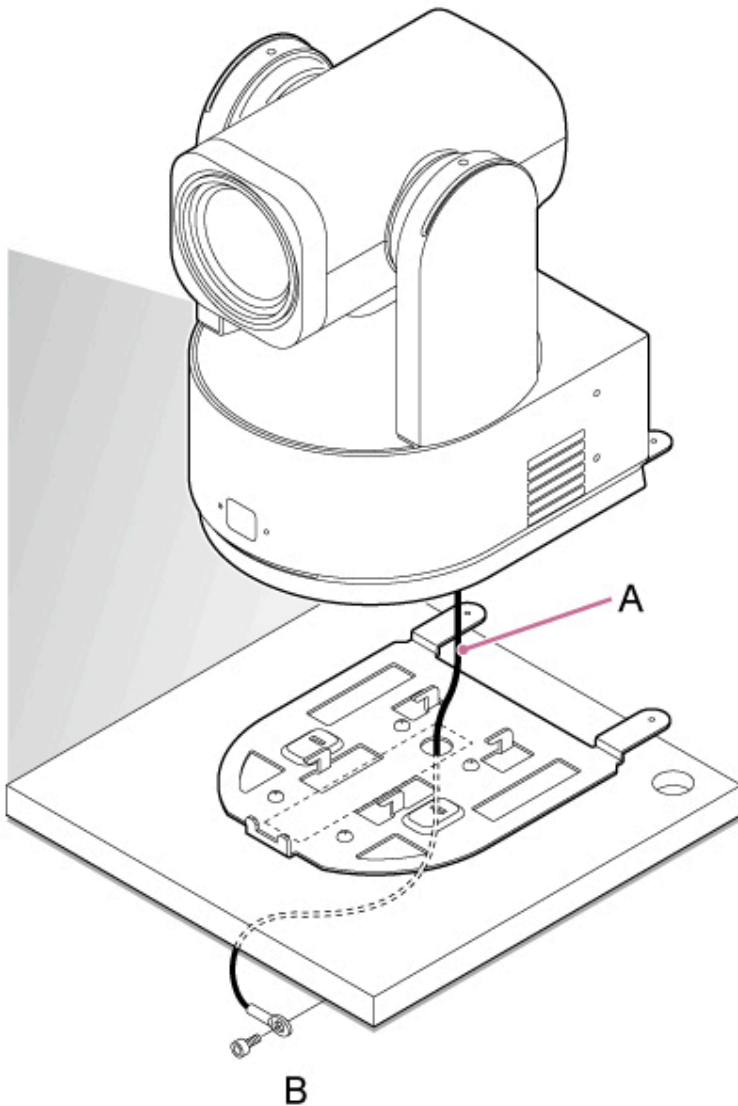
- A : 壁
- B : 接続ケーブル用穴
- C : 棚など

矢印の方向がカメラの正面になります。カメラが正面を向くよう、向きを調整して取り付けてください。



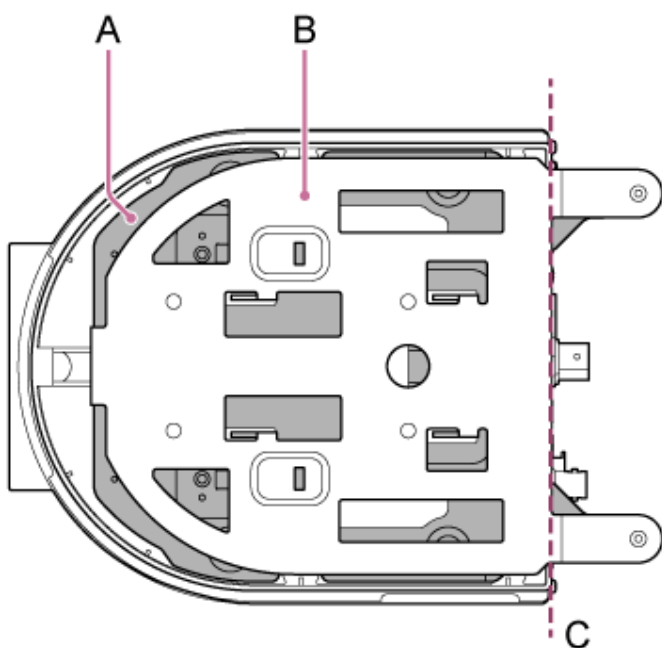
5 落下防止用のワイヤーロープを設置部側の部材に取り付ける。

取り付けネジは、M5 (3/16 インチ) の六角穴付きボルト (別売) を使用し、シーリングブラケット (B) を取り付けた棚などとは別の部材に取り付けてください。



- A : ワイヤロープ
B : 六角穴付きボルト (M5、3/16インチ)

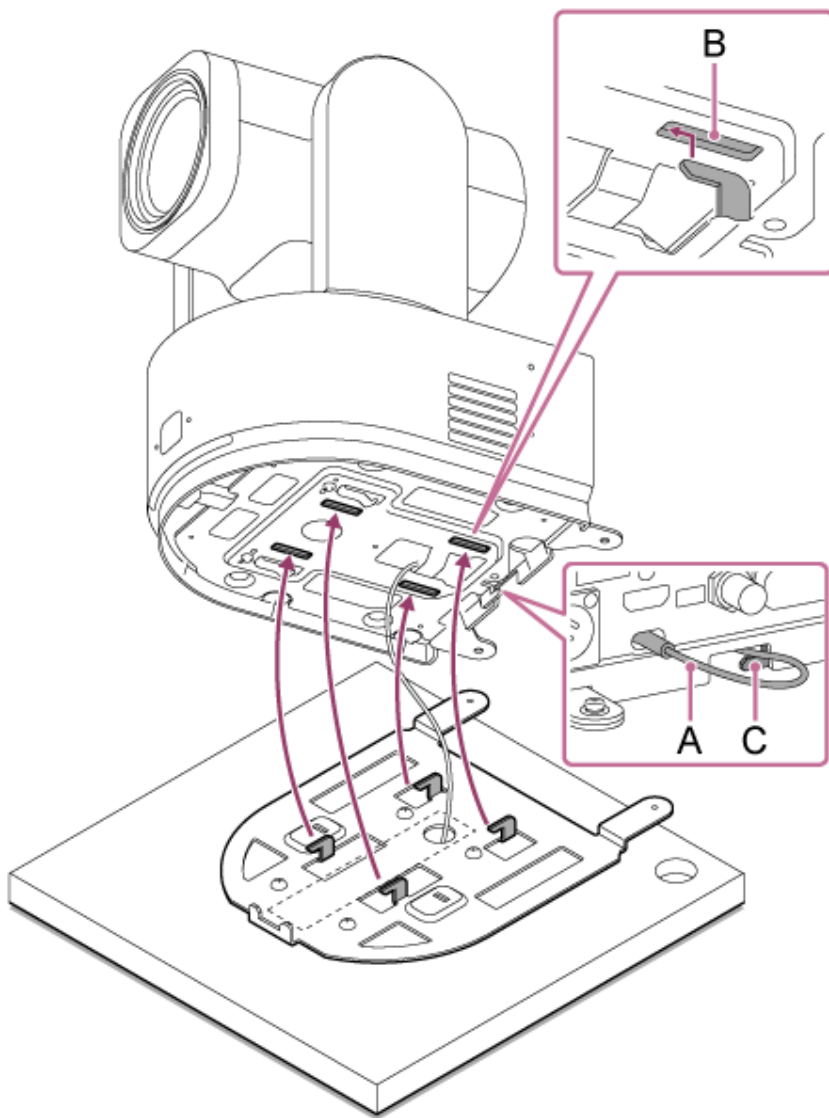
6 シーリングブラケット (A) と (B) の端部を合わせる。



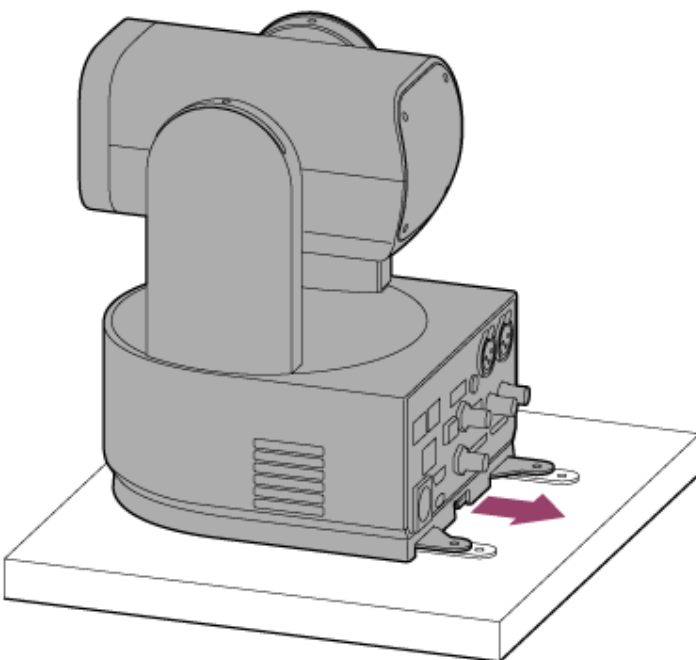
- A : 本体に取り付けたシーリングブラケット (A)
B : シーリングブラケット (B)
C : 端部を合わせる

7 シーリングブラケット (B) の突起をシーリングブラケット (A) の穴 (4箇所) に差し込む。

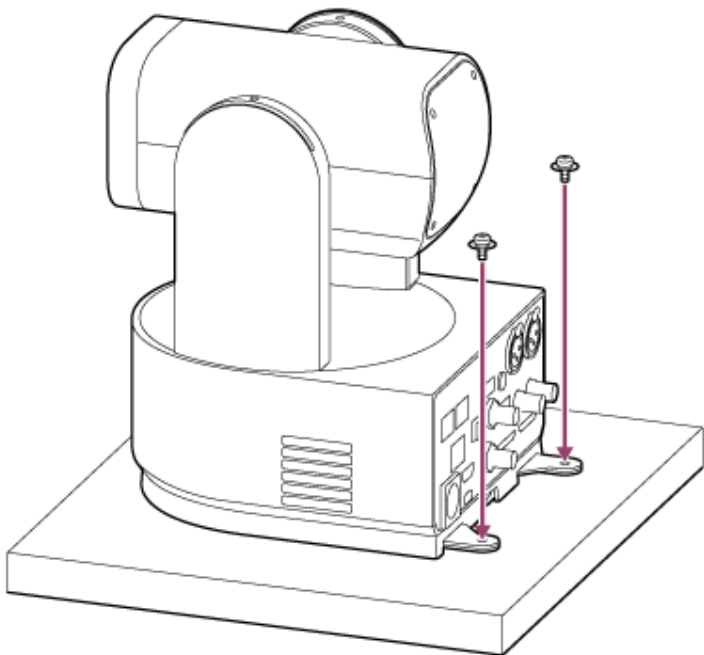
8 落下防止ワイヤロープがシーリングブラケット (A) のワイヤロープ用突起にかかっている状態で本機をイラストの矢印方向へ約10 mm押しして仮固定する。



- A : 落下防止ワイヤーロープ
- B : 突起差し込み穴 (4箇所)
- C : ワイヤーロープ用突起



9 付属のネジ (M3x8) 2本でシーリングブラケット (A) とシーリングブラケット (B) を固定する。



10 取り付け状態を確認する。

特に以下の点に注意してください。

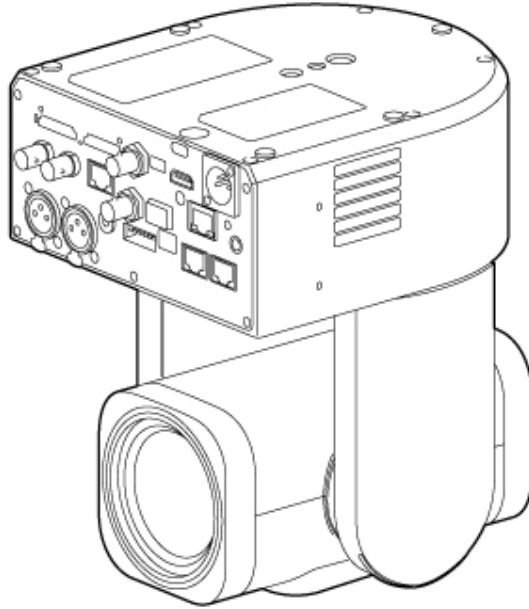
- 取り付けネジが正しく取り付けられていること。
- 落下防止ワイヤーロープが正しく取り付けられていて、ワイヤーロープにねじれがないこと。
- 傾きやぐらつきがなく取り付けられていること。

TP1001752248

カラービデオカメラ
BRC-AM7

天井に設置する

本機を付属のシーリングブラケットを使用して、天井に設置する場合の手順を説明します。



警告

- 天井へ設置する場合は、専門の工事業者に依頼してください。
- 天井への設置は、設置部および使用する取り付け部材（付属品を除く）が、200 kg以上の強度があることをお確かめの上、本ヘルプガイドの指示どおりに取り付けてください。十分な強度がないと落下して大けがの原因となります。
- 落下防止のため、本機に付属の落下防止ワイヤーロープを必ず取り付けてください。
- 天井に設置した場合は、1年に一度は取り付けがゆるんでいないことを点検してください。また、使用状況に応じて点検の間隔を短くしてください。

設置時のご注意

- 故障の原因になりますので、カメラヘッドを持って作業しないでください。

1 天井設置に必要なアクセサリと設置スペースを確認する。

作業開始の前に以下のものが揃っていることを確認してください。

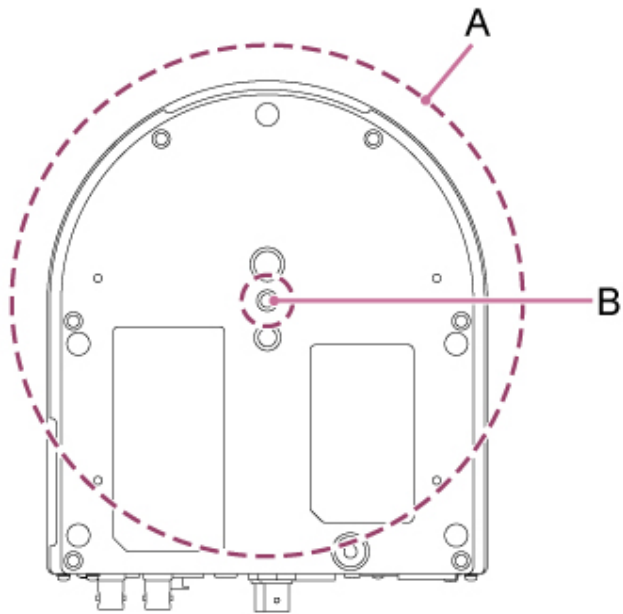
- シーリングブラケット (A) (1)
- シーリングブラケット (B) (1)
- 落下防止ワイヤーロープ (1)
- ネジ+PSW M3x8 (6)
- 落下防止ワイヤーロープ固定用ステンレスネジ +PSW M4x8 (1)

ご注意

- 落下防止ワイヤーロープは、本機を吊り下げることを想定し設計されています。本機以外の負荷は加えないでください。

設置スペース

下記図面を参考にして、レンズの回転スペースや背面の配線スペースを考慮しながら、設置場所と取り付け方向を決めてください。

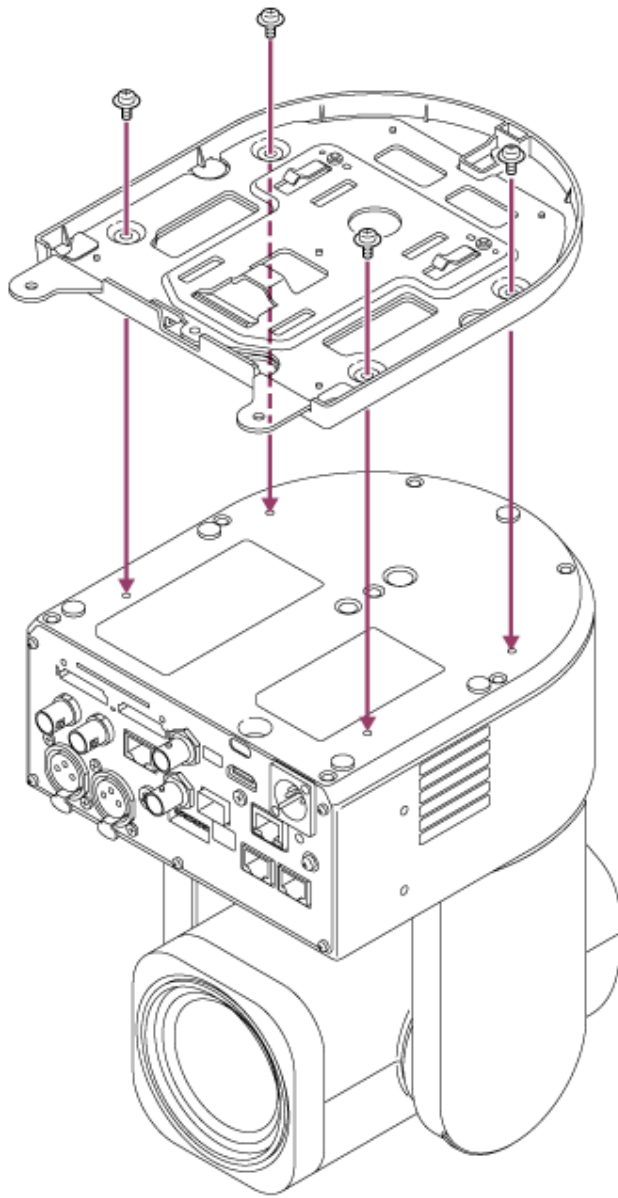


A : カメラヘッド部可動領域 (Φ199 mm)
B : 設置部材のワイヤーロープ通し穴 (Φ20 mm)

ご注意

- 強度が充分ある天井(コンクリート天井など)に設置してください。
- 強度が不十分な天井に設置する場合は、充分な補強を施してください。
- 揺れのない安定した場所に設置してください。設置場所の揺れにより、画揺れの原因になります。
- やむを得ず傾いたところに設置するときは、水平に対して、±15°以内のところに設置し、落下防止処置を施してください。

2 シーリングブラケット (A) を付属のネジ (M3×8) 4本で本機の底面に取り付ける。



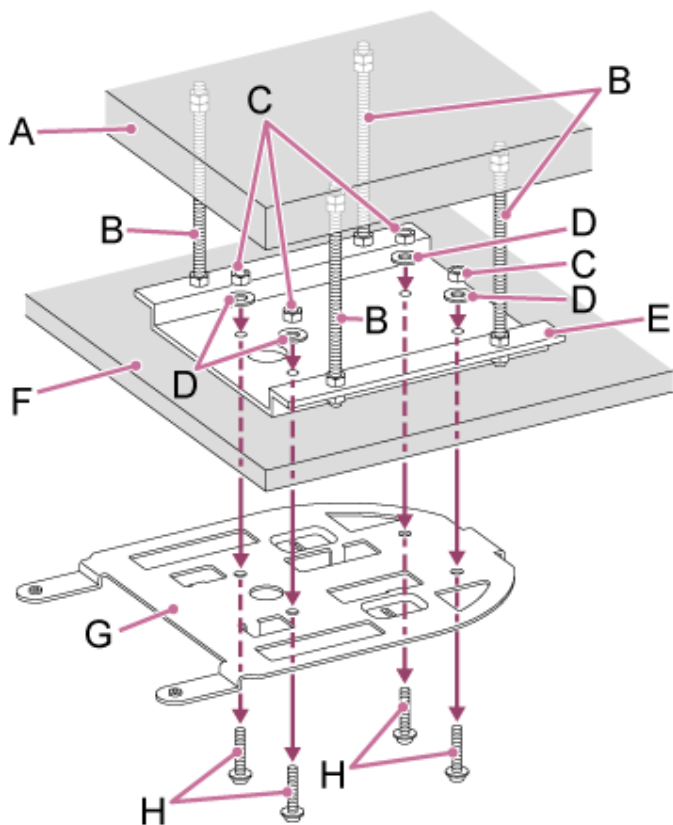
⚠ 注意

取り付けには付属のネジをご使用ください。付属品以外のネジを使用した場合、本機内部を破損する恐れがあります。

3 取り付け部材（別売）を使用してシーリングブラケット（B）を天井に取り付ける。

ご注意

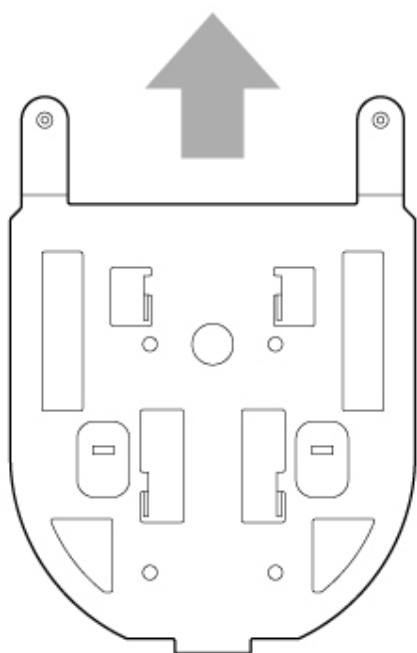
- 天井版の強度が確保できない場合は、コンクリート天井と天井板の間に、アンカーボルトで支える方式の取付部材を使用して設置してください。



- A: コンクリート天井
- B: アンカーボルト (4本 別売)
- C: ナット (4個 別売)
- D: ワッシャー (4個 別売)
- E: 取り付け部材 (別売)
- F: 天井板
- G: シーリングブラケット (B)
- H: 取り付けネジ (4本 別売)

シーリングブラケット (B) の取り付け方向に注意して、ブラケットを設置してください。

カメラの撮影方向を正面とした場合、天井設置と据え置き設置では、正面が逆になります。イラストに示す矢印の方向がカメラの正面になります。カメラが正面を向くよう、向きを調整して取り付けてください。

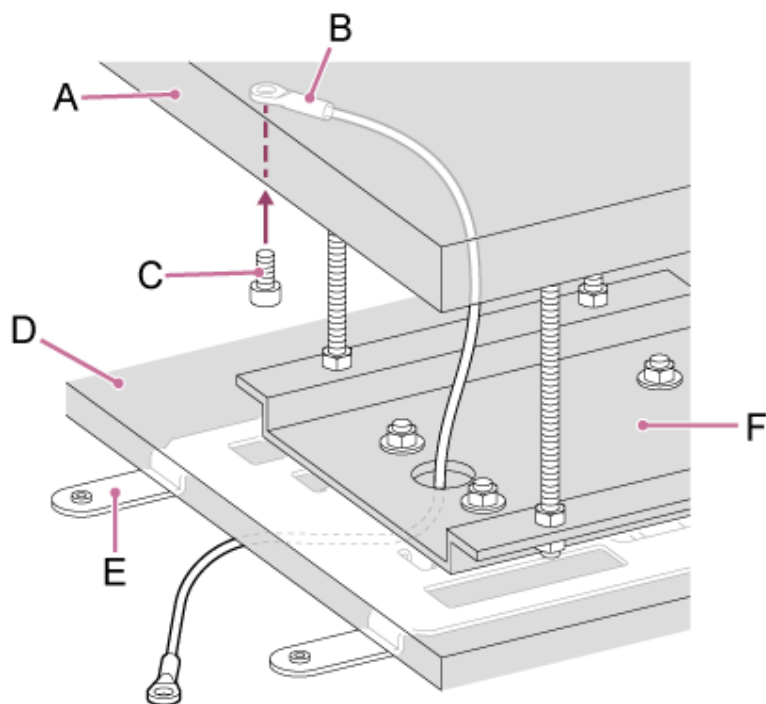


ご注意

- 取り付けネジ、および取り付け部材は、お客様でご用意ください。

4 落下防止用のワイヤーロープを天井に取り付ける。

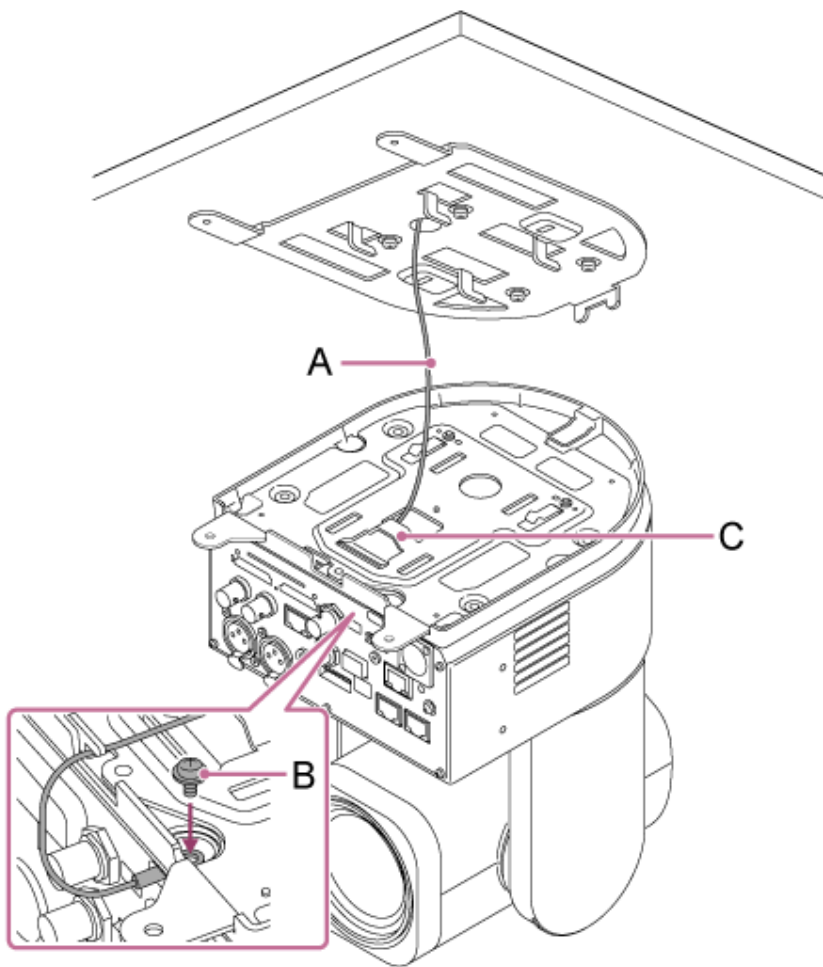
取り付けネジは、M5 (3/16 インチ) の六角穴付きボルト (別売) を使用してください。



- A : コンクリート天井
- B : ワイヤーロープ (付属)
- C : M5 (3/16インチ) 六角穴付きボルト (別売)
- D : 天井板
- E : シーリングブラケット (B)
- F : 取り付け部材 (別売)

5 落下防止ワイヤーロープをシーリングブラケット (B) の中央の穴から引き出し、シーリングブラケット (A) のワイヤーロープ用金具を通し、本体に取り付ける。

シーリングブラケット (A) のワイヤーロープ用金具に落下防止ワイヤーロープを通し、付属のネジ (M4×8) 1本で本体の取り付け部にしっかりと固定します。



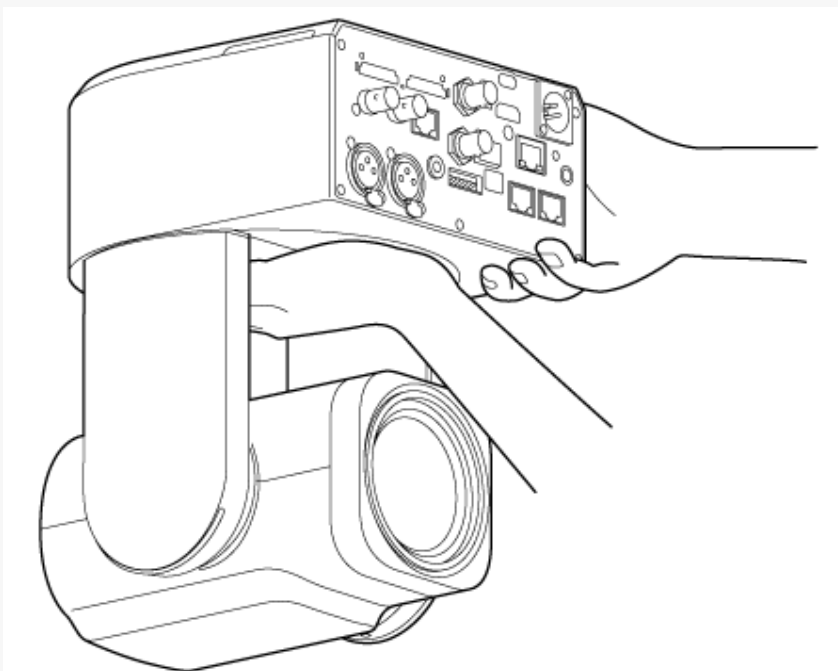
- A : 付属のワイヤーロープ
 B : 付属のネジ (M4×8)
 C : ワイヤーロープ用金具

警告

取り付けには付属のネジをご使用ください。付属以外のネジをご使用になると、ワイヤーロープの機能が有効に働かない可能性があります。

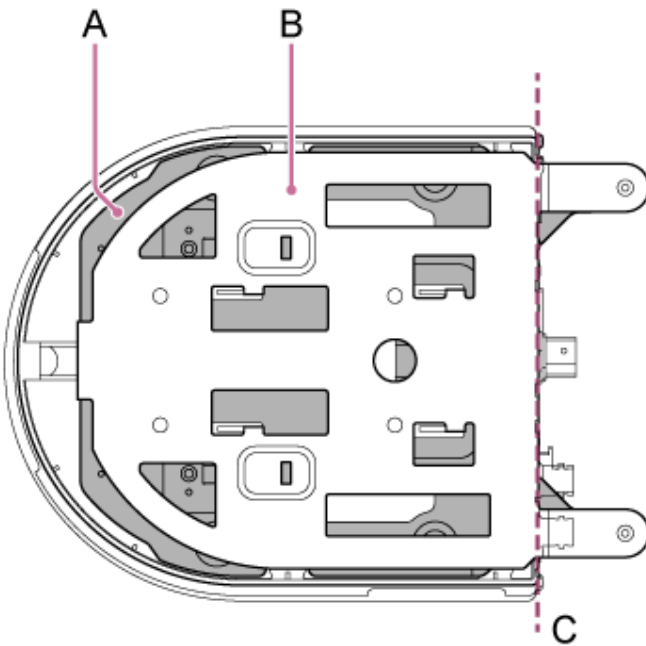
ご注意

- 下図に示すように本機を持ち、二人一組で取り付け作業を行うことを推奨します。



- カメラヘッドを持って作業をしないでください。故障、落下による破損やケガの恐れがあります。
- 落下防止ワイヤーロープが電源端子やケーブルとショートしないよう、配線にはご注意ください。
- セット単体でのみ吊り下げ可能です（想定最大質量3.5 kg）。落下防止のため、想定最大質量を超過しないようにしてください。

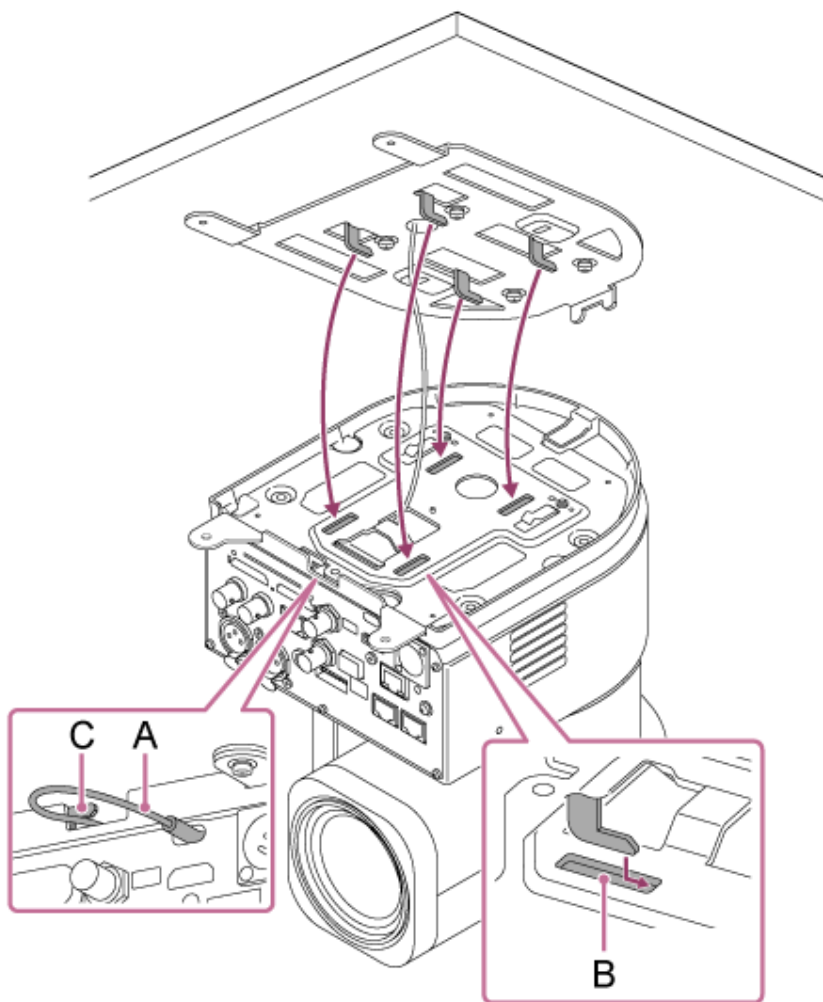
6 シーリングブラケット (A) と (B) の端部を合わせる。



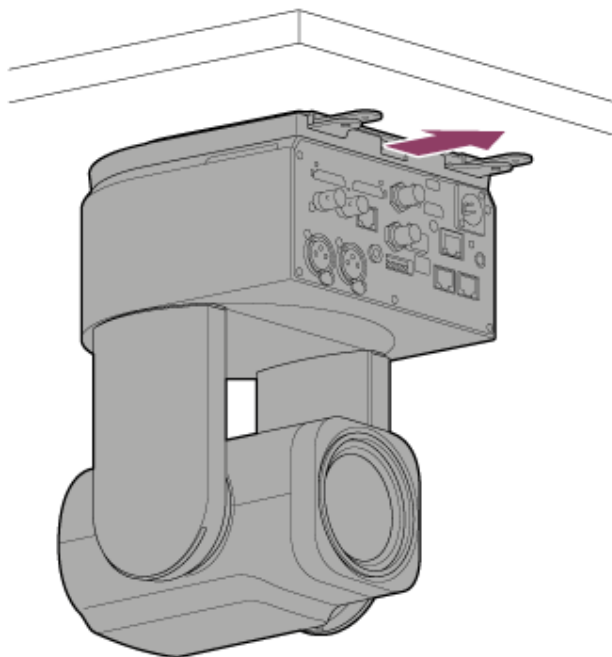
- A : 本体に取り付けたシーリングブラケット (A)
B : シーリングブラケット (B)
C : 端部を合わせる

7 シーリングブラケット (B) の突起をシーリングブラケット (A) の穴 (4箇所) に差し込む。

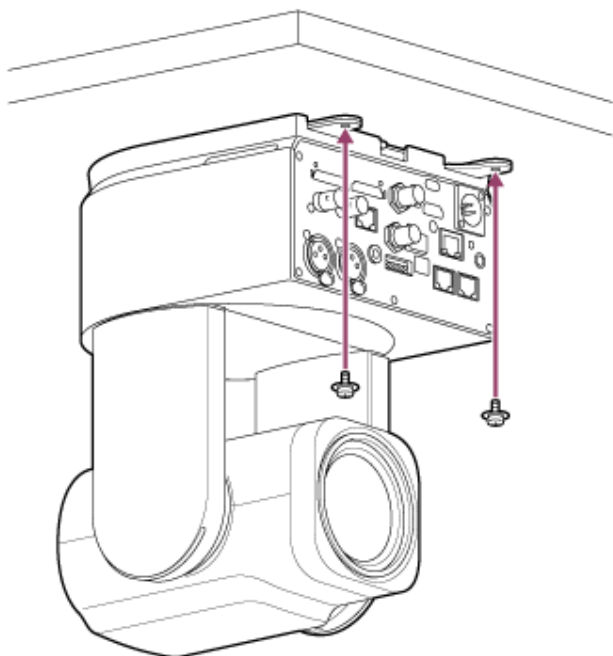
8 落下防止ワイヤーロープがシーリングブラケット (A) のワイヤーロープ用突起にかかっている状態で本機をイラストの矢印方向へ約10 mm押し仮固定する。



- A : 落下防止ワイヤーロープ
- B : 突起差し込み穴 (4箇所)
- C : ワイヤーロープ用突起



9 付属のネジ (M3x8) 2本でシーリングブラケット (A) とシーリングブラケット (B) を固定する。



10 取り付け状態を確認する。

特に以下の点を確認してください。

- 取り付けネジが正しく取り付けられていること。
- 落下防止ワイヤーロープが正しく取り付けられていて、ワイヤーロープにねじれがないこと。
- 傾きやぐらつきがなく取り付けられていること。

ご注意

- 天井に設置して使用する場合はパン・チルトの動作を正しく行うため、Webメニューの [Pan-Tilt] メニュー > [Direction] > [Ceiling] を [On] にして天井吊り使用時の設定にしてください。

TP1001752249

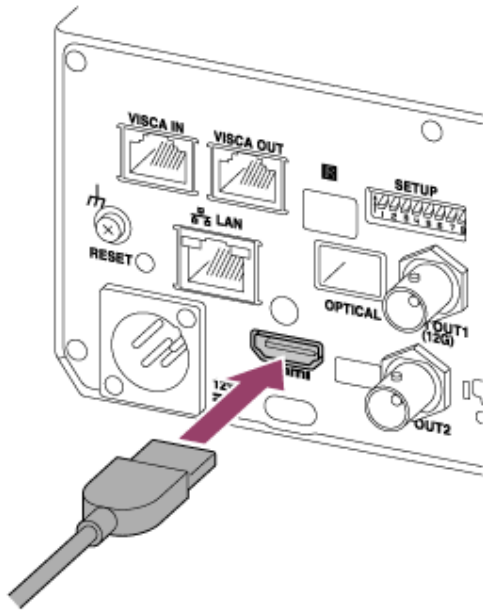
カラービデオカメラ
BRC-AM7

ケーブルを接続する

ケーブルの接続について説明します。

1 背面のコネクターに必要なケーブルを接続する。

本機の規格に合うケーブルを使用してください。
以下は、HDMIケーブルの接続例です。



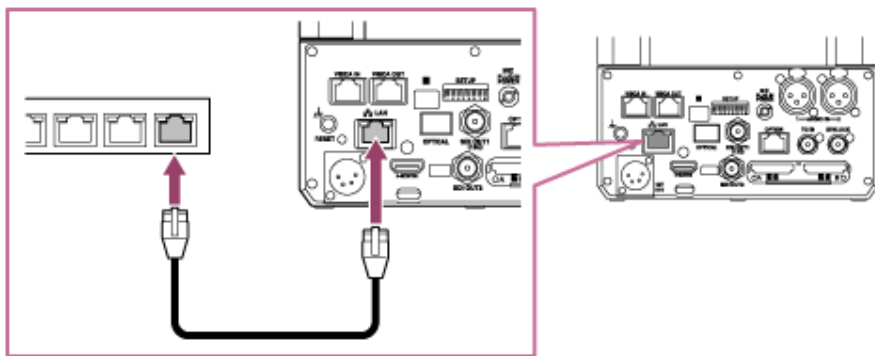
TP1001752250

カラービデオカメラ
BRC-AM7

本機をネットワーク機器に有線接続する

本機とネットワーク機器の接続について説明します。

- 1 本機をカテゴリ5e以上のLANケーブルでネットワーク機器（Wi-Fiアクセスポイント、スイッチングハブなど）に接続する。



- 2 Web Appにアクセスし、本機の初期設定を行う。

詳しくは「WebブラウザでWeb Appにアクセスする」および「本機の初期設定を行う」をご覧ください。

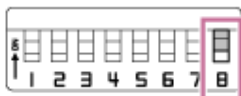
DHCPサーバーのないネットワークに接続する場合

本機は工場出荷状態でDHCPサーバーからIPアドレスを自動取得するように設定されています。

一般に、市販のWi-FiルーターはDHCPサーバー機能を搭載していますが、DHCPサーバーのないネットワークに接続する場合は、以下の手順で本機に固定IPアドレスを設定してください。

1. 本機から電源を外す。
2. 端子部のSETUPスイッチの8をONにする。（強制固定IPアドレスモード）

SETUP



3. 本機に電源を接続する。
WebメニューのIPアドレス設定にかかわらず、本機のIPアドレスは"192.168.0.100"となります。
4. 設定用コンピューターのIPアドレスを、"192.168.0.200"など同じネットワークの重複しないアドレスに設定する。
5. 設定用コンピューターと本機を、直接LANケーブルで接続する。
6. 設定用コンピューターで、Webブラウザのアドレス欄に"192.168.0.100"を入力する。
本機のWeb Appが表示され、ユーザー名とパスワードの入力を促されます。「本機の初期設定を行う」に従って初期設定をしてください。
7. Webメニュー > [Network] — [Wired LAN] — [IPv4] を以下のように入力し、最後に [OK] ボタンを押す。
設定値は一例です。接続するネットワークに応じて変更してください。

設定項目	設定値	備考
[DHCP]	[Off]	
[IP Address]	192.168.0.101	最後のセグメントは、同じ本番用ネットワークに接続するほかの機器と重複しない数値にしてください。

設定項目	設定値	備考
[Subnet Mask]	255.255.255.0	
[Gateway]	192.168.0.1	本番用ネットワークに応じて設定してください。

8. 10秒ほど待ってから、本機から電源を外す。
9. 端子部のSETUPスイッチの8をOFFにする。
10. 本機を本番用ネットワークのLANケーブルにつなぎなおす。
11. 本機に電源を接続する。
12. 本番用ネットワークにつないだWebブラウザに、手順7で設定したIPアドレスを入力する。
Web App画面が表示されます。

関連項目

- [本機の初期設定を行う](#)

TP1001752251

カラービデオカメラ
BRC-AM7

本機と別売のリモートコントローラーをRS-422で有線接続する

本機とリモートコントローラーをRS-422 端子を使って接続する方法について説明します。RS-422接続では、最大1.2 kmまでの接続が可能です。

また、VISCA OUT端子を使用して最大7台のカメラを数珠繋ぎすることができます。
なお本機の初期設定を行うには、LAN端子にPCやタブレットを接続する必要があります。

ご注意

- 以下の手順は、本機に電源を接続する前に行ってください。

1 本機端子部のSETUPスイッチの4をONにする。

VISCA通信が有効になります。

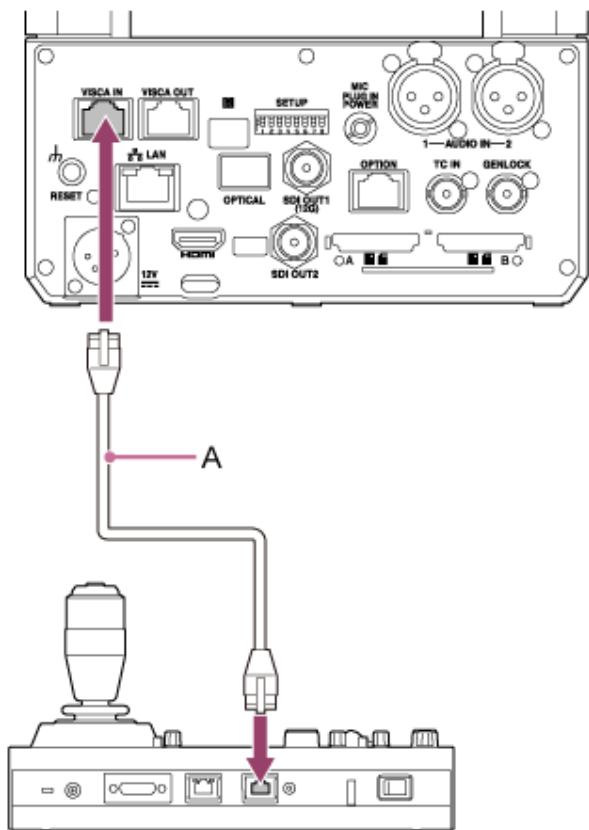


2 本機端子部のSETUPスイッチの5で本機のボーレートをリモートコントローラーのボーレートと同じに設定する。

スイッチ5の設定	ボーレート
ON	38400 bps
OFF	9600 bps

3 本機のVISCA IN端子とリモートコントローラーのVISCA端子を市販のネットワークケーブルで接続する。

以下はRM-IP500との接続例です。

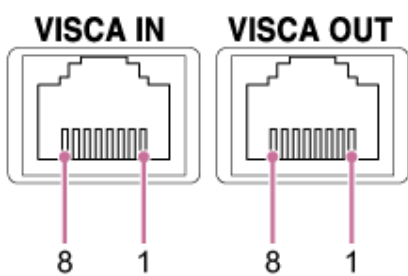


A : 市販のネットワークケーブル

ご注意

- ネットワークケーブルは、ストレートケーブルをご使用ください。
- RM-IP500以外の独自の端子を持つVISCA機器を接続する場合は、下記に示すピン配列を参照して接続ケーブルを製作してください。

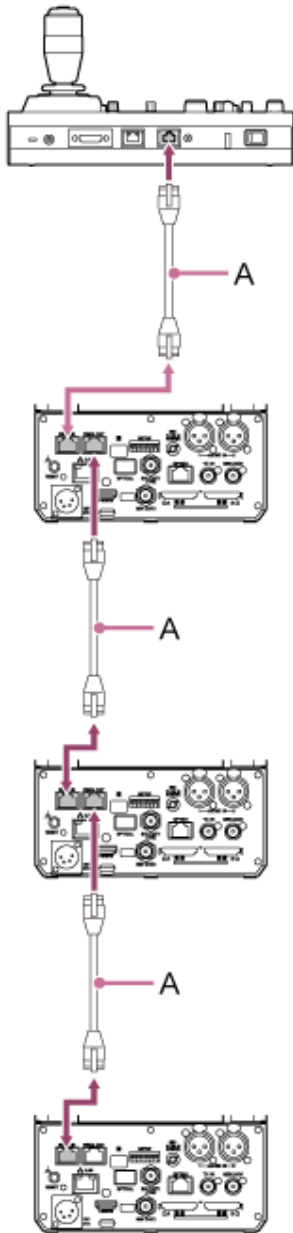
VISCA RS-422端子のピン配列 (左 VISCA IN、右 : VISCA OUT)



IN		OUT	
ピン番号	機能	ピン番号	機能
1	TX-	1	RX-
2	TX+	2	RX+
3	RX-	3	TX-
4	GND	4	GND
5	GND	5	GND
6	RX+	6	TX+
7	N.C.	7	N.C.

IN		OUT	
8	N.C.	8	N.C.

複数台のカメラをデジチェーン接続する場合は、以下のようにしてください。



A : 市販のネットワークケーブル

4 本機の電源を入れる。

TP1001752252

カラービデオカメラ
BRC-AM7

DC電源を使う

DC電源を使用する場合の手順を説明します。

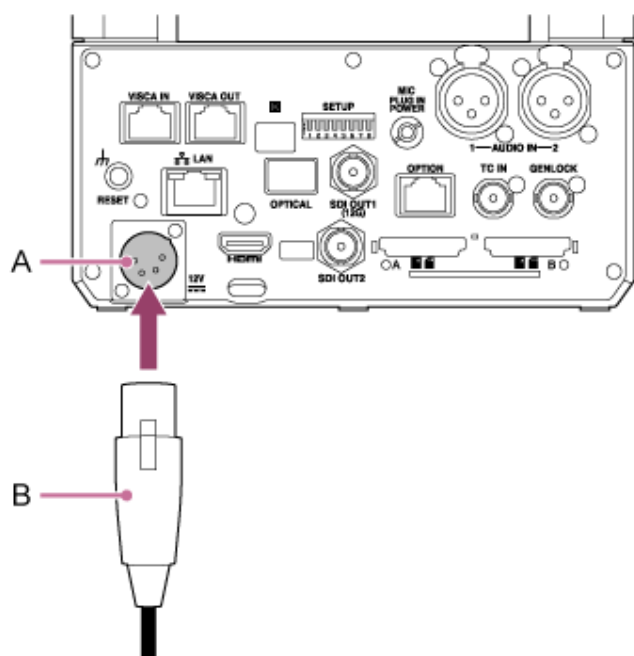
本機はDC電源入力に対応しています。

入力電圧範囲は11 V～17 Vに対応しています。入力電圧が低下した場合は、[Voltage Low] または [Insufficient Voltage] の警告が表示されます。

ご注意

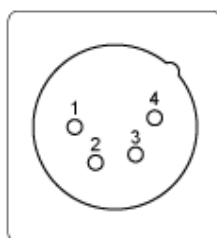
- [Insufficient Voltage] が表示された場合、本機を再起動するまで復帰しません。電圧・電流を安定して供給できる電源を用意してください。

1 DC電源ケーブル（別売）を端子部のDC IN端子に接続する。



A : DC IN端子

B : DC電源ケーブル（別売）



No.	信号
1	GND
2	NC
3	NC
4	DC IN (11 V～17 V)

- 2 本機前面のPOWERランプが緑色の点滅から点灯に変わって起動が完了したことを確認する。
本機が正常に起動してネットワークと接続すると、NETWORKランプが緑色に点灯します。

TP1001752253

5-065-326-01(1) Copyright 2024 Sony Corporation

カラービデオカメラ
BRC-AM7

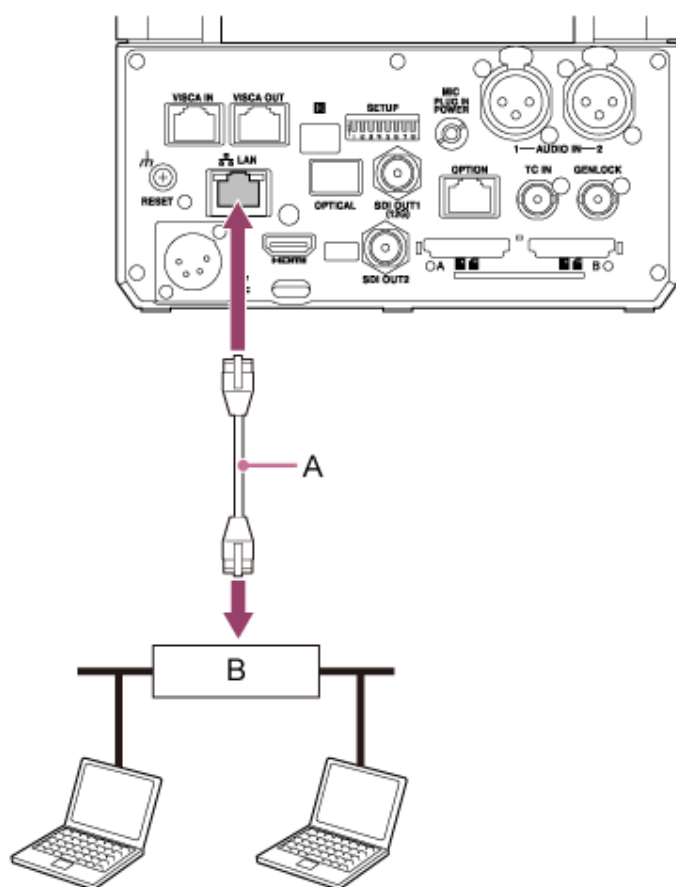
PoE++電源を使う

本機をPoE++対応電源供給機器に接続すると、市販のネットワークケーブル経由で本機に電源が供給されます。設置場所に電源がない環境でも、電源工事不要で本機に電源を供給できます。ただし、PoE++電源で動作中は、以下の機能が使用できません。

- クリップの記録・再生
- 記録メディアの初期化や更新
- OPTICAL端子からの映像出力

また、パン・チルトの加速度が制限されます。

1 本機とPoE++対応電源供給機器を市販のネットワークケーブルで接続する。



A : ネットワークケーブル
B : PoE++対応電源供給機器

2 本機前面のPOWERランプが緑色の点滅から点灯に変わって起動が完了したことを確認する。

本機が正常に起動してネットワークと接続すると、NETWORKランプが緑色に点灯します。

ご注意

- PoE++で電源を供給する場合には起動が完了するまでの間に初期認証が行われます。

- 本機は、IEEE802.3btのType 4 Class 8にのみ準拠しています。動作確認済みのPoE++対応給電機器については、お買い上げ店、またはソニーのサービス窓口にお問い合わせください。
- ソフト認証（LLDP）に準拠していますが、ネットワーク機器（IEEE802.3btに準拠）の設定が必要になる場合があります。
- PoE++給電のソフト認証（LLDP）を有効にして使用する場合は、DC IN端子にDC電源ケーブルを接続しないでください。
- DC電源とPoE++電源が同時に接続されると、DC電源から電力が供給されます。
- PoE++給電する場合は、カテゴリ5e以上のネットワークケーブルをご使用ください。
- PoE++給電により電源を再度入れる際は、10秒程度の間隔を空けて行ってください。
- PoE++給電による接続時には、屋外への配線をしないでください。

TP1001752254

5-065-326-01(1) Copyright 2024 Sony Corporation



カラービデオカメラ
BRC-AM7

パン・チルトリセットを行う

パン・チルトのリセットが必要になった場合は、以下の操作でパン・チルトリセットを行ってください。

1 パン・チルトリセットを実行する。

パン・チルトリセットは、赤外線リモコン、Web App、リモートコントローラーRM-IP500（別売）から実行できます。

- 赤外線リモコンでの操作：P/T RESETボタンを押します。
- Web Appでの操作：ライブ操作画面→カメラ操作部の (Others) タブにある  (パンチルトリセット) ボタンを押します。
- RM-IP500での操作：RM-IP500の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- パン・チルトリセットを実行するとカメラヘッドが旋回します。周囲を確認してから実行してください。
- 本機にはパン・チルトの範囲を制限する機能がありますが、電源オン時、およびパン・チルトリセット実行時は無効になります。

ヒント

- パン・チルトリセットが終わると、実行前の位置に戻ります。

TP1001752255

カラービデオカメラ
BRC-AM7

WebブラウザでWeb Appにアクセスする

本機とタブレットまたはコンピューターを接続して、Webブラウザから本機の操作や設定をすることができます。

1 使用するタブレットまたはコンピューターがWeb App操作に対応しているかどうか確認する。

項目		条件	
ディスプレイ		1080 x 810ピクセル以上を推奨 タブレット画面サイズ：10インチ以上を推奨	
対応OSとWebブラウザ	Windows	OS	Windows 10以降
		Webブラウザ	Google Chrome
	Mac	OS	macOS 10.15以降
		Webブラウザ	Google Chrome Safari
	iPad	OS	iPadOS 15以降
		Webブラウザ	Google Chrome Safari
	Android	OS	Android 12以降
		Webブラウザ	Google Chrome

ご注意

- 必要な環境を満たしていない場合、またはタブレット/コンピューターの利用状況によっては、Webブラウザでの映像の表示動作に影響を及ぼすことがあります。
- 本機のWeb AppはJavaScriptを使用しています。ご使用になるタブレット/コンピューターでウイルス対策ソフトウェアなどをお使いの場合には、Webページが正しく表示されない場合があります。

2 本機、タブレットまたはコンピューター、および周辺機器の電源が入っていることを確認する。

3 本機が有線LANでローカルエリア接続されていることを確認する。

4 タブレットまたはコンピューターがWi-Fiまたは有線LANでローカルエリア接続されていることを確認する。

5 本機とタブレットまたはコンピューターのWebブラウザを接続する。

QRコードを使用して接続する場合

本体底面に貼られているQRコード、または付属のQRコードシールをタブレットのカメラで撮影する。

タブレットに表示されたリンクを開く。

タブレットのWebブラウザが起動し、本機のWeb Appの画面が表示されます。

WebブラウザのアドレスバーにURLを入力して接続する場合

タブレットまたはコンピューターのWebブラウザを起動し、本体底面に貼られているQRコードまたは付属のQRコードシールに印刷されているURLを入力する。

Webブラウザ上で本機のWeb Appの画面が表示されます。

Webブラウザのアドレスバーに本機のIPアドレスを入力して接続する場合

タブレットまたはコンピューターのWebブラウザを起動し、「http://本機のIPアドレス」を入力する。
Webブラウザ上で本機のWeb Appの画面が表示されます。

ご注意

- HTTPポート番号を「80」から変更した場合は、「http://本機のIPアドレス:ポート番号」を入力してください。
 - 「QRコードを使用して接続する場合」または「WebブラウザのアドレスバーにURLを入力して接続する場合」で接続する場合は、mDNS*に対応している機器を使用してください。
- * mDNS : ローカルネットワーク内でホスト名からIPアドレスを割り出すために用いられる通信規約（プロトコル）のひとつ。

ヒント

- Webブラウザのブックマーク機能を使うことで、次回以降のアクセスを簡単に行うことができます。
- 付属のQRコードシールは再接続に備えて、据え置き設置時には本体に、高所設置時には手元など読み取りやすい場所に貼っておくことをおすすめします。

TP1001752256

5-065-326-01(1) Copyright 2024 Sony Corporation

カラービデオカメラ
BRC-AM7

本機の初期設定を行う

本機を初めて使用するときは、必ず以下の初期設定を行ってください。

Web Appにアクセスするための手順については、「WebブラウザでWeb Appにアクセスする」をご覧ください。

ヒント

- バックアップ電池が放電してしまった場合、再度初期設定が必要になります。

1 本機とタブレットまたはコンピューターを接続して、Web Appを起動する。

本機を初めて使用するときは、Webブラウザにユーザー名とパスワードの入力を求められるので、以下を入力してください。

- ユーザー名：admin
- パスワード：なし

以降、画面の指示に従って初期設定を行います。

2 管理者 (Administrator) のユーザー名およびパスワードを入力して、[OK] ボタンを押す。

The screenshot shows a web application interface for administrator setup. The background is black with white text. At the top left, the text 'User' is visible. Below it, 'Administrator' is written. There are three input fields with pink borders. The first field contains the text 'admin' and has a line pointing to the number '1'. The second field is labeled 'New Password' and has a line pointing to the number '2'. The third field is labeled 'Re-type password' and has a line pointing to the number '3'. A question mark '?' is positioned to the right of the third field. At the bottom left, there is a button labeled 'Reload'. At the bottom right, there is a yellow button labeled 'OK'.

1：管理者のユーザー名を入力します。

2：管理者のパスワードを設定します。

3：再確認のため、2に入力したものと同一パスワードを入力します。

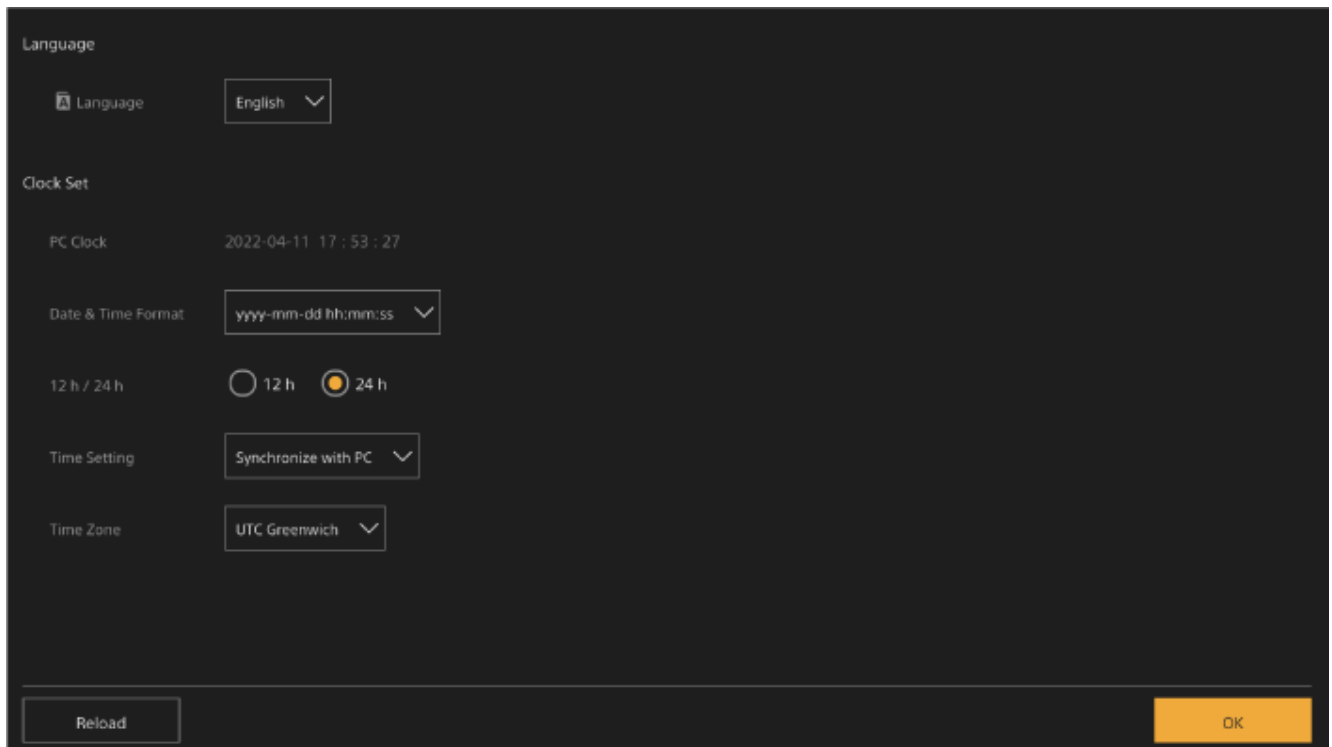
ご注意

- ユーザー名およびパスワードに使用可能な文字列は以下のとおりです。パスワードは、英字大文字、英字小文字、および数字の3種類
の文字を含めて8文字以上、64文字以下で設定してください。
 - 英数字
 - 記号 (!\$%`*+-. /<=>?@[]^_{ }~)

Webブラウザが再読み込みを行い、ユーザー名とパスワードの入力を求められます。

3 手順2で設定したユーザー名とパスワードを入力する。

言語・時計設定画面が表示されます。



4 以下の項目を設定して、[OK] ボタンを押す。

【Language】

Web Appやカメラの画面表示で使用する言語を選択します。言語を変更するとWeb Appの表示言語が変わります。

【Date & Time Format】

日付/時刻の表示フォーマットを以下から選択します。

[yyyy-mm-dd hh:mm:ss]、[mm-dd-yyyy hh:mm:ss]、[dd-mm-yyyy hh:mm:ss]

「yyyy」は年、「mm」は月、「dd」は日、「hh」は時、「mm」は分、「ss」は秒を表します。

【12 h/24 h】

時刻表示を [12 h]（12時間制）、[24 h]（24時間制）から選択します。

【Time Setting】

日付/時刻の設定方法を以下から選択します。

[Synchronize with PC]：PC、またはタブレットの日付/時刻に同期します。

[Manual setting]：手動で設定します。これを選ぶと日付/時刻の入力欄が表示されます。

【Time Zone】

タイムゾーンを選択します。

撮影操作を行うライブ画面が表示されます。引き続き、運用形態に合わせて本機の基本動作を設定してください。

ヒント

- 本機とタブレットを対で運用する場合など、本機のIPアドレスを固定したほうが扱いやすい場合があります。
- 固定IPアドレスを設定する場合は、Webメニューの [Network] - [Wired LAN] の [DHCP] をオフ（スライダーが左の位置にある状態）にします。
- 固定IPアドレスに関する設定項目が表示された場合、設定後、画面の [OK] ボタンを押してください。

- WebブラウザでWeb Appにアクセスする

TP1001752257

5-065-326-01(1) Copyright 2024 Sony Corporation

カラービデオカメラ
BRC-AM7

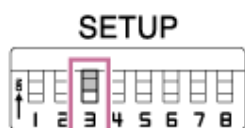
本機の設定を初期化する

本機の設定の初期化について説明します。

端子部のSETUPスイッチの3の設定で初期化対象が異なります。

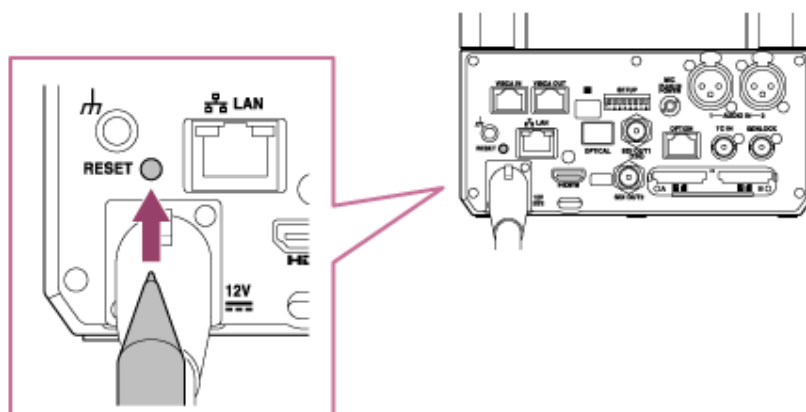
① 本機に電源を接続する。

② 本機端子部のSETUPスイッチの3を設定する。



- ネットワーク設定のみを工場出荷時の設定に戻すには、3をOFFにしてください。
- 本機のすべての設定を工場出荷時の設定に戻すには、3をONにしてください。

③ RESETスイッチをペン先などの先端が細いもので5秒以上長押しする。



設定が初期化され、本機が再起動します。

TP1001752258

カラービデオカメラ
BRC-AM7

本機の基本動作を設定する

本機の基本動作の設定方法を説明します。

撮影モードを設定する

本機では、ワークフローに合わせた撮影モードを選択できます。

- カスタムモード：撮影時に自在に映像の作りこみができます。
- ログ撮影モード：S-Log素材の記録ができます。
 - Flexible ISOモード：撮影シーンに合わせてISO値調節による露出設定ができます。

撮影モードは、Webメニューまたはカメラメニューの [Project] メニュー > [Base Setting] の [Shooting Mode] で切り替えます。

カスタムモード

映像規格を選ぶことができます。

Webメニューまたはカメラメニューの [Project] メニュー > [Base Setting] の [Target Display] で切り替えます。

- [SDR(BT.709)]：HD放送の規格に準じた撮影
- [HDR(HLG)]：次世代の4K放送の規格に準じた撮影

詳しくは、「好みのルックで撮影する」の「ルックの概要」ほかをご覧ください。

ログ撮影モード

(Flexible ISOモード)

記録信号および出力信号のベースとなる色域を選択します。ここで選択した色域が [LUT On/Off] の各種設定を [LUT Off] に設定したときの映像出力の色域となります。

色域はカメラメニューの [Project] メニュー > [Flexible ISO Setting] の [Color Gamut] で切り替えます。

- [S-Gamut3.Cine/SLog3]：デジタルシネマの色域 (DCI-P3) への調整がしやすい色域
- [S-Gamut3/SLog3]：ソニー独自のITU-R BT.2020をカバーする広い色域

詳しくは、「ポストプロダクションでルックを調節する前提で撮影する」をご覧ください。

各撮影モードの対応状況は以下のとおりです。

●：対応 -：非対応

	Custom	Flexible ISO
[ISO/Gain]	●	● (ISOのみ)
[LUT On/Off]	-	●
[Scene File]	●	-
[Paint/Look] ([Base Look] を除く)	●	-

システム周波数を設定する

Webメニューまたはカメラメニューの [Project] メニュー > [Rec Format] の [Frequency] で切り替えます。設定値によっては、切り替えを実行すると本機が自動的に再起動します。

ご注意

- 記録・再生中にシステム周波数を切り替えることはできません。

コーデックを設定する

記録するコーデックの設定を行います。

Webメニューまたはカメラメニューの [Project] メニュー > [Rec Format] の [Codec] で切り替えます。

ご注意

- 記録・再生中にコーデックを切り替えることはできません。

ビデオフォーマットを設定する

記録するビデオフォーマット、およびカメラから出力する出力フォーマットの設定を行います。

- 記録するビデオフォーマットはWebメニューまたはカメラメニューの [Project] メニュー > [Rec Format] の [Video Format] で切り替えます。
- SDI OUTおよびHDMI OUT端子からの出力フォーマットは、Webメニューまたはカメラメニューの [Monitoring] メニュー > [Output Format] で切り替えます。

ご注意

- 記録・再生中にビデオフォーマットを切り替えることはできません。
- ビデオフォーマットの設定によって、SDI / HDMI / Streamからの信号は制限されます。

ビットレートを設定する

記録時のビットレートを設定します。

- Webメニューまたはカメラメニューの [Project] メニュー > [Rec Format] - [Quality] で切り替えます。

ご注意

- 記録・再生中にビットレートを切り替えることはできません。

関連項目

- [ルックの概要](#)
- [ポストプロダクションでルックを調節する前提で撮影する](#)

TP1001752259

カラービデオカメラ
BRC-AM7

メモリーカードについて

本機では、撮影した映像/音声を、カードスロット内のCFexpress Type Aメモリーカード（別売）またはSDXCメモリーカード（別売）に記録します。

CFexpress Type Aメモリーカードについて

本機に対応のCFexpress Type Aメモリーカード^{*}についての詳細は、「推奨メモリーカードについて」をご覧ください。他社製メディアの動作については、各社メディアの取扱説明書やメーカー情報をご確認ください。

^{*}本書では「CFexpressカード」と表現しています。

SDXCメモリーカードについて

本機に対応のSDXCメモリーカード^{*}についての詳細は、「推奨メモリーカードについて」をご覧ください。

^{*}本書では「SDカード」と表現しています。

TP1001849957

カラービデオカメラ
BRC-AM7

推奨メモリーカードについて

動作保証条件は [Rec Format] や記録設定によって異なります。

通常記録

✓ : 動作を保証

x : 保証しない

記録フォーマット			[Bit Rate]	SDXC							CFexpress Type A	
システム周波数	[Codec]	解像度		Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90	CFE200	CFE400
119.88 Hz	XAVC HS Long 422	3840×2160	H	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
			M	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
			L	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
	XAVC HS Long 420	3840×2160	H	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
			M	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
			L	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
	XAVC S Long 422	3840×2160	H	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
			M	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
			L	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
	XAVC S Long 420	3840×2160	H	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
			M	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
			L	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
1920×1080		H	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓	
		M	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
		L	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	

記録フォーマット			[Bit Rate]	SDXC							CFexpress Type A	
システム周波数	[Codec]	解像度		Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90	CFE200	CFE400
100 Hz	XAVC HS Long 422	3840×2160	H	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
			M	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
			L	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
	XAVC HS Long 420	3840×2160	H	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
			M	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
			L	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
	XAVC S Long 422	3840×2160	H	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
			M	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
			L	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
	XAVC S Long 420	3840×2160	H	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
			M	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
			L	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
		1920×1080	H	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			M	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			L	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓

記録フォーマット			[Bit Rate]	SDXC							CFexpress Type A	
システム周波数	[Codec]	解像度		Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90	CFE200	CFE400
59.94 Hz	XAVC HS Long 422	3840×2160	H	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			M	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			L	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
	XAVC HS Long 420	3840×2160	H	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			M	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			L	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	XAVC S Long 422	3840×2160	H	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			M	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			L	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
		1920×1080	H	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			M	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			L	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	XAVC S Long 420	3840×2160	H	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			M	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			L	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
		1920×1080	H	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			M	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			L	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	XAVC S Intra 422	3840×2160	H	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
			M	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
			L	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
1920×1080		H	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	
		M	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	
		L	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	

記録フォーマット			[Bit Rate]	SDXC							CFexpress Type A	
システム周波数	[Codec]	解像度		Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90	CFE200	CFE400
50 Hz	XAVC HS Long 422	3840×2160	H	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			M	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			L	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
	XAVC HS Long 420	3840×2160	H	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			M	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			L	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	XAVC S Long 422	3840×2160	H	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			M	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			L	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
		1920×1080	H	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			M	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			L	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	XAVC S Long 420	3840×2160	H	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			M	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			L	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
		1920×1080	H	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			M	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			L	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	XAVC S Intra 422	3840×2160	H	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
			M	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
			L	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
1920×1080		H	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	
		M	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	
		L	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	

記録フォーマット			[Bit Rate]	SDXC							CFexpress Type A		
システム周波数	[Codec]	解像度		Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90	CFE200	CFE400	
29.97 Hz	XAVC S Long 422	3840×2160	H	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓	
			M	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓	
			L	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓	
		1920×1080	H	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			M	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			L	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	XAVC S Long 420	3840×2160	H	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓	
			M	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
			L	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
		1920×1080	H	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			M	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			L	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	XAVC S Intra 422	3840×2160	H	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	
			M	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	
			L	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	
		1920×1080	H	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	
			M	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	
			L	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	

記録フォーマット			[Bit Rate]	SDXC							CFexpress Type A		
システム周波数	[Codec]	解像度		Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90	CFE200	CFE400	
25 Hz	XAVC S Long 422	3840×2160	H	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓	
			M	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓	
			L	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓	
		1920×1080	H	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			M	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			L	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	XAVC S Long 420	3840×2160	H	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓	
			M	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
			L	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
		1920×1080	H	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			M	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			L	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	XAVC S Intra 422	3840×2160	H	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	
			M	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	
			L	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	
		1920×1080	H	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	
			M	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	
			L	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	

記録フォーマット			[Bit Rate]	SDXC							CFexpress Type A	
システム周波数	[Codec]	解像度		Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90	CFE200	CFE400
23.98 Hz	XAVC HS Long 422	3840×2160	H	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			M	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			L	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	XAVC HS Long 420	3840×2160	H	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			M	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			L	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	XAVC S Long 422	3840×2160	H	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			M	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			L	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
		1920×1080	H	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			M	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			L	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	XAVC S Long 420	3840×2160	H	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			M	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			L	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
		1920×1080	H	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			M	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			L	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	XAVC S Intra 422	3840×2160	H	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
			M	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
			L	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
1920×1080		H	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	
		M	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	
		L	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	

S&Q

✓ : 動作を保証

x : 保証しない

記録フォーマット			S&Q 撮像 フレ ーム レ ート	[Bit Rate]	SDXC								CFexpress Type A	
シス テム 周波 数	[Codec]	解像度			Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90	CFE200	CFE400	
59.94 Hz	XAVC HS Long 422	3840×2160	1-60	H	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓	
				M, L	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓	
			100, 120	H	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
				M, L	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
	XAVC HS Long 420	3840×2160	1-60	H	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓	
				M	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓	
				L	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓	
			100, 120	H	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
				M	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
				L	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
	XAVC S Long 422	3840×2160	1-60	H, M, L	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓	
				100, 120	H, M, L	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
		1920×1080	1-60	H, M, L	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓	
				100, 120	H, M, L	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	
			150, 180, 200, 240	H, M, L	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓	
	XAVC S Long 420	3840×2160	1-60	H, M, L	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓	
				100, 120	H, M, L	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	
1920×1080		1-60	H	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓		
			M, L	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓		
		100, 120	H	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓		
			M, L	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓		
		150, 180, 200, 240	H	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓		
			M, L	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓		

記録フォーマット			S&Q 撮像 フレーム レート	[Bit Rate]	SDXC								CFexpress Type A	
シス テム 周波 数	[Codec]	解像度			Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90	CFE200	CFE400	
	XAVC S Intra 422	3840×2160	1-60	H, M, L	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	
			100, 120	H, M, L	x	x	x	x	x	x	x	✓	✓	
		1920×1080	1-60	H, M, L	x	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
			100, 120	H, M, L	x	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓

記録フォーマット			S&Q 撮像 フレ ーム レ ート	[Bit Rate]	SDXC								CFexpress Type A	
シス テム 周波 数	[Codec]	解像度			Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90	CFE200	CFE400	
50 Hz	XAVC HS Long 422	3840×2160	1-60	H	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓	
				M, L	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓	
			100, 120	H	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
				M, L	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
	XAVC HS Long 420	3840×2160	1-60	H	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓	
				M	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓	
				L	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓	
			100, 120	H	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
				M	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
				L	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
	XAVC S Long 422	3840×2160	1-60	H, M, L	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓	
				100, 120	H, M, L	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	
		1920×1080	1-60	H, M, L	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓	
				100, 120	H, M, L	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	
			150, 180, 200, 240	H, M, L	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓	
	XAVC S Long 420	3840×2160	1-60	H, M, L	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓	
				100, 120	H, M, L	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	
1920×1080		1-60	H	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓		
			M, L	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓		
		100, 120	H	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓		
			M, L	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓		
		150, 180, 200, 240	H	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓		
			M, L	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓		

記録フォーマット			S&Q 撮像 フレーム レート	[Bit Rate]	SDXC								CFexpress Type A	
シス テム 周波 数	[Codec]	解像度			Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90	CFE200	CFE400	
	XAVC S Intra 422	3840×2160	1-60	H, M, L	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	
			100, 120	H, M, L	x	x	x	x	x	x	x	✓	✓	
		1920×1080	1-60	H, M, L	x	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
			100, 120	H, M, L	x	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓

記録フォーマット			S&Q 撮像 フレ ーム レ ー ト	[Bit Rate]	SDXC								CFexpress Type A	
シス テム 周波 数	[Codec]	解像度			Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90	CFE200	CFE400	
29.97 Hz	XAVC S Long 422	3840×2160	1-60	H, M, L	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓	
			100, 120	H, M, L	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	
		1920×1080	1-60	H, M, L	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			100, 120	H, M, L	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓	✓
			150, 180, 200, 240	H, M, L	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
		XAVC S Long 420	3840×2160	1-60	H	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
	M, L				x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓	
	100, 120			H	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
				M, L	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
	1920×1080		1-60	H	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓	
				M, L	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓	
			100, 120	H	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓	
				M, L	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓	
	150, 180, 200, 240		H	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓		
			M, L	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓		
	XAVC S Intra 422		3840×2160	1-60	H, M, L	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
				120	H, M, L	x	x	x	x	x	x	x	✓	✓
		1920×1080	1-60	H, M, L	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	
			120	H, M, L	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	

記録フォーマット			S&Q 撮像 フレ ーム レ ー ト	[Bit Rate]	SDXC								CFexpress Type A	
シス テム 周波 数	[Codec]	解像度			Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90	CFE200	CFE400	
25 Hz	XAVC S Long 422	3840×2160	1-60	H, M, L	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓	
			100, 120	H, M, L	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	
		1920×1080	1-60	H, M, L	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			100, 120	H, M, L	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓	✓
			150, 180, 200, 240	H, M, L	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
		XAVC S Long 420	3840×2160	1-60	H	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
	M, L				x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓	
	100, 120			H	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
				M, L	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
	1920×1080		1-60	H	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓	✓
				M, L	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			100, 120	H	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
				M, L	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	150, 180, 200, 240		H	x	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
				M, L	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
			1-60	H, M, L	x	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
				100	H, M, L	x	x	x	x	x	x	x	✓	✓
	XAVC S Intra 422	3840×2160	1-60	H, M, L	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	
			100	H, M, L	x	x	x	x	x	x	x	✓	✓	
		1920×1080	1-60	H, M, L	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	
			100	H, M, L	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	

記録フォーマット			S&Q 撮像 フレ ーム レ ート	[Bit Rate]	SDXC								CFexpress Type A	
シス テム 周波 数	[Codec]	解像度			Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90	CFE200	CFE400	
23.98 Hz	XAVC HS Long 422	3840×2160	1-60	H	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓	
				M, L	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓	
			100, 120	H	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
				M, L	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
	XAVC HS Long 420	3840×2160	1-60	H	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓	
				M	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓	
				L	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓	
			100, 120	H	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
				M	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
				L	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
	XAVC S Long 422	3840×2160	1-60	H, M, L	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓	
				100, 120	H, M, L	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	
		1920×1080	1-60	H, M, L	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓	
			100, 120	H, M, L	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓	
			150, 180, 200, 240	H, M, L	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	
	XAVC S Long 420	3840×2160	1-60	H	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓	
				M, L	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓	
			100, 120	H	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	
M, L				x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓		
1920×1080		1-60	H, M, L	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓		
		100, 120	H, M, L	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓		
		150, 180, 200, 240	H, M, L	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓		

記録フォーマット			S&Q 撮像 フレーム レート	[Bit Rate]	SDXC								CFexpress Type A	
シス テム 周波 数	[Codec]	解像度			Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90	CFE200	CFE400	
	XAVC S Intra 422	3840×2160	1-60	H, M, L	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	
			120	H, M, L	x	x	x	x	x	x	x	✓	✓	
		1920×1080	1-60	H, M, L	x	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
			120	H, M, L	x	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓

TP1001803118

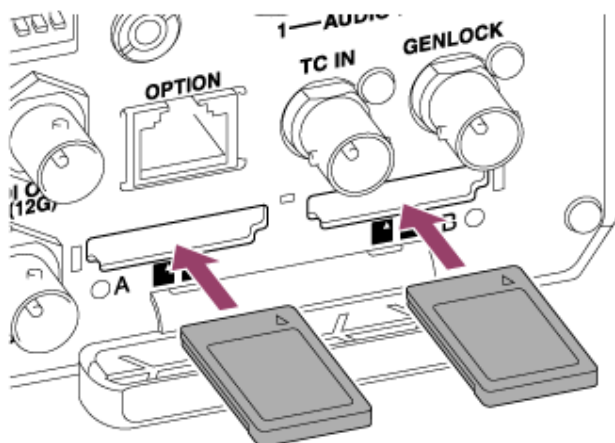
5-065-326-01(1) Copyright 2024 Sony Corporation

カラービデオカメラ
BRC-AM7

メモリーカードを入れる

メモリーカードの入れかたと注意点を説明します。

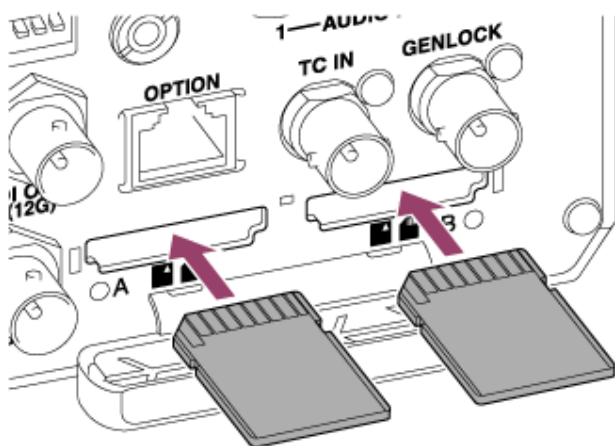
- 1 カードスロット部のメディア蓋を開ける。
- 2 メモリーカードを差し込む。
CFexpressカードの場合はラベルを上にする。



ご注意

- 天吊り設置の場合は、ラベルを下にしてください。

SDカードの場合はラベルを下にする。



ご注意

- 天吊り設置の場合は、ラベルを上にご確認ください。

アクセスランプが赤く点灯し、使用可能な状態になると緑で点灯します。

ご注意

- アクセスランプの赤点滅が長く続き緑点灯にならない場合は、一度電源を切りメモリーカードを抜き差しすることで、緑点灯になる場合があります。

3 メディア蓋を閉める。

ご注意

- 誤った向きで無理に入れると、メモリーカードやメモリーカードスロット、画像データが破損することがあります。
- CFexpress Type A/SDカードスロット（A） / （B）両方にメディアを挿入して記録を行う際には、どちらのスロットにも、記録するフォーマットに応じた推奨記録メディアを挿入してください。

TP1001752261

5-065-326-01(1) Copyright 2024 Sony Corporation

カラービデオカメラ
BRC-AM7

メモリーカードを取り出す

カードスロット部のメディア蓋を開け、メモリーカードを軽く1回押して取り出します。

ご注意

- メモリーカードにアクセス中に本機の電源を切ったりメモリーカードを抜いた場合、データは保証されません。カードに記録されたすべてのデータが壊れる可能性があります。電源を切ったり、カードを抜くときは、必ず操作するメモリーカードスロットのアクセスランプが緑で点灯または消灯していることを確認してから操作してください。
- 記録終了後にメモリーカードを取り出した際、メモリーカードが熱くなっている場合がありますが故障ではありません。

TP1001752262

カラービデオカメラ
BRC-AM7

メモリーカードをフォーマット（初期化）する

フォーマットされていないメモリーカード、または別の仕様でフォーマットされたメモリーカードを装着すると、メッセージ「Media Needs to be Formatted」（フォーマットが必要なメディアです）がカメラ映像部に表示されます。下記の手順に従ってフォーマットしてください。

- 1 カメラメニューの [TC/Media] メニュー > [Format Media] を選択する。
- 2 Media(A) (スロットA) またはMedia(B) (スロットB) を選択して、フォーマット種別（ [Full Format] または [Quick Format] ）を選択する。
確認メッセージが表示されます。
[Full Format] : メディアのデータ管理情報だけでなくデータ領域を含む全体を初期化します。
[Quick Format] : メディアのデータ管理情報を初期化します。
- 3 [Execute] を選択する。
実行中はメッセージが表示され、アクセスランプが赤く点灯します。
フォーマットが終了すると、完了メッセージが表示されます。

ご注意

- メモリーカードをフォーマットすると、記録された映像データ、セットアップファイルなどを含む、すべてのデータが消去されます。
- フォーマットの処理時間によっては、実行中のメッセージが表示されない場合があります。

フォーマットできなかったときは

本機で使用できないメモリーカードはフォーマットできません。
警告メッセージが表示されますので、メッセージに従って、使用できるメモリーカードに交換してください。

本機でフォーマットしたメディアを他の機器で使用するには

あらかじめバックアップを取り、お使いになる機器でフォーマットし直して使用してください。

TP1001752263

カラービデオカメラ
BRC-AM7

残りの記録可能時間を確認する

撮影中（記録中/記録待機中）は、カメラ映像部のA/Bスロットメディア残量表示部で、各スロットに装着したメモリーカードの残量を確認することができます。

現在設定されている記録フォーマット（記録ビットレート）で撮影した場合に記録可能な時間を、それぞれのスロット内のメディア残量から計算して分単位で表示します。

メモリーカードの交換時期

記録中に2枚のメモリーカードの残記録可能時間の合計が5分を切ると、警告メッセージ [Media Near Full]（メディア残量がわずかです）が表示され、記録/タリールンプの点滅で警告します。

空きのあるメディアに交換してください。

記録を継続して、残記録可能時間の合計が0になると、メッセージが [Media Full]（メディア残量がありません）に変わり記録が停止します。

ご注意

- 1枚のメモリーカードに約9999個までのクリップを記録できます。

TP1001752264

カラービデオカメラ
BRC-AM7

メモリーカードを修復する

何らかの原因でメモリーカード内のデータに異常が発生した場合は、メモリーカードの修復が必要になります。修復が必要なメモリーカードを挿入したときは、修復を実行するかどうかを確認するメッセージがカメラ映像部に表示されます。

修復を実行するには

GUI操作部の矢印ボタンで [Execute] を選択し、[Set] ボタンを押します。実行中メッセージと進捗状況 (%) が表示され、アクセスランプが赤く点灯します。修復が終了すると、完了メッセージが表示されます。

修復できなかったときは

- エラーが発生したメモリーカードは修復できません。警告メッセージが表示されますので、メッセージに従って別のメモリーカードに交換してください。
- エラーが発生したメモリーカードは、フォーマットをし直すと再利用できる場合があります。
- 一部のクリップのみが修復できない場合もあります。修復できたクリップは再生可能になります。

ご注意

- 本機で記録されたメディアは、本機で修復してください。
- 本機以外で記録されたメディアや、本機と同一機種であってもバージョンが異なる機器で記録されたメディアは、本機では修復できない場合があります。
- 2秒以下のクリップは修復できません。

TP1001752265

カラービデオカメラ
BRC-AM7

録画を開始/停止する

録画の開始および停止方法を説明します。

- 1 必要な機器が取り付けられ、本機および周辺機器に電源が供給されていることを確認する。

ご注意

- PoE++電源で動作しているときは録画できません。

- 2 メモリーカードを入れる。

- 3 Web App画面左上の本機の電源状態を確認する。

電源がオンの場合

本機の電源がオンの場合は、Web Appにライブ操作画面や再生操作画面、Webメニューなどが表示されています。



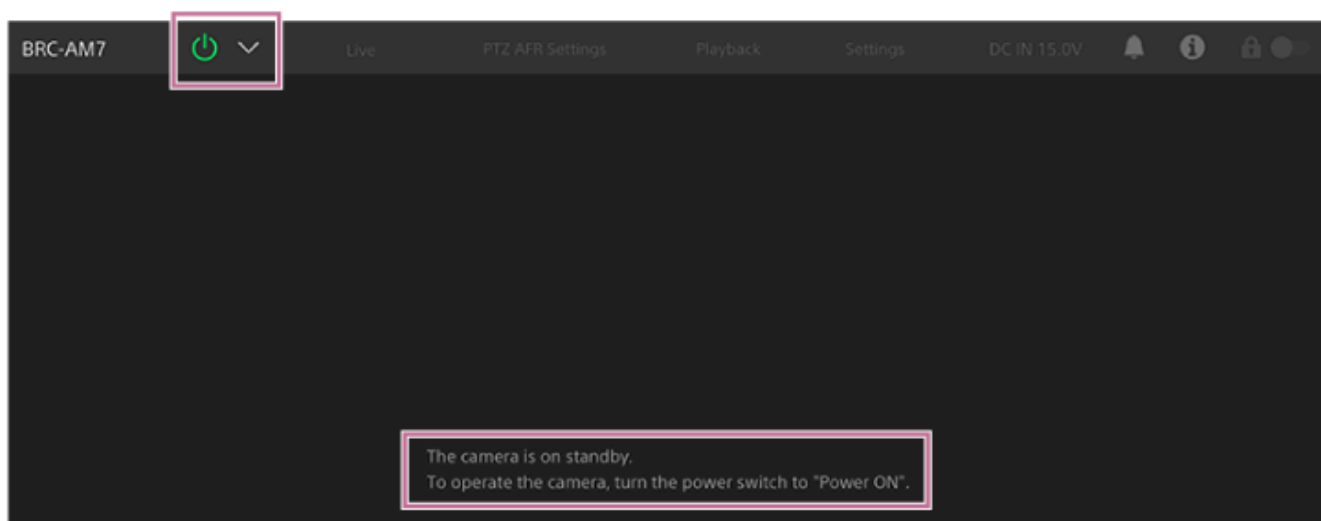
本機前面のPOWERランプが点灯して、Web Appのライブ操作画面に撮影映像が現れます。

ご注意

- 管理者パスワードが設定されていない場合、パスワード設定を促す画面が表示されます。「本機の初期設定を行う」をご覧ください。

電源がスタンバイ状態の場合

本機の電源がスタンバイ状態の場合は、Web Appに電源スタンバイである旨のメッセージが表示されています。



この場合は電源スイッチを押して、スイッチメニューの [Power ON] を選んでください。本機の電源がオンになり、本機前面のPOWERランプが緑色で点灯して、Web Appのライブ操作画面に撮影映像が現れます。

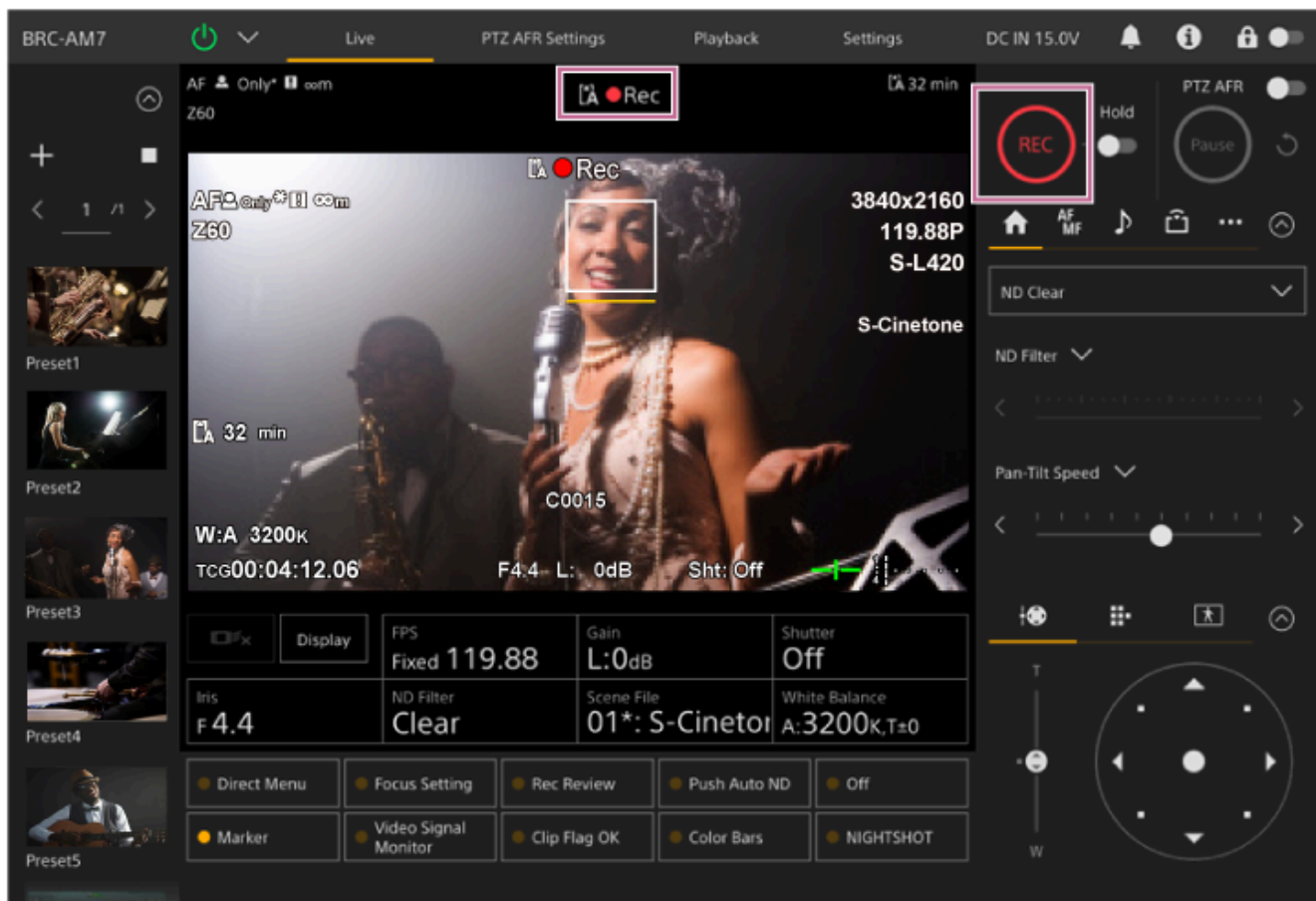
ヒント

- 付属の赤外線リモコンの電源ボタンで本機の電源をオンにすることもできます。

4 録画START/STOPボタンを押す。

録画が始まり、本機の記録/タリールンプ（2箇所）が点灯します。

録画中は、録画START/STOPボタンが点灯します。また、記録先メディアのアイコンと [●Rec] が表示されます。



5 録画を停止するときは、もう一度録画START/STOPボタンを押す。

録画が停止し、本機の記録/タリールンプ（2箇所）が消灯します。

録画待機中は、録画START/STOPボタンが消灯します。また、記録先メディアのアイコンと [Stby] が表示されます。

ヒント

- 付属の赤外線リモコンの録画START/STOPボタンで録画を開始/停止することもできます。

本機の電源をスタンバイ状態にするには

Web Appの電源スイッチを押して、スイッチメニューの [Power Standby] を選ぶと、本機の電源がスタンバイ状態になります。

ヒント

- 付属の赤外線リモコンの電源ボタンで本機の電源をスタンバイ状態にすることもできます。

関連項目

- [本機の初期設定を行う](#)

TP1001752266

カラービデオカメラ
BRC-AM7

メモリーカードを切り替える

メモリーカードが2枚装着されているときは、Web App再生操作画面の [Slot Select] ボタンを押してメモリーカードを切り替えることができます。

ヒント

- 付属の赤外線リモコンのSLOT SEL (メモリーカードスロット(A)/(B)選択) ボタンでも切り替えることができます。

リレー記録について

本機は撮影中にメモリーカードA (またはメモリーカードB) の残量がなくなる直前に、自動的にもう一方のメモリーカードへの記録に切り替わる「リレー記録」に対応しています。メモリーカードが切り替わるたびに、記録済みのメモリーカードを新しいメモリーカードに交換することで、中断することなく撮影を続けられます。

ご注意

- 再生中にメモリーカードを切り替えることはできません。またスロットAとスロットBをまたぐ連続再生はできません。

記録したデータについて

記録を停止すると、開始から停止までの画像・音声と付随データが、1つの「クリップ」としてメモリーカードに記録されます。

記録したデータのクリップ名

本機で記録されるクリップの名前は、カメラメニューの [TC/Media] メニュー > [Clip Name Format] で設定された形式で付けられます。

クリップの最大時間

1クリップあたり6時間までです。

動画の連続撮影可能時間は、クリップの最大記録時間と同様です。録画時間がクリップの最大時間を超える場合、録画を継続したまま自動的に新しいクリップが作られます。新しいクリップはサムネイル画面で別のクリップとして確認できます。

リレー記録では複数のクリップに連続記録しますが、約24時間で自動的に停止します。

ご注意

- 記録中のメモリーカードを取り出さないでください。記録中にメモリーカードを入れ替えるときは、スロットのランプが消灯しているスロットに対してのみ行ってください。
- 記録中のメモリーカードの残量が1分未満のときに、もう一方のスロットに記録可能なメモリーカードが入っていると、メッセージ「Will Switch Slots Soon」(まもなくスロットを切り替えます)が表示されます。メモリーカードスロットが切り替わると消えます。
- メモリーカードの残量が1分未満のときに記録を始めると、リレー記録ができない場合があります。リレー記録を正しく行うには、記録開始時にメモリーカードの残量が1分以上あることを確認してください。
- 本機を使ってリレー記録した動画は、本機上ではシームレス再生できません。
- 本機を使ってリレー記録した動画を結合するには、ソフトウェア「Catalyst Browse」を使用してください。

TP1001752267

カラービデオカメラ
BRC-AM7

音声を確認する

音声は本機のSDI / HDMI / Streamから出力されます。SDI2とHDMIから出力される音声チャンネルの組み合わせは、カメラメニューの [Audio] メニュー > [Audio Output] の [SDI2/HDMI/Strm Out CH] で選択します。

[CH1/CH2] : CH1とCH2の組み合わせ

[CH3/CH4] : CH3とCH4の組み合わせ

Web Appで確認したい場合は、カメラ映像右下のオーディオレベルメーターをご利用ください。

TP1001752268

カラービデオカメラ
BRC-AM7

タイムデータ

タイムデータについて説明します。

タイムコードを設定する

記録されるタイムコードは、カメラメニューの [TC/Media] メニュー > [Timecode] で設定します。

ユーザービットを設定する

8桁の16進数をユーザービットとして記録映像に付加できます。ユーザービットを現在時刻に設定することも可能です。カメラメニューの [TC/Media] メニュー > [Users Bit] で設定します。

タイムデータを表示する

表示するタイムコードは、カメラメニューの [TC/Media] メニュー > [TC Display] > [Display Select] で設定します。
[DURATION/TC/U-BIT] 機能が割り当てられたアサインボタンを押すと、表示がタイムコード、ユーザービット、経過時間の順に切り替わります。

TP1001752269

カラービデオカメラ
BRC-AM7

記録内容を確認する（レックレビュー）

直前に記録したクリップの映像を画面で確認（レックレビュー）できます。

ご注意

- 記録後にビデオフォーマットを変更したときは、レックレビューはできません。

レックレビューの開始位置を設定する

カメラメニューの [Technical] メニュー > [Rec Review] の設定により、再生開始位置を次のいずれかに設定できます。

- クリップの最後の3秒
- クリップの最後の10秒
- クリップの先頭から

ヒント

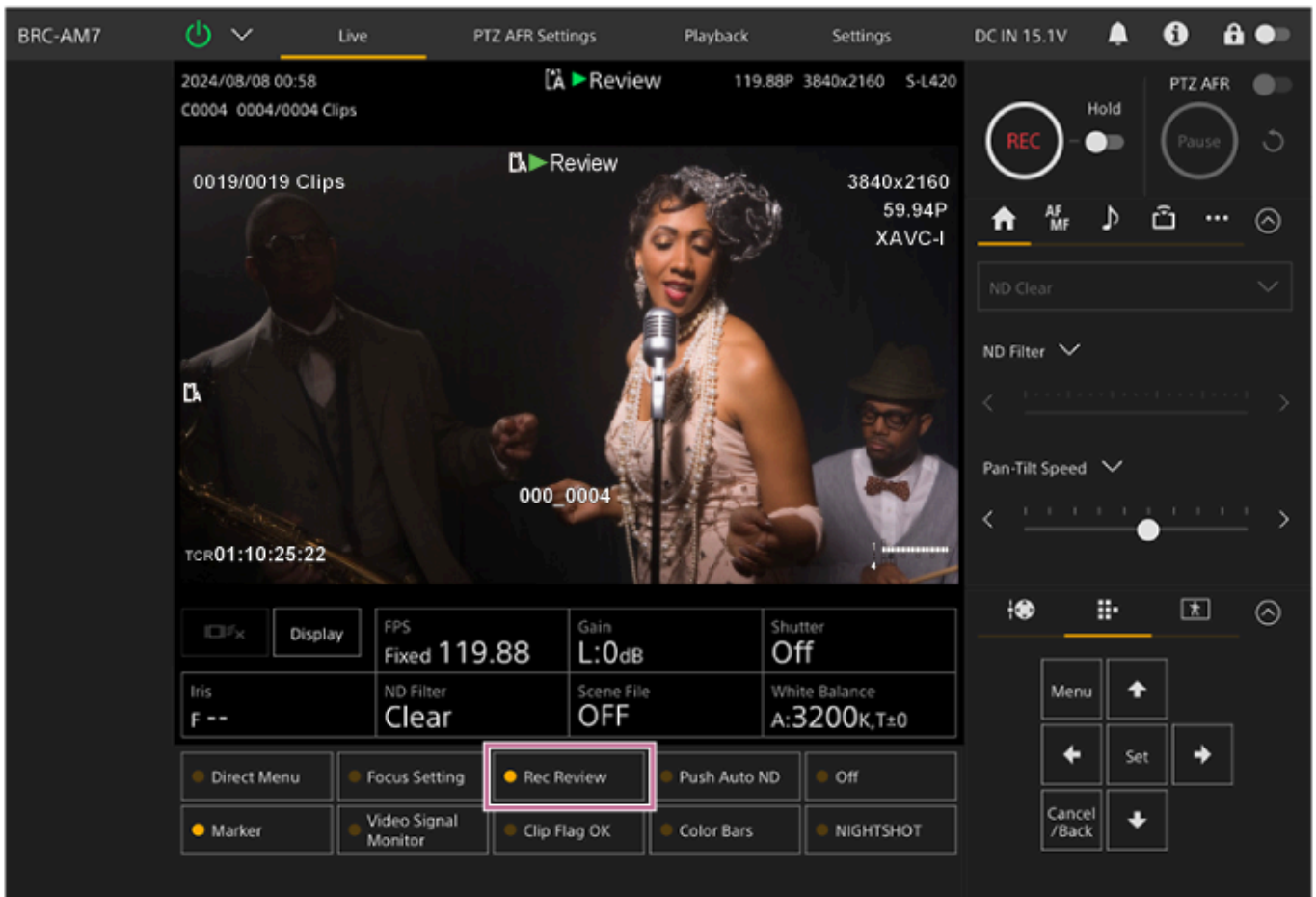
- 撮影した複数のクリップから任意のクリップを確認したい場合は、[Thumbnail] ボタンを押して表示されるサムネイル画面からクリップを選んで再生を開始することができます。
- 付属の赤外線リモコンのTHUMBNAILボタンを押して、サムネイル画面を表示することもできます。
- Rec Reviewでも早送りなどの再生操作ができます。詳しくは「記録したクリップを再生する」をご覧ください。

レックレビューの方法

事前にカメラ基本設定調節パネルのアサインボタン（アサインボタン）のいずれかにレックレビュー機能を割り当てておきます。

- 割り当て方法は「便利な機能」の「アサインボタン」をご覧ください。

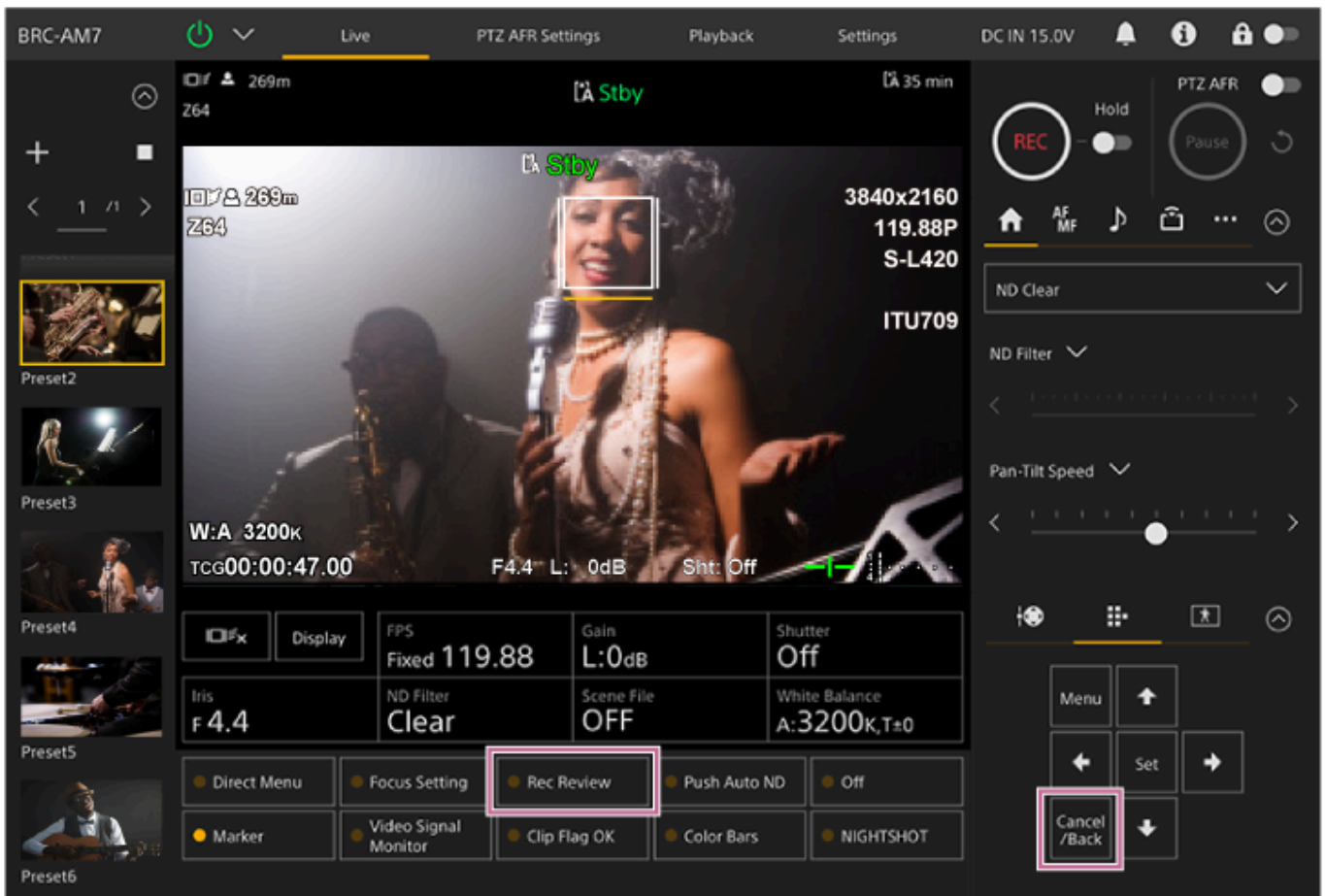
記録を停止し、レックレビュー機能が割り当てられたアサインボタンを押すと、直前に記録したクリップの再生が始まります。



クリップの終わりまで再生すると、レックレビューは終了し、Stby（記録待機中）に戻ります。

レックレビューを中止するには

レックレビュー機能が割り当てられたアサインボタンまたは [Cancel/Back] ボタンを押します。



ヒント

- 付属の赤外線リモコンのCANC./BACKボタンを押して、レックレビューを中止することもできます。

関連項目

- [アサインابلボタン](#)
- [記録したクリップを再生する](#)

TP1001752270

5-065-326-01(1) Copyright 2024 Sony Corporation

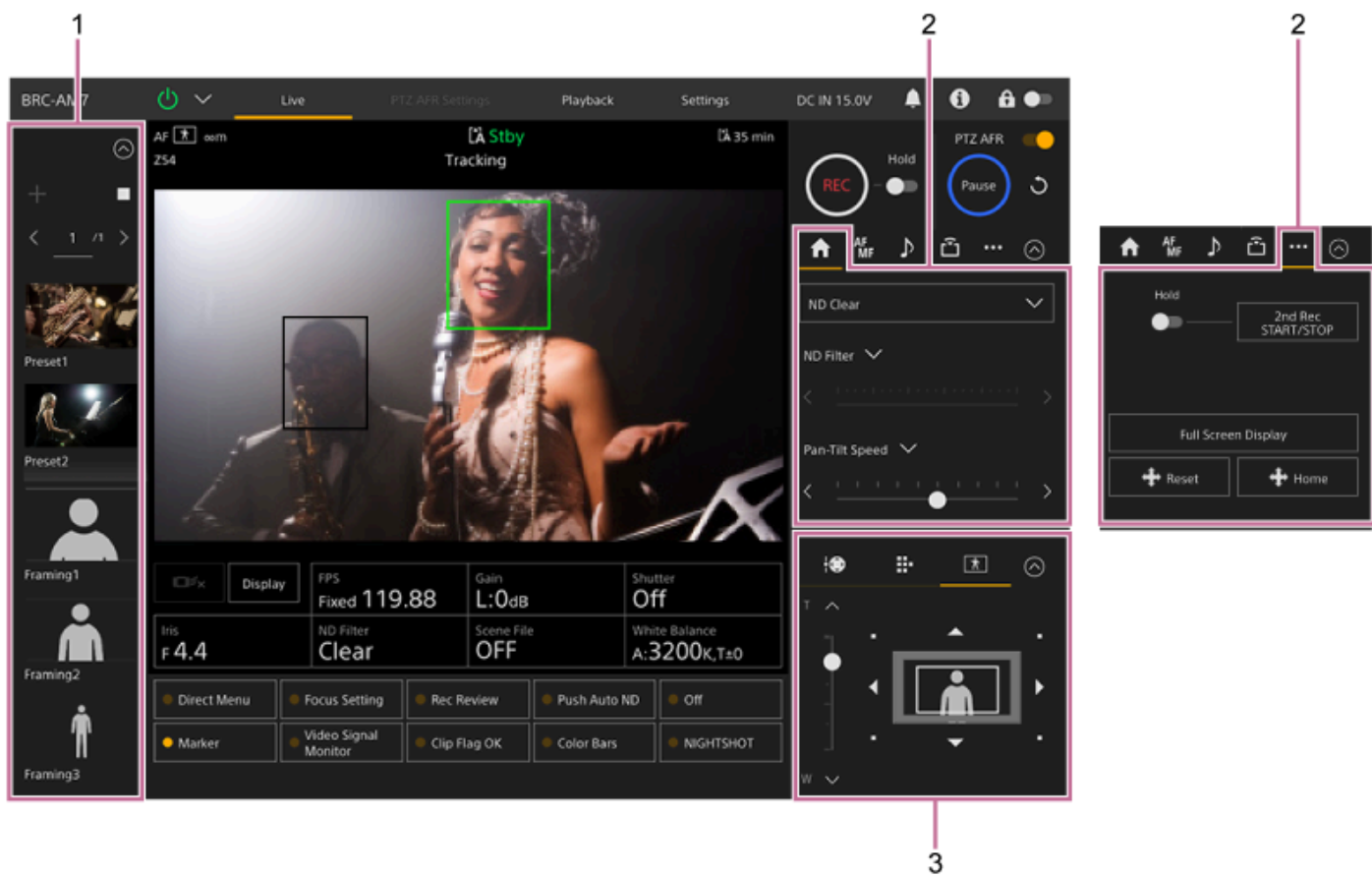
カラービデオカメラ
BRC-AM7

画角調節操作を行う画面

画角調節操作は、Web Appのライブ操作画面の以下の操作部で行います。
PTZオートフレーミングがオフの場合



PTZオートフレーミングがオンの場合



1. プリセットポジション操作部 / 構図プリセット操作部

2. (Main) タブ / (Others) タブ

3. 画角操作部またはAFR構図調節部

ご注意

- カメラの向きやズーム位置により、本機の一部や端子部に接続したケーブル類が写りこむことがあります。撮影前に、どの程度の範囲が写るかをご確認ください。Webメニューの [Pan-Tilt] メニュー > [P/T Range Limit] でパン・チルトの範囲を制限することもできます。なお、電源オン時、およびパン・チルトリセット実行時は、この範囲制限設定は無視されます。詳細はWebメニューの [Pan-Tilt] メニュー > [P/T Range Limit] をご覧ください。

ヒント


- 付属の赤外線リモコンを使用して画角を調節することもできます。

TP1001752271

カラービデオカメラ
BRC-AM7

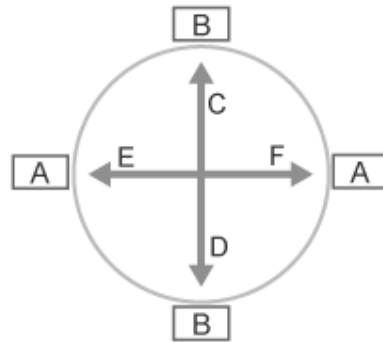
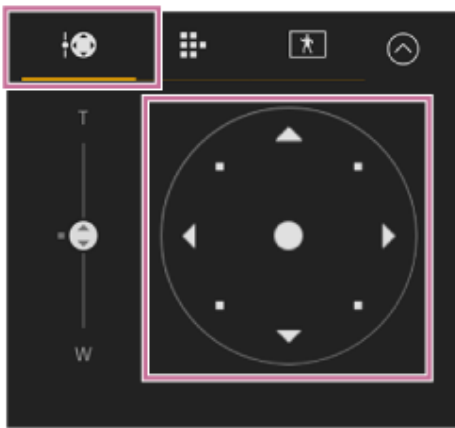
Web Appでカメラの向きを調節する

カメラを左右方向に操作することをパン、上下方向に操作することをチルトと呼びます。
パン・チルト操作でカメラの向きを調節します。

1 画角操作部の  (パンチルトズーム) タブを押し、ジョイスティックを表示する。

2 カメラ映像部を見ながら、ジョイスティックの中央を見たい方向にドラッグする。

ドラッグの向き・量に応じてカメラの向き・速度が変わります。
ジョイスティックの周辺部を軽く押すと、パン・チルト位置の微調整ができます。





A : パン
B : チルト
C : 上
D : 下
E : 左
F : 右

ヒント

- ジョイスティックの下に「Execute Pan-Tilt Reset」と表示されている場合、本機のパン・チルト制御の原点情報に不整合が発生しています。パン・チルトリセットを実行して原点情報を更新してください。詳細は「パン・チルトリセットを行う」をご覧ください。

カメラの向きを正面に戻すには

カメラ操作部の  (Others) タブにある  (パンチルトホーム) ボタンを押します。

ご注意

- カメラの向きやズーム位置により、本機の一部や端子部に接続したケーブル類が写りこむことがあります。撮影前にどの程度の範囲が写るかをご確認ください。Webメニューの [Pan-Tilt] メニュー → [P/T Range Limit] でパン・チルトの範囲を制限することもできます。なお、電源オン時、およびパン・チルトリセット実行時は、この範囲制限設定は無視されます。詳細はWebメニューの [Pan-Tilt] メニュー → [P/T Range Limit] をご覧ください。

関連項目

- [パン・チルトリセットを行う](#)

カラービデオカメラ
BRC-AM7

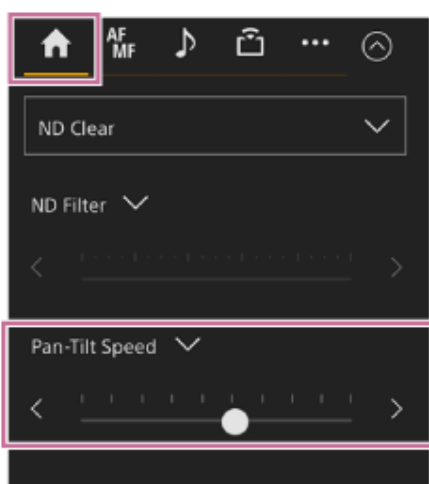
パン・チルトの動作速度を設定する

カメラ操作部の [Pan-Tilt Speed] スライダーで、画角操作部のジョイスティックを動かしたときのパン・チルトの動作速度を変更することができます。

1 カメラ操作部の  (Main) タブを押す。

2 リストから [Pan-Tilt Speed] スライダーを選択する。

[Pan-Tilt Speed] スライダーが表示されていない場合は、2つあるスライダー機能選択ボタンのどちらかを押して表示します。



3 スライダーのつまみを左右に移動する。

左方向につまみを移動すると動作速度が遅くなり、右方向につまみを移動すると動作速度が速くなります。

ご注意

- カメラの可動範囲内に壁などがある場合は、パン・チルト操作でカメラヘッドをぶつけないように注意してください。
- パン・チルトの加速度の設定はWebメニューまたはカメラメニューの [Pan-Tilt] メニュー > [P/T Acceleration] の [Ramp Curve] で変更することができます。

TP1001752273

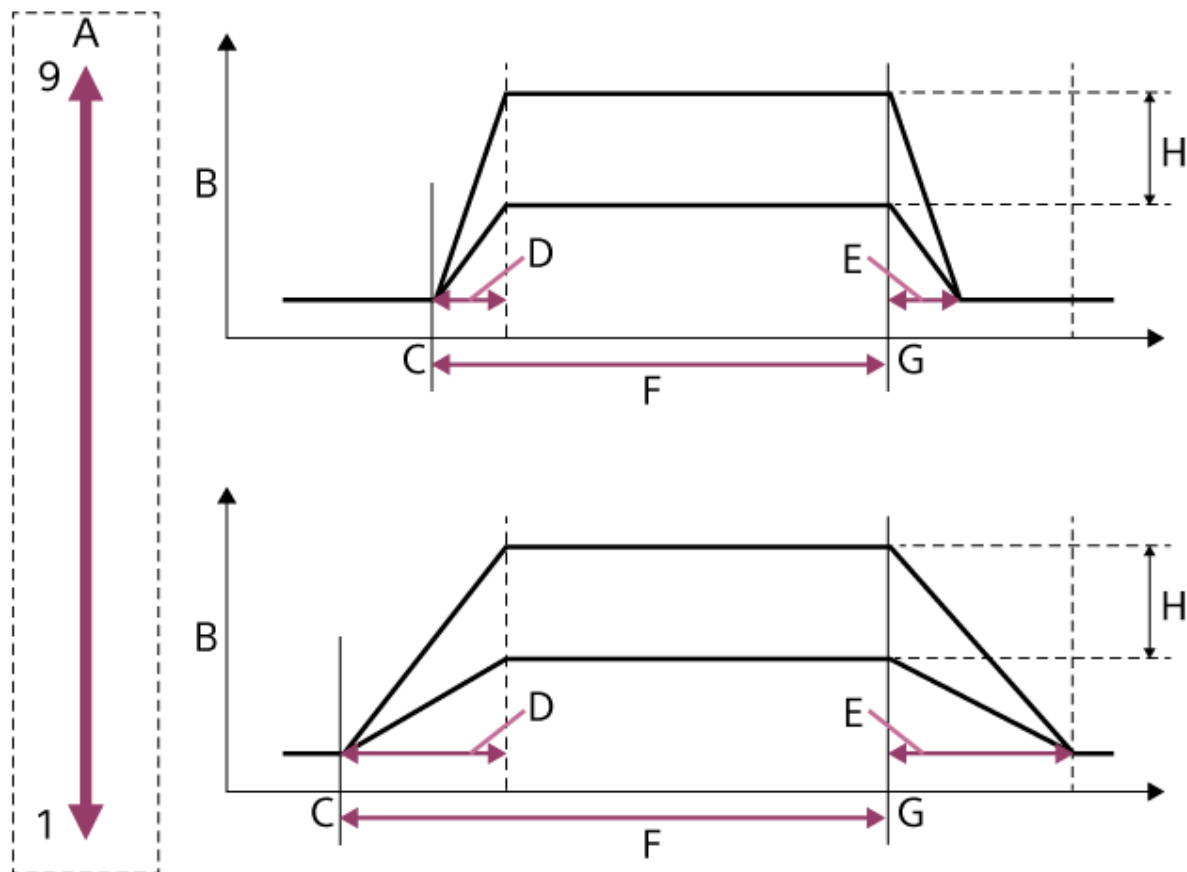
カラービデオカメラ
BRC-AM7

パン・チルト動作の加速度を設定する

Webメニューまたはカメラメニューの [Pan-Tilt] メニュー > [P/T Acceleration] の [Ramp Curve] でジョイスティックを動かしたときの加速動作を9段階から選択します。設定値が大きいほど急峻に、小さいほどなだらかに速度が変化します。パン・チルトを操作する際の即応性を重視する場合は、7~9を選択してください。プリセットポジションの加速動作は、Webメニューの [Pan-Tilt] メニュー > [P/T Preset] の [Ramp Curve] で設定します。プリセットポジションの移動開始/終了の品位を重視する場合には1~6をおすすめします。

- プリセットポジションについては、「付属の赤外線リモコンでカメラの向きやズーム位置を保存/復元する」をご覧ください。

[Ramp Curve] の設定値とパン・チルト動作の関係



- A: [Ramp Curve] 設定値 (最速 (9) ~最遅 (1))
 B: 動作速度
 C: 操作の開始点
 D: 加速時間
 E: 減速時間
 F: 操作時間
 G: 操作の終了点
 H: 最高到達速度

関連項目

- [付属の赤外線リモコンでカメラの向きやズーム位置を保存/復元する](#)

カラービデオカメラ
BRC-AM7

付属の赤外線リモコンでカメラの向きを調節する

付属の赤外線リモコンのパン・チルト操作ボタンでカメラの向きを調節します。

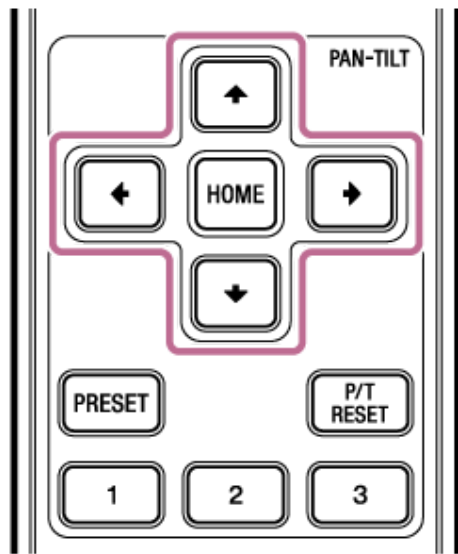
1 矢印ボタンを押して、パン・チルト操作を行う。

カメラ映像を見ながら、見たい方向の矢印ボタンを押します。

小さく動かすには、矢印ボタンを短く押します。

大きく動かすには、矢印ボタンを長く押し続けます。

斜めに動かすには、**▲**（上矢印）または**▼**（下矢印）ボタンを押しながら、**◀**（左矢印）または**▶**（右矢印）ボタンを押します。



カメラの向きを正面に戻すには

HOMEボタンを押します。

ご注意

- カメラの向きやズーム位置により、本機の一部や端子部に接続したケーブル類が写りこむことがあります。撮影前に、どの程度の範囲が写るかをご確認ください。Webメニューの [Pan-Tilt] メニュー > [P/T Range Limit] でパン・チルトの範囲を制限することもできます。なお、電源オン時、およびパン・チルトリセット実行時は、この範囲制限設定は無視されます。詳細はWebメニューの [Pan-Tilt] メニュー > [P/T Range Limit] をご覧ください。

TP1001752275

カラービデオカメラ
BRC-AM7

ズームタイプを設定する

カメラメニューの [Technical] メニュー > [Zoom] の [Zoom Type] でズームの種類を設定します。

[Optical Zoom Only] : 光学ズームのみ行えます。

[On(Clear Image Zoom)] : 光学ズームおよび全画素超解像ズームが行えます。

ご注意

- 以下の場合、全画素超解像ズームは使えません。
 - カメラメニューの [Shooting] メニュー > [S&Q Motion] の [Setting] が [On] で [Frame Rate] の設定が60fpsを超えるとき
 - Webメニューまたはカメラメニューの [Project] メニュー > [Rec Format] の [Frequency] が119.88または100のとき

全画素超解像ズーム

本機は、全画素超解像という画像処理技術によるズーム機能を搭載しています。

全画素超解像ズームの最大倍率は、記録解像度により異なります。

- 記録解像度がQFHDのとき：1.5倍
- 記録解像度がHDのとき：2倍

TP1001752276

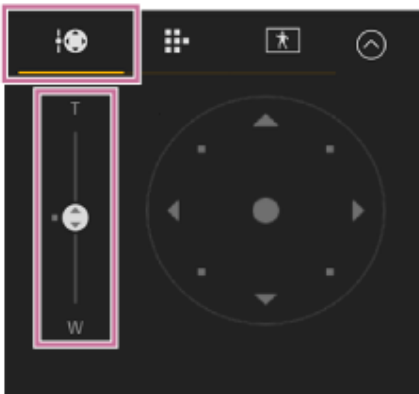
カラービデオカメラ
BRC-AM7

Web Appでズームを調節する

本機は光学ズームまたは全画素超解像ズームにより、ズームを調節することができます。ここではWeb Appによる調節方法を説明します。全画素超解像については「ズームタイプを設定する」をご覧ください。

- 1 画角操作部の  (パンチルトズーム) タブを押し、パン・チルト操作部を表示する。
- 2 [Zoom] スライダーのつまみを [T] (Telephoto / テレフォト・望遠) 方向、または [W] (Wide / ワイド・広角) 方向にスライドして、ズームを調節する。

スライド量に応じてズーム速度が変化します。



ご注意

- カメラの向きやズーム位置により、本機の一部や端子部に接続したケーブル類が写りこむことがあります。撮影前に、どの程度の範囲が写るかをご確認ください。Webメニューの [Pan-Tilt] メニュー > [P/T Range Limit] でパン・チルトの範囲を制限することもできます。なお、電源オン時、およびパン・チルトリセット実行時は、この範囲制限設定は無視されます。詳細はWebメニューの [Pan-Tilt] メニュー > [P/T Range Limit] をご覧ください。

関連項目

- [ズームタイプを設定する](#)

TP1001752277

カラービデオカメラ
BRC-AM7

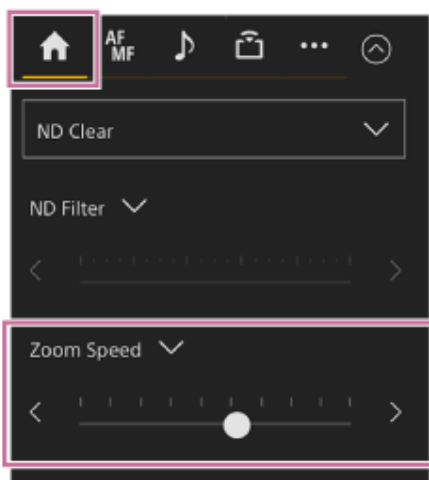
Web Appでズームの動作速度を設定する

カメラ操作部の [Zoom Speed] スライダーで、画角操作部の [Zoom] スライダーを動かしたときのズームの動作速度を変更することができます。

1 カメラ操作部の  (Main) タブを押す。

2 リストから [Zoom Speed] スライダーを選択する。

[Zoom Speed] スライダーが表示されていない場合は、2つあるスライダー機能選択ボタンのどちらかを押し表示します。



3 [Zoom Speed] スライダーのつまみを左右に移動する。

左方向に移動すると動作速度が遅くなり、右方向につまみを移動すると動作速度が速くなります。

TP1001752278

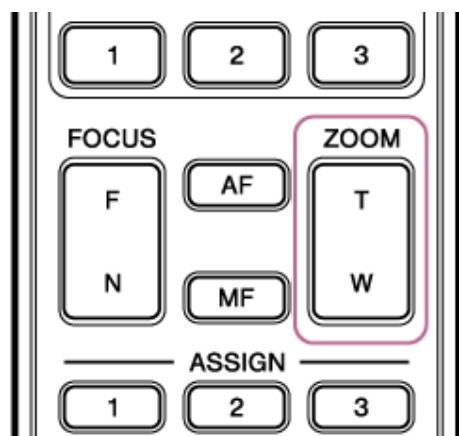
カラービデオカメラ
BRC-AM7

付属の赤外線リモコンでズームを調節する

本機は光学ズームまたは全画素超解像ズームにより、ズームを調節することができます。ここでは付属の赤外線リモコンによる調節方法を説明します。全画素超解像については「ズームタイプを設定する」をご覧ください。

1 ズームボタンを押して、ズームを調節する。

画面を見ながら、T（望遠：Telephoto）またはW（広角：Wide）ボタンを押してズームを調節します。
被写体を大きく映すには、Tボタンを押します。
被写体を小さく映すには、Wボタンを押します。



ご注意

- カメラの向きやズーム位置により、本機の一部や端子部に接続したケーブル類が写りこむことがあります。撮影前に、どの程度の範囲が写るかをご確認ください。Webメニューの [Pan-Tilt] メニュー > [P/T Range Limit] でパン・チルトの範囲を制限することもできます。なお、電源オン時、およびパン・チルトリセット実行時は、この範囲制限設定は無視されます。詳細はWebメニューの [Pan-Tilt] メニュー > [P/T Range Limit] をご覧ください。

関連項目

- [ズームタイプを設定する](#)

TP1001752279

カラービデオカメラ
BRC-AM7

Web Appでカメラの向きやズーム位置、フォーカス設定を保存/復元する

Web Appでカメラの向きやズーム位置、フォーカス設定を保存しておき、必要なときに復元させることができます（プリセットポジション機能）。

- 保存/復元の対象項目は「プリセットポジションの保存項目」をご覧ください。

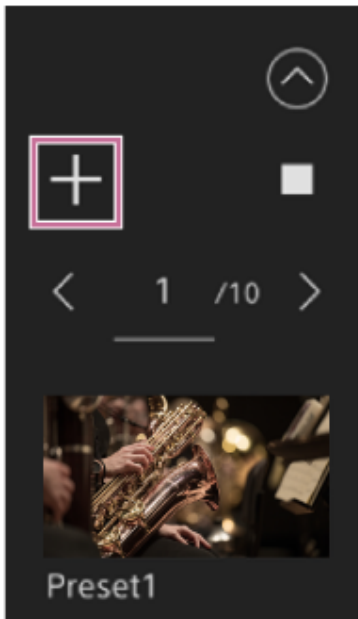
ご注意

- 全画素超解像ズームの倍率が1倍を超えている場合は、プリセットポジションを保存できません。
- Webメニューの [Pan-Tilt] メニュー > [P/T Direction] の [Ceiling] の設定を変更した場合、保存したプリセットポジションはすべて消去されます。

1 パン・チルト、ズーム操作で保存したい画角を決める。

2 プリセットポジション操作部の [+] ボタンを押す。

保存した画角の画像がプリセットポジション操作部に表示されます。




ヒント

- プリセットポジション操作部が表示されていない場合は、 (Open) ボタンを押すと表示されます。
- 画角は [Preset1] から順番に保存されます。
- 途中に使用されていないプリセットがある場合は、使用されていないプリセットから優先して画角が保存されます。たとえば、[Preset1] と [Preset3] に画角が保存済みで、[Preset2] が使用されていない場合、次の画角は [Preset2] に保存され、その次は [Preset4] に保存されます。
- 画角は最大100個保存できます。
- 画角のプリセット名は任意に変更できます。「Web Appでプリセットポジションの名前を変更する」をご覧ください。

3 保存した画角を復元する。

プリセットポジション操作部の復元したい画角のサムネイルを二度押しすると、その画角が復元されます。


ヒント

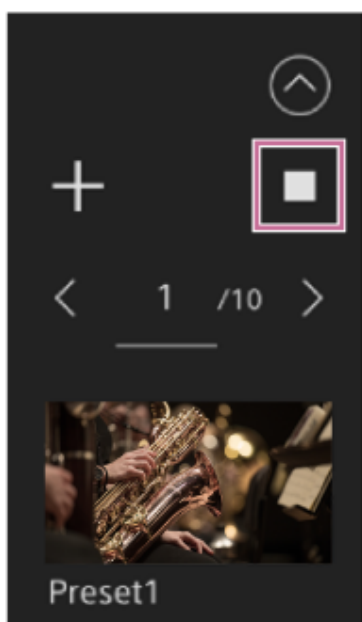
- 画像を押すと表示される  (Preset Position Menu) ボタンから [Recall] を選ぶことでも画角を復元できます。
- 保存した画角への移動速度は、画角保存時のWebメニューの [Pan-Tilt] メニュー > [P/T Preset] - [Pan-Tilt Speed] - [Common Speed] の設定が適用されます。移動速度は、保存後に変更することもできます。詳しくは、「プリセットポジションを復元するときの移動速度 (Pan-Tilt/Zoom/Focus) を変更する」をご覧ください。
- プリセットポジションに移動するときのパン・チルト画角変化の度合いは、移動速度と [Ramp Curve] の設定で調節します。詳しくは「プリセットポジションを復元するときの移動速度 (Pan-Tilt/Zoom/Focus) を変更する」 および「パン・チルト動作の加速度を設定する」をご覧ください。
- プリセット再生中にほかのプリセットを呼び出した場合、最初に呼び出したプリセット動作を中断し、後から呼び出したプリセット動作を行います。

ご注意

- 画角の保存時と復元時の環境温度が大きく異なると、画角にずれが生じる場合があります。
- 画角復元中は、プリセットポジションの復元およびキャンセル以外の操作はできません。

画角の復元中にキャンセル操作をするには

画角の復元中に、プリセットポジション操作部に表示される  (復元キャンセル) ボタンを押すと、画角の復元動作がキャンセルされ、ジョイスティックや [Zoom] スライダーでの画角調節が可能になります。



関連項目



- [プリセットポジションの保存項目](#)
- [Web Appでプリセットポジションの名前を変更する](#)
- [プリセットポジションを復元するときの移動速度 \(Pan-Tilt/Zoom/Focus\) を変更する](#)
- [パン・チルト動作の加速度を設定する](#)

TP1001752280

カラービデオカメラ
BRC-AM7

Web Appでプリセットポジションの名前を変更する

保存したプリセットポジションの名前を変更することができます。



- 1 **プリセット名を変えたい画像を押す。**
画像の右上に (Preset Position Menu) ボタンが表示されます。
- 2 ** (Preset Position Menu) ボタンを押して表示されるメニューから [Rename] を選ぶ。**
- 3 **新しいプリセット名を入力する。**

TP1001752281

カラービデオカメラ
BRC-AM7

Web Appで保存したプリセットポジションを別の新しい画角で置き替える

保存したプリセットポジションを別の新しい画角で置き替えることができます。



- 1 **パン・チルト、ズーム操作で保存したい画角を決める。**
- 2 **プリセットポジション操作部の置き換えたい画角の画像を押す。**
画像の右上に (Preset Position Menu) ボタンが表示されます。
- 3 ** (Preset Position Menu) ボタンを押して表示されるメニューから [Replace] を選ぶ。**
別の新しい画角に置き替えられます。

TP1001752282

カラービデオカメラ
BRC-AM7

Web Appで保存したプリセットポジションを削除する

保存したプリセットポジションを削除することができます。



- 1** プリセットポジション操作部の削除したい画角の画像を押す。
画像の右上に  (Preset Position Menu) ボタンが表示されます。
- 2**  (Preset Position Menu) ボタンを押して表示されるメニューから [Delete] を選ぶ。
保存した画角が削除されます。

TP1001752283

カラービデオカメラ
BRC-AM7

プリセットポジションを復元するときの移動速度 (Pan-Tilt/Zoom/Focus) を変更する

保存したプリセットポジションを復元する際の移動速度 (Pan-Tilt動作/Zoom動作/Focus動作) を変更することができます。

- 1 Webメニューの [Pan-Tilt] メニュー → [P/T Preset] - [Pan-Tilt Speed] - [Setting Way] を [Separate] に設定する。
- 2 移動速度を変更したいプリセットポジションの画像を押す。
画像の右上に  (Preset Position Menu) ボタンが表示されます。
- 3  (Preset Position Menu) ボタンを押して表示されるメニューから [Edit...] を選ぶ。
選択したプリセットポジションの設定画面が表示されます。



- 4 変更したい移動速度 (Pan-Tilt/Zoom/Focus) をスライダーで設定、または値を直接入力して [OK] ボタンを押す。
次回保存した画角を復元する際に設定した速度で移動します。

ヒント

- Webメニューの [Pan-Tilt] メニュー → [P/T Preset] - [Pan-Tilt Speed] - [Setting Way] を [Common] に設定すると、すべてのプリセットポジションが [Pan-Tilt] メニュー → [P/T Preset] - [Pan-Tilt Speed] の [Common Speed] で設定した速度で復元されます。
- Webメニューの [Pan-Tilt] メニュー → [P/T Preset] - [Pan-Tilt Speed] - [Setting Way] を [Separate] に設定したときの初期値を設定することもできます。
- ズーム移動完了後に、保存されたフォーカス位置に移動します。
- 移動完了後、[AF Transition Speed] は元の設定に戻ります。

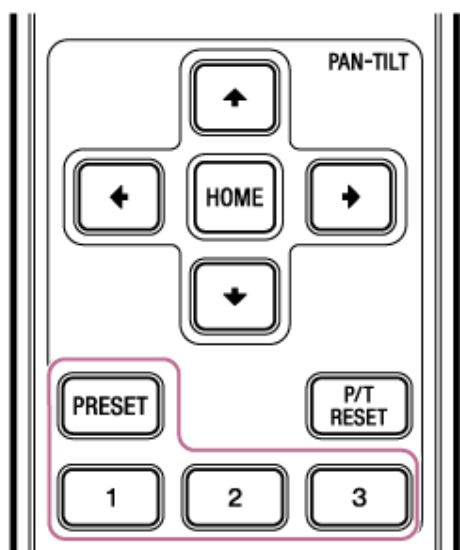
カラービデオカメラ
BRC-AM7

付属の赤外線リモコンでカメラの向きやズーム位置を保存/復元する

付属の赤外線リモコンでカメラの向きとズーム位置を保存しておき、必要なときに復元させることもできます。

- 1 カメラの向き、ズームなどを調節する。
- 2 PRESETボタンを押しながら1～3ボタンの中から1つ選んで押す。

画角が保存されます。



- 3 保存した画角を復元する。

1～3ボタンを押すと、その画角が復元されます。

ヒント

- 画角のプリセットを復元させるときの移動速度には、Webメニューの [Pan-Tilt] メニュー > [P/T Preset] で設定した移動速度の値が保存されます。保存後も移動速度を変更することができます。詳しくは「プリセットポジションを復元するときの移動速度 (Pan-Tilt/Zoom/Focus) を変更する」をご覧ください。

関連項目

- [プリセットポジションを復元するときの移動速度 \(Pan-Tilt/Zoom/Focus\) を変更する](#)

TP1001752286

カラービデオカメラ
BRC-AM7

PTZオートフレーミングについて

本機は、人物を認識してカメラの向きやズーム位置を自動的に調節するPTZオートフレーミング機能を備えています。PTZオートフレーミングには、人物の追尾を手動で開始する「手動追尾開始モード」とあらかじめ設定した領域に人物が入ってくると、人物の追尾を自動的に開始する「自動追尾開始モード」があります。本機能を実行する前に、どちらのモードを使用するかを「PTZオートフレーミングの初期設定を行う」の説明に従って設定してください。

- 手動追尾開始モードでのPTZオートフレーミング操作については、「自動追尾する人物を任意に指定する（手動追尾開始モード）」をご覧ください。
- 自動追尾開始モードでのPTZオートフレーミング操作については、「指定した位置に登場した人物を自動的に選択して追尾する（自動追尾開始モード）」をご覧ください。

また、PTZオートフレーミングの実行状態を本機のタリーランプで確認することができます。詳しくは「離れたところからPTZオートフレーミングの状態を確認する」をご覧ください。

ご注意

- PTZオートフレーミング中は、カメラ映像上の情報表示は最小限になります。
- オートフォーカスのとき、ピントは追尾している人物に合います。追尾している人物以外にピントを合わせたい場合は、マニュアルフォーカスに設定してください。
- PTZオートフレーミング中、オートフォーカスに関する設定変更はできません。
- カメラのフォーカスや露出が適切に設定されていない場合や、明るさなどの撮影環境、撮影アングル（極端な俯瞰、あおり）および人物の密集度・大きさ・服装・動作・隠れなどの影響により、適切な自動追尾動作が行えない場合があります。
- 下記の条件を満たさない場合、顔認識機能の効果が十分に得られない可能性があります。
 - 正面を向いていること
 - 普通の表情であること（目を閉じている、怒る／泣くなどの極端な表情でないこと）
 - 顔に極端な隠れがないこと（サングラス、マスクなど）
- PTZオートフレーミングの設定時と実行時で画角に影響を与える [Zoom Type] の設定が異なる場合、適切に自動追尾動作が行えない場合があります。
- [Zoom Type] の設定を変更した場合はPTZ AFR設定画面の [Start Position] 画面、および [Detection Settings] 画面の設定を変更してください。詳しくは「PTZオートフレーミングの初期設定を行う」をご覧ください。
- DC IN電源を使用している場合、入力電圧が低いとPTZオートフレーミングが停止、または使用できないことがあります。
- [P/T Range Limit] の設定を変更した場合はPTZ AFR設定画面の [Start Position] 画面、および [Detection Settings] 画面の設定を確認してください。詳しくは「PTZオートフレーミングの初期設定を行う」をご覧ください。
- サムネイル表示中、再生中、レックレビュー中、HDMI出力不可の状態ではPTZ オートフレーミングが実行できません。

関連項目

- [PTZオートフレーミングの初期設定を行う](#)
- [自動追尾する人物を任意に指定する（手動追尾開始モード）](#)
- [指定した位置に登場した人物を自動的に選択して追尾する（自動追尾開始モード）](#)
- [付属の赤外線リモコンでPTZオートフレーミングを実行する](#)
- [離れたところからPTZオートフレーミングの状態を確認する](#)

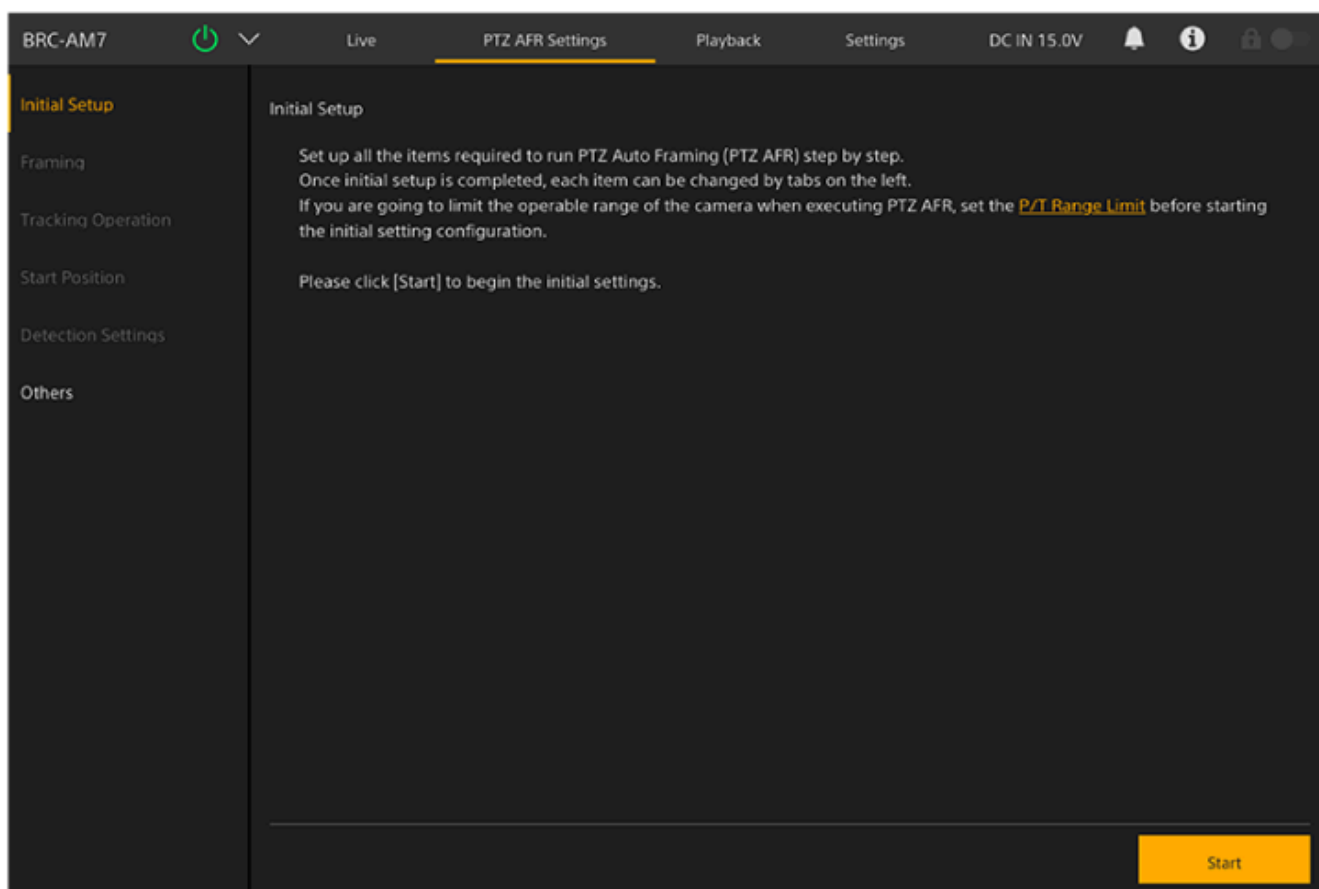
TP1001752287

カラービデオカメラ
BRC-AM7

PTZオートフレーミングの初期設定を行う

PTZオートフレーミングの初期設定方法を説明します。

- 1 **【PTZ AFR Settings】 タブを押す。**
PTZ AFR設定画面の【Initial Setup】画面が表示されます。
- 2 **画面の説明を確認後、【Start】ボタンを押す。**

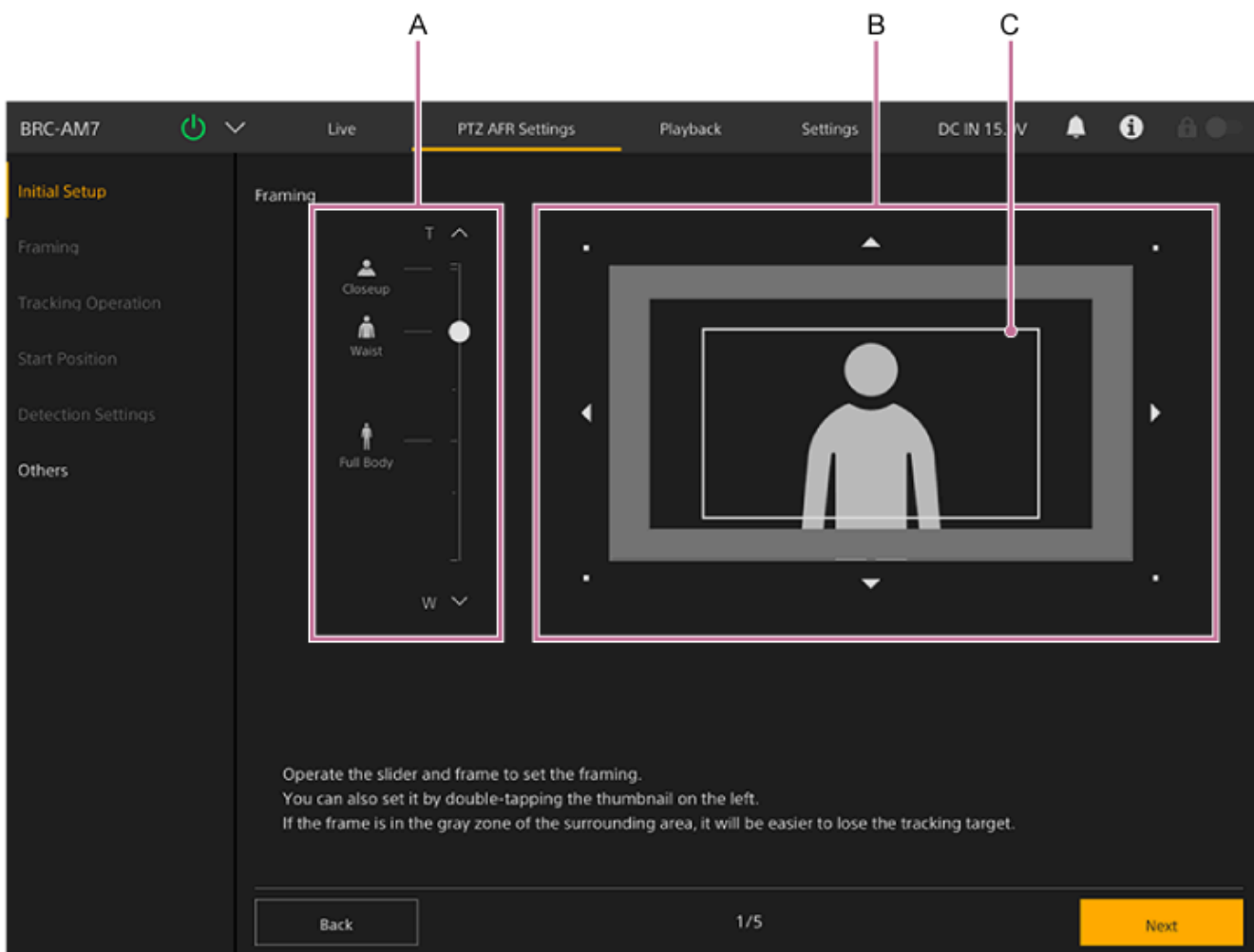


ヒント

- 【Start】ボタンは初回設定時のみ表示されます。

PTZオートフレーミングの設定が開始されます。

- 3 **【Framing】画面で目標とするPTZオートフレーミングの構図を調節する。**



A : 人物サイズスライダー

B : 構図位置調節部

C : 構図枠

映像内の人物の大きさと配置を調節します。

ヒント

- 人物サイズスライダー左のアイコンをダブルタップすると、そのアイコンの人物の大きさ（ズーム率）と配置が構図枠に設定されます。

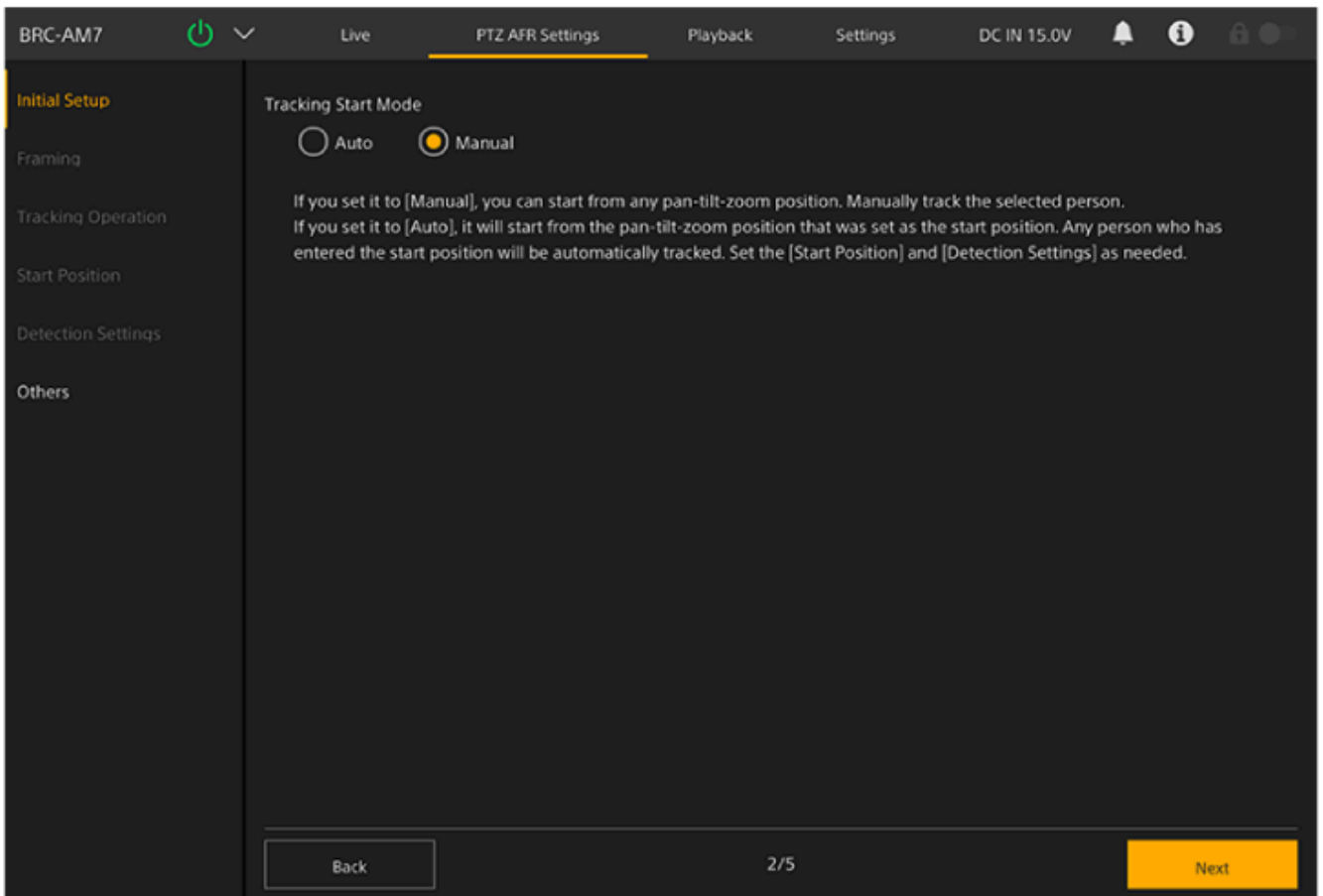
ご注意

- 白い構図枠がグレーゾーンにかかると、反対方向に移動する人物をロストしやすくなります。
- 人物を大きく映す構図にすると、人が速く移動したときにロストしやすくなります。その際は、人物の大きさを小さめにするなど移動方向に余裕を持たせた配置にしてください。

4 設定完了後 [Next] ボタンを押す。

次の設定画面に移ります。

5 [Tracking Operation] 画面で追尾モードを設定する。



追尾開始モードを設定します。

- [Auto] : スタートポジションに設定した画角の指定した検知領域に人物が入ってくると、自動的に人物の追尾を開始するモードです（自動追尾開始モード）。この設定にした場合、[Start Position] 画面および [Detection Settings] 画面での設定が必要です。
- [Manual] : 追尾対象の人物を手動で指定するまでは追尾を開始しないモードです（手動追尾開始モード）。


6 設定完了後 [Next] ボタンを押す。

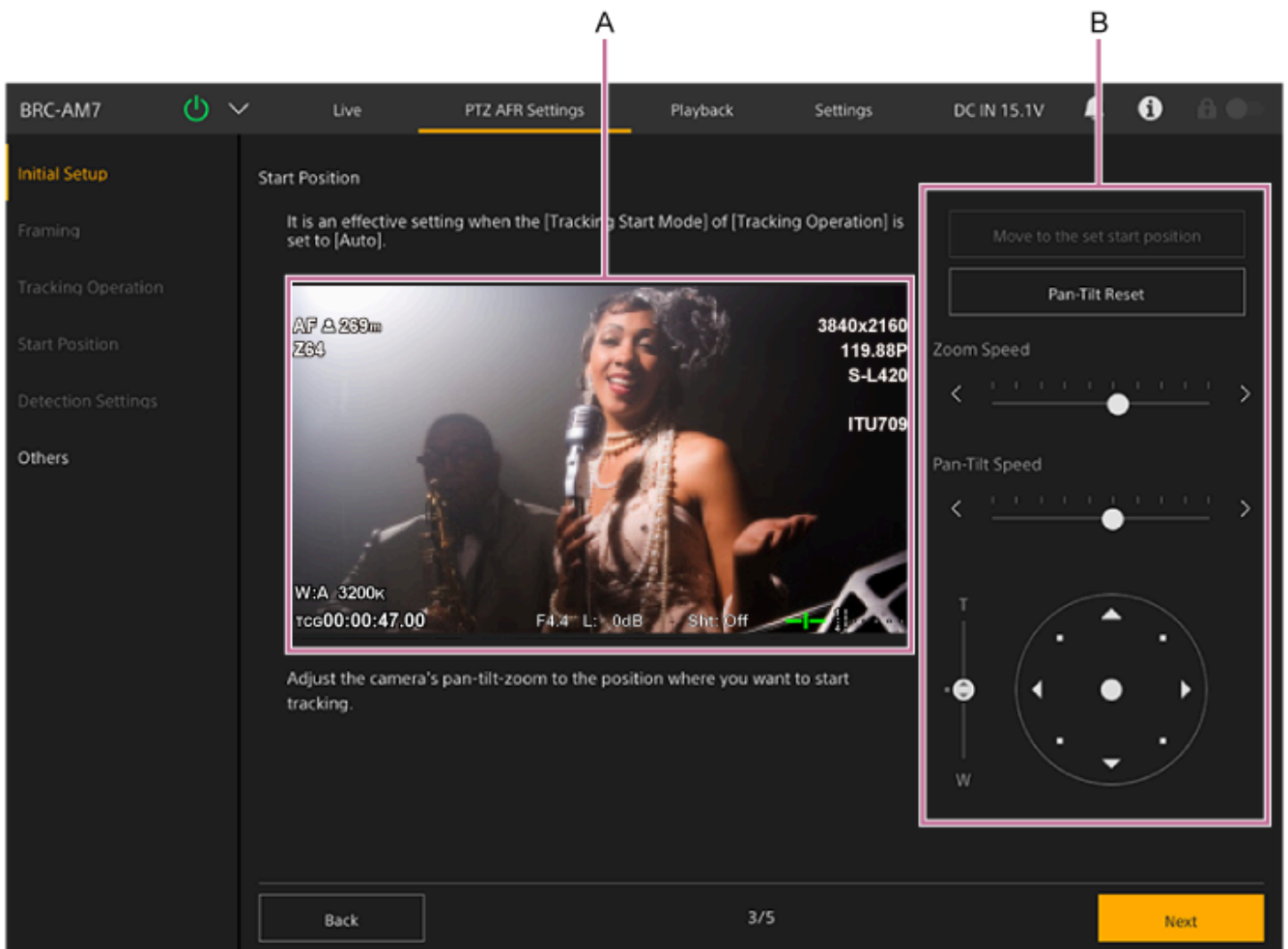
次の設定画面に移ります。

- [Auto] を選択した場合、手順7をご覧ください。
- [Manual] を選択した場合、手順11をご覧ください。

7 [Start Position] 画面で自動追尾の開始位置を設定する。

PTZオートフレーミングが自動追尾開始モードのとき、開始する位置（スタートポジション）の設定を行います。手動追尾開始モードの場合、この設定は不要です。

ライブ操作画面内の  (Restart) ボタンを押した場合や、追尾していた人物をロストした場合に、スタートポジションに戻ります。



A : カメラ映像部

B : 画角操作部

スタートポジションを設定します。

- カメラ映像部のカメラ映像を確認しながら、画角操作部でカメラ映像をパン・チルト・ズーム操作してスタートポジションを設定します。パン・チルトおよびズームはそれぞれスライダーで移動速度を調節できます。
- 初期設定のときは [Move to the set start position] ボタンは無効です。一度初期設定を終えると有効になります。押すと、現在設定されているスタートポジションに移動します。
- [Pan-Tilt Reset] ボタンを押すと、パン・チルトの初期化動作を実行します。本機前面のPOWERランプとNETWORKランプが同時に点滅している場合や、画角操作部に [Execute Pan-Tilt Reset.] と表示されている場合に押してください。

ご注意

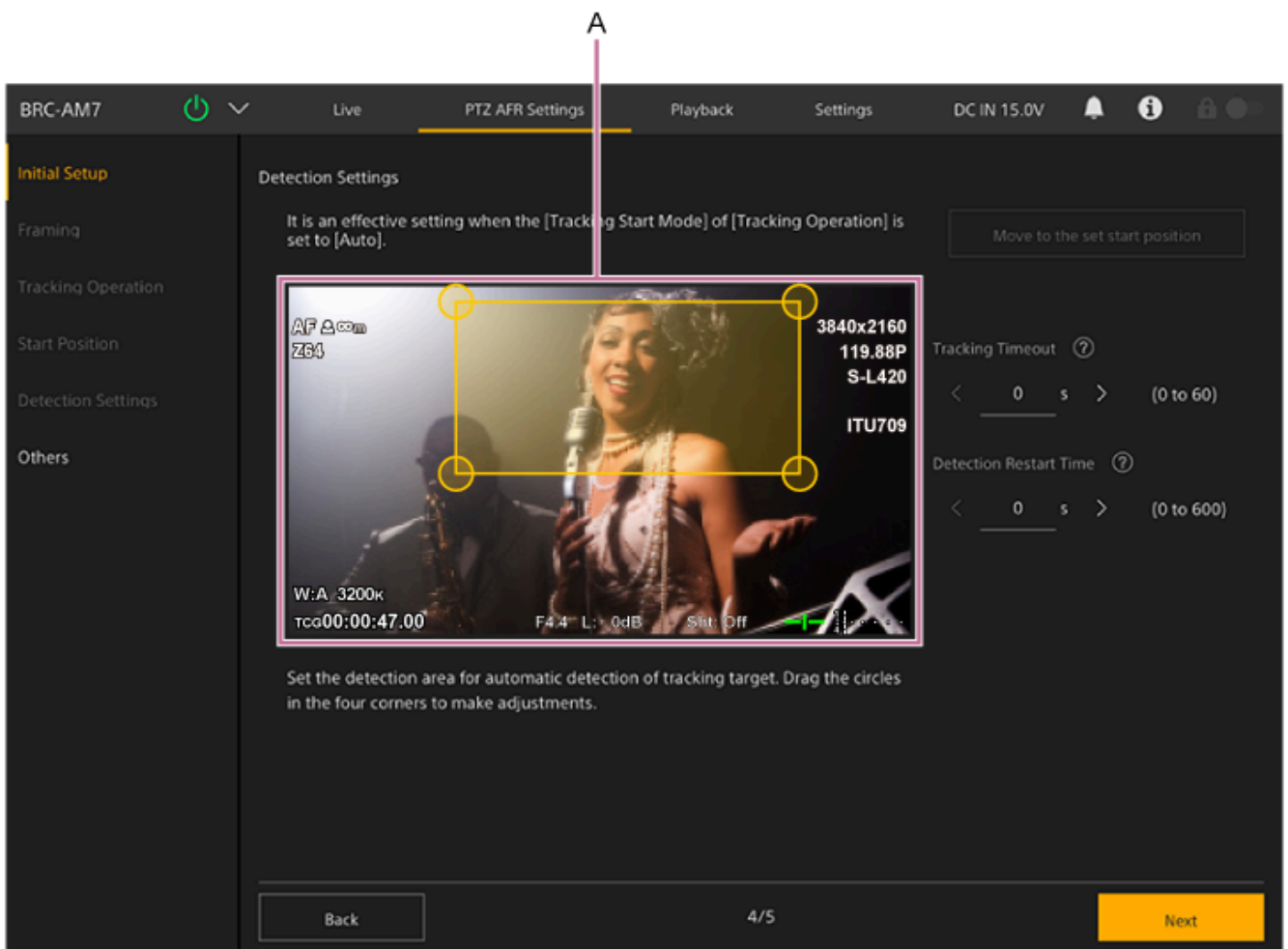
- 以下の場合、再設定が必要です。
 - 全画素超解像ズーム中に [Rec Format] - [Video Format] を1920x1080から3840x2160に設定変更したとき
 - [Zoom Type] の設定を変更したとき
 - [S&Q Motion] - [Frame Rate] を60fpsを超える値に設定したとき
 - [P/T Range Limit] を変更したとき
 - [P/T Direction] - [Direction] -[Ceiling] を変更したとき

8 設定完了後 [Next] ボタンを押す。

次の設定画面に移ります。

9 [Detection Settings] 画面で自動追尾開始に関する詳細設定を行う。

手動追尾開始モードの場合、この設定は不要です。



A : 検知領域設定部

追尾対象の人物を検知する領域を設定します。

- カメラ映像を確認しながら、検知領域設定部のオレンジ色枠の四隅にある丸印をドラッグして、検知領域を設定します。この領域に入った人物が自動追尾の対象になります。
- 初期設定のときは [Move to the set start position] ボタンは無効です。一度初期設定を終えると有効になります。押すと、現在設定されているスタートポジションに移動します。
- [Tracking Timeout] : 追尾対象の顔を見失った場合に、スタートポジションに戻るまでの時間を設定します。0秒に設定するとタイムアウトしません（初期値0秒）。
- [Detection Restart Time] : 自動追尾を開始してから自動的にリスタートするまでの時間を設定します。0秒に設定すると自動でリスタートしません。（初期値0秒）。

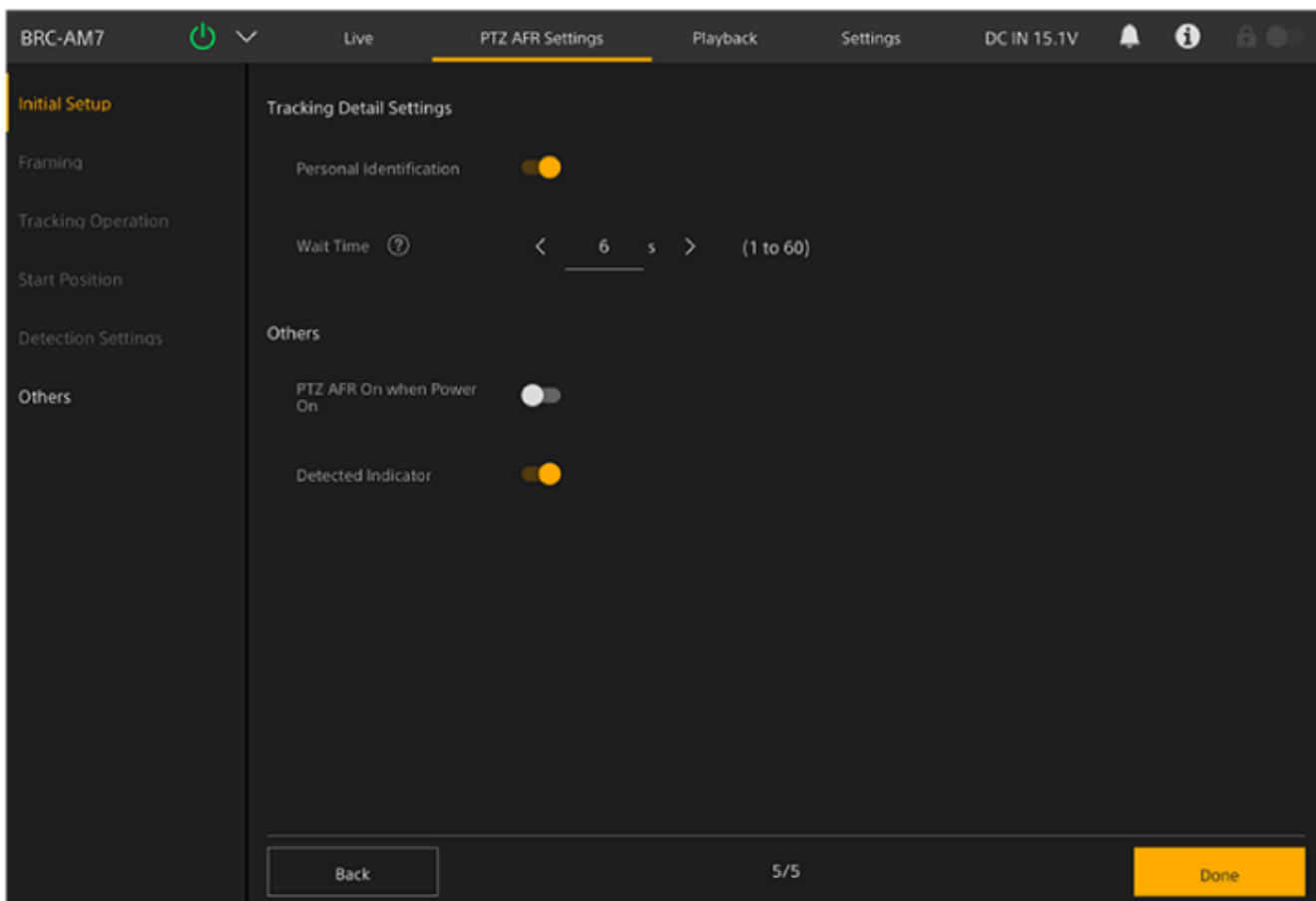
ご注意

- スタートポジションの設定を変更した場合、再設定が必要です。

10 設定完了後 [Next] ボタンを押す。

次の設定画面に移ります。

11 [Others] 画面でその他の設定を行う。

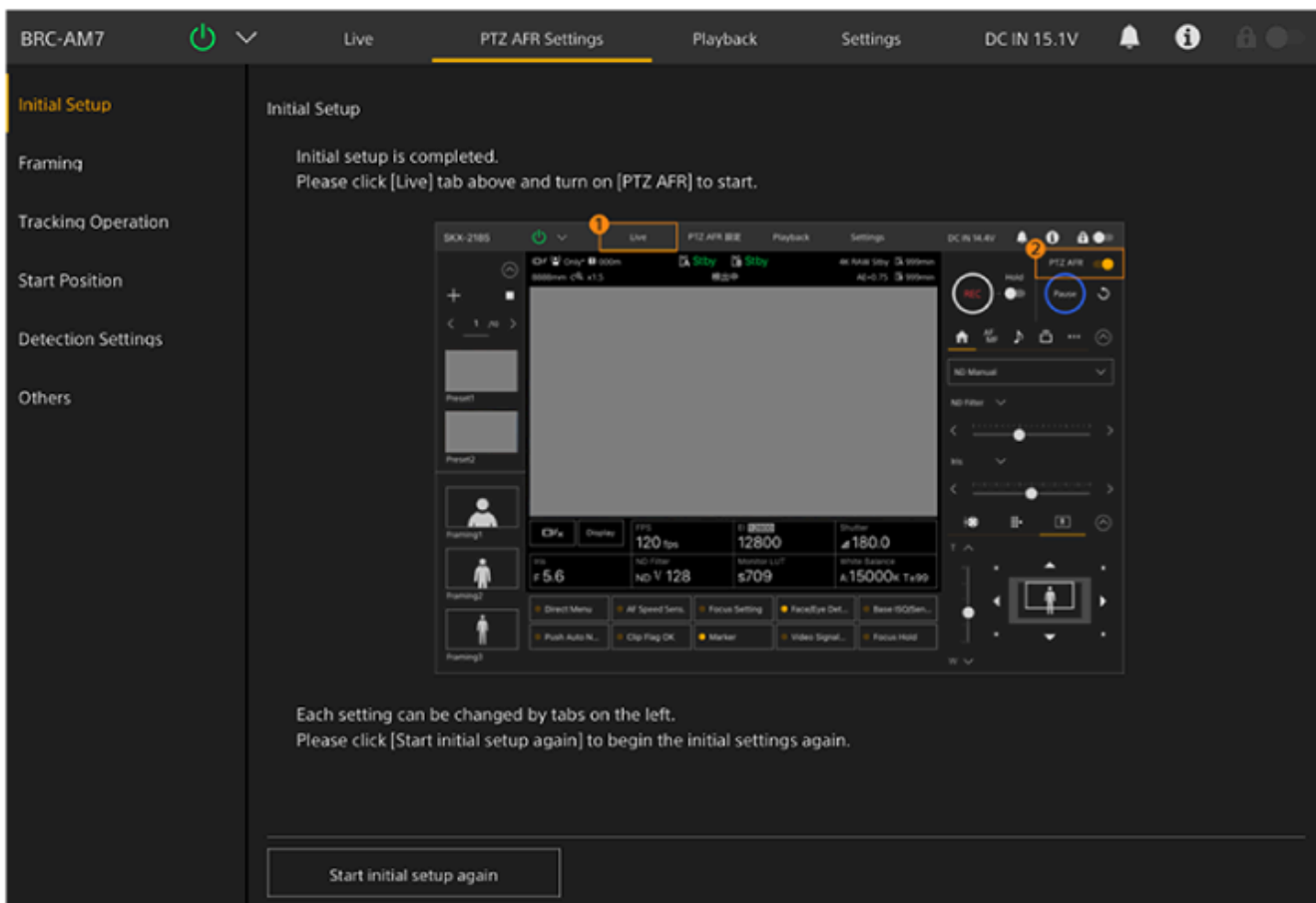


必要に応じて以下を設定します。

- [Personal Identification] : 通常はオンにしてください。人物を特定しないで常に誰かを自動追尾し続けたい場合は、オフにしてください。
- [Wait Time] : 追尾対象を見失ったとき、パン・チルト・ズーム動作を停止して待機する時間を設定します。
- [PTZ AFR On when Power On] : オンにすると、本機の電源を入れたとき、PTZオートフレーミングが有効な状態で起動します。
- [Detected Indicator] : オンにすると、自動追尾対象やその候補として検出された人物の顔に枠を表示します。また、スタートポジションで検知領域を表示します。

12 設定完了後 [Done] ボタンを押す。

以下の完了画面が表示されます。



以上でPTZオートフレーミングの初期設定は完了です。

初期設定を終えると、各ページはPTZ AFR設定画面の左側の項目から個別に開くことができます。設定変更した場合は各ページの [OK] ボタンを押して確定させてください。

TP1001803091

カラービデオカメラ
BRC-AM7

自動追尾する人物を任意に指定する（手動追尾開始モード）

追尾したい人物を手動で指定して、追尾を開始します。

1 PTZ AFR設定画面で人物の追尾開始モードが手動追尾開始モードになっていることを確認する。

追尾開始モードについては、「PTZオートフレーミングの初期設定を行う」をご覧ください。
初期設定を行っていないときは、手動追尾開始モードとして動作します。

2 Web Appの画角操作部で、追尾する人物をカメラに捉える。

ヒント

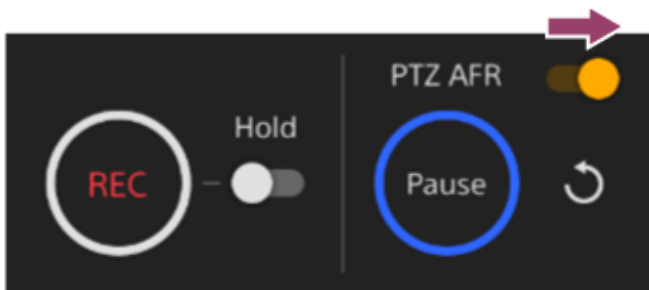
- プリセットポジションの設定を呼び出して、その画角を使用して人物を捉えることもできます。

3 ライブ操作画面の [PTZ AFR] スイッチをオンにする。

[Pause] ボタンの周囲が青く点滅します。

ヒント

- 付属の赤外線リモコンのPTZ AUTO FRAMINGのONボタンおよびOFFボタンを押して、[PTZ AFR] スイッチをオン/オフすることもできます。



4 カメラ映像部で、追尾する人物をタップする。

[Pause] ボタンの周囲が青く点灯します。
自動追尾中、[Pause] ボタンが有効になります。
オートフレーミング中はいつでも、追尾する人物を変更できます。追尾したい人物をタップすると追尾対象がその人物に乗り移ります。

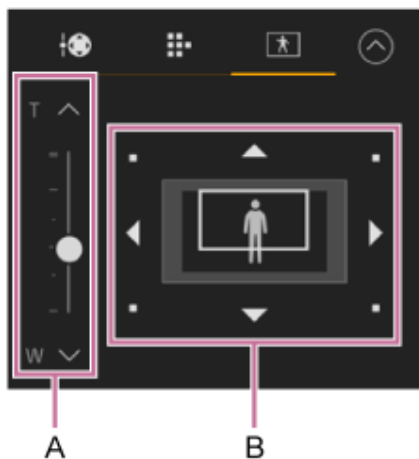
5 必要に応じて、[Pause] ボタンを押して自動追尾によるパン・チルト・ズーム動作を一時停止する。

[Pause] ボタンの周囲が青く点滅します。

- オートフレーミング中に [Pause] ボタンを押すと、自動追尾によるパン・チルト・ズーム動作が一時停止し、ボタンが [Resume] ボタンに切り替わります。オートフレーミングを再開するには [Resume] ボタンを押してください。
- オートフレーミング中にジョイスティックやズームスライダーを操作したり、プリセットポジションを呼び出したときも、自動追尾によるパン・チルト・ズーム動作が一時停止し、ボタンが [Resume] ボタンに変化します。再開するには [Resume] ボタンを押してください。
- [Resume] ボタンの代わりに、追尾する人物をタップしなおして再開させることもできます。

6 ライブ画面操作部の [AFR] (AFR構図調節) タブを押して、AFR構図調節部を表示する。

7 AFR構図調節部で、人物の大きさや構図配置を調節する。



A:人物サイズスライダー

B:構図位置調節部


映像内の人物の大きさと配置を調節します。

- 人物サイズスライダーで映像内の人物の大きさを設定します。
- 構図位置調節部で映像内の人物の配置を設定します。白い構図枠をドラッグして構図を設定してください。

ご注意

- 白い構図枠が周囲のグレーゾーンにかかると、反対方向に移動する人物をロストしやすくなります。基本的には構図枠がグレー領域にかからないように調節してください。
- 人物を大きく映す構図にすると、人が速く移動したときにロストしやすくなります。その際は、人物の大きさを小さめにするなど移動方向に余裕を持たせた配置にしてください。

ヒント

- 特に意図がない限り、オートフォーカスに設定することをお勧めします。ピントが合っていないと、追尾性能が低下します。
- 手動追尾開始モードでは  (Restart) ボタンは無効です。

関連項目

- [PTZオートフレーミングの初期設定を行う](#)

TP1001752288

カラービデオカメラ
BRC-AM7

指定した位置に登場した人物を自動的に選択して追尾する（自動追尾開始モード）

指定した位置に登場した人物を自動的に追尾させることができます。

- 1 PTZ AFR設定画面で人物の追尾モードが自動追尾開始モード、および自動追尾に必要な設定が完了していることを確認する。

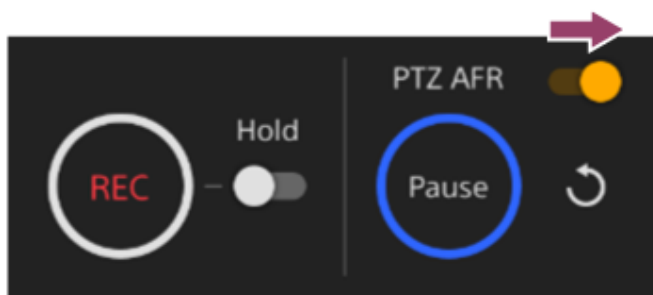
詳しくは、「PTZオートフレーミングの初期設定を行う」をご覧ください。

- 2 ライブ操作画面の [PTZ AFR] スイッチをオンにする。


[Pause] ボタンの周囲が青く点滅します。

ヒント


- 付属の赤外線リモコンのPTZ AUTO FRAMINGのONボタンおよびOFFボタンを押して、[PTZ AFR] スイッチをオン/オフすることもできます。



カメラ映像が自動的にスタートポジションへ移動します。人物が検知領域に登場すると、自動追尾が開始されます。自動追尾中、[Pause] ボタンが有効になり周囲が青く点灯します。

- 追尾していた人物を見失った場合は、 (Restart) ボタンを押すと、スタートポジションに戻り、追尾対象の検知からやり直すことができます。パン・チルト・ズームを手動操作して追尾対象を画角に収め、[Resume] ボタンで再開させることもできます。

ヒント

- 特に意図がない限り、オートフォーカスに設定することをお勧めします。ピントが合っていないと、追尾性能が低下します。
- オートフレーミング中に [Pause] ボタンを押すと、自動追尾によるパン・チルト・ズーム動作が一時停止し、ボタンが [Resume] ボタンに切り替わります。オートフレーミングを再開するには [Resume] ボタンを押してください。
- オートフレーミング中にジョイスティックやズームスライダーを操作したり、プリセットポジションを呼び出したときも、自動追尾によるパン・チルト・ズーム動作が一時停止し、ボタンが [Resume] ボタンに変化します。再開するには [Resume] ボタンを押してください。
- オートフレーミング中にAFR構図調節部で構図の調節をすることができます。詳しくは「自動追尾する人物を任意に指定する（手動追尾開始モード）」をご覧ください。
- 自動追尾開始モード中に追尾対象を手動で指定した場合、その人物の追尾を優先します。自動追尾開始モードに戻すには、 (Restart) ボタンを押してください。
- 手動で指定した人物を完全に見失った場合も、自動追尾開始モードに戻ります。

- PTZ AFR設定画面の各部の名称と働き
- 自動追尾する人物を任意に指定する（手動追尾開始モード）

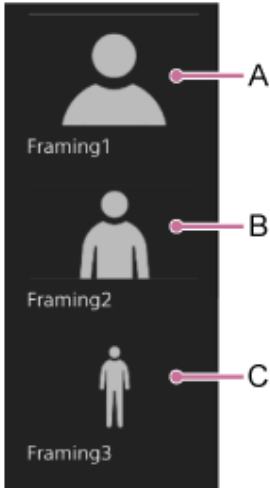
TP1001752289

5-065-326-01(1) Copyright 2024 Sony Corporation



カラービデオカメラ
BRC-AM7

PTZオートフレーミングの構図プリセットを呼び出す

PTZオートフレーミングを有効にすると、ライブ操作画面に構図プリセットが3個表示されます。AFR構図調節部を操作する代わりに構図プリセットを呼び出すことで、即座に構図を変更することができます。工場出荷時は、典型的な3構図がプリセットされています。



A : クローズアップサイズ
B : ウェストサイズ
C : 全身サイズ

- 1 ライブ操作画面の [PTZ AFR] スイッチをオンにする。**
ライブ操作画面の左側に、構図プリセット操作部が表示されます。
- 2 呼び出す構図プリセットを押す。**
画像の右上に  (Preset Framing Menu) ボタンが表示されます。
- 3  (Preset Framing Menu) ボタンを押して表示されるメニューから [Recall] を選ぶ。**
選択した構図プリセットがAFR構図調節部に呼び出されます。

ヒント

- 構図プリセットをダブルタップして呼び出すこともできます。

構図プリセットの名前を変更するには

構図プリセットの名前を変更することができます。詳しくは、「PTZオートフレーミングの構図プリセットの名前を変更する」をご覧ください。

構図プリセットを変更するには

構図プリセットを変更することができます。詳しくは、「PTZオートフレーミングの構図プリセットを別の新しい構図で置き替える」をご覧ください。

ヒント

- 構図プリセットは3個で固定です。追加や削除はできません。

関連項目



- [PTZオートフレーミングの構図プリセットの名前を変更する](#)
- [PTZオートフレーミングの構図プリセットを別の新しい構図で置き替える](#)

TP1001849958

5-065-326-01(1) Copyright 2024 Sony Corporation

カラービデオカメラ
BRC-AM7

PTZオートフレーミングの構図プリセットの名前を変更する

- 1 **ライブ操作画面の [PTZ AFR] スイッチをオンにする。**
ライブ操作画面の左側に、構図プリセット操作部が表示されます。
- 2 **名前を変更する構図プリセットを押す。**
画像の右上に  (Preset Framing Menu) ボタンが表示されます。
- 3 ** (Preset Framing Menu) ボタンを押して表示されるメニューから [Rename] を選ぶ。**
- 4 **新しい構図プリセット名を入力する。**

TP1001849959

カラービデオカメラ
BRC-AM7

PTZオートフレーミングの構図プリセットを別の新しい構図で置き替える

既存の構図プリセットを別の新しい構図に置き替えることができます。

1 ライブ操作画面の [PTZ AFR] スイッチをオンにする。

ライブ操作画面の左側に、構図プリセット操作部が表示されます。

2 AFR構図調節部で、人物の大きさや配置を調節する。

調節方法は、「自動追尾する人物を任意に指定する (手動追尾開始モード)」をご覧ください。

3 入れ替えてよい構図プリセットを選び、**⋮** (Preset Framing Menu) ボタンを押して表示されるメニューから [Replace] を選ぶ。

手順2で調節した構図が構図プリセットとして登録されます。
構図プリセットの表示が新しい構図に変わります。



変更例

ヒント

- PTZ AFR設定画面の [Framing] とAFR構図調節部は連動しています。工場出荷時の構図に戻す場合は、[Framing] で代表構図を設定して置き換えてください。

関連項目

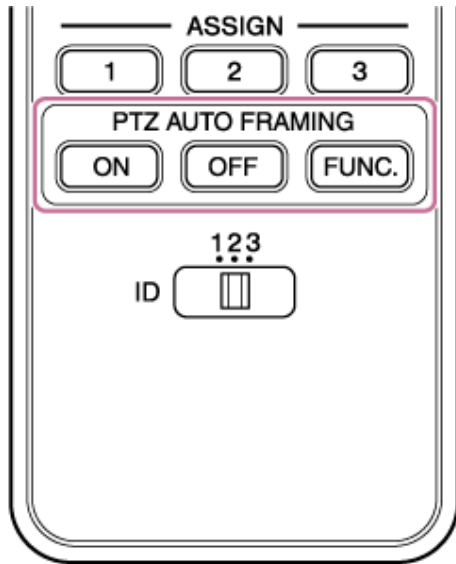
- [自動追尾する人物を任意に指定する \(手動追尾開始モード\)](#)

TP1001849960

カラービデオカメラ
BRC-AM7

付属の赤外線リモコンでPTZオートフレーミングを実行する

付属の赤外線リモコンでPTZオートフレーミングをオン/オフすることができます。



ONボタンを押すと、PTZオートフレーミングがオンになります。
OFFボタンを押すと、PTZオートフレーミングがオフになります。

ヒント

- 本機ではFUNC.ボタンは使用しません。

TP1001849961

カラービデオカメラ
BRC-AM7

離れたところからPTZオートフレーミングの状態を確認する

本機のタリーランプでPTZオートフレーミングの状態を確認することができます。

1 Webメニューの [Technical] メニュー > [Tally] - [Tally Control] を [PTZ AFR] に設定する。

PTZオートフレーミングの状態に応じてタリーランプが以下のように変化します。

タリーランプ表示	PTZオートフレーミング状態
消灯	PTZオートフレーミングはオフです。
青色で点灯	自動追尾を実行中です。
青色で点滅	PTZオートフレーミングはオンですが、オペレーターの対応が必要な状態です。ライブ操作画面のカメラ映像部に表示されるメッセージを確認して対応してください。

ヒント

- 自動追尾開始モードの場合、検知領域に人物が登場するまではタリーランプは青色で点滅します。

関連項目

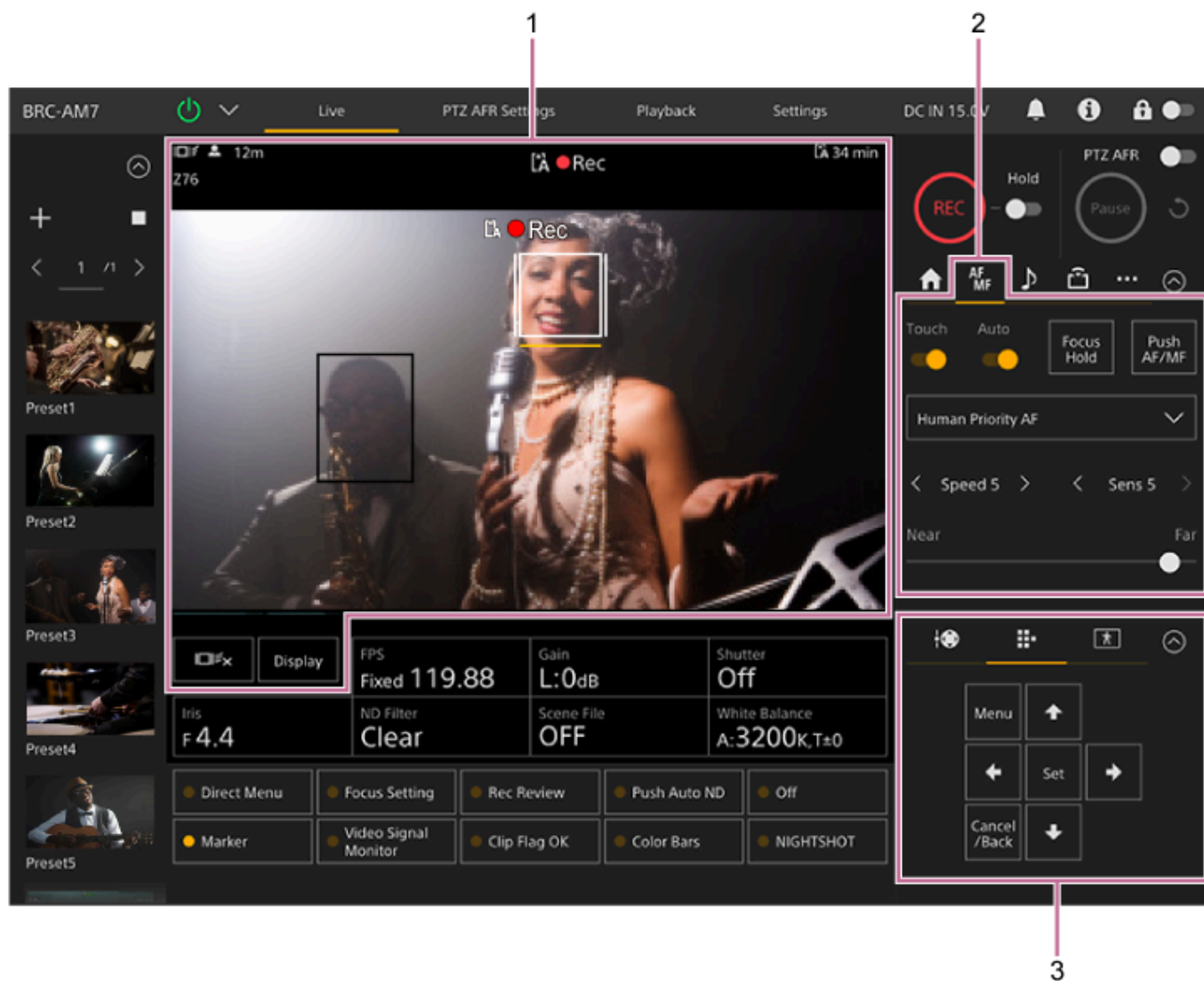
- [\[Tally\]](#)

TP1001752290


カラービデオカメラ
BRC-AM7

フォーカス調節操作を行う画面

フォーカス調節操作は、Web Appのライブ操作画面の以下の操作部で行います。



1. カメラ映像部

カメラ映像をタッチしてフォーカスの操作ができます。カメラ操作部の  (Focus) タブで [Touch Focus] スイッチをオフにすると、そのWeb Appでのタッチ操作を禁止できます。

2. カメラ操作部 - (Focus) タブ

3. GUI操作部

TP1001752291

カラービデオカメラ
BRC-AM7

Web Appでフォーカスを手動調節する

以下のようなときにフォーカスを手動調節にします。

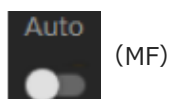
- 水滴の多い被写体
- 背景とコントラストの弱い被写体
- 意図的にフォーカスを手前の被写体から奥の被写体に送るとき

ご注意

- Zoom動作中に、Web Appからマニュアルフォーカスを操作することはできません。

1 カメラ操作部の [Auto Focus] スイッチを左に動かしてオートフォーカスをオフにする。

手動でフォーカス合わせができるようになります。



2 (Focus) タブ下部のスライダーで調節する。

ヒント

- 手動調節を基本オペレーションとして、オートフォーカスを補助的に効かせることもできます。詳細は「Web Appでオートフォーカスの対象を手動設定する (AFアシスト)」をご覧ください。

関連項目

- [Web Appでオートフォーカスの対象を手動設定する \(AFアシスト\)](#)

TP1001752292

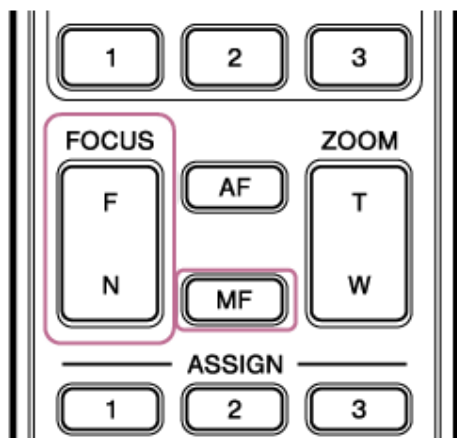
カラービデオカメラ
BRC-AM7

付属の赤外線リモコンでフォーカスを手動調節する

付属の赤外線リモコンでフォーカスを手動調節できます。

- 1 赤外線リモコンのMFボタンを押す。
- 2 F (遠 : Far) ボタンとN (近 : Near) ボタンを使ってフォーカスを手動調節する。

遠くの被写体にピントを合わせる場合は、Fボタンを押します。
近くの被写体にピントを合わせる場合は、Nボタンを押します。



ヒント

- 手動調節を基本オペレーションとして、オートフォーカスを補助的に効かせることもできます。詳細は「オートフォーカス中に付属の赤外線リモコンで手動フォーカスする」をご覧ください。

関連項目



- [オートフォーカス中に付属の赤外線リモコンで手動フォーカスする](#)

TP1001752293

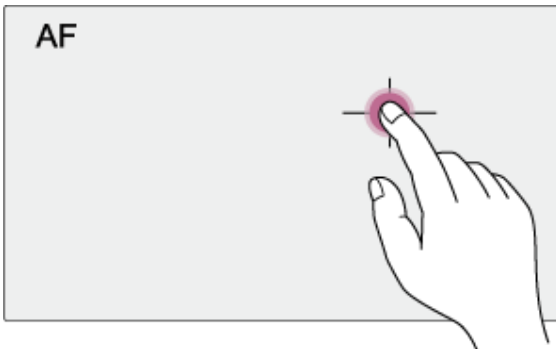
カラービデオカメラ
BRC-AM7

ピントを合わせる位置を指定してフォーカスを調節する (スポットフォーカス)

マニュアルフォーカス時にカメラ映像部でピントを合わせる位置を指定すると、フォーカスを合わせるすることができます。

- 1 Webメニューまたはカメラメニューの [Shooting] メニュー > [Focus] の [Touch Function in MF] を [Spot Focus] に設定する。
- 2  (Focus) タブの [Touch Focus] スイッチを右に動かしてオンにする。
- 3  (Focus) タブの [Auto Focus] スイッチを左に動かしてオフにする。
- 4 **ピントを合わせる位置を指定する。**

スポットフォーカスマークが表示され、その位置に映像にピントが合います。



指でタップして位置を指定する場合の例

ヒント

- スポットフォーカス中に [Push AF/MF] が割り当てられたアサインボタンを押すと、スポットフォーカスを終了し、そのボタンを押している間はオートフォーカスになります。ボタンから指を離すと、マニュアルフォーカスに戻ります。

TP1001752294

カラービデオカメラ
BRC-AM7

一時的に自動でフォーカスを合わせる（プッシュオートフォーカス（AF））

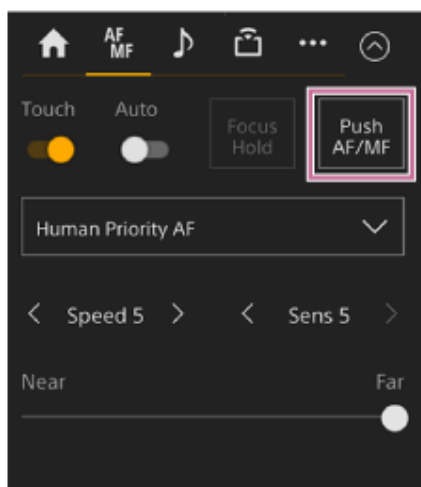
マニュアルフォーカス時に [Push AF/MF] ボタンを押すと、そのボタンを押している間は一時的に自動でフォーカスを合わせる（オートフォーカス）ことができます。

マニュアルフォーカス中に、ある被写体から別の被写体にゆっくりとフォーカス送りするような場合に有効です。

1  (Focus) タブの [Auto Focus] スイッチを左に動かしてオフにする。

2 [Push AF/MF] ボタンを押す。

ボタンを押している間はオートフォーカスになります。



ボタンから指を離すと、プッシュオートフォーカスが解除されマニュアルフォーカスに戻ります。

ヒント

- [Push AF/MF] が割り当てられたアサインボタンでも同様の動作が可能です。

TP1001752295

カラービデオカメラ
BRC-AM7

Web Appでフォーカスを自動調節する

本機は、高速性に優れる位相差AF方式と、高い精度でフォーカスを合わせることに優れるコントラストAF方式を採用しています。

これらの2つのAF方式を組み合わせることで、高速性・高精度を両立したオートフォーカスを実現しています。

1 カメラ操作部の [Auto Focus] スイッチを右に動かしてオンにする。

オートフォーカスが有効になります。



ご注意

- 撮影状況により精度が出ない場合があります。

ヒント

- オートフォーカス中でもカメラ操作部のFocusスライダーでフォーカスを動かすことができます。詳細は「Web Appでオートフォーカスの対象を手動設定する (AFアシスト)」をご覧ください。

関連項目

- [Web Appでオートフォーカスの対象を手動設定する \(AFアシスト\)](#)

TP1001752296

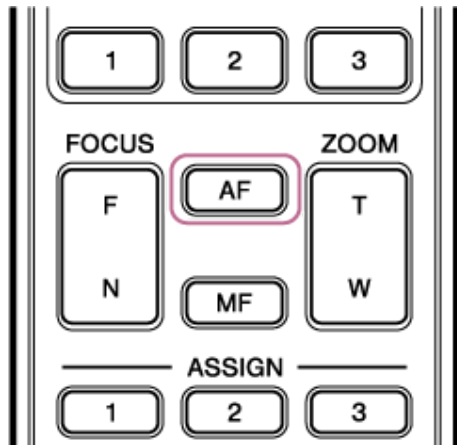
カラービデオカメラ
BRC-AM7

付属の赤外線リモコンでフォーカスを自動調節する

付属の赤外線リモコンでフォーカスを自動調節できます。

1 赤外線リモコンのAFボタンを押す。

自動的に被写体にフォーカスが合います。



ご注意

- オートフォーカスを基本オペレーションとして、手動調節を補助的に効かせることもできます。詳細は「オートフォーカス中に付属の赤外線リモコンで手動フォーカスする」をご覧ください。

関連項目

- [オートフォーカス中に付属の赤外線リモコンで手動フォーカスする](#)

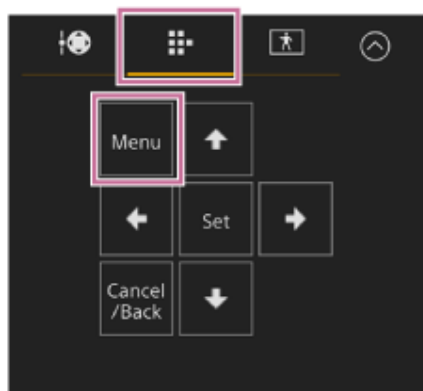
TP1001752297

カラービデオカメラ
BRC-AM7

オートフォーカスの対象領域/位置を設定する (フォーカスエリア)

オートフォーカスの対象とする領域を設定し、その領域にフォーカスを合わせることができます。

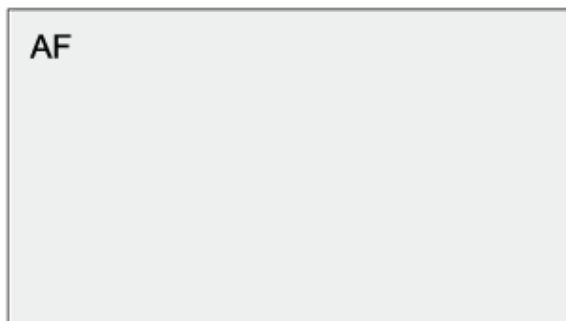
- 1 GUI操作部の [Menu] ボタンを押してカメラメニューを開く。



- 2 カメラメニューの [Shooting] メニュー > [Focus] の [Focus Area] でオートフォーカスの対象とする領域を設定する。

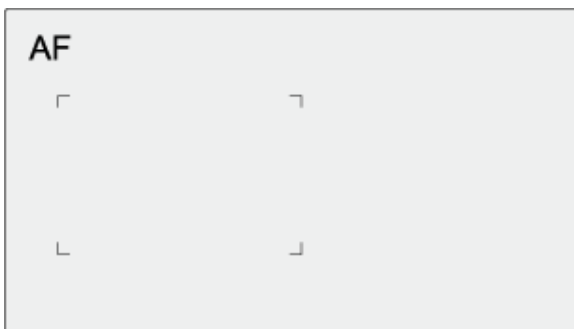
[Wide] :

映像全域からフォーカスを合わせる位置を探します。枠は表示されません。



[Zone] :

指定したゾーン内から自動でフォーカスを合わせる位置を探します。
選択後、GUI操作部の矢印ボタンで位置を指定してください。



[Set] ボタンを長押しすると、中央の位置に戻ります。

[Flexible Spot] :

映像の指定した位置にフォーカスを合わせます。
選択後、GUI操作部の矢印ボタンで位置を指定してください。

AF



[Set] ボタンを長押しすると、中央の位置に戻ります。

ご注意

- フォーカスエリア枠はカメラ映像部の [Display] ボタンでは非表示になりません。

ヒント

- カメラメニューの [Monitoring] メニュー > [Display On/Off] の [Focus Area Indicator] で、フォーカスエリア枠表示をOn/Offすることができます。

TP1001752298

カラービデオカメラ
BRC-AM7

フォーカスエリアを素早く変更する（フォーカスセット）

アサインボタンに [Focus Setting] を割り当てると、撮影中などにオートフォーカスの対象領域（フォーカスエリア）の位置や大きさを素早く変更することができます。

- アサインボタンについては「アサインボタン」をご覧ください。

フォーカスエリアの設定により動作が変わります。

カメラメニューの [Shooting] メニュー > [Focus] の [Focus Area] が [Flexible Spot] または [Zone] の場合

- [Focus Setting] を割り当てたアサインボタンを押すと、GUI操作部の矢印ボタンでフォーカスエリアの位置を変更できます。位置変更中に [Set] ボタンを押すと、フォーカスエリアの位置が中央に戻ります。
- [Focus Setting] を割り当てたアサインボタンを長押しするとフォーカスエリアの大きさを変更できます。大きさを変更後、[Set] ボタンを押すと、次にフォーカスエリアの位置を変更できるようになります。設定後、[Focus Setting] を割り当てたアサインボタンを押すと元の画面に戻ります。

カメラメニューの [Shooting] メニュー > [Focus] の [Focus Area] が [Wide] の場合

[Focus Setting] を割り当てたアサインボタンの長押しによるフォーカスエリアの大きさ変更のみ可能です。種別を [Flexible Spot] または [Zone] に変更すれば、続けて位置変更も可能です。

ヒント

- フォーカスエリアの位置変更が可能な場合は、フォーカスエリア枠がオレンジ色で表示されます。

関連項目

- [アサインボタン](#)

TP1001752299

カラービデオカメラ
BRC-AM7

フォーカスエリア枠をタッチ操作で移動する (タッチフォーカスエリア)

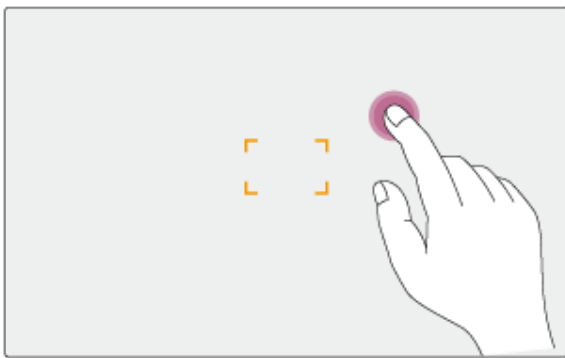
[Focus Setting] を割り当てたアサインボタンを押してフォーカスエリアの表示をオレンジにしたとき、カメラ映像部のタッチ操作でフォーカスエリア枠を移動できます。

タップした場所をフォーカスエリアの中心とし、フォーカスエリアの位置を移動します。ドラッグすると、フォーカスエリアの位置は指の動きに追従して移動します。

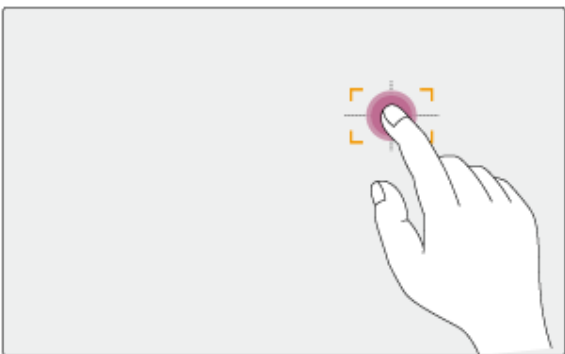
ヒント

- 撮像画面では [Focus Setting] を割り当てたアサインボタンの操作で、タッチフォーカスエリアの有効・無効を切り替えることができます。

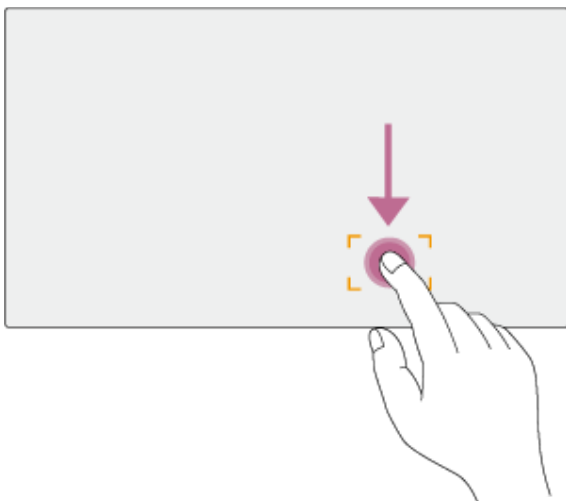
1 任意の位置をタップする。



タップした位置がフォーカスエリアの中心になります。



2 ドラッグで指先を追従し、フォーカスエリアの位置を移動する。



ご注意

- タップまたはドラッグした位置がフォーカスエリアの位置の設定範囲を超えた場合、フォーカスエリアの位置は設定範囲内の上下左右端に設定されます。
- 以下の場合、この機能は使えません。
 - カメラ操作部の [Touch Focus] スイッチがオフの場合
 - フォーカスエリア枠がグレーまたは非表示の場合

TP1001752300

5-065-326-01(1) Copyright 2024 Sony Corporation

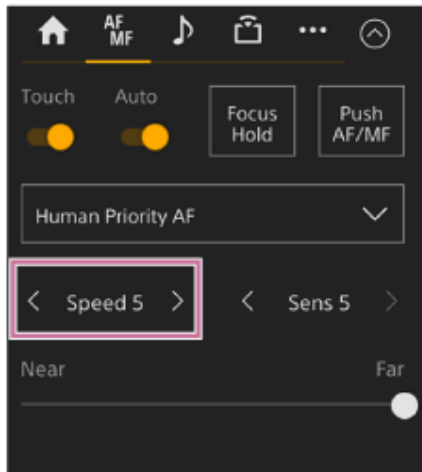
カラービデオカメラ
BRC-AM7

オートフォーカスの動作を調節する (AFトランジション速度/AF乗り移り感度)

トランジション速度および乗り移り感度を変更することにより、オートフォーカスの動作を調節することができます。

AFトランジション速度の設定

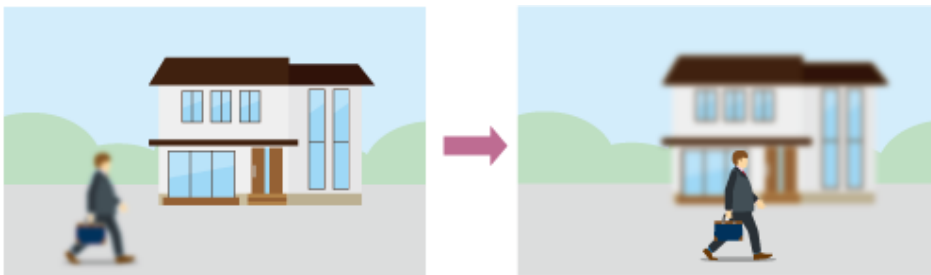
カメラ操作部の [AF Transition Speed] ボタンで、被写体に移り変わる際のフォーカス駆動の速さを設定することができます。



速度は [Speed 1] (最低速) ~ [Speed 7] (最高速) まで1刻みで選択できます。<ボタンを押すと値が小さく (低速) になり、>ボタンを押すと値が大きく (高速) になります。

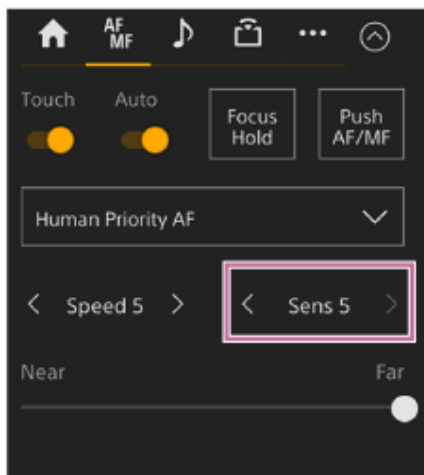
低速側に設定すると被写体の移り変わり時にゆっくりとフォーカス送りし、印象的な映像表現を可能にします。

高速側に設定すると被写体間のフォーカス送りが素早くなります。下図の例では、奥の建物から手前の歩く人物へのフォーカス合わせが素早く行われます。フレームに入った被写体にすぐにフォーカスが合うので、すばやいフォーカス合わせが要求されるドキュメンタリー撮影などに効果的です。



AF乗り移り感度

カメラ操作部の [AF Subj. Shift Sens.] ボタンで、被写体の乗り移り感度を設定することができます。



感度は [Sens 1]（粘る）～ [Sens 5]（敏感）まで1刻みで選択できます。<ボタンを押すと値が小さく（粘る）になり、>ボタンを押すと値が大きく（敏感）になります。

粘る側に設定するとフォーカスの合っている被写体の前に別の被写体が来てもフォーカスが移りにくくなります。



敏感側に設定すると手前に来た被写体を優先してフォーカスが移りやすくなります。



ヒント

- [AF Speed/Sens.] を割り当てたアサインボタンを押すたびに、カメラ映像部に調整用のレベルバーが以下の順で表示され、AFトランジション速度とAF乗り移り感度の設定を変更できます。
AFトランジション速度→AF乗り移り感度→非表示・・・

TP1001752301

カラービデオカメラ
BRC-AM7

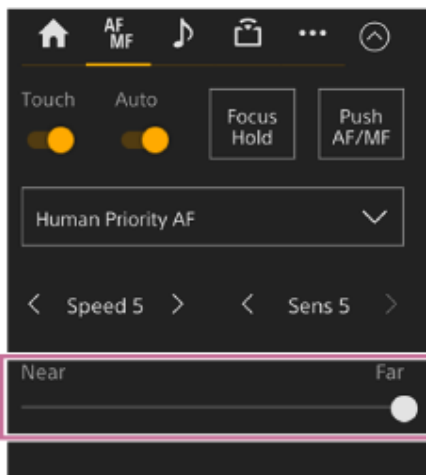
Web Appでオートフォーカスの対象を手動設定する (AFアシスト)

フォーカスの乗り移りを手動で調節したあと、微調整をオートフォーカスへ引き継ぐことができます。

- 1 カメラメニューの [Shooting] メニュー→ [Focus] の [AF Assist] を [On] に設定する。
- 2 Webメニューの [Shooting] メニュー→ [Focus] の [AF Assist Control] を [On] に設定する。
- 3 カメラ操作部の [Auto Focus] スイッチを右に動かしてOnにする。
オートフォーカスが有効になります。
- 4 カメラ操作部の [Focus] スライダーでフォーカス対象を設定する。

[Near] : 近くの被写体にフォーカスを合わせます。

[Far] : 遠くの被写体にフォーカスを合わせます。



AFアシスト状態になり、[Focus] スライダーで設定した距離にある被写体にオートフォーカスします。

ご注意

- AFアシスト状態では、カメラメニューの [Shooting] メニュー → [Focus] の [AF Subj. Shift Sens.] の設定にかかわらず、フォーカスが乗り移りにくくなります。
- 以下の場合、AFアシスト状態は解除されます。
 - [Focus] スライダーの設定で合わせた被写体を見失ったとき
 - マニュアルフォーカスにしたとき
 - リアルタイムトラッキングAFを開始したとき

ヒント

- [Push AF/MF] が割り当てられたアサインボタンを使うと、AFアシスト状態を素早く解除できます。
- [Focus] スライダーを操作すると、リアルタイムトラッキングAFは終了します。
- 人物限定AFの場合、[Focus] スライダーを操作すると一番近い顔にオートフォーカスします。

カラービデオカメラ
BRC-AM7

オートフォーカス中に付属の赤外線リモコンで手動フォーカスする

カメラメニューの [Shooting] メニュー > [Focus] の [AF Assist] を [On] に設定すると、オートフォーカス中でも付属の赤外線リモコンのF (遠 : Far) ボタンとN (近 : Near) ボタンを使って任意の被写体にフォーカスを合わせることができます。

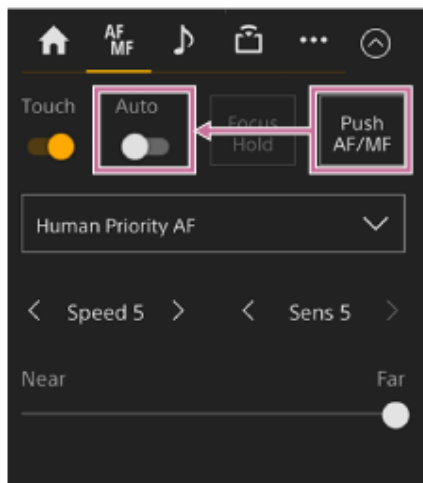
TP1001752303

カラービデオカメラ
BRC-AM7

オートフォーカス中に一時的に手動でフォーカスを合わせる (プッシュマニュアルフォーカス)

オートフォーカス中に、[Push AF/MF] ボタンを押すと、そのボタンを押している間はマニュアルフォーカスになります。ボタンから指を離すと、オートフォーカスに戻ります。

被写体の手前を撮影対象でないものが横切るときなどに、一時的にオートフォーカスを止めて手動でフォーカスを合わせることができます。



ヒント

- [Push AF/MF] が割り当てられたアサインボタンでも同様の動作が可能です。

TP1001752304

カラービデオカメラ
BRC-AM7

人物を検出してAF追尾する

人物を追尾対象として検出し、フォーカスエリア内にある顔や瞳、頭、体にフォーカスを合わせ続けることができます。フォーカスモードがオートフォーカスモードまたはプッシュオートフォーカス中のみ使用できます。

人物を検出すると灰色の被写体認識枠が表示されます。オートフォーカスの対象と判断されると、枠が白色になり、追尾が開始されます。

よりピンポイントな認識部位（瞳など）が認識された場合は、その部位が自動的に優先されて認識枠が表示されます。

複数の人物を検出したときは、主な被写体は自動的に決定します。

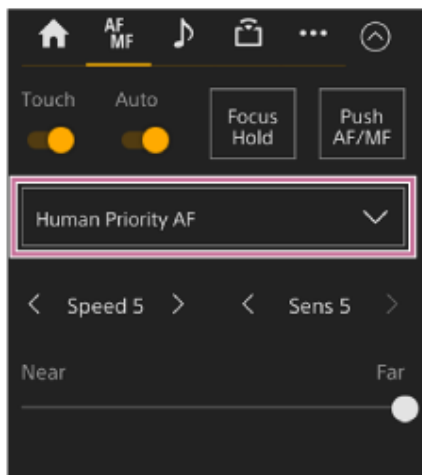
フォーカスモードがAFモードまたはプッシュオートフォーカス中のみ使用できる機能です。

ヒント

- フォーカスエリアが [Zone] または [Flexible Spot] に設定されているときは、設定したフォーカスエリアの範囲に人物が重なっているときに、認識した被写体の部位（顔や瞳/頭/体）に認識枠が表示されます。

カメラ操作部の [Subject Recognition AF] ボタンで設定する

[Subject Recognition AF] ボタンを押して、被写体認識AFの動作を設定します。



[Human Only AF] : カメラが被写体（人物）を検出したとき、人の顔/瞳/頭/体にフォーカスを合わせて追尾します。顔/瞳/頭/体を検出しない間は、AFが一時停止し、人物限定AF中の （オートフォーカス一時停止アイコン）が表示されます。人物だけにフォーカスを合わせて追尾したいときに有効なモードです。

[Human Priority AF] : カメラが被写体（人物）の顔/瞳/頭/体を検出したとき、人の顔/瞳/頭/体に優先的にフォーカスを合わせて追尾します。顔/瞳/頭/体を検出しないときは、AFモードになります（初期設定）。

[AF] : 被写体認識AF機能を無効にします。

ご注意

- [Human Only AF] に設定しているときでも、プッシュオートフォーカス実行中は、[Human Priority AF] になります。
- [Auto Focus] スイッチがオフのときは、被写体認識AFできません（プッシュオートフォーカス実行中、およびリアルタイムトラッキングAF実行中を除く）。
- [Human Only AF] に設定した状態で本機の電源を切った場合、次に電源を入れると自動的に [Human Priority AF] になります。

ヒント

- カメラメニューの [Shooting] メニュー-> [Focus] の [Subject Recognition AF] で被写体認識AFの動作を設定することもできます。

被写体認識枠を消すには

被写体認識枠の表示/非表示は、カメラメニューの [Monitoring] メニュー > [Display On/Off] の [Subject Recognition Frame] で設定できます。

アサインボタンで被写体認識AFの動作を切り替えるには

アサインボタンに [Subject Recognition AF] を割り当てると、そのボタンを押すたびに、被写体認識AFの動作が [Human Priority AF]、[Human Only AF]、[AF] の順に切り替わります。

ダイレクトメニューで設定する

被写体認識AFの動作は、ダイレクトメニューでも切り替えることができます。

- [ダイレクトメニューについては「ダイレクトメニュー操作」をご覧ください。](#)

関連項目

- [ダイレクトメニュー操作](#)

TP1001752305

カラービデオカメラ
BRC-AM7

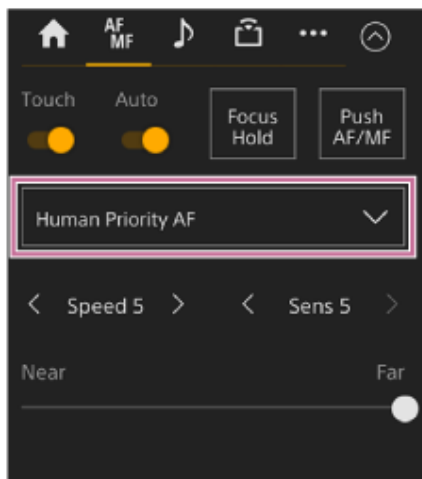
被写体を指定してAF追尾する (リアルタイムトラッキングAF)


カメラ映像部のタッチ操作や被写体認識枠の選択操作で指定した被写体にフォーカスを合わせ続けることができます。被写体を選ぶと白色の追尾枠が表示され、追尾が開始されます。

ヒント

- フォーカスエリアの設定に関わらず、映像領域全体で追尾します。
- Webメニューまたはカメラメニューの [Shooting] メニュー > [Focus] の [Touch Function in MF] を [Tracking AF] に設定すると、フォーカスモードがMFモードの場合でもリアルタイムトラッキングAFが可能です。

被写体認識AFの動作モードの設定によって、追尾対象に対して次のように動作します。



[Human Only AF] または [Human Priority AF] : 指定した被写体にフォーカスを合わせ追尾します。追尾対象が人物で、顔/瞳/頭/体を検出した場合は、顔/瞳/頭/体にフォーカスを合わせます。追尾対象の顔/瞳/頭/体を検出した場合、追尾対象の顔を保存します。保存が完了すると  (保存された追尾顔ありアイコン) が表示されます。

ご注意


- マニュアルフォーカス中にトラッキングAFを開始した場合は、追尾対象の顔は保存しません。

[AF] : 指定した被写体にフォーカスを合わせ追尾します。追尾対象が人物であっても、顔/瞳/頭/体の検出は行いません。

リアルタイムトラッキングAFを開始する

特定の被写体を追尾対象に指定すると、その被写体に対して追尾が開始されます。

タッチ操作で指定する

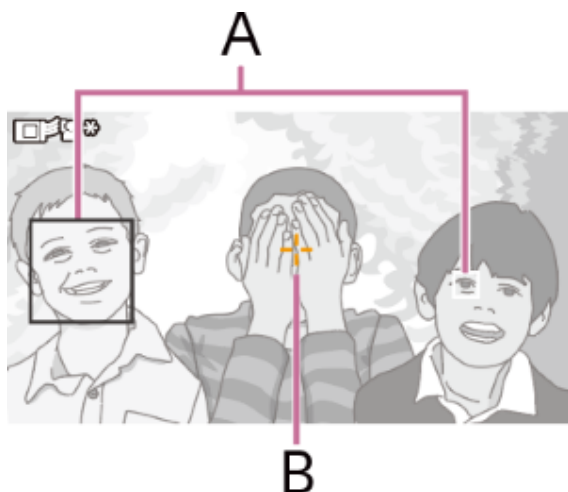
カメラ操作部の  (Focus) タブの [Touch Focus] スイッチを右に動かしてOnにすると、次のいずれかの状態のときに、追尾対象とする被写体をタップして指定することができます。

- マニュアルフォーカス中、またはプッシュマニュアルフォーカス中で、Webメニューまたはカメラメニューの [Shooting] メニュー > [Focus] の [Touch Function in MF] が [Tracking AF] のとき
- オートフォーカス中、またはプッシュオートフォーカス (AF) 中のとき

GUI操作部の矢印ボタンで指定する

カメラメニューの [Shooting] - [Focus] - [Multi Selector Function] を [Pointer] に設定すると、タッチ操作の代わりにGUI操作部の矢印ボタンで画面上の被写体を自由に選ぶことができます。

矢印ボタンで被写体にトラッキングAFポインターを追尾対象にする被写体に移動して、GUI操作部の [Set] ボタンを押します。



A : 瞳顔枠

B : トラッキングAFポインター

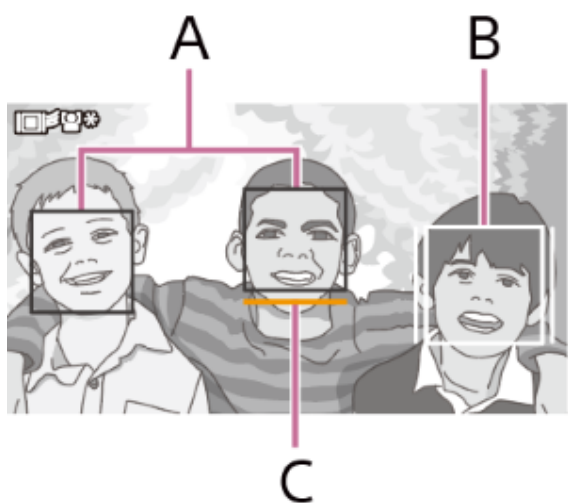
画面操作がロックされている状態でも、被写体を選択することができます。

トラッキングAFポインターは、ポインターの色や縁取りを変えることで見やすくしたり、撮影を邪魔しすぎないようにすることができます。

被写体認識枠の選択操作で指定する

カメラメニューの [Shooting] - [Focus] - [Multi Selector Function] を [Subject Sel. Cursor] に設定すると、被写体認識枠をGUI操作部の矢印ボタンで選ぶことができます。

矢印ボタンで被写体選択カーソル（オレンジ色の下線）を追尾対象にする被写体に移動して、GUI操作部の [Set] ボタンを押します。



A : 他の顔検出枠（灰色）

B : 追尾枠

C : 顔選択カーソル（オレンジ）

ヒント

- リアルタイムトラッキングAF中に追尾対象を変更することもできます。

ご注意

- マニュアルフォーカス中は、被写体認識枠の選択操作でトラッキングを開始できません。

リアルタイムトラッキングAFを終了する

 (リアルタイムトラッキングAF終了) ボタンを押します。



ヒント

- 以下の場合もリアルタイムトラッキングAFが終了します。
 - [Auto Focus] スイッチでオン/オフを切り替えたとき
 - フォーカスモードを変更したとき
 - AFアシストを実行したとき
 - フォーカスエリアの設定や顔/瞳検出AFの動作を変更したとき
 - [Push AF/MF] を割り当てたアサインボタンを押したとき
 - 撮影画面内から追尾対象がなくなり、フォーカスがどこにも合っていない状態が数秒経過したとき
- 追尾顔が保存されている👤（保存された追尾顔ありアイコン）が表示されているときは、撮影映像領域内に保存された追尾顔が入ると再びリアルタイムトラッキングAFが開始されます。追尾顔を削除するには上記のリアルタイムトラッキングAF終了の操作を行ってください。

TP1001752306

カラービデオカメラ
BRC-AM7

明るさの調節操作を行う画面

Web Appライブ操作画面の以下の操作部を使用して、アイリス、ゲイン、シャッタースピードを調節したり、NDフィルターを使って光量を調節したりして、明るさを調節できます。明るさを自動調節することもできます。



1. カメラ操作部 – 🏠 (Main) タブ

2. カメラ基本設定部

撮影のために必要な基本的な機能の設定状態がボタンで表示されます。ボタンを押すと、その機能の設定画面が「3. カメラ基本設定調節パネル」に表示されます。

3. カメラ基本設定調節パネル

カメラ基本設定部で選択した設定項目の調節パネルが表示されます。

TP1001752307

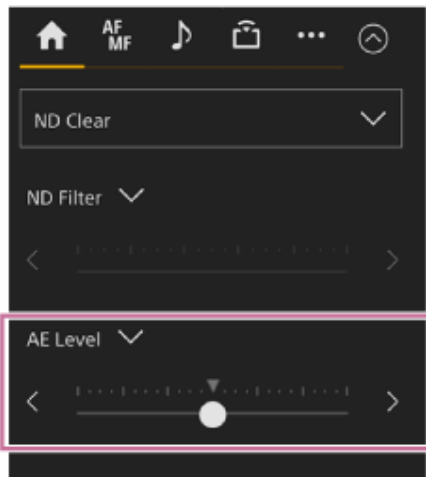
カラービデオカメラ
BRC-AM7

明るさを自動調節するときの目標レベルを設定する

明るさを自動調節するときの目標レベルは、カメラ操作部の [AE Level] スライダーで設定できます。

1 カメラ操作部の (Main) タブを押す。

[AE Level] スライダーが表示されていない場合は、2つあるスライダー機能選択ボタンのどちらかを押し、リストから [AE Level] スライダーを選択してください。



[AE Level] スライダーが表示されます。

2 スライダーで目標レベルを設定する。

スライダーのつまみを左方向に移動すると、カメラ映像が暗くなります。右方向につまみを移動すると、カメラ映像が明るくなります。

ヒント

- カメラメニューの [Shooting] メニュー > [Auto Exposure] の [Level] で設定することもできます。

TP1001752308

カラービデオカメラ
BRC-AM7

アイリスを自動調節する

被写体に応じて明るさを自動で調節します。

1 カメラ基本設定部の [Iris] ボタンを押す。

[Iris] ボタンの枠がオレンジ色に変わります。



Iris調節パネルが表示されます。

2 [Auto] スイッチを右に動かしてオンにする。



アイリスが自動調節モードになります。自動調節されたアイリス値がスイッチの右に表示されます。

ヒント

- アサインナブルボタンに [Auto Iris] を割り当てることもできます。

TP1001752309

カラービデオカメラ
BRC-AM7

アイリスを手動調節する

明るさを手動で調節します。

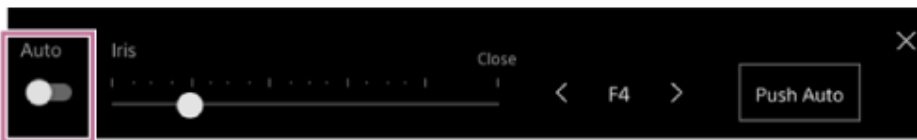
1 カメラ基本設定部の [Iris] ボタンを押す。

[Iris] ボタンの枠がオレンジ色に変わります。



Iris調節パネルが表示されます。

2 [Auto] スイッチを左に動かしてオフにする。




アイリスが手動調節モードになります。

3 [Iris] スライダーまたは [Iris] 調節ボタンでアイリスを調節する。



ヒント

- スライダーと調節ボタンは連動しています。
- カメラ操作部の  (Main) タブにあるスライダーにアイリスを割り当てることもできます。

アイリスを一時的に自動調節するには

Iris調節パネルの [Push Auto] ボタンを押している間も、アイリスを自動調節できます。



ヒント

- [Push Auto Iris] を割り当てたアサインボタンを押している間、アイリスを自動調節できます。指を離すと手動アイリスに戻ります。

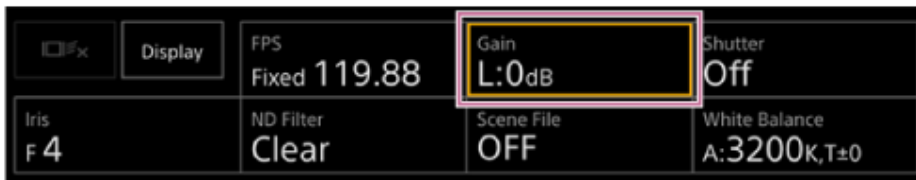
カラービデオカメラ
BRC-AM7

ゲインを自動調節する

ゲインの設定で明るさを自動調節できます。

1 カメラ基本設定部の [ISO/Gain] ボタンを押す。

[ISO/Gain] ボタンの枠がオレンジ色に変わります。



ISO/Gain調節パネルが表示されます。

2 [AGC] スイッチを右に動かしてオンにする。



ゲインが自動調節モードになります。自動調節されたゲイン値がスイッチの右に表示されます。

ヒント

- カメラメニューの [Shooting] メニュー > [Auto Exposure] の [AGC] を [On] にしても同様の調節が可能です。
- アサインボタンに [AGC] を割り当てることもできます。

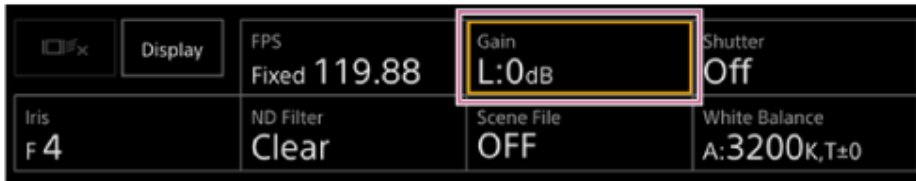
カラービデオカメラ
BRC-AM7

ゲインを手動調節する

ゲインの設定で明るさを手動調節できます。
アイリスを固定したまま露出調節したいときや、AGCによるゲインアップを行いたくないときなどに使用します。

1 カメラ基本設定部の [ISO/Gain] ボタンを押す。

[ISO/Gain] ボタンの枠がオレンジ色に変わります。



ISO/Gain調節パネルが表示されます。

2 [AGC] スイッチを左に動かしてオフにする。



ゲインが手動調節モードになります。

3 [ISO/Gain] スライダーまたは [ISO/Gain] 調節ボタンでゲインを調節する。



ヒント

- スライダーと調節ボタンの設定は連動しています。

ゲインを一時的に手動調節するには

カメラ操作部の (Main) タブにあるスライダー機能選択ボタンに [ISO/Gain] を割り当てて、スライダーで一時的にゲインを調節することができます。

被写界深度を変えずにもう一步露出を追い込みたいときに便利です。

調節した結果は、以下の操作を行うと [ISO/Gain<L>] で設定されたプリセット値に戻ります。

- ISO/Gainの調節項目を変更する
- AGCスイッチをオンにする
- 本機の電源をスタンバイにする

アサインボタンでゲインを一時的に自動調節するには

[Push AGC] を割り当てたアサインボタンを押している間、ゲインを自動調節できます。

指を離すと手動ゲインに戻ります。

調節した結果は、以下の操作を行うと [ISO/Gain<L>] で設定されたプリセット値に戻ります。

- ISO/Gainの調節項目を変更する
- AGCスイッチをオンにする
- 本機の電源をスタンバイにする

TP1001752312

5-065-326-01(1) Copyright 2024 Sony Corporation

カラービデオカメラ
BRC-AM7

シャッターを自動調節する

映像の明るさに応じてシャッターを自動調節できます。

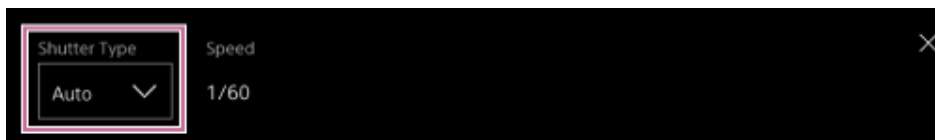
1 カメラ基本設定部の [Shutter] ボタンを押す。

[Shutter] ボタンの枠がオレンジ色に変わります。



Shutter調節パネルが表示されます。

2 [Shutter Type] ボタンを押して、リストから [Auto] を選択する。



ヒント

- カメラメニューの [Shooting] メニュー > [Auto Exposure] の [Auto Shutter] を [On] にしても同様の調節が可能です。
- アサインボタンに [Auto Shutter] を割り当てることもできます。

TP1001752313

カラービデオカメラ
BRC-AM7

シャッターを手動調節する

シャッターを手動調節できます。

1 カメラ基本設定部の [Shutter] ボタンを押す。

[Shutter] ボタンの枠がオレンジ色に変わります。



Shutter調節パネルが表示されます。

2 [Shutter Type] ボタンを押して、リストから [Speed] を選択する。



3 [Speed] スライダーまたは [Speed] 調節ボタンでシャッターを調節する。



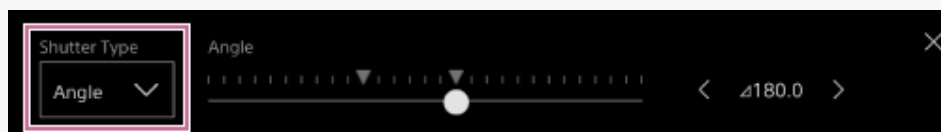
露光時間をフレーム周期に合わせる場合は、手順2で [Off] を選択します。[ECS] (周波数) で細かく設定したり、[Auto] で自動調節させることもできます。

例：[ECS] (周波数) で設定



ヒント

- スライダーと調節ボタンの設定は連動しています。
- [Speed] や [Off] の代わりに [Angle] を使用する場合は、カメラメニューの [Shooting] メニュー > [Shutter] の [Mode] を [Angle] に切り替えます。



カラービデオカメラ
BRC-AM7

NDフィルターについて

撮影状況が明るすぎる場合は、NDフィルターを変更して適切な明るさにすることができます。
明るい被写体を撮影するとき、アイリスを極端に絞ると回折現象が生じフォーカスが甘くなることがあります（カメラでは一般的に起こる現象です）。NDフィルターを使うことでこの現象を抑え、より良好な撮影結果を得ることができます。
本機は以下のNDフィルターモードを備えています。

プリセットモード

- 「プリセットモードで調節する」をご覧ください。

バリエブルモード（自動調節）

- 「バリエブルモードで自動調節する」をご覧ください。

バリエブルモード（手動調節）

- 「バリエブルモードで手動調節する」をご覧ください。

関連項目

- [プリセットモードで調節する](#)
- [バリエブルモードで自動調節する](#)
- [バリエブルモードで手動調節する](#)

TP1001752315

カラービデオカメラ
BRC-AM7

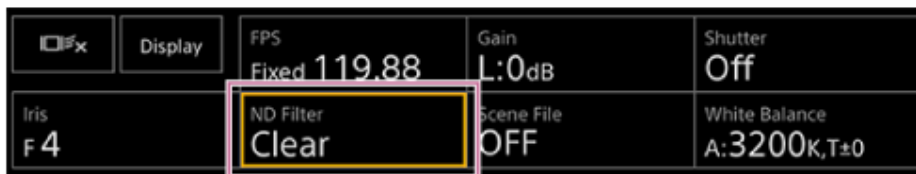
プリセットモードで調節する

あらかじめNDフィルターの透過率を3つ選択しておき、撮影時に素早く切り替えて使用することができます。

① カメラメニューの [Shooting] メニュー > [ND Filter] の [Mode] を [Preset] に設定する。

② カメラ基本設定部の [ND Filter] ボタンを押す。

[ND Filter] ボタンの枠がオレンジ色に変わります。



ND Filter調節パネルが表示されます。

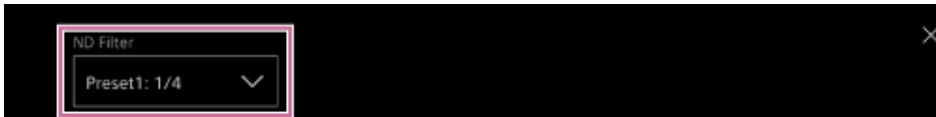
③ [ND Filter] ボタンを押して、リストから次のいずれかを選択する。

[Clear] : NDフィルターなし

[Preset1] : カメラメニューの [Shooting] メニュー > [ND Filter] の [Preset1] で設定した透過率にします。

[Preset2] : カメラメニューの [Shooting] メニュー > [ND Filter] の [Preset2] で設定した透過率にします。

[Preset3] : カメラメニューの [Shooting] メニュー > [ND Filter] の [Preset3] で設定した透過率にします。



NDフィルターに [Preset1] ~ [Preset3] のいずれかを選択した場合、NDフィルター名の横に透過率が表示されます。

ヒント

- [ND Filter Position] を割り当てたアサインボタンを押すと、[Clear] → [Preset1] → [Preset2] → [Preset3] → [Clear] … の順に切り替わります。

TP1001752316

カラービデオカメラ
BRC-AM7

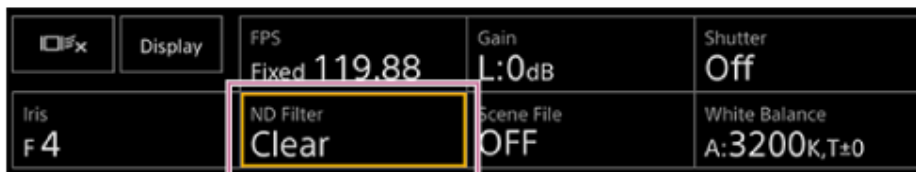
バリエブルモードで自動調節する

NDフィルターを使った自動露出調節を行うことができます。

① カメラメニューの [Shooting] メニュー > [ND Filter] の [Mode] を [Variable] に設定する。

② カメラ基本設定部の [ND Filter] ボタンを押す。

[ND Filter] ボタンの枠がオレンジ色に変わります。



ND Filter調節パネルが表示されます。

③ [ND Filter] ボタンを押して、リストから [Auto] を選択する。



[ND Filter] ボタンの横に自動調節されたNDフィルターの透過率が表示されます。

ご注意

- 撮影中に [Clear] 設定をまたいでNDフィルターを切り替えると、画像内にNDフィルターの枠が入り、動作音がします。

ヒント

- [Auto ND Filter] を割り当てたアサインボタンを押して [Auto] と [Manual] を切り替えることもできます。

TP1001752317

カラービデオカメラ
BRC-AM7

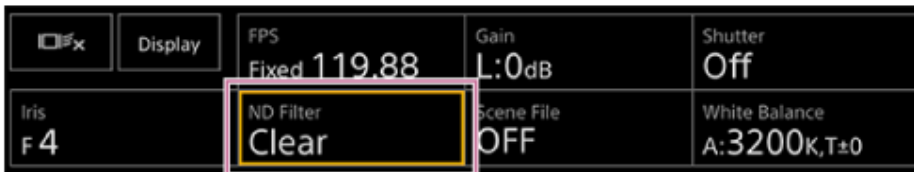
バリエブルモードで手動調節する

NDフィルターを使った手動露出調節を行うことができます。

① カメラメニューの [Shooting] メニュー > [ND Filter] の [Mode] を [Variable] に設定する。

② カメラ基本設定部の [ND Filter] ボタンを押す。

[ND Filter] ボタンの枠がオレンジ色に変わります。



ND Filter調節パネルが表示されます。

③ [ND Filter] ボタンを押して、リストから [Manual] を選択する。



④ [ND Filter] スライダーまたは [ND Filter] 調節ボタンでNDフィルターの透過率を調節する。



ヒント

- スライダーと調節ボタンは連動しています。
- カメラ操作部の (Main) タブでもNDフィルターを調節することができます。

一時的に自動調節するには

[Push Auto ND] を割り当てたアサインボタンを押している間、オートNDフィルターがオンになります。指を離すとオートNDフィルターがオフに戻ります。

NDフィルターは [Manual] に設定してください。

ご注意

- 撮影中に [Clear] 設定をまたいでNDフィルターを切り替えると、画像内にNDフィルターの枠が入り、動作音がします。

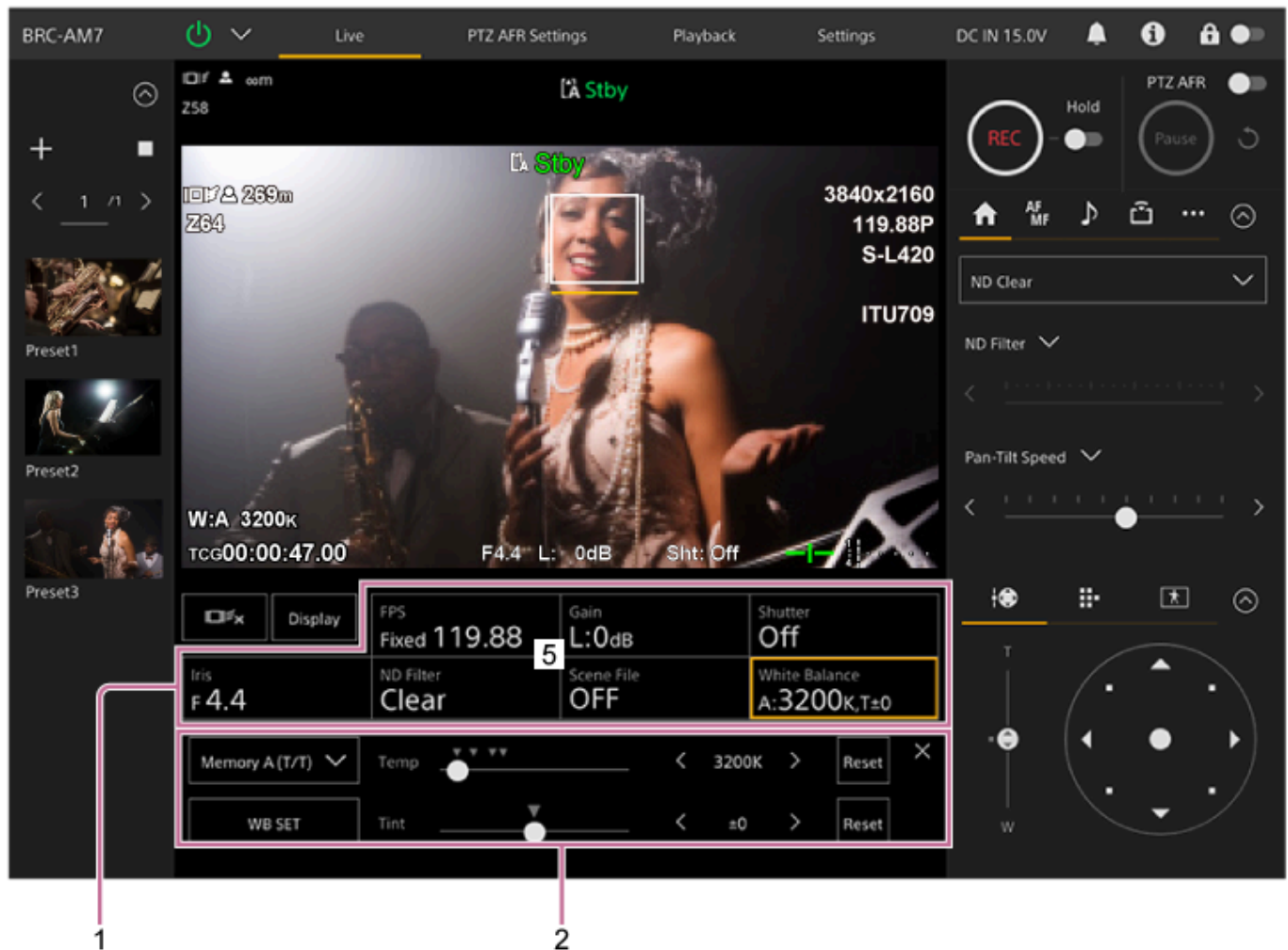
ヒント

- [ND Filter Position] を割り当てたアサインボタンを押して [Manual] と [Clear] を切り替えることもできます。
- ND Filter調節パネルの [Push Auto] ボタンを押している間も、オートNDフィルターがオンになります。

カラービデオカメラ
BRC-AM7

ホワイトバランスの調節操作を行う画面

Web Appのライブ操作画面を使用してホワイトバランスを調節し、映像をより自然な色合いにすることができます。



1. カメラ基本設定部

2. カメラ基本設定調節パネル

カメラ基本設定部で選択した設定項目の調節パネルが表示されます。

TP1001752319

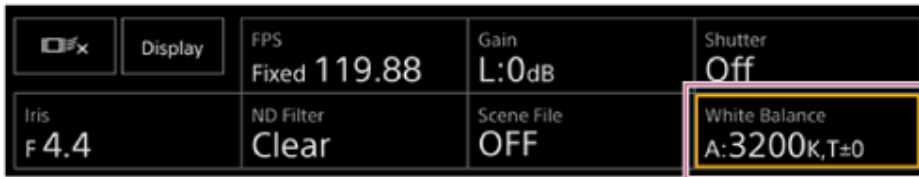
カラービデオカメラ
BRC-AM7

ホワイトバランスを自動調節する

ATW (自動追尾ホワイトバランス) 機能でホワイトバランスを常に適切に調節することができます。ATWを有効にすると、ホワイトバランスは光源の色温度の変化に伴い、自動的に調節されます。

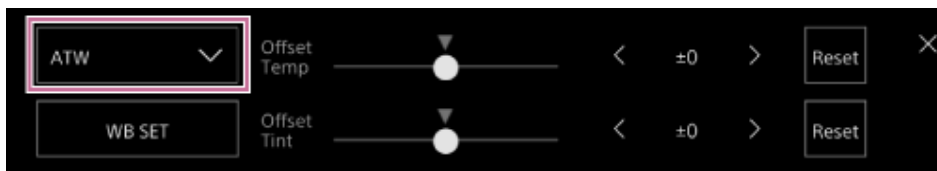
1 カメラ基本設定部の [White Balance] ボタンを押す。

[White Balance] ボタンの枠がオレンジ色に変わります。



White Balance調節パネルが表示されます。

2 [White Mode] ボタンを押して、リストから [ATW] を選択する。



ご注意

- 照明や被写体の条件によっては、ATWを使用しても適切な色に調整できないことがあります。
例：
 - 空、海、地面、草花など単一色の被写体が大部分を占める場合
 - 色温度が非常に高い/非常に低い光源下の被写体
- ATWの自動追従の時間が遅い場合や、適切な効果が得られない場合は、[WB SET] ボタンを押してオートホワイトバランスを実行してください。

ヒント

- カメラメニューの [Shooting] メニュー > [White Setting] の [ATW Speed] で、ATWモード時の反応速度を5段階 (1、2、3、4、5) から選択することができます。数字が小さいほど反応速度が速くなります。
- アサインボタンに [ATW Hold] 機能を割り当てておくと、そのボタンを押すことによって、ATWモード中でも一時的にATWを停止させ、ホワイトバランスを固定することができます。

TP1001752320

カラービデオカメラ
BRC-AM7

ホワイトバランスを手動調節する

ホワイトバランスを手動で調節できます。

1 カメラ基本設定部の [White Balance] ボタンを押す。

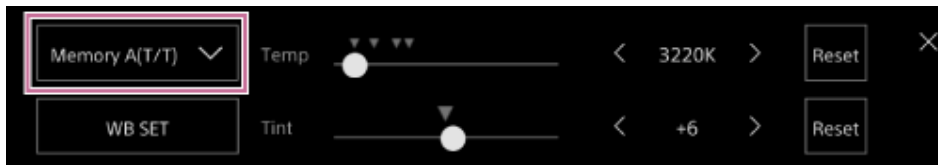
[White Balance] ボタンの枠がオレンジ色に変わります。



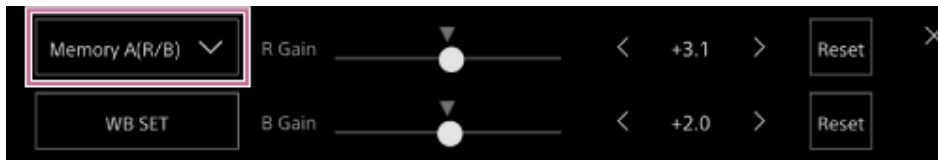
White Balance調節パネルが表示されます。

2 [White Mode] ボタンを押して、リストから以下のいずれかを選択する。

[Memory A (T/T)]



[Memory A (R/B)]



[Preset]



3 各スライダーまたは調節ボタンでホワイトバランスを調節する。

ヒント

- スライダーと調節ボタンは連動しています。
- [Memory A (T/T)] と [Memory A (R/B)] の違いは調節する軸の違いで、調節結果は連動しています。

[Memory A (T/T)] の場合

メモリーAに保存されたホワイトバランスを色温度 (Temp) とTintで調節します。色温度は2000 K～5600 Kは20 K単位で設定します。5600 Kより上の値は、5580 Kから5600 Kの色変化量 (ミレッド) が等しくなる間隔で設定できます。

[Temp] や [Tint] の右にある [Reset] ボタンを押すと、それぞれの設定値が初期値に戻ります。

[Memory A (R/B)] の場合

メモリーAに保存されたホワイトバランスを [R Gain] と [B Gain] で調節します。

[Reset] ボタンを押すと、該当するゲインの設定値が初期値に戻ります。

[Preset] の場合

色温度をプリセット値に調節するモードです。

値は100 K単位で設定します。

プリセットモードでは、[Preset White Select] が割り当てられたアサインボタンを押して、既定のプリセット値に直接変更することができます。

[Custom] : 3200 K→4300 K→5600 K→6300 K→3200 K . . .

[Flexible ISO] : 3200 K→4300 K→5500 K→3200 K . . .

TP1001752321

5-065-326-01(1) Copyright 2024 Sony Corporation

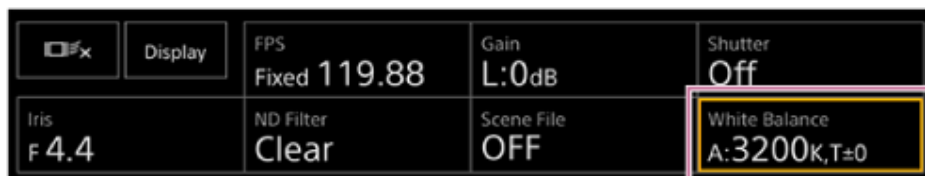
カラービデオカメラ
BRC-AM7

オートホワイトバランスを実行する

メモリーAモードで保存するホワイトバランスを自動で調節します。

1 カメラ基本設定部の [White Balance] ボタンを押す。

[White Balance] ボタンの枠がオレンジ色に変わります。



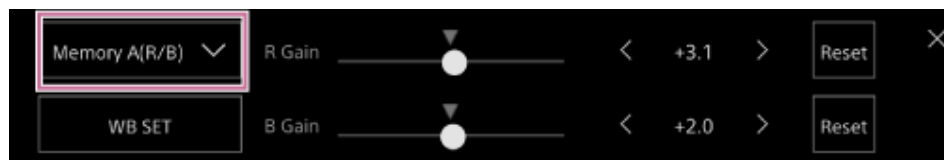
White Balance調節パネルが表示されます。

2 [White Mode] ボタンを押して、リストから [Memory A (T/T)] または [Memory A (R/B)] を選択する。

[Memory A (T/T)]



[Memory A (R/B)]



3 被写体の照明光源と同じ条件のところに白い紙などを置き、ズームアップして画面に白を映す。

4 明るさを調節する。

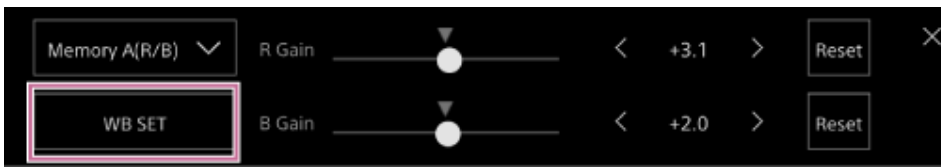
「アイリスを手動調節する」に従って、アイリスを調節してください。

5 ホワイトバランス調節パネルの [WB SET] ボタンを押す。

[Memory A (T/T)]



[Memory A (R/B)]



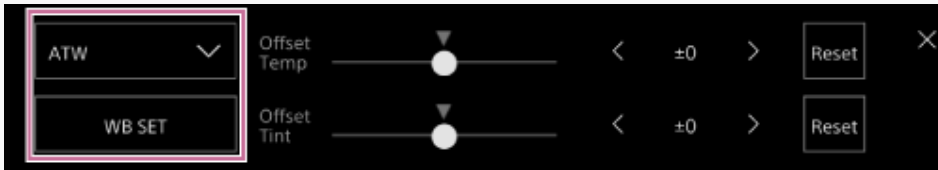
メモリーモードで実行した場合は、自動調節した結果はメモリーAに保存されます。

ご注意

- 正常に終了しなかったときは画面に約3秒間エラーメッセージが表示されます。繰り返し調整を試みてもエラーメッセージが表示される場合は、ソニーのサービス窓口にご相談ください。

ヒント

- ATWモードでも実行することができます。ATW動作中に迅速にホワイトバランスを合わせたいときに使用します。調節が終わると通常のATW動作に戻ります。



関連項目

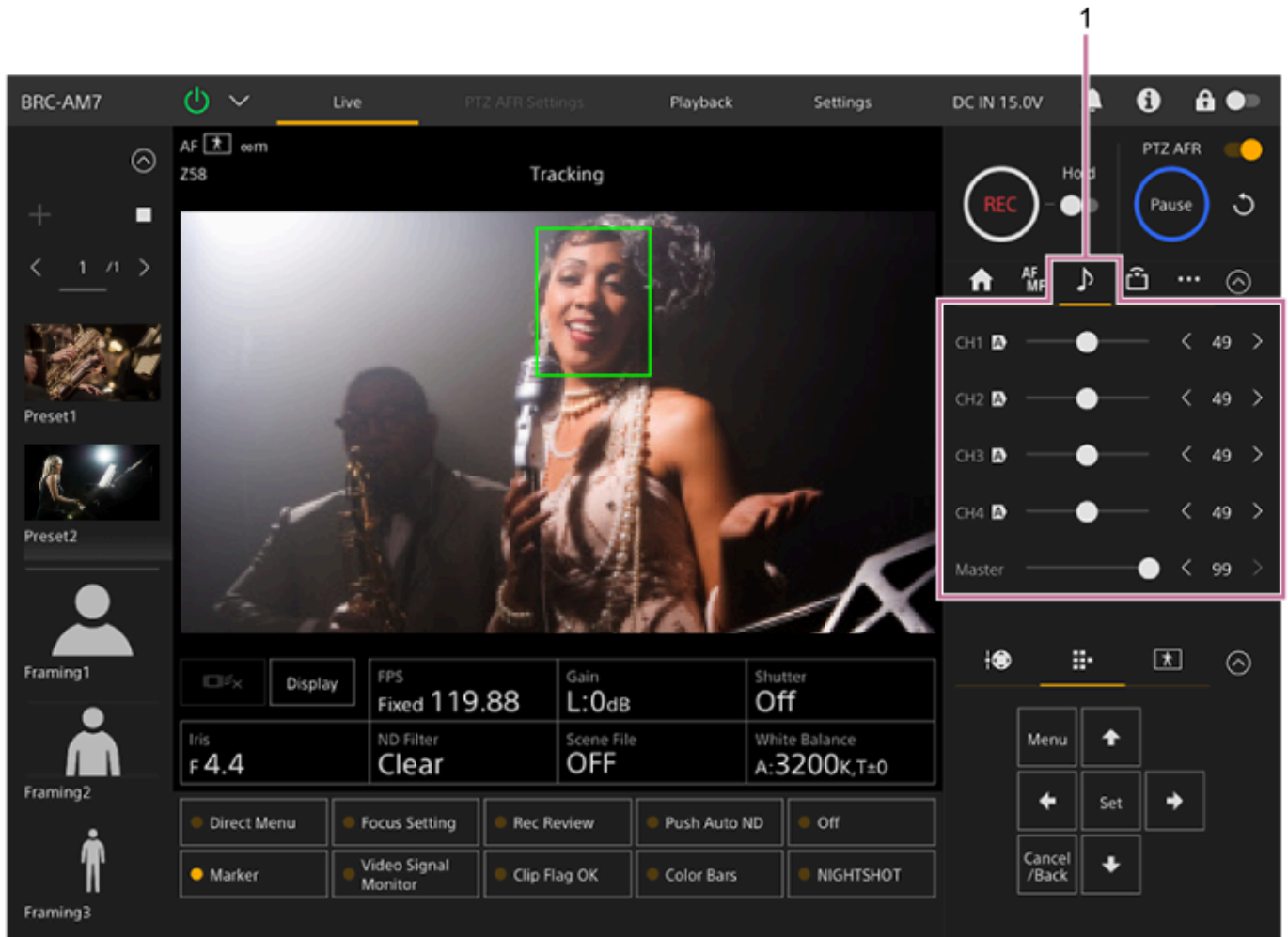
- [アイリスを手動調節する](#)

TP1001752322

カラービデオカメラ
BRC-AM7

音声の設定を行う画面

Web Appのライブ操作画面では、本機で収録する音声のレベルを調節できます。事前設定は、カメラメニューおよびWebメニューで行います。



1. カメラ操作部 – (Audio) タブ

TP1001752323

カラービデオカメラ
BRC-AM7

音声入力機器を選ぶ

AUDIO IN端子に接続する機器に合わせて以下を設定します。

- 1 Webメニューの [Audio] メニュー > [Audio Input] で接続した音声入力機器に合わせて以下を設定する。

設定項目	設定	説明
[AUDIO IN 1 MIC +48V]	[On]	AUDIO IN 1端子の+48V電源 (ファンタム電源) を有効にします。
	[Off]	AUDIO IN 1端子の+48V電源 (ファンタム電源) を無効にします。
[AUDIO IN 2 MIC +48V]	[On]	AUDIO IN 2端子の+48V電源 (ファンタム電源) を有効にします。
	[Off]	AUDIO IN 2端子の+48V電源 (ファンタム電源) を無効にします。

- 2 Webメニューまたはカメラメニューの [Audio] メニュー > [Audio Input] の [CH1 Input Select] ~ [CH4 Input Select] で音声入力を切り替える。



ご注意

- スロー&クイックモーション撮影では、音声は記録されません。

TP1001752324

カラービデオカメラ
BRC-AM7

録音レベルを自動調節する


Webメニューの [Audio] ページ、またはカメラメニューの [Audio] メニュー > [Audio Input] の [CH1 Level Control] ~ [CH4 Level Control] で録音レベルを自動調節したいチャンネルを [Auto] に設定します。
自動調節に設定したチャンネルは、ライブ操作画面の  (Audio) タブの該当チャンネルに  (Auto) アイコンが表示されます。

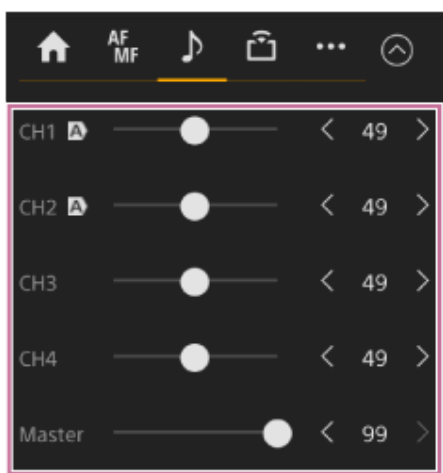
TP1001752325

カラービデオカメラ
BRC-AM7


録音レベルを手動調節する

録音レベルを手動で調節できます。

- 1 Webメニューの [Audio] ページ、またはカメラメニューの [Audio] メニュー > [Audio Input] の [CH1 Level Control] ~ [CH4 Level Control] で録音レベルを手動調節したいチャンネルを [Manual] に設定する。
- 2 カメラ操作部の  (Audio) タブを押す。
- 3 カメラ操作部の [Audio] 画面で、録音レベルを手動調節したいチャンネルのスライダーまたは録音レベル調節ボタンで録音レベルを調節する。



ご注意

-  (Auto)アイコンが表示されているチャンネルは、自動調節に設定されています。スライダーやボタンで値を変えても収録音声には反映されません。

ヒント

- 各行のスライダーと調節ボタンは連動しています。
- 音声入力レベルは、撮影画面のオーディオレベルメーター表示でリアルタイムに確認できます。

TP1001752326

カラービデオカメラ
BRC-AM7

ダイレクトメニュー操作

カメラ映像に重畳して表示される本機の状態や設定を、赤外線リモコンのGUI操作ボタンで選択して変更することができます。設定できる項目は、以下のとおりです。

[Subject Recognition AF]
[White Mode]
[Color Temp]
[Scene File]
[ND Filter Position]
[Auto ND Filter]
[ND Filter] の値
[Auto Iris]
[Iris] の値
[AGC]
[ISO/Gain] の値
[Shutter Type]
[Auto Shutter]
[Shutter] の値
[Auto Exposure Mode]
[Auto Exposure Level]
[S&Q Motion] と [Frame Rate]

1 赤外線リモコンの [Direct Menu] を割り当てたアサインボタンを押す。

[Direct Menu] ボタンは、工場出荷時はアサインボタン1に割り当てられています。ダイレクトメニュー操作のできる項目のいずれかにオレンジのカーソルが表示されます。

2 GUI操作ボタンの矢印ボタンで操作したい項目にカーソルを合わせ、[Set] ボタンを押す。

メニューが表示されるか、または項目が白背景で表示されます。

3 矢印ボタンで設定を選び、[Set] ボタンを押す。

メニューまたは白背景が消えて、新しい設定がオレンジのカーソルで表示されます。再びダイレクトメニューが割り当てられたアサインボタンを押すか、何も操作しないで3秒経過すると、ダイレクトメニューが終了します。

ヒント

- Web AppのアサインボタンとGUI操作部でも同様に操作できます。

TP1001752327

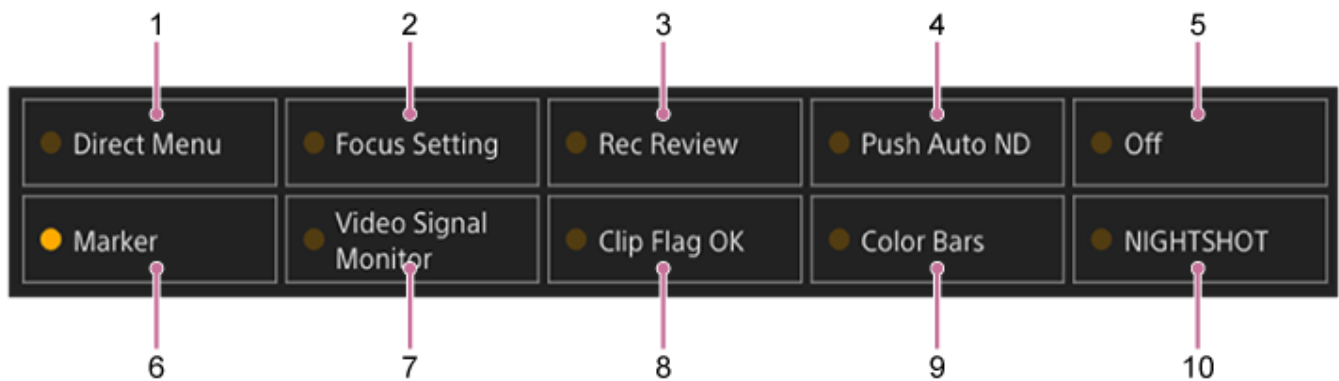
カラービデオカメラ
BRC-AM7

アサインابلボタン

本機のWeb Appには、機能を割り当てて使用できるアサインابلボタンが10個あります。
アサインابلボタンは、ライブ操作画面と再生操作画面に表示されます。

ご注意

- ライブ操作画面のカメラ基本設定調節パネルで設定を行っているとき、アサインابلボタン一覧は表示されません。調節パネル右上の [X] ボタンを押して操作を終了してください。



画面の番号はボタン番号を表します。

工場出荷時はそれぞれのボタンに以下の機能が割り当てられています。

ボタン1 : [Direct Menu]

ボタン2 : [Focus Setting]

ボタン3 : [Rec Review]

- ボタン1～3は、付属の赤外線リモコンの同番ボタンと等価です。

ボタン4 : [Push Auto ND]

ボタン5 : [Off]

ボタン6 : [Marker]

ボタン7 : [Video Signal Monitor]

ボタン8 : [Clip Flag OK]

ボタン9 : [Color Bars]

ボタン10 : [NIGHTSHOT]

ボタンの機能を変更するには

カメラメニューの [Project] メニュー > [Assignable Button] を使用します。

割り当てを変更すると、アサインابلボタン一覧の表示が変わります。

割り当てが可能な機能については、「カメラメニューと詳細設定」の「Assignable Button」をご覧ください。

関連項目

- [\[Assignable Button\]](#)

TP1001752328

カラービデオカメラ
BRC-AM7

スロー&クイックモーション

記録フォーマットが下記に設定されているときは、撮像時のフレームレートを再生時のフレームレートと異なる値に設定することができます。

設定できるフレームレートを以下の表に示します。

記録フォーマット			フレームレート
システム周波数	コーデック	ビデオフォーマット	
59.94/50/23.98	[XAVC HS-L 422]	3840x2160P	1-60、100、120
	[XAVC HS-L 420]	3840x2160P	1-60、100、120
59.94/50/29.97/25/23.98	[XAVC S-L 422] / [XAVC S-L 420] / [XAVC S-I]	3840x2160P	1-60、100、120
		1920x1080P	1-60、100、120、150、180、200、240

ご注意

- 記録中、再生中、サムネイル表示中は、スロー&クイックモーションモードにできません。
- スロー&クイックモーションモードでは、音声は記録できません。
- スロー&クイックモーションモードでは、オートシャッターは無効になります。

TP1001752329

カラービデオカメラ
BRC-AM7

メモリーカードAとメモリーカードBの両方に記録する（2スロット同時記録）

Webメニューまたはカメラメニューの [Project] メニュー > [Simul Rec] の [Setting] を [On] にすると、メモリーカードAとメモリーカードBの両方に同時に記録できます。



メモリーカードAとメモリーカードBの記録操作を別々に行う

録画START/STOPボタンと  (Others) タブの [2nd Rec START/STOP] ボタンで、それぞれ別のメモリーカードを記録開始/停止することができます。

工場出荷時は、どちらのボタンもメモリーカードAとメモリーカードBの両方に同時に記録するように設定されています。それぞれのボタンで別のメモリーカードへ記録するように設定したとき、[SDI/HDMI Rec Control] の記録開始/停止制御は、スロットAの記録状態に従います。

設定を変える

カメラメニューの [Project] メニュー > [Simul Rec] の [Rec Button Set] で以下を設定します。

Rec Button Setの設定	ボタンとメモリーカード
Rec Button:<Slot A> <Slot B> 2nd Rec Button: <Slot A> <Slot B>	どちらのボタンを押しても、メモリーカードAとメモリーカードBに同時に記録を開始/停止する。
Rec Button:<Slot A> 2nd Rec Button: <Slot B>	録画START/STOPボタンを押したときはメモリーカードAに、  (Others) タブの [2nd Rec START/STOP] ボタンを押したときはメモリーカードBに、記録を開始/停止する。
Rec Button:<Slot B> 2nd Rec Button: <Slot A>	録画START/STOPボタンを押したときはメモリーカードBに、  (Others) タブの [2nd Rec START/STOP] ボタンを押したときはメモリーカードAに、記録を開始/停止する。

TP1001752330

カラービデオカメラ
BRC-AM7

映像信号モニター

カメラメニューの [Monitoring] メニュー > [Video Signal Monitor] の [Setting] で、カメラ映像部に表示する映像信号の種類をウェーブフォーム、ベクトルスコープ、ヒストグラムのいずれかに設定できます。

オレンジの線は [Level Marker 1]、[Level Marker 2] の設定値を表します。

[Video Signal Monitor] を割り当てたアサインナブルボタンでも設定できます。

モニター対象の表示

ログ撮影モードのときは、モニター対象を示す情報として、色域設定またはモニター-LUTの設定が映像信号モニターの右上に表示されます。



TP1001752331

カラービデオカメラ
BRC-AM7

クリップフラグ

アサインボタンに割り当てた [Clip Flag OK] ボタンを押すと、[Add OK] が実行されクリップに [OK] のクリップフラグが付けられます。

2回続けて押すと [Delete Clip Flag] が実行され、[OK] のクリップフラグが消えます。

ヒント

- カメラメニューの [Thumbnail] メニュー > [Set Clip Flag] でクリップフラグを付けることもできます。
- サムネイル画面をクリップフラグの種類別に表示することができます (フィルタードクリップサムネイル画面)。詳細は「サムネイル画面」の「記録したクリップを操作する」をご覧ください。

TP1001752332

カラービデオカメラ
BRC-AM7

プロキシ記録の概要

本機は高解像度のオリジナルデータの動画をメモリーカードに記録しながら、低解像度のプロキシデータを同時に記録できます。

- 使用可能なメモリーカードや、メモリーカードのフォーマット方法、残容量の確認方法については「メモリーカードを準備する」の「推奨メモリーカードについて」ほかをご覧ください。

記録されるファイルについて

拡張子は「.mp4」です。

タイムコードも同時に記録されます。

ファイルの保存先について

記録したファイルは、以下のディレクトリーに保存されます。

記録メディア	フォルダパス
SDXC	/PRIVATE/M4ROOT/Sub
CFexpress Type A	/M4ROOT/Sub

ファイル名について

- メモリーカードに記録されるクリップ名+S03です。
- クリップ名については、カメラメニューの [TC/Media] メニュー > [Clip Name Format] をご覧ください。

関連項目

- [推奨メモリーカードについて](#)

TP1001752333

カラービデオカメラ
BRC-AM7

プロキシ記録で撮影する

プロキシ記録を有効にしてから、記録操作をします。

1 Webメニューまたはカメラメニューの [Project] メニュー > [Proxy Rec] で、[Setting] を [On] にする。

2 メモリーカードをCFexpress Type A/SDカードスロットに差し込む。

CFexpressカードの場合はラベルを上にして差し込んでください。
SDカードの場合はラベルを下にして差し込んでください。

ご注意

- プロキシ記録は、スロー&クイックモーションと同時にオンにすることはできません。プロキシ記録をオンにすると、これらの機能は強制的にオフになります。

3 録画START/STOPボタンを押す。

プロキシ記録で撮影が開始されます。

ご注意

- メモリーカードにアクセス中に本機の電源を切ったりメモリーカードを抜いた場合はデータは保証されません。メモリーカードに記録されたすべてのデータが壊れる可能性があります。電源を切ったり、メモリーカードを抜くときは、必ず使用するメモリーカードのアクセスランプが消灯していることを確認してから操作してください。
- 出し入れ時にはメモリーカードの飛び出しにご注意ください。

撮影を終了するには

記録停止の操作を行います。

プロキシ記録時のオーディオチャンネルを設定するには

カメラメニューの [Project] メニュー > [Proxy Rec] の [Audio Channel] で、プロキシデータに記録するオーディオチャンネルを設定できます。

ヒント

- 記録したプロキシクリップを自動的にファイル転送させることができます。詳しくは「記録したプロキシクリップを順次転送する」をご覧ください。

関連項目

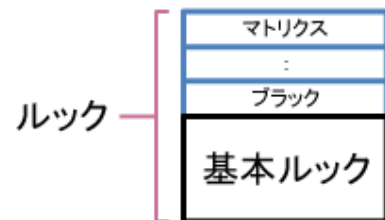
- [記録したプロキシクリップを順次転送する](#)

TP1001752334

カラービデオカメラ
BRC-AM7

ルックの概要

本機のカスタムモードでは、基本ルックをベースにブラックやマトリクスなどの調節を加えてルックを構成します。



これらの設定をSceneファイルに保存することで、内容の異なるルックを簡単に選ぶことができます。
本機は、計6個のプリセットのルックを用意しています。

TP1001752335

カラービデオカメラ
BRC-AM7

ルックを選ぶ

ルックの選択方法について説明します。

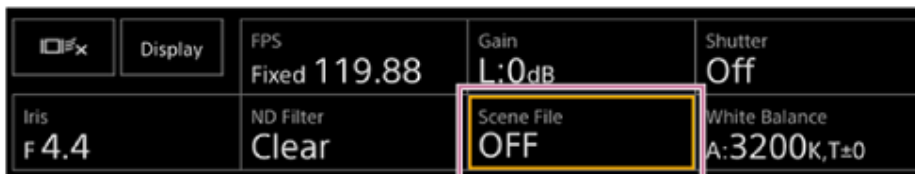
- 1 Webメニューまたはカメラメニューの [Project] メニュー → [Base Setting] で [Shooting Mode] が [Custom] になっていることを確認する。

ヒント

- [Custom] モードのときは、カメラ基本設定部に [Scene File] ボタンが表示されています。

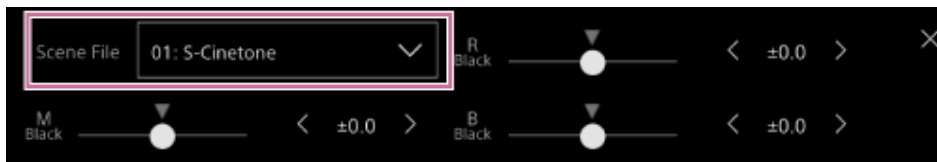
- 2 カメラ基本設定部の [Scene File] ボタンを押す。

[Scene File] ボタンの枠がオレンジ色に変わります。



Scene File調節パネルが表示されます。

- 3 調節パネルの [Scene File] ボタンを押して、リストから好みのルックのSceneファイルを選択する。



工場出荷時は、以下がプリセットされています。

[Target Display]	[SDR(BT.709)]	[HDR(HLG)]
Sceneファイル1	[S-Cinetone]	[HLG Live]
Sceneファイル2	[ITU709]	[HLG Mild]
Sceneファイル3	[709tone]	[HLG Natural]
Sceneファイル4～16	未登録	未登録

ヒント

- カメラメニューの [Paint/Look] メニュー → [Scene File] の [Recall] でもルックを選択することができます。なお、プリセットのルックは [Scene File] の [Preset Recall] でも呼び出せます。

カラービデオカメラ
BRC-AM7

好みの基本ルックをインポートする

本機は、コンピューターなどで作成した3D LUTファイルを、基本ルックとして最大16個までインポートすることができます。
ファイル形式：Catalyst BrowseやBlackmagic Design Pty. Ltd.製DaVinci Resolve*で生成される17格子または33格子のCUBEファイル (*.cube)

* Resolve V9.0、V10.0およびV11.0にて確認

- 入力色域/ガンマ：[S-Gamut3.Cine/S-Log3] または [S-Gamut3/S-Log3]

- 1 Web Appを実行しているデバイスに3D LUTファイルを保存する。
- 2 Webメニューの [Paint/Look] メニュー > [Base Look] を開く。

登録されている基本ルックのリストが表示されます。


No.	Base Look Name	AUDIO IN CH	Output	AE Level Offset	
+ 1	(No LUT)	S-Gamut3.Cine_SLog3	BT.709	0EV	Import
2	(No LUT)	S-Gamut3.Cine_SLog3	BT.709	0EV	Import
3	(No LUT)	S-Gamut3.Cine_SLog3	BT.709	0EV	Import
4	(No LUT)	S-Gamut3.Cine_SLog3	BT.709	0EV	Import
5	(No LUT)	S-Gamut3.Cine_SLog3	BT.709	0EV	Import
6	(No LUT)	S-Gamut3.Cine_SLog3	BT.709	0EV	Import
7	(No LUT)	S-Gamut3.Cine_SLog3	BT.709	0EV	Import
8	(No LUT)	S-Gamut3.Cine_SLog3	BT.709	0EV	Import
9	(No LUT)	S-Gamut3.Cine_SLog3	BT.709	0EV	Import
10	(No LUT)	S-Gamut3.Cine_SLog3	BT.709	0EV	Import
11	(No LUT)	S-Gamut3.Cine_SLog3	BT.709	0EV	Import

- 3 インポートしたい行の [Import] ボタンを押す。
ファイル選択ダイアログボックスが表示されます。
- 4 用意した3D LUTファイルを選択する。
インポートされた3D LUTファイルが、本機の基本ルックになります。
- 5 カメラメニューの [Paint/Look] メニュー > [Base Look] の [Select] で、インポートした3D LUTファイルを選択する。
- 6 インポートした3D LUTファイルの属性に合わせて、カメラメニューの [Paint/Look] メニュー > [Base Look] の [Input] および [Output] を設定する。

露出不足を調節するには

インポートした基本ルックを使って自動露出をしたときに露出不足の傾向がある場合は、Webメニューの [Paint/Look] メニュー > [Base Look] の [AE Level Offset] で調節してください。

ご注意

- 3D LUTファイルをインポートしただけでは映像に反映されません。カメラメニューの [Paint/Look] メニュー > [Base Look] の [Select] で、インポートした3D LUTファイルを選択してください。
- [Input] を正しく設定しないと、本来のルックになりません。
- 設定項目の [Input]、[Output]、[AE Level Offset] は、[Select] で選択された基本ルックに適用されます。複数の3D LUTファイルをインポートした場合は、各3D LUTファイルを [Select] で選択し、[Input]、[Output]、[AE Level Offset] をそれぞれ設定してください。
- 設定した [Input]、[Output]、[AE Level Offset] は、3D LUTファイルごとに保存されます。
- インポートした3D LUTファイルは、[SDR(BT.709)]、[HDR(HLG)]、ログ撮影モード共通の基本ルック/LUT選択肢となりますが、これらのモードに応じた色域・ガンマ変換は行いません。
- Webメニューの [Maintenance] メニュー > [Reset] の [All Reset (except for Network Settings)] を実行しても3D LUTファイルは削除されません。
- [Base Look Name] 表示の先頭に  (3D LUTファイル添付エラー) が表示されている場合、ログ撮影モードで記録したクリップに3D LUTファイルを添付できない状態です。3D LUTファイルを再インポートしてください。

TP1001752337

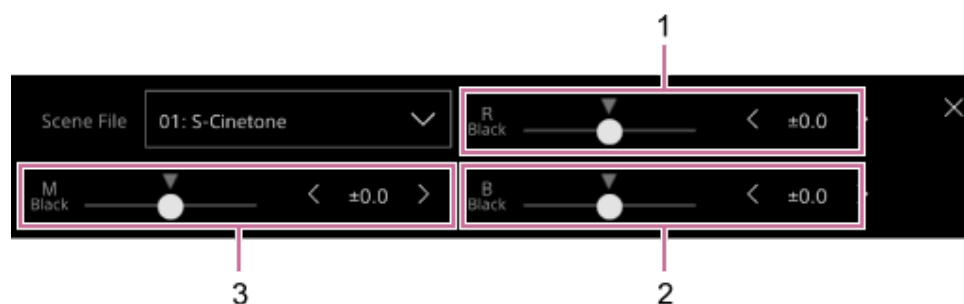
5-065-326-01(1) Copyright 2024 Sony Corporation

カラービデオカメラ
BRC-AM7

ルックをカスタマイズする

カメラ基本設定部のScene File調節パネルの [Master Black]、[R Black] および [B Black] スライダーや、カメラメニューの [Paint/Look] メニュー > [Matrix] などの各設定項目で、基本ルックを基にルックをカスタマイズすることができます。

設定するときは、本機をテレビやモニターにつないで、画像を確認しながら調節してください。



- 1: [R Black] スライダー/調節ボタン
- 2: [B Black] スライダー/調節ボタン
- 3: [Master Black] スライダー/調節ボタン

ご注意

- 3D LUTファイルをインポートして映像に適用したとき、カメラメニューの [Paint/Look] メニュー > [Matrix] などの基本ルック以外の各設定が変更されていると、3D LUTファイルに定義された通りのルックになりません。
- カメラメニューの [Paint/Look] メニュー > [Reset Paint Settings] の [Reset without Base Look] で、カスタマイズされた設定値をまとめてリセットできます。

TP1001752338

カラービデオカメラ
BRC-AM7

ルックを保存する

カメラメニューの [Paint/Look] メニュー > [Scene File] の [Store] で、現在のルックをSceneファイルとして内部メモリーに保存できます。

Scene File調節パネルやダイレクトメニューの操作で簡単に保存したルックを呼び出せるようになります。

ご注意

- ルックを保存せずにほかのルックを選択すると、保存前のルックは破棄されます。

ヒント

- プリセットのSceneファイルも上書きできます。プリセットのSceneファイルを復元するには、カメラメニューの [Paint/Look] メニュー > [Scene File] の [Preset Recall] で復元したいルックを読み出したあと、[Scene File] の [Store] でSceneファイルに保存してください。

保存したルックを削除するには

カメラメニューの [Paint/Look] メニュー > [Scene File] の [Delete] で、内部メモリーに保存されているSceneファイルを削除できます。

ヒント

- 削除すると、Scene File調節パネルやダイレクトメニューに表示されなくなります。

TP1001752339

カラービデオカメラ
BRC-AM7

基本ルックを削除する

カメラメニューの [Paint/Look] メニュー > [Base Look] の [Delete] で、インポートした3D LUTファイルを個別に削除できます。

カメラメニューの [Paint/Look] メニュー > [Base Look] の [Delete All] で、すべての3D LUTファイルを削除できます。

ご注意

- 削除する前に、その基本ルックがSceneファイルで使用されていないことをご確認ください。使用されている基本ルックを削除した場合、該当するSceneファイルのルックは不適切なものになります。
- インポートした3D LUTファイルは、Webメニューの [Maintenance] メニュー > [Reset] の [All Reset (except for Network Settings)] を実行しても削除されません。
- 削除した基本ルックは、ログ撮影モードでもLUTとして使えなくなります。

TP1001752340

カラービデオカメラ
BRC-AM7

ポストプロダクションでルックを調節する前提で撮影する

本機のログ撮影モード^{*1}を使い、暗部から明部まで諧調を均等に記録すると、ポストプロダクションで局所的に暗部や明部の諧調を復元するなど細かい調節を行うことができます。

しかし、この記録映像を普通のモニターで見ると、全体にコントラストが低いため、フォーカスや露出などの調節が困難です。本機では、モニター映像にLUTを適用して撮影時の各種調節を補助することができます。また、再生時は撮影時のLUTが自動的に適用されるので、簡単に仕上がりを確認できます。

LUTは以下の系統別に適用されます。ただし、適用されるLUTは1種類です。

- SDI1出力
- SDI2出力/HDMI出力およびストリーミング
- 記録メディアに記録されるプロキシクリップ
- 記録メディアに記録される本線クリップ

*1 Flexible ISOモード/Cine EIモード/Cine EI Quickモードの総称です。本機はFlexible ISOモードに対応しています。

TP1001752341

カラービデオカメラ
BRC-AM7

SDI2出力/HDMI出力およびストリーミングにLUTを適用する

SDI2出力/HDMI出力およびストリーミングにLUTを適用できます。

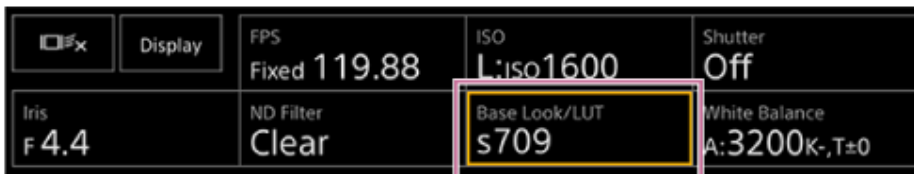
- 1 Webメニューまたはカメラメニューの [Project] メニュー > [Base Setting] で [Shooting Mode] が [Flexible ISO] になっていることを確認する。

ヒント

- ログ撮影モードのときは、カメラ基本設定部に [Base Look/LUT] ボタンが表示されています。

- 2 カメラ基本設定部の [Base Look/LUT] ボタンを押す。

[Base Look/LUT] ボタンの枠がオレンジ色に変わります。



Base Look/LUT調節パネルが表示されます。


- 3 [SDI2/HDMI/Stream] で [MLUT] を選択する。



ご注意

- Web Appカメラ映像部の映像も、ストリーミング映像に含まれます。

ヒント

- カメラメニューの [Shooting] メニュー > [LUT On/Off] の [SDI2/HDMI/Stream] でも設定できます。
- SDI1出力も同様に設定できます。
- プロキシクリップの映像については、カメラメニュー > [Shooting] - [LUT On/Off] - [Proxy] で設定できます。
- [Base Look/LUT] 表示の先頭に  (3D LUTファイル添付エラー) が表示されている場合、Log撮影モードで記録したクリップに3D LUTファイルを添付できない状態です。3D LUTファイルを再インポートしてください。なお、このアイコンは一時的な処理集中などにより添付に失敗した場合にも表示されます。

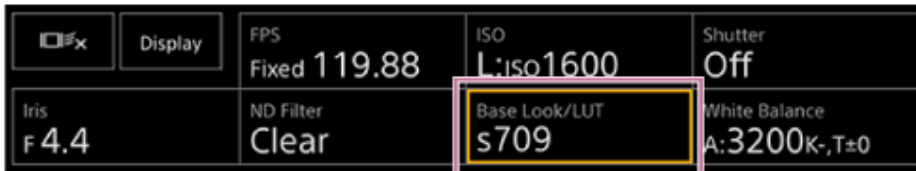
カラービデオカメラ
BRC-AM7

LUTを変更する

適用するLUTを変更できます。

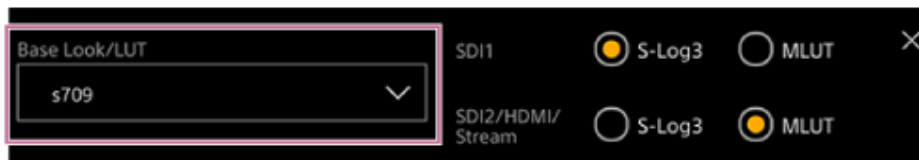
1 カメラ基本設定部の [Base Look/LUT] ボタンを押す。

[Base Look/LUT] ボタンの枠がオレンジ色に変わります。



Base Look/LUT調節パネルが表示されます。

2 [Base Look/LUT] ボタンで適用する基本ルックを選択する。



ヒント

- 本機にはプリセットのLUTとして、[s709]、[709(800%)]、[S-Log3] が用意されています。
- 3D LUTファイルをインポートして適用することもできます。詳しくは、「好みの基本ルックをインポートする」および「基本ルックを削除する」をご覧ください。
- カメラメニューの [Paint/Look] メニュー > [Base Look] の [Select] でも設定できます。

関連項目

- [好みの基本ルックをインポートする](#)
- [基本ルックを削除する](#)

TP1001752343

カラービデオカメラ
BRC-AM7

設定データの保存と読み込みについて

本機の設定内容を、設定データとしてWeb Appで保存することができます。このデータを使って適切なセットアップ状態を素早く再現できます。

本機では、下記ご注意以外のカメラ機能に関するほぼすべての設定をAll File（ALLファイル）として保存することができます。

ご注意

- パン・チルトに関する設定と、ネットワーク機能の設定や認証情報などは保存されません。保存内容の詳細については、「メニュー項目一覧」を参照してください。

関連項目

- [メニュー項目一覧](#)

TP1001752344

カラービデオカメラ
BRC-AM7

ALLファイルを保存する

ALLファイルの保存方法を説明します。

- 1 Webメニューの [Project] メニュー > [All File] を開く。
- 2 [Save All File] の [Save] ボタンを押す。
しばらくするとWebブラウザがall-file.ALLファイルのダウンロードを開始します。
- 3 ダウンロードしたall-file.ALLファイルを任意の場所に任意の名前を付けて保存する。
ファイル操作については、お使いのデバイスの取扱説明書をご覧ください。

TP1001752345

カラービデオカメラ
BRC-AM7

ALLファイルを読み込む

ALLファイルの読み込み方法を説明します。

ご注意

- 設定データを読み込むと、本機は自動的に再起動されます。再起動完了後、Webブラウザでページをリロード（再読み込み）してください。

- 1 Webメニューの [Project] メニュー > [All File] を開く。
- 2 [Load All File] の [Load] ボタンを押す。
Web Appを実行しているデバイスのファイルを開く画面が表示されます。
- 3 読み込みたいファイルを選んで開く。
ファイル操作については、お使いのデバイスの取扱説明書をご覧ください。
- 4 読み込むファイル名を確認する画面が表示がされるので、確認して [OK] ボタンを押す。
- 5 実行結果が表示されたら、[OK] ボタンを押す。
- 6 再起動を待つて、Web Appを接続し直す。

TP1001752346

カラービデオカメラ
BRC-AM7

ファイルの転送について

本機に記録したプロキシクリップやオリジナルクリップを、インターネット上のサーバーやローカルネット上のサーバーへ転送することができます。

ご注意

- 電源をスタンバイにすると、本機に通電していてもファイル転送は保留されます。

TP1001752347

カラービデオカメラ
BRC-AM7

準備 : ファイルの転送先を登録する

ファイル転送を開始する前に、あらかじめファイルの転送先サーバーを登録しておきます。

- 1 Webメニューの [Network] メニュー > [File Transfer] の [Default Upload Server] で、 [Server Settings1] (または [Server Settings2]、 [Server Settings3]) を選択する。

ヒント

- 選択肢の名前は、次の手順で設定する [Display Name] によって変わります。

- 2 Webメニューの [Network] メニュー > [FTP Server 1] ~ [FTP Server 3] に、それぞれ以下の項目を設定する。

項目	説明
[Display Name]	転送先サーバーを選ぶときや転送ジョブ一覧に表示されるサーバー名を入力します。
[Service]	サーバーの種類を表示します。 [FTP] : FTP サーバー
[Host Name]	サーバーのアドレスまたはホスト名を入力します。
[Port]	サーバーに接続する際のポート番号を入力します。
[User Name]	ユーザー名を入力します。
[Password]	パスワードを入力します。
[Passive Mode]	パッシブモードのON/OFFを行います。
[Destination Directory]	転送先ディレクトリー名を入力します。 ご注意 ● 転送先サーバーで使用できない文字を [Destination Directory] に入力した場合、ファイルはユーザーのホームディレクトリーに転送されます。使用できない文字はサーバーによって異なります。
[Using Secure Protocol]	セキュアなFTP転送を行うかどうかを設定します。
[Root Certificate]	証明書の読み込みや消去を行います。 [Load] : CA証明書を読み込みます。読み込む証明書はPEM形式です。 [Clear] : CA証明書をクリアします。 [None] : 読み込み/消去を行いません。 ご注意 ● CA証明書を読み込む際は、本機の時刻を正しく設定してください。 ● 3840×2160P 59.94/50Pで記録中は、[Load] は選択できません。 [Root Certificate Status] : 証明書の読み込み状態を表示します。 [Reset] : [Server Settings] の設定を初期値に戻します。

カラービデオカメラ
BRC-AM7

記録したプロキシクリップを順次転送する

プロキシ記録中にクリップの記録を停止したタイミングで、そのプロキシクリップの転送を自動的に予約することができます。記録停止時点で [Default Upload Server] に設定されていたサーバーへ送信されます。

1 Webメニューまたはカメラメニューの [Network] メニュー > [File Transfer] - [Auto Upload (Proxy)] を [On] に設定する。

2 録画ボタンを押して録画を開始・停止する。

録画停止したプロキシクリップが転送ジョブとして登録され、順次送信されます。プロキシ記録については「プロキシ記録の概要」ほかをご覧ください。

ヒント

- 登録できる転送ジョブの上限は200件です。

関連項目

- [プロキシ記録の概要](#)

TP1001849967

カラービデオカメラ
BRC-AM7

サムネイル画面からメモリーカードのプロキシクリップを転送する

サムネイル画面からメモリーカードのプロキシクリップを個別に転送できます。

- 1 Web Appの再生操作画面で [Thumbnail] ボタンを押す。**
カメラ映像がサムネイル画面に変わります。
- 2 カメラメニューの [Thumbnail] メニュー > [Transfer Clip (Proxy)] で、[Select Clip] を選択する。**
すべてのプロキシクリップを一括転送する場合は、[Transfer Clip (Proxy)] で [All Clips] を選択してください。
転送操作は、サムネイル画面またはフィルタードクリップサムネイル画面で行えます。
- 3 転送したいクリップを [Set] ボタンで選択後、[Menu] ボタンを押す。**
転送実行の確認画面が表示されます。
- 4 [Execute] を選択する。**
選択したクリップに対応するファイルが転送ジョブとして登録され、転送が開始されます。
転送ジョブへの登録が完了すると、登録結果画面が表示されます。
- 5 [OK] ボタンを押す。**

ご注意

- 登録できる転送ジョブの上限は200件です。

TP1001752349

カラービデオカメラ
BRC-AM7

サムネイル画面からメモリーカードのオリジナルクリップを転送する

サムネイル画面からメモリーカードのオリジナルクリップを転送できます。

- 1 Web Appの再生操作画面で [Thumbnail] ボタンを押す。**
カメラ映像がサムネイル画面に変わります。
- 2 カメラメニューの [Thumbnail] メニュー > [Transfer Clip] で、 [Select Clip] を選択する。**
すべてオリジナルクリップを一括転送する場合は、 [Transfer Clip] で [All Clips] を選択してください。
転送操作は、サムネイル画面またはフィルタードクリップサムネイル画面で行えます。
- 3 転送したいクリップを [Set] ボタンで選択後、 [Menu] ボタンを押す。**
転送実行の確認画面が表示されます。
- 4 [Execute] を選択する。**
選択したクリップのオリジナルクリップが転送ジョブとして登録され、転送が開始されます。
転送ジョブへの登録が完了すると、登録結果画面が表示されます。
- 5 [OK] ボタンを押す。**

ご注意

- 登録できる転送ジョブの上限は200件です。

TP1001752350

カラービデオカメラ
BRC-AM7

ファイルの転送状況を確認する

カメラメニューの [Network] メニュー > [File Transfer] で [View Job List] を選択すると、ファイル転送の状態を確認することができます。

ご注意

- 転送ジョブは200件まで登録可能です。
- 転送ジョブは本機の電源をスタンバイにしても保持されますが、操作以外の手段で電源を切った場合には、最大で10分間分程度の進捗情報が喪失する可能性があります。
- ファイル転送中に転送がエラーになると、転送先サーバーの設定や状態によっては、同じ名前のクリップが転送できなくなることがあります。その場合は転送先サーバーの設定や状態を確認してください。
- 新たな転送ジョブが登録される時、成功した転送ジョブはジョブリストから削除されます。

TP1001752351

カラービデオカメラ
BRC-AM7

セキュアなFTP転送を行う

ファイル転送先サーバーとの接続にFTPSのExplicitモード (FTPES) を使用することで、ファイルを暗号化して転送することができます。

セキュアなFTP転送を行うには、ファイル転送先サーバーの設定で、[Using Secure Protocol] を [On] に設定し、証明書の読み込みを行います。

- 設定方法については、「準備：ファイルの転送先を登録する」をご覧ください。

関連項目

- [準備：ファイルの転送先を登録する](#)

TP1001752352

カラービデオカメラ
BRC-AM7

ストリーミングについて

本機はHDMI端子に出力している映像・音声を、同時にストリーミングすることができます。

ご注意

- ストリーミングを本線映像として使いたい場合は、Webメニューの [Monitoring] メニュー > [Output Display] で、 [SDI1] を [On]、 [SDI2/HDMI/Stream] を [Off] に設定し、カメラの状態はSDIモニターで監視してください。
- HDMI端子に接続したモニターが、Webメニューやカメラメニューの [Monitoring] メニューで設定したHDMI出力フォーマットに対応していない場合、Web Appにカメラ映像は出力されません。またストリーミング映像も出力できません。
- ストリーミングの解像度は、HDMI出力信号の解像度より大きくすることはできません。
- 複数人で閲覧する場合、コーデックの設定条件によっては映像が乱れることがあります。

本機は以下のストリーミング方式に対応しています。()内は選択可能なビデオコーデックです。

- RTSP (H.264、H.265)
- RTMP (H.264) *1
- SRT-Caller (H.264)
- SRT-Listener (H.264)
- NDI | HX (H.264、H.265)

設定は、ストリーミング方式の設定、ビデオコーデックの設定、オーディオコーデックの設定の順序で行います。

ストリーミング方式	コーデックの設定			
	[Video Stream 1]	[Video Stream 2]	[Video Stream 3]	[Audio Stream]
RTSP	● video 1	●*2 video 2	—	●
RTMP	●	—	—	●*1
SRT	●	—	—	●
NDI HX	● Main	● Sub	—	●
Web App	—	—	●	—

● : 有効 — : 無効

*1 RTMPは、Webメニューの [Stream] メニュー > [Audio Stream] を [On] に設定したとき選択できます。

*2 システム周波数が59.94または50でHDMI出力フォーマットが3840x2160以上のとき、video 2は出力できません。

ヒント

- Web Appカメラ映像部の映像も、ストリーミングの1系統です。

カラービデオカメラ
BRC-AM7

ストリーミング方式を設定する

ストリーミングの方式は、Webメニューの [Stream] メニュー > [Stream] > [Stream Setting] の [Setting] で設定します。

【Setting】で【RTSP】を選択した場合

RTSPストリーミングでは、1台のカメラ映像を5人までのユーザーが同時に閲覧可能です。ビデオコーデックモードを2つまで設定できます。

項目	説明
[Port Number]	RTSP 配信で使用するポート番号を設定します。工場出荷設定値は554です。設定を変更するとRTSP サーバーが再起動します。
[Time Out]	RTSP配信でKeep-Aliveコマンドによるタイムアウトの時間を指定します。タイムアウトする時間は0秒～600秒の間で指定できます。工場出荷設定値は60秒です。設定が0秒のときは、Keep-Aliveコマンドによるタイムアウトが発生しません。
[Authentication]	認証の可否を設定します。
[Video Port Number 1] [Video Port Number 2]	RTSPでユニキャスト配信時に使用する映像データの通信ポート番号を指定します。工場出荷設定値は [Video Port Number 1] は51000、 [Video Port Number 2] は53000です。1024～65534の偶数番号を指定してください。実際には映像用のデータ通信・制御用として、ここで設定した番号とそれに1を加えた奇数番号の2つのポート番号が利用されます。 [Video Port Number 1]、 [Video Port Number 2] は、それぞれ [Stream] メニュー > [Video Stream] の [Video Stream 1]、 [Video Stream 2] に対応します。
[Audio Port Number]	RTSPでユニキャスト配信時に使用する音声データの通信ポート番号を指定します。工場出荷設定値は57000です。1024～65534の偶数番号を指定してください。実際には音声用のデータ通信・制御用として、ここで設定した番号とそれに1を加えた奇数番号の2つのポート番号が利用されます。

【Setting】で【RTMP】を選択した場合

RTMPを使用する場合は、Webメニューの [Stream] メニュー > [Audio Stream] を [On] にしておく必要があります。RTMPに使用できるビデオコーデックモードはH.264のみです。

項目	説明
[Server URL]	アップロード先のURL を設定します。「rtmp://」または「rtmps://」で始まる文字列で指定してください。
[Stream Key]	利用するサイトから取得したストリームキーを入力します。 [Clear] ボタンでクリアします。 ご注意 <ul style="list-style-type: none"> ストリームキーの取り扱いには十分に注意してください。ストリームキーを第三者に知られると、なりすまして配信される危険性があります。

項目	説明
[Root Certificate]	<p>RTMPSプロトコルでストリーミングするときに必要なルート証明書をインポートします。ルート証明書をインポートするには [Load] ボタンを押してルート証明書を選択し確定すると、本機にインポートされます。インポート済みのルート証明書が本体内にある場合はそのルート証明書が更新されます。インポートした証明書を削除するには設定画面内の [Delete] ボタンを押します。[Root Certificate Status] には、ルート証明書の状態が表示されます。</p> <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ルート証明書はストリーミングサービスに必要とされるものをインポートしてください。

【Setting】で【SRT-Caller】または【SRT-Listener】を選択した場合

ビデオコーデックモードはH.264のみです。

項目	説明
[Destination]	ストリーミングモードが【SRT-Caller】の場合に表示されます。接続先URLを設定します。
[Port Number]	ストリーミングモードが【SRT-Listener】の場合に表示されます。待ち受けのポート番号を設定します。工場出荷設定値は4201です。
[Latency]	遅延量を20 ms～8000 msの間で設定します。工場出荷設定値は120です。
[TTL]	TTL値を1～255の間で設定します。工場出荷設定値は64です。
[Encryption]	暗号化方式を選択します。Off、AES128、AES256から選択してください。工場出荷設定値はOffです。
[Passphrase]	暗号化に使用するパスフレーズを設定します。[Clear] ボタンを押すと設定したパスフレーズがリセットされます。
[ARC]	自動レート制御機能を有効にする場合は、オンにします。 自動レート制御機能を有効にすると、通信回線の混雑などにより発生する映像の途切れを軽減することができます。

【Setting】で【NDI|HX】を選択した場合

本機はNewTek社のNDI|HX version 2に準拠しています。

ご注意

- NDI|HXの最新ドライバーをダウンロードしてNewTek製品にインストールしてください。
- NDI|HXへの設定登録および操作方法は、NewTek製品の説明書をご覧ください。

項目	説明
[Source Name]	ソースネームが表示されます。
[Group]	NDIのグルーピング機能を有効にする場合は、オンにします。 [Group Name] : NDIのグループ名を設定します。カンマ区切りで複数設定できます。
[Discovery Server 1] [Discovery Server 2]	NDIディスカバリ-サーバー1、NDIディスカバリ-サーバー2を設定します。
[Reliable UDP Mode]	Reliable UDPモードを有効にする場合は、オンにします。

項目	説明
[Multicast Mode]	マルチキャスト配信を有効にする場合は、オンにします。 [Multicast Prefix] : マルチキャスト配信で使用するプリフィックスを設定します。 [Multicast Netmask] : ネットマスクでマルチキャストアドレスの範囲を設定します。 [Multicast TTL] : マルチキャスト配信のTTLを1~256の間で設定します。工場出荷設定値は3です。
[Multi-TCP Mode]	Multi-TCPモードを有効にする場合は、オンにします。
[Unicast UDP Mode]	Unicast UDPモードを有効にする場合は、オンにします。

他社のサービスおよびソフトウェアについて

別途の利用条件が適用される場合があります。

- サービスやソフトウェア更新の提供が予告なく中断、または終了する場合があります。
- サービスやソフトウェアの内容が予告なく変更される場合があります。
- 別途の登録や料金の支払いが必要になる場合があります。

他社のサービスおよびソフトウェアを使用したことによるお客様、または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切の責任を負いかねます。ご了承ください。

TP1001752354

カラービデオカメラ
BRC-AM7

ストリーミングのビデオコーデックを設定する

ビデオコーデックの方式は、Webメニューの [Stream] メニュー > [Video Stream] で設定します。

項目	説明
[Video Stream 1] [Video Stream 2] [Video Stream 3]	<p>映像のコーデックモードを3つまで設定できます。各映像モードに対してそれぞれ以下の設定をしてください。</p> <p>なお [Video Stream 3] は、Web Appカメラ映像部の表示用です。</p> <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> [Stream] メニュー > [Stream Setting] の [Setting] で [RTMP]、[SRT-Caller] または [SRT-Listener] を選択している場合は、[Video Stream 1]、[Video Stream 2]、[Video Stream 3] の一部の設定 ([Codec]、[Size]、[Frame Rate]、[Bit Rate Compression Mode]) が初期値になります。
[Codec 1] [Codec 2] [Codec 3]	<p>[H.264]、[H.265] または [Off] を選択します。ただし、[Codec 1] は [Off] にできません。また [Codec 3] は [JPEG] に固定です。</p> <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> [Codec 1]、[Codec 2]、[Codec 3] の画像サイズ、フレームレート、ビットレートなど各種設定の組み合わせによっては、以下の症状が発生することがあります。 <ul style="list-style-type: none"> 映像の遅延が大きくなる。 映像再生時にフレームスキップが生じる。 音声途切れ途切れになる。 さまざまなコマンドに対しカメラの応答が遅くなる。 リモートコントローラーからの操作に対しカメラの応答が遅くなる。 モニター画面の表示およびカメラ設定の動作が遅くなる。 <p>このような症状が発生した場合は、画像サイズ、フレームレート、ビットレートのパラメーターの値を小さくしたり、その他の設定パラメーターの値を変更することで調整してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> [Stream] メニュー > [Stream Setting] の [Setting] で [RTMP]、[SRT-Caller] または [SRT-Listener] を選択している場合は、[Codec 1] は [H.264] に固定になります。[Codec 2] は [Off] 固定になります。 HDMI出力の画サイズまたはシステム周波数を変更すると、[Codec 2] は [Off] になります。
[Size 1] [Size 2] [Size 3]	<p>カメラから配信される画像サイズを選択します。</p> <p>HDMI出力の画サイズによって、選択できる画像サイズが変わります。</p> <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> HDMI出力の画サイズまたはシステム周波数を変更すると、変更後に選択可能な最大画サイズになります。

項目	説明
[Frame Rate 1] [Frame Rate 2] [Frame Rate 3]	<p>映像のフレームレートを設定します。 “fps”は1秒間に配信されるフレーム数を示す単位です。 HDMI出力の画サイズによって、選択できるフレームレートが変わります。</p> <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> HDMI出力の画サイズまたはシステム周波数を変更すると、変更後に選択可能な最高フレームレートになります。
[I-Picture Mode 1] [I-Picture Mode 2]	<p>H.264およびH.265のIピクチャーの挿入間隔の指定方法を、[Time] と [Frame] から選択します。 [Codec 3] では設定できません。 [Time] : I ピクチャーを挿入する間隔を時間で設定します。 [Frame] : I ピクチャーを挿入する間隔をフレーム数で設定します。</p> <p>ヒント</p> <ul style="list-style-type: none"> Iピクチャーの挿入間隔が小さくなるほど画質が向上しますが、ビットレートも大きくなります。
[I-Picture Interval 1] [I-Picture Interval 2]	<p>Iピクチャー挿入間隔を秒単位で設定します。1秒～5秒の間で設定します。工場出荷設定値は1秒です。 [I-Picture Mode 1]、[I-Picture Mode 2] が [Time] のときに設定できます。 [Codec 3] では設定できません。</p>
[I-Picture Ratio 1] [I-Picture Ratio 2]	<p>H.264およびH.265のIピクチャーの挿入する間隔を15～300の間のフレーム数で設定します。工場出荷設定値は300フレームです。 [I-Picture Mode 1]、[I-Picture Mode 2] が [Time] のときに設定できます。 [Codec 3] では設定できません。</p>
[Profile 1] [Profile 2]	<p>H.264またはH.265コーデック映像のプロファイルを設定します。 [H.264] : [high]、[main]、[baseline] 方式から選択します。 [H.265] : [main] 限定です。 映像の圧縮効率は [high]、[main]、[baseline] の順で高いものになります。お使いのシステムにあった方式を選択してください。 [Codec 3] では設定できません。</p>
[Bit Rate Compression Mode 1] [Bit Rate Compression Mode 2]	<p>[CBR] または [VBR] を選択します。 ビットレートを一定に保ちたい場合は [CBR] を選択し、画質を一定に保ちたい場合は [VBR] を選択してください。 [Codec 3] では設定できません。</p> <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> 実際に配信されるフレームレートやビットレートは、画像サイズ、撮影シーン、ネットワーク環境などによって設定値とは異なる場合があります。 [Stream] メニュー > [Stream Setting] の [Setting] で [RTMP]、[SRT-Caller] または [SRT-Listener] を選択している場合は、[Bit Rate Compression Mode 1] は [CBR] 固定になります。
[Bit Rate 1] [Bit Rate 2]	<p>[Bit Rate Compression Mode] を [CBR] にしたときに、映像配信の1回線あたりのビットレートを設定できます。ビットレートを大きい値に設定すると高画質な映像を配信できます。 [Codec 3] では設定できません。</p>

項目	説明
[Quality 1] [Quality 2] [Quality 3]	画質を1～10の間で設定します。10が最高画質になります。工場出荷設定値は6です。 [Quality 1] と [Quality 2] の場合、[Bit Rate Compression Mode] の設定を [VBR] 、 [Codec] の設定を [H.264] にするとH.264の画質を設定できます。[Bit Rate Compression Mode] の設定を [VBR] 、 [Codec] の設定を [H.265] にするとH.265の画質を設定できます。

TP1001752355

5-065-326-01(1) Copyright 2024 Sony Corporation

カラービデオカメラ
BRC-AM7

ストリーミングのオーディオコーデックを設定する

オーディオコーデックの方式は、Webメニューの [Stream] メニュー > [Audio Stream] で設定します。

項目	説明
[Setting]	<p>オーディオのストリーミング送信を有効にする場合は、オンにします。</p> <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none">● RTMPを選択するときは必ず事前にオンに設定してください。
[Codec]	<p>音声を送信する場合に使用するコーデックの種類を選択します。</p> <p>[AAC (256kbps)] : 音質を重視する場合に選択してください。</p> <p>[AAC (128kbps)] : データ容量を重視する場合に選択してください。</p> <p>この設定は、本機で記録するクリップやSDI出力/HDMI出力へ重畳された音声信号には影響しません。</p>

TP1001752356

カラービデオカメラ
BRC-AM7

ストリーミングを開始する/停止する

【RTSP】、【SRT-Listener】、【NDI|HX】の場合

本機はストリーミング配信要求待ち状態になっています。
ストリーミング視聴用のクライアントアプリをご用意のうえ、以下の表に記載のURLへアクセスしてください。
ユーザー名、パスワードには、本機に設定したユーザー名、パスワードを入力します。

ストリーミング方式		URL
【RTSP】	【Video Stream 1】	rtsp://<camera_address>:<Port>/video1
	【Video Stream 2】	rtsp://<camera_address>:<Port>/video2
【SRT-Listener】		srt://<camera_address>:<Port>
【NDI HX】		NDI HX対応クライアント機器の取扱説明書をご覧ください。


<camera_address> : 本機のIPアドレス

<Port> : 【Port Number】で設定した待ち受けポート番号

ご注意

- すべてのアプリケーションや機器での再生を保証するものではありません。

【RTMP】、【SRT-Caller】の場合

ライブ操作画面の  (Stream) タブの 【Stream now】 ボタンを押すと、配信が開始されます。このときボタンは 【Stop stream】 に変わり、カメラ映像部の上部に 【Stream】 アイコンが表示されます。

配信中に 【Stop stream】 ボタンを押すと、配信が停止されます。ボタンは 【Stream now】 ボタンに戻り、カメラ映像部上部の 【Stream】 アイコンが非表示になります。

ご注意

- すべてのアプリケーションや機器での再生を保証するものではありません。

TP1001752357

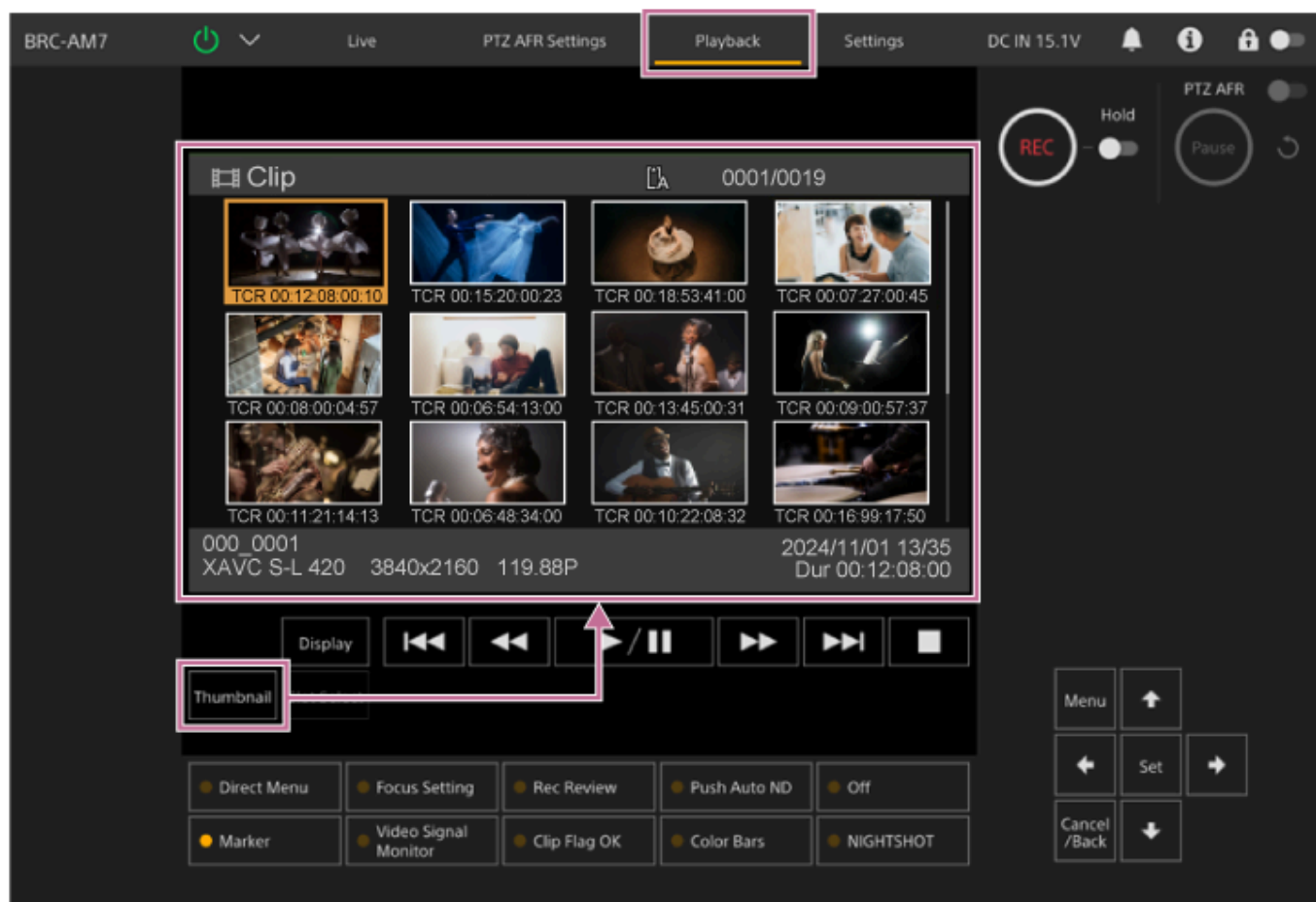
カラービデオカメラ
BRC-AM7

サムネイル画面

再生操作画面の [Thumbnail] ボタンまたは赤外線リモコンのTHUMBNAILボタンを押すと、メモリーカードに収録されているクリップが、カメラ映像部に表示されます。このカメラ映像部の表示をサムネイル画面と呼びます。

サムネイル画面で選択したクリップから再生を開始することができます。

サムネイル画面表示中に [Thumbnail] ボタンを押すと、サムネイル画面を終了し、撮影中の映像表示に戻ります。



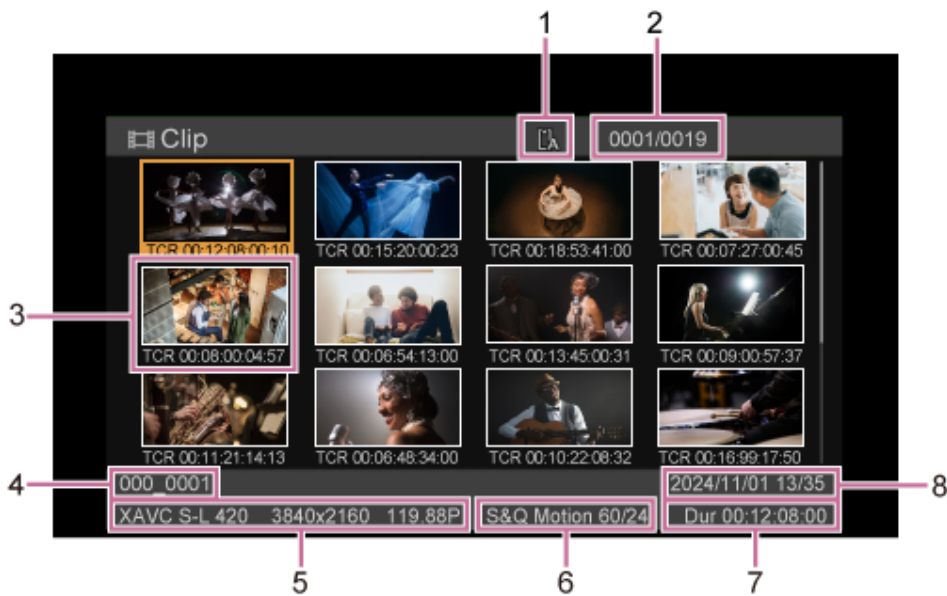
ご注意

- サムネイル画面には、現在選択している記録フォーマットで収録されたクリップのみが表示されます。収録したはずのクリップが表示されないときは、記録フォーマットをご確認ください。また、メディアのフォーマット（初期化）などを行う際にはご注意ください。

画面の構成

選択中のクリップはサムネイルの背面がオレンジ色で表示されます。

画面下部には、選択中のクリップの情報が表示されます。



1. 選択中のメモリーカード

メモリーカードがプロテクトされている場合は右にロックマークが付きます。

2. クリップ番号/クリップ総数

3. サムネイル（縮小画）

各クリップの代表画像です。記録時にはクリップの先頭フレームが自動的に代表画に設定されます。サムネイルの下にはクリップ/フレーム情報が表示されます。カメラメニューの [Thumbnail] メニュー→ [Customize View] の [Thumbnail Caption] で表示内容を変更できます。

4. クリップ名

選択しているクリップのクリップ名が表示されます。

5. 記録フォーマット

選択しているクリップのファイルフォーマットが表示されます。

6. 特殊記録撮影情報

特殊記録モードで記録されたクリップの場合のみ、そのモードが表示されます。スロー&クイックモーション記録されたクリップの場合は、右側にフレームレートが表示されます。

7. クリップの収録時間（Duration）

8. 作成日時

カラービデオカメラ
BRC-AM7

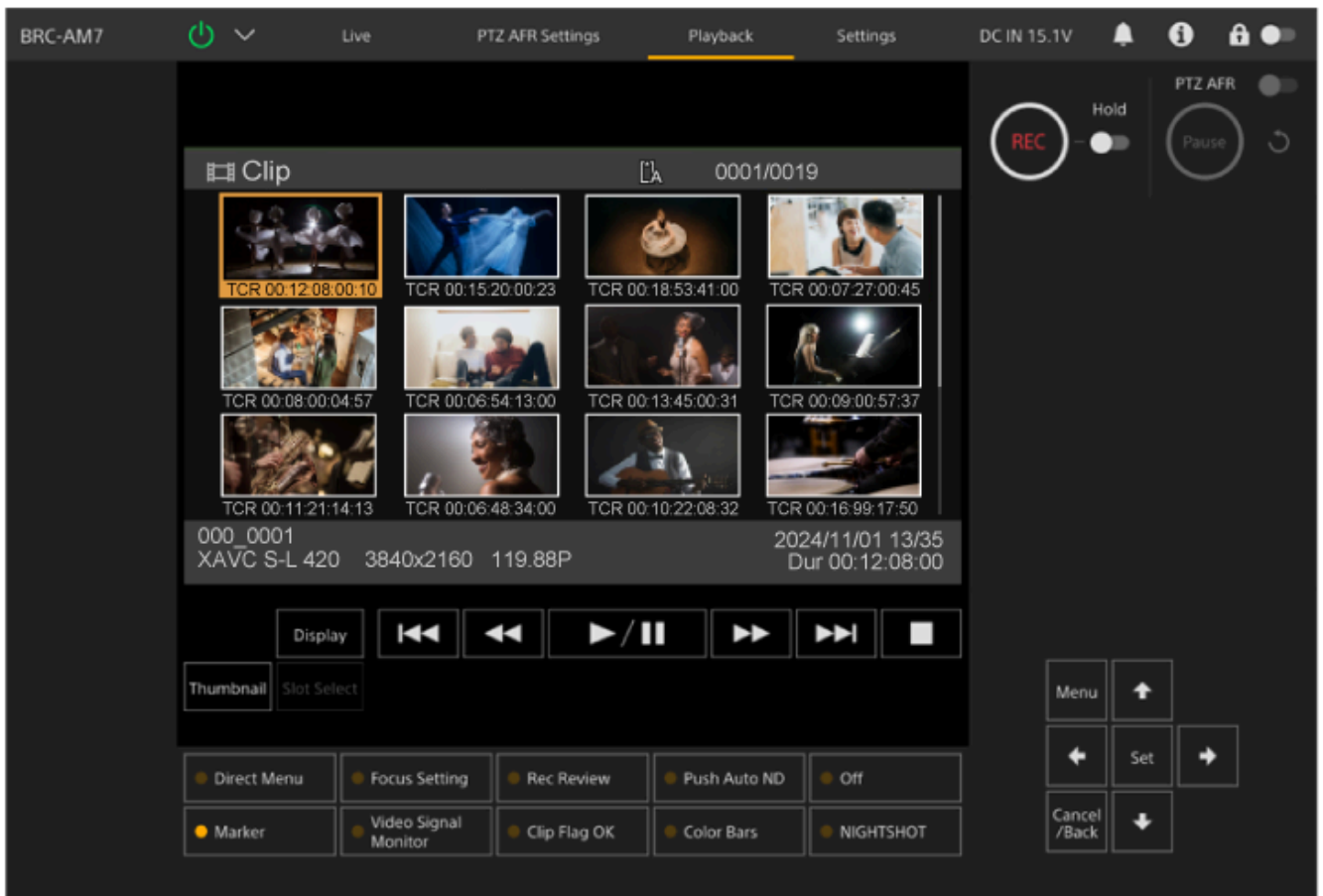
記録したクリップを再生する

本機が記録停止中のときは、記録したクリップを再生することができます。
クリップをGUI操作部で再生する方法を説明します。

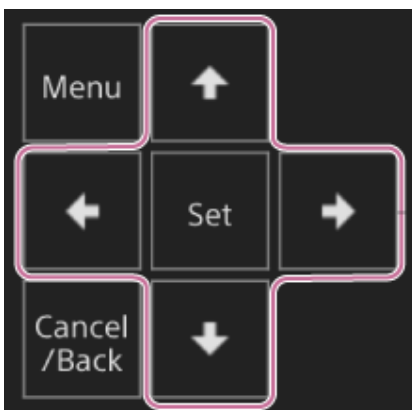
① 再生するメモリーカードを入れる。

② [Thumbnail] ボタンを押す。

クリップのサムネイルが表示されます。



③ GUI操作部の矢印ボタンを操作して、再生を開始したいクリップのサムネイルにカーソルを合わせる。



ご注意

- タッチ操作でクリップ選択はできません。

4 GUI操作部の [Set] ボタンを押す。

選択したクリップの先頭から再生が始まります。

5 必要に応じて再生操作部を操作する。



ボタン	機能
(Play/Pause) ボタン	クリップを再生します。再生中は一時停止します。
(Fast Forward) ボタン、 (Fast Reverse) ボタン	クリップを高速再生します。ボタンを押すと再生速度が3段階で変わります。
(Previous) ボタン、 (Next) ボタン	クリップの先頭または前後のクリップに移動します。
(Stop) ボタン	再生を停止して、撮影画面へ遷移します。

ヒント

- GUI操作部でも操作できます。
 - 再生： [Set] ボタンを押します。
 - 再生の一時停止：再生中に [Set] ボタンを押します。もう一度押すと再生に戻ります。
 - クリップの先頭または前後のクリップへの移動：右ボタン/左ボタンを押します。
 - 高速再生：右ボタン/左ボタンを長押しします。ボタンから指を離すと標準速再生に戻ります。
 - 再生の停止： [Cancel/Back] ボタンを押します。

ご注意

- クリップとクリップの境界では、一時的に画像が乱れたり、静止画になる場合があります。またこの間は操作ができません。
- サムネイル画面でクリップを選択して再生を開始すると、クリップの先頭部分の再生映像が乱れる場合があります。クリップの先頭から乱れない映像で再生するには、一度再生した後で一時停止にし、 (Previous) ボタンを押してクリップの先頭に戻して再生を行ってください。

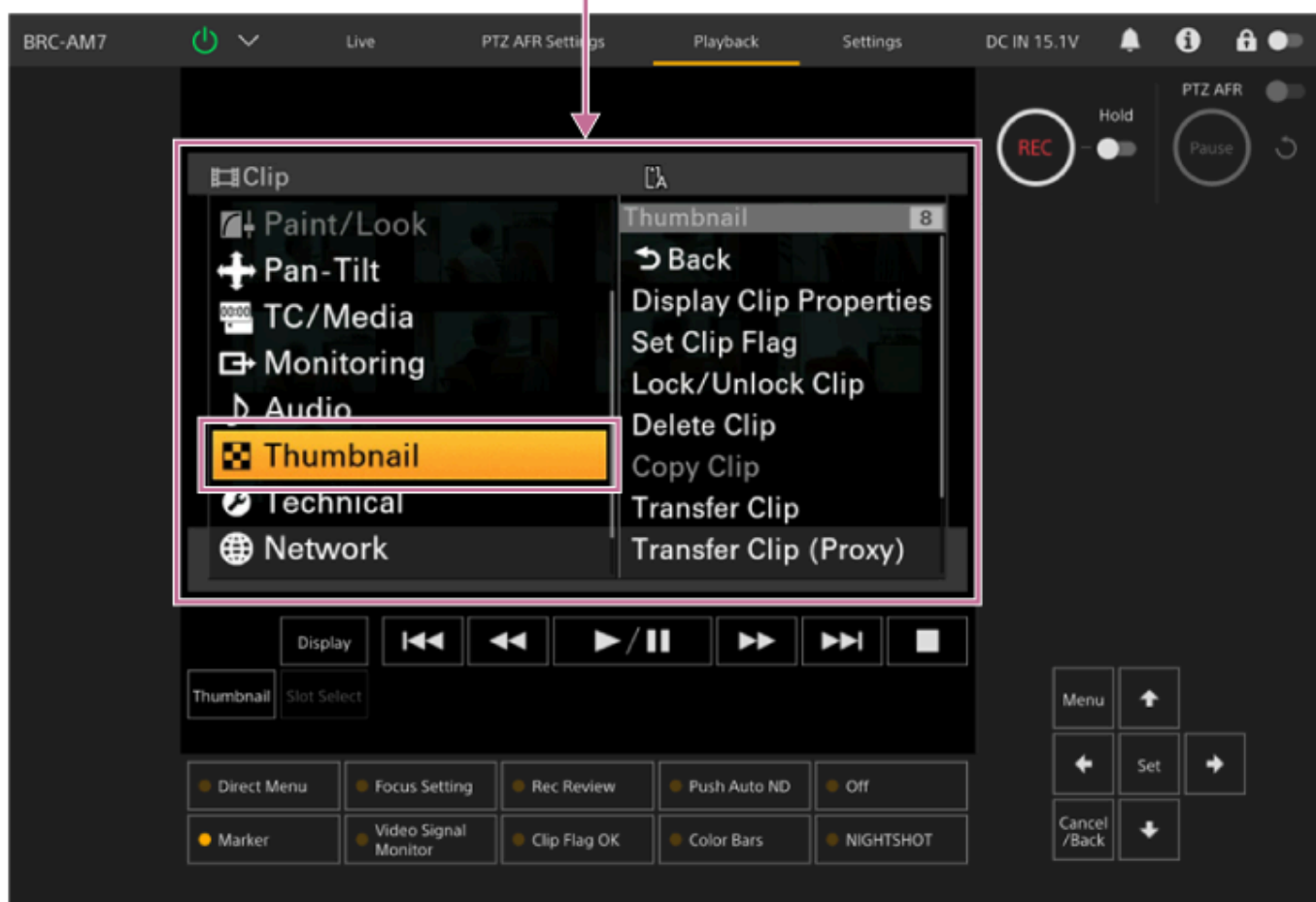
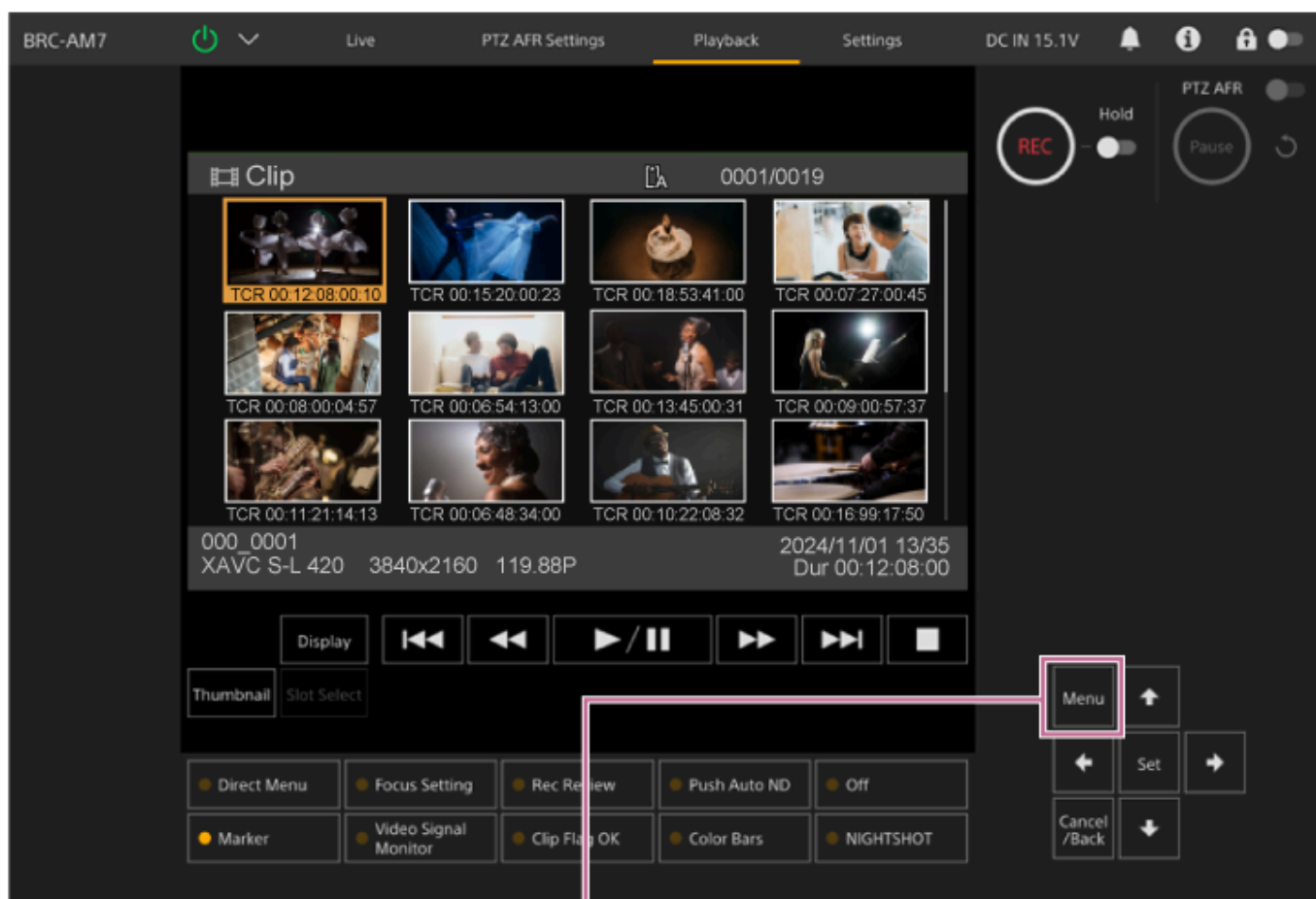
TP1001752359

カラービデオカメラ
BRC-AM7

記録したクリップを操作する

サムネイル画面では、カメラメニューの [Thumbnail] メニューを使用して、クリップの操作や詳細情報の確認などができます。

再生操作画面の [Menu] ボタンを押すと、カメラ映像部にカメラメニューが表示されます。
カメラメニューの [Thumbnail] メニューで以下の操作を行います。



ヒント

- カメラメニューは、ライブ操作画面の [Menu] ボタンを押して表示することもできます。

カメラメニューの [Thumbnail] メニューの操作方法

GUI操作部の矢印ボタンを操作して機能を選択し、[Set] ボタンを押して設定を確定します。
[Cancel/Back] ボタンを押すと、操作前の画面に戻ります。

ご注意

- メニューを表示させたときの状態によって選択できない項目があります。

クリップ操作メニュー

カメラメニューの [Thumbnail] メニューには、以下のクリップ操作に関するメニューがあります。

[Display Clip Properties]
[Set Clip Flag]
[Lock/Unlock Clip]
[Delete Clip]
[Copy Clip]
[Transfer Clip]
[Transfer Clip (Proxy)]
[Filter Clips]
[Customize View]

- 各メニューについて詳しくは、「Thumbnailメニュー」をご覧ください。

クリップの詳細情報画面を見るには

カメラメニューの [Thumbnail] メニュー > [Display Clip Properties] を選択すると、クリップの詳細情報画面が表示されます。

◀◀ (Previous) ボタン、▶▶ (Next) ボタンを押すと、前後のクリップへ移動することができます。

クリップフラグを付けるには

クリップにクリップフラグ (OK、NG、KPマーク) を付けると、クリップフラグを基準にクリップを絞り込んで表示することができます。

クリップフラグを付けたいクリップのサムネイルを選択し、カメラメニューの [Thumbnail] メニュー > [Set Clip Flag] からクリップフラグを選びます。

設定値	付加されるクリップフラグ
[Add OK]	OK
[Add NG]	NG
[Add KEEP]	KP

ヒント

- 再生中にクリップフラグ機能を割り当てたアサインボタンを使用してクリップフラグを付けることもできます。

フィルタードクリップサムネイル画面を表示するには

カメラメニューの [Thumbnail] メニュー > [Filter Clips] で表示したいフラグを選ぶと、指定したフラグの付いているクリップのみを表示することができます。

すべてのクリップを表示するには、[All] を選んでください。

[Display] ボタンを押して、フラグ別のサムネイル表示と切り替えることもできます。

クリップを削除するには

メモリーカードからクリップを削除することができます。

カメラメニューの [Thumbnail] メニュー > [Delete Clip] から [Select Clip] または [All Clips] を選びます。

[Select Clip] : 任意のクリップを削除します。1度に複数のクリップを選択することもできます。

[All Clips] : 表示されているすべてのクリップを削除します。

クリップをコピーするには

クリップを別のメモリーカードにコピーすることができます。

コピー先のメモリーカードには同じクリップ名でコピーされます。

カメラメニューの [Thumbnail] メニュー > [Copy Clip] から [Select Clip] または [All Clips] を選びます。

[Select Clip] : 任意のクリップをコピーします。複数のクリップを選択することもできます。

[All Clips] : 同じメモリーカードに記録されているクリップを、別のメモリーカードにまとめてコピーします。

ご注意

- コピー先のメモリーカードに同名のクリップが存在している場合は、オリジナルのクリップ名のクリップ番号をインクリメントしたクリップ名でコピーされます。
例 : ABCD0002 → ABCD0003
- コピー先のメモリーカードの残量が不足しているときはメッセージが表示されます。コピー先のメモリーカードを交換してください。
- 複数のクリップが記録されたメモリーカードをコピーする場合は、容量が同じメモリーカードであっても、使用条件やメモリーの特性などにより、すべてのクリップをコピーできない場合があります。

サムネイル画面の情報を変更するには

サムネイルの下に表示されるクリップ/フレーム情報を変更できます。

カメラメニューの [Thumbnail] メニュー > [Customize View] の [Thumbnail Caption] から表示したい内容を選びます。

[Date Time] : 作成日時または最終変更日時

[Time Code] : タイムコード

[Duration] : 収録時間

[Sequential Number] : サムネイル番号

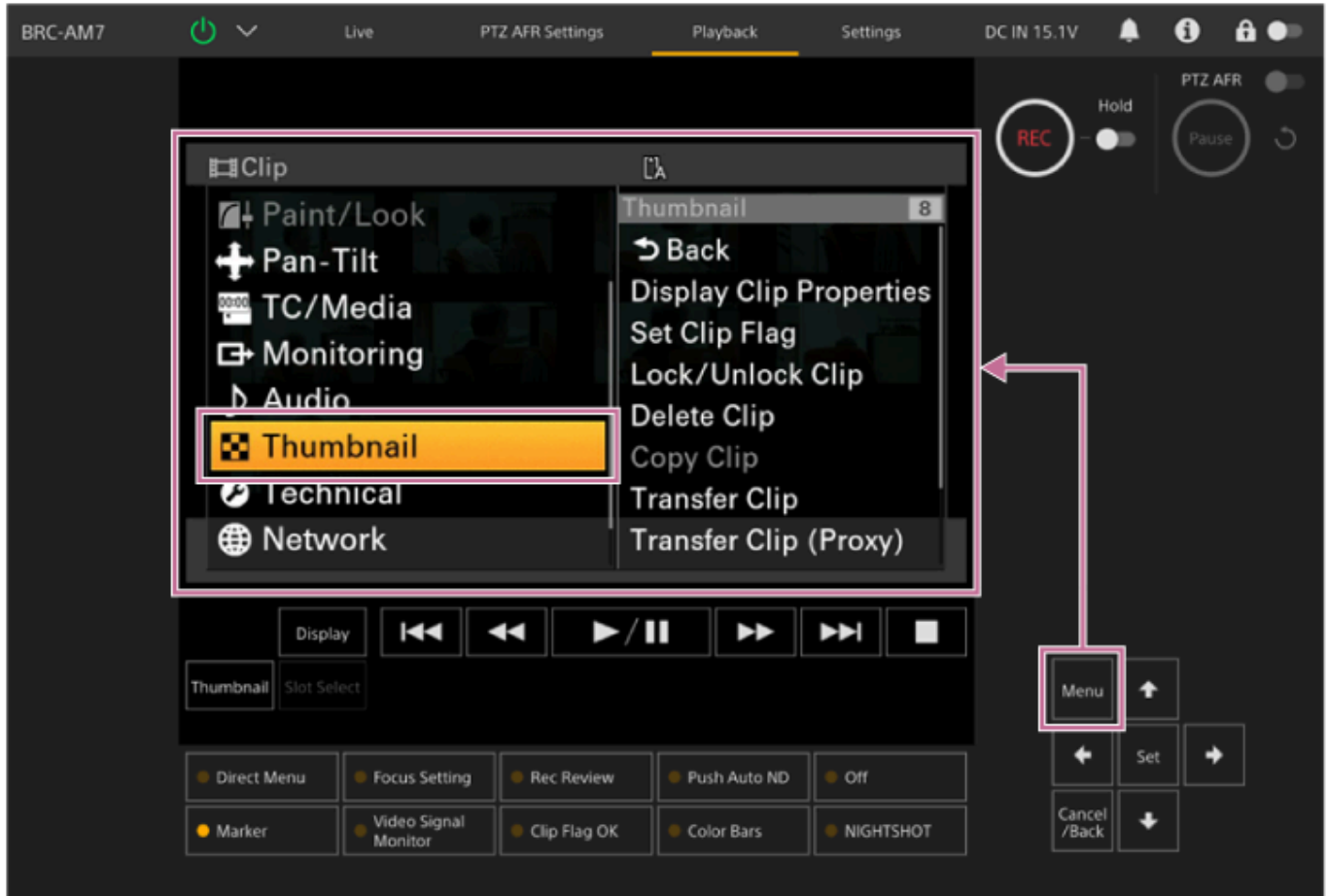
TP1001752360

5-065-326-01(1) Copyright 2024 Sony Corporation

カラービデオカメラ
BRC-AM7

カメラメニューの構成

GUI操作部の [Menu] ボタンまたは赤外線リモコンのMENUボタンを押すと、撮影や再生に必要な各種設定を行うカメラメニューがカメラ映像部に表示されます。



下記のメニューから選択して設定します。

メニュー構成

項目	説明
[User] メニュー	任意の設定を集めたメニュー [Edit User Menu] から編集できます。
[Edit User] メニュー	[User] メニューの編集に関する設定
[Shooting] メニュー	撮影に関する設定
[Project] メニュー	プロジェクトの基本的な設定
[Paint/Look] メニュー	画質に関する設定
[Pan-Tilt] メニュー	パン・チルトに関する設定
[TC/Media] メニュー	タイムコードと記録メディアに関する設定
[Monitoring] メニュー	ビデオ出力や画面表示出力に関する設定

項目	説明
[Audio] メニュー	音声に関する設定
[Thumbnail] メニュー	サムネイル表示に関する設定
[Technical] メニュー	技術的な内容の設定
[Network] メニュー	ネットワークに関する設定
[Maintenance] メニュー	時計や言語設定などの機器設定

カメラメニューの構成と階層

第1階層	第2階層
[User] (工場出荷時の設定)	[Base Setting]
	[Focus]
	[S&Q Motion]
	[Simul Rec]
	[Proxy Rec]
	[NIGHTSHOT]
	[Assignable Button]
	[Scene File]
	[Base Look]
	[P/T Acceleration]
	[Clip Name Format]
	[Format Media]
	[Video Signal Monitor]
	[Marker]
	[Zoom]
	[Delete Clip]
	[Copy Clip]
	[Transfer Clip]
[Edit User Menu]	

第1階層	第2階層
[Shooting]	[ISO/Gain]
	[ND Filter]
	[Shutter]
	[Auto Exposure]
	[White]
	[White Setting]
	[Offset White]
	[Focus]
	[S&Q Motion]
	[LUT On/Off]
	[NIGHTSHOT]
	[Noise Suppression]
	[Flicker Reduce]
[Project]	[Base Setting]
	[Rec Format]
	[Flexible ISO Setting]
	[Simul Rec]
	[Proxy Rec]
	[SDI/HDMI Rec Control]
	[Assignable Button]
[Paint/Look]	[Scene File]
	[Base Look]
	[Reset Paint Settings]
	[Black]
	[Knee]
	[Detail]
	[Matrix]
	[Multi Matrix]
[Pan-Tilt]	[P/T Acceleration]

第1階層	第2階層
[TC/Media]	[Timecode]
	[TC Display]
	[Users Bit]
	[HDMI TC Out]
	[Clip Name Format]
	[Update Media]
	[Format Media]
	[Media Life]
[Monitoring]	[Output Format]
	[Display On/Off]
	[Video Signal Monitor]
	[Marker]
[Audio]	[Audio Input]
	[Audio Output]
[Thumbnail]	[Display Clip Properties]
	[Set Clip Flag]
	[Lock/Unlock Clip]
	[Delete Clip]
	[Copy Clip]
	[Transfer Clip]
	[Transfer Clip (Proxy)]
	[Filter Clips]
	[Customize View]
[Technical]	[Color Bars]
	[Genlock]
	[Tally]
	[Rec Review]
	[Zoom]
	[Lens]
	[APR]
[Network]	[Wired LAN]
	[File Transfer]

第1階層	第2階層
[Maintenance]	[Language]
	[Hours Meter]

TP1001752387

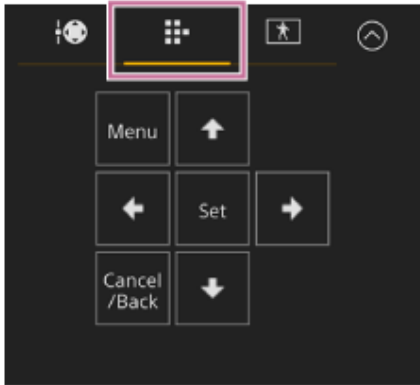
5-065-326-01(1) Copyright 2024 Sony Corporation

カラービデオカメラ
BRC-AM7

カメラメニューの操作方法

GUI操作部の [Menu] ボタンまたは赤外線リモコンのMENUボタンを押すと、撮影や再生に必要な各種設定を行うカメラメニューがカメラ映像部に表示されます。

メニューの操作はGUI操作部のボタンで行います。



[Menu] ボタン：押すとカメラメニューを表示します。カメラメニューの表示中に押すと、非表示にします。

矢印ボタン：矢印ボタンを押すと、カーソルがカメラメニュー上で上下左右に移動して、メニュー項目や設定値を選択できます。

[Set] ボタン：押すと選択している項目を決定します。

[Cancel/Back] ボタン：1つ前の階層に戻ります。確定前の変更はキャンセルされます。

ご注意

- メニューを表示させたときの状態によって選択できない項目があります。

メニューを設定する

GUI操作部の矢印ボタンで設定したい項目にカーソルを合わせ、[Set] ボタンを押して決定します。

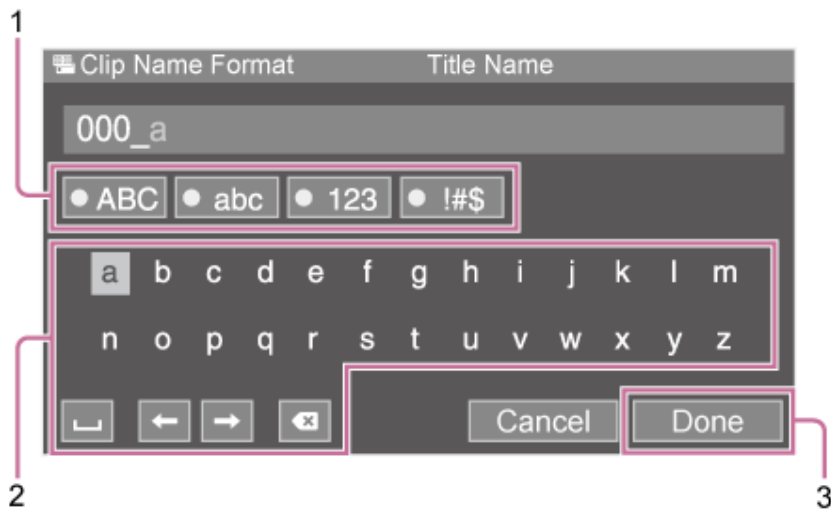
- 選択項目が表示される選択枝エリアは最大8行表示です。選択枝が一度に表示できない場合は、カーソルを上下に移動すると表示がスクロールします。
- 選択枝の範囲が大きい項目の場合（例：-99 ~ +99）は、選択枝エリアは表示されません。文字がハイライト表示になり設定変更が可能な状態であることを示します。
- 実行項目で [Execute] を選択した場合は、対応する機能が実行されます。
- 実行前に確認が必要な項目を選択すると、いったんメニューが消え、確認メッセージが表示されます。メッセージに従って、実行するかキャンセルするかを選択してください。

TP1001752388

カラービデオカメラ
BRC-AM7

文字列を入力する

ファイル名など、文字列を設定する項目を選択した場合は、文字列の入力画面が表示されます。




1 GUI操作部の矢印ボタンを押して、入力したい文字タイプを選択し、決定する。

- [ABC] : 英大文字
- [abc] : 英小文字
- [123] : 数字
- [!#\$] : 特殊文字

2 文字を選択し、[Set] ボタンを押して決定する。

カーソルが次の欄に移動します。

- [Space] : カーソルの位置にスペースを入力します。
- [←] [→] : カーソル位置を移動します。
-  (バックスペース) : カーソルの左の文字を削除します。

3 入力が終わったら、[Done] ボタンを押して決定する。

文字列を確定して、入力画面が消えます。
入力操作を中止する場合は [Cancel] ボタンを押します。

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[User]

各メニュー項目および対応する機能は以下のとおりです。

メニュー項目	内容
[Base Setting]	[Project] > [Base Setting] の内容
[Focus]	[Shooting] > [Focus] の内容
[S&Q Motion]	[Shooting] > [S&Q Motion] の内容
[Simul Rec]	[Shooting] > [Simul Rec] の内容
[Proxy Rec]	[Project] > [Proxy Rec] の内容
[NIGHTSHOT]	[Shooting] > [NIGHTSHOT] の内容
[Assignable Button]	[Project] > [Assignable Button] の内容
[Scene File]	[Project] > [Scene File] の内容
[Base Look]	[Paint/Look] > [Base Look] の内容
[P/T Acceleration]	[Pan-Tilt] > [P/T Acceleration] の内容
[Clip Name Format]	[TC/Media] > [Clip Name Format] の内容
[Format Media]	[TC/Media] > [Format Media] の内容
[Video Signal Monitor]	[Monitoring] > [Video Signal Monitor] の内容
[Marker]	[Monitoring] > [Marker] の内容
[Zoom]	[Technical] > [Zoom] の内容
[Delete Clip]	[Thumbnail] > [Delete Clip] の内容
[Copy Clip]	[Thumbnail] > [Copy Clip] の内容
[Transfer Clip]	[Thumbnail] > [Transfer Clip] の内容
[Edit User Menu]	[Edit User] メニューを表示

ご注意

- [User] メニューは [Edit User] メニューによってメニュー項目の追加や削除ができます。設定できる項目数は20が上限です。

TP1001752390

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[Edit User]

[User] メニューで [Edit User Menu] を選択すると、[Edit User] メニューが第1階層に表示されます。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Add Item] [User] メニュー項目の追加	—	—	[User] メニューに第2階層の項目を追加する。
[Customize Reset] [User] メニュー項目のリセット	—	—	[User] メニューの登録項目を工場出荷時の状態に戻す。
編集集中に選択した第2階層の項目	[Delete]	—	[User] メニューに登録した第2階層の項目を削除する。
	[Move]	—	[User] メニューに登録した項目を並べ替える。
	[Edit Sub Item]	—	[User] メニューに登録した第3階層の項目に属する細目を編集（登録・削除）する。

TP1001752391

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[ISO/Gain]

ゲインに関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Mode]	[ISO] / [dB]	[dB]	ゲイン設定モードを選択する。
[ISO/Gain<L>]	<ul style="list-style-type: none">設定項目について詳しくは、「ISO/Gainメニューの設定値と初期値」をご覧ください。	—	ゲインのプリセット値<L>を設定する。
[Shockless Gain]	[On] / [Off]	[Off]	ショックレスゲイン機能をオン/オフする。

関連項目

- [\[ISO/Gain\] メニューの設定値と初期値](#)

TP1001752392

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[ND Filter]

NDフィルターのプリセット値を設定します。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Mode]	[Preset] / [Variable]	[Variable]	NDフィルターのモードを選択する。
[Preset1]	1/4 / 1/8 / 1/16 / 1/32 / 1/64 / 1/128	1/4	NDフィルターのプリセット1の値を設定する。
[Preset2]	1/4 / 1/8 / 1/16 / 1/32 / 1/64 / 1/128	1/16	NDフィルターのプリセット2の値を設定する。
[Preset3]	1/4 / 1/8 / 1/16 / 1/32 / 1/64 / 1/128	1/64	NDフィルターのプリセット3の値を設定する。

TP1001752528

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[Shutter]

電子シャッターの動作を設定します。
動きの速い被写体を鮮明に撮影したい場合などに使用します。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Mode]	[Speed] / [Angle]	[Speed]	秒数でシャッター速度を設定するSpeed(スピード)モードと、開角度でシャッター速度を設定するAngle(角度)モードから選択する。
[Shutter Speed On/Off]	[On] / [Off]	[Off]	Speedモード選択時の露光時間を、[Shutter Speed] の設定値に従うかフル露光にするかを設定する。
[Shutter Speed]	64F~1/8000 設定値は、選択されている記録フォーマットのシステム周波数によって異なります。 119.88のとき : 1/120 / 1/125 / 1/250 / 1/500 / 1/1000 / 1/2000 / 1/4000 / 1/8000 100のとき : 1/100 / 1/120 / 1/125 / 1/250 / 1/500 / 1/1000 / 1/2000 / 1/4000 / 1/8000 59.94のとき : 64F / 32F / 16F / 8F / 7F / 6F / 5F / 4F / 3F / 2F / 1/60 / 1/100 / 1/120 / 1/125 / 1/250 / 1/500 / 1/1000 / 1/2000 / 1/4000 / 1/8000 50のとき : 64F / 32F / 16F / 8F / 7F / 6F / 5F / 4F / 3F / 2F / 1/50 / 1/60 / 1/100 / 1/120 / 1/125 / 1/250 / 1/500 / 1/1000 / 1/2000 / 1/4000 / 1/8000 29.97のとき : 64F / 32F / 16F / 8F / 7F / 6F / 5F / 4F / 3F / 2F / 1/30 / 1/40 / 1/50 / 1/60 / 1/100 / 1/120 / 1/125 / 1/250 / 1/500 / 1/1000 / 1/2000 / 1/4000 / 1/8000 25のとき : 64F / 32F / 16F / 8F / 7F / 6F / 5F / 4F / 3F / 2F / 1/25 / 1/33 / 1/50 / 1/60 / 1/100 / 1/120 / 1/125 / 1/250 / 1/500 / 1/1000 / 1/2000 / 1/4000 / 1/8000 23.98のとき : 64F / 32F / 16F / 8F / 7F / 6F / 5F / 4F / 3F / 2F / 1/24 / 1/32 / 1/48 / 1/50 / 1/60 / 1/96 / 1/100 / 1/120 / 1/125 / 1/250 / 1/500 / 1/1000 / 1/2000 / 1/4000 / 1/8000	119.88のとき : 1/120 100のとき : 1/100 59.94のとき : 1/60 50のとき : 1/50 29.97のとき : 1/30 25のとき : 1/25 23.98のとき : 1/24	Speedモード選択時、シャッター速度を設定する。
[Shutter Angle]	64F / 32F / 16F / 8F / 7F / 6F / 5F / 4F / 3F / 2F / 360.0° / 300.0° / 270.0° / 240.0° / 216.0° / 210.0° / 180.0° / 172.8° / 150.0° / 144.0° / 120.0° / 90.0° / 86.4° / 72.0° / 45.0° / 30.0° / 22.5° / 11.25° / 5.6°	180.0°	[Angle] モード選択時、開角度を設定する。
[ECS On/Off]	[On] / [Off]	[Off]	[ECS] モードの設定をオン/オフする。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の 初期設定値	内容
[ECS Frequency]	23.99~8000 設定値は、選択されている記録フォーマットのシステム周波数によって異なります。	119.88 のとき : 120.0 100.0 のとき : 100 59.94 のとき : 60.00 50 のとき : 50.00 29.97 のとき : 30.00 23.98 のとき : 23.99 25 のとき : 25.02	ECSモード 選択時、ECS周波数を設定する。

TP1001752394

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[Auto Exposure]

自動露出調整の設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Level]	+3.0 / +2.75 / +2.5 / +2.25 / +2.0 / +1.75 / +1.5 / +1.25 / +1.0 / +0.75 / +0.5 / +0.25 / ±0 / -0.25 / -0.5 / -0.75 / -1.0 / -1.25 / -1.5 / -1.75 / -2.0 / -2.25 / -2.5 / -2.75 / -3.0	±0	自動検出した露出に対する明暗レベルを設定する。
[Mode]	[Backlight] / [Standard] / [Spotlight]	[Standard]	自動露出調整の動作モードを設定する。 [Backlight] : バックライトモード (中心となる被写体が逆光のとき、黒沈みを軽減するモード) [Standard] : 標準モード [Spotlight] : スポットライトモード (中心となる被写体にスポットライトが当たっているとき、白潰れを軽減するモード)
[Speed]	-99 ~ +99	±0	自動露出調整の調整スピードを設定する。
[AGC]	[On] / [Off]	[Off]	オートゲインコントロールをオン/オフする。
[AGC Limit]	● 設定項目について詳しくは、「AGC Limitメニューの設定値と初期値」をご覧ください。	—	オートゲインコントロールの最大ゲインを設定する。
[AGC Point]	F2.8 / F4 / F5.6	F2.8	[AGC] を [On] に設定している場合に、オートゲインコントロールを動作させ始めるアイリスのF値を設定する。
[Auto Shutter]	[On] / [Off]	[Off]	オートシャッターをオン/オフする。
[A.SHT Limit]	1/100 / 1/150 / 1/200 / 1/250 / 1/2000	1/2000	オートシャッターの最速シャッタースピードを設定する。
[A.SHT Point]	F5.6 / F8 / F11	F8	[Auto Shutter] を [On] に設定している場合に、オートシャッターを動作させ始めるアイリスのF値を設定する。
[Clip High light]	[On] / [Off]	[Off]	高輝度部の検出を無視して、高輝度に対する反応を鈍くさせる機能をオン/オフする。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Detect Window]	1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / Custom	1	被写体の明るさに追従して露出を自動調整する測光範囲を選択する。 (露出を手動調整しているときは無効)
[Detect Window Indication]	[On] / [Off]	[Off]	測光範囲の表示をオン/オフする。
[Custom Width]	40 ~ 999	500	測光範囲の幅を設定する。
[Custom Height]	70 ~ 999	500	測光範囲の高さを設定する。
[Custom H Position]	-479 ~ +479	±0	測光範囲の水平位置を設定する。
[Custom V Position]	-464 ~ +464	±0	測光範囲の垂直位置を設定する。

関連項目

- [\[AGC Limit\] メニューの設定値と初期値](#)

TP1001752395

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[White]

ホワイトバランスの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Preset White]	2000K ~ 15000K	3200K	ホワイトバランスのプリセット値を設定する。
[Color Temp <A>]	2000K ~ 15000K	3200K	メモリーAに保存されたホワイトバランスの色温度を設定する。 ご注意 <ul style="list-style-type: none"> [Color Temp] は、[R Gain] / [B Gain] 操作時に2000Kや15000Kでクリップされるため、R/Bゲイン値の正確な [Color Temp] 値を表示できない場合があります。
[Tint<A>]	-99 ~ +99	±0	ホワイトメモリーAに保存されたホワイトバランスのTint値を設定する。 ご注意 <ul style="list-style-type: none"> [Tint] は、[R Gain] / [B Gain] 操作時に±99でクリップされるため、R/Bゲイン値の正確な [Tint] 値を表示できない場合があります。
[R Gain <A>]	-99.0 ~ +99.0	±0.0	メモリーAに保存されたホワイトバランスのRゲイン値を設定する。
[B Gain <A>]	-99.0 ~ +99.0	±0.0	メモリーAに保存されたホワイトバランスのBゲイン値を設定する。

TP1001752396

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[White Setting]

ホワイトバランスの調整を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Shockless White]	[Off] / 1 / 2 / 3	2	ホワイトバランスモード切り替え時のホワイトバランス変化速度を設定する。 [Off] : 瞬時に切り替わる。 1 ~ 3 : 数字が大きいくほどゆっくり切り替わる。
[ATW Speed]	1 / 2 / 3 / 4 / 5	3	ATWモード時の反応速度を設定する。 1が最も反応速度が速く、5が最も反応速度が遅い。

TP1001752397

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[Offset White]

ホワイトバランスのオフセットの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Offset White <A>]	[On] / [Off]	[Off]	メモリーAのホワイトバランスにオフセット値を付加する [On] か付加しないか [Off] を選択する。
[Offset Color Temp<A>]	-99 ~ +99	±0	[Offset White <A>] が [On] の場合に、メモリーAのホワイトバランスに付加する色温度方向のオフセットを設定する。
[Offset Tint<A>]	-99 ~ +99	±0	[Offset White <A>] が [On] の場合に、メモリーAのホワイトバランスに付加する [Tint] 方向のオフセットを設定する。
[Offset White<ATW>]	[On] / [Off]	[On]	ATWのホワイトバランスにオフセット値を付加する [On] か付加しないか [Off] を選択する。
[Offset Color Temp<ATW>]	-99 ~ +99	±0	[Offset White<ATW>] が [On] の場合に、ATWのホワイトバランスに付加する色温度方向のオフセットを設定する。
[Offset Tint<ATW>]	-99 ~ +99	±0	[Offset White<ATW>] が [On] の場合に、ATWのホワイトバランスに付加する [Tint] 方向のオフセットを設定する。

TP1001752398

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[Focus]

フォーカスの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[AF Transition Speed]	[1(Slow)] / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / [7(Fast)]	5	オートフォーカス中の被写体に移り変わる際のフォーカス駆動の速さを設定する。
[AF Subj. Shift Sens.]	[1(Locked On)] / 2 / 3 / 4 / [5(Responsive)]	[5(Responsive)]	オートフォーカス中の被写体の乗り移り感度を設定する。
[Focus Area]	[Wide] / [Zone] / [Flexible Spot]	[Wide]	<p>オートフォーカス、プッシュオートフォーカス (AF) の対象とする領域を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「フォーカスを自動調節する (オートフォーカス)」および「オートフォーカスの対象領域/位置を設定する (フォーカスエリア)」参照 <p>[Wide] : 映像全域からフォーカスを合わせる位置を探す。 [Zone] : 指定したゾーン内から自動でフォーカスを合わせる点を探す。 [Flexible Spot] : 映像の指定した位置にフォーカスを合わせる。</p>
[Subject Recognition AF]	[Human Only AF] / [Human Priority AF] / [Off]	[Human Priority AF]	<p>被写体認識AFの有効/無効を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「人物を検出してAF追尾する」参照
[Touch Function in MF]	[Tracking AF] / [Spot Focus]	[Tracking AF]	MF時にWeb Appライブ操作画面のカメラ映像をタッチしたときの動作を設定する。
[Multi Selector Function]	[Subject Sel. Cursor] / [Pointer]	[Subject Sel. Cursor]	<p>GUI操作部の矢印ボタン操作によるオートフォーカス対象の指定方法を設定する。</p> <p>[Subject Sel. Cursor] : GUI操作部の矢印ボタンで被写体認識枠を選ぶことができる。</p> <p>[Pointer] : GUI操作部の矢印ボタンでトラッキングAFポインターを動かして、画面上の被写体を自由に選ぶことができる。</p>
[Pointer Color]	[Orange] / [White] / [Yellow] / [Cyan] / [Green] / [Magenta] / [Red] / [Blue]	[Orange]	フォーカス対象の指定に使用するポインターの色を設定する。
[Pointer Border]	[On] / [Off]	[On]	フォーカス対象の指定に使用するポインターの縁取りをオン/オフする。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[AF Assist]	[On] / [Off]	[On]	<p>[On] に設定すると、オートフォーカス時、一時的に手動でフォーカスを合わせることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「Web Appでオートフォーカスの対象を手動設定する (AFアシスト) 」および「オートフォーカス中に付属の赤外線リモコンで手動フォーカスする」参照

関連項目

- [オートフォーカスの対象領域/位置を設定する \(フォーカスエリア\)](#)
- [人物を検出してAF追尾する](#)
- [Web Appでオートフォーカスの対象を手動設定する \(AFアシスト\)](#)
- [オートフォーカス中に付属の赤外線リモコンで手動フォーカスする](#)

TP1001752399

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[S&Q Motion]

スロー&クイックモーションモードの設定を行います（「スロー&クイックモーション」参照）。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Setting]	[On] / [Off]	[Off]	スロー&クイックモーションモードをオン/オフする。
[Frame Rate]	1fps ~ 60fps / 100fps / 120fps / 150fps / 180fps / 200fps / 240fps	—	スロー&クイックモーション撮影時のフレームレートを設定する。 ご注意 <ul style="list-style-type: none">設定値の範囲は、選択されているシステム周波数やコーデック、ビデオフォーマットによって異なります。

関連項目

- [スロー&クイックモーション](#)

TP1001752400

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[LUT On/Off]

LUTの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[SDI1]	[LUT On] / [LUT Off]	[LUT Off]	SDI出力映像にLUTを適用するか選択する。
[SDI2/HDMI/Stream]	[LUT On] / [LUT Off]	[LUT Off]	SDI2、HDMIおよびストリーミングの出力映像にモニターLUTを適用するか選択する。
[Proxy]	[LUT On] / [LUT Off]	[LUT Off]	Proxy記録映像にLUTを適用するか選択する。
[LUT On/Off Button Target]	[SDI1] / [SDI2/HDMI/Stream] / [SDI1 & SDI2/HDMI/Str]	[SDI2/HDMI/Stream]	アサインボタンLUTのオン/オフの操作対象となる出力システムを設定する。

TP1001752401

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[NIGHTSHOT]

ナイトショットの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Setting]	[On] / [Off]	[Off]	ナイトショットモードをオン/オフする。 ご注意 <ul style="list-style-type: none">● ログ撮影有効時はオンにできません。
[Image Color]	[White] / [Green]	[White]	ナイトショットモードがオンの場合の撮影色を設定する。

TP1001803423

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[Noise Suppression]

ノイズサプレスの設定を行います。

ヒント

- [Setting(Custom)] と [Level(Custom)] の設定値はそれぞれ [Target Display] の設定に反映されます。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Setting(Custom)]	[On] / [Off]	[On]	<p>カスタム撮影時のノイズサプレス機能をオン/オフする。</p> <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ログ撮影のときは、本機能を設定できません。
[Level(Custom)]	[Low] / [Mid] / [High]	[Mid]	<p>カスタム撮影時のノイズサプレスのレベルを設定する。</p> <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ログ撮影のときは、本機能を設定できません。
[Setting(Flexible ISO)]	[On] / [Off]	[Off]	<p>ログ撮影時のノイズサプレス機能をオン/オフする。</p> <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ログ撮影のときは、本機能を設定できません。
[Level(Flexible ISO)]	[Low] / [Mid] / [High]	[Mid]	<p>ログ撮影時のノイズサプレスのレベルを設定する。</p> <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ログ撮影のときは、本機能を設定できません。

TP1001752402

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[Flicker Reduce]

フリッカー補正の設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Mode]	[Auto] / [On] / [Off]	[Off]	フリッカー補正モードを設定する。
[Frequency]	[50Hz] / [60Hz]	[60Hz]	フリッカーの原因となる照明の電源周波数を設定する。

TP1001752403

カラービデオカメラ
BRC-AM7

【Base Setting】

基本設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Shooting Mode]	[Custom] / [Flexible ISO]	[Custom]	撮影モードを設定する。 <ul style="list-style-type: none">「本機の基本動作を設定する」の「撮影モードを設定する」参照
[Target Display]	[SDR(BT.709)] / [HDR(HLG)]	[SDR(BT.709)]	カスタム撮影時の記録/出力の映像規格を設定する。

関連項目

- [本機の基本動作を設定する](#)

TP1001752405

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[Rec Format]

記録フォーマットの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Frequency]	119.88 / 100 / 59.94 / 50 / 29.97 / 25 / 23.98	59.94	システム周波数を選択する。
[Codec]	[XAVC HS-L 422] / [XAVC HS-L 420] / [XAVC S-L 422] / [XAVC S-L 420] / [XAVC S-I]	[XAVC S-L 420]	クリップの記録・再生コーデックを設定する。
[Video Format]	設定項目について、詳細は下記をご覧ください。 [Video Format] / [Quality] / [Bit Rate] の設定値	—	画像サイズおよびスキャン方式を設定する。
[Quality]		—	記録ビットレートを設定する。
[Bit Rate]		—	記録ビットレートを表示する。

関連項目

- [\[Video Format\] / \[Quality\] / \[Bit Rate\] の設定値](#)

TP1001752406

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[Flexible ISO Setting]

Log撮影モードの設定を行います（「本機の基本動作を設定する」の「撮影モードを設定する」参照）。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Color Gamut]	[S-Gamut3/SLog3] / [S-Gamut3.Cine/SLog3]	[S-Gamut3.Cine/SLog3]	ログ撮影モード（[Flexible ISO]）時の色域を設定する。
[Embed LUT File]	[On] / [Off]	[On]	3D LUTファイル（CUBEファイル）のメタデータ記録をオン/オフする。

関連項目

- [本機の基本動作を設定する](#)

TP1001752407

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[Simul Rec]

2スロット同時記録の設定を行います（「メモリーカードAとメモリーカードBの両方に記録するには（2スロット同時記録）」参照）。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Setting]	[On] / [Off]	[Off]	2スロット同時記録モードをオン/オフする。
[Rec Button Set]	[Rec Button] : [<Slot A>] [<Slot B>] [2nd Rec Button] : [<Slot A>] [<Slot B>] / [Rec Button] : [<Slot A>] [2nd Rec Button] : [<Slot B>] / [Rec Button] : [<Slot B>] [2nd Rec Button] : [<Slot A>]	[Rec Button] : [<Slot A>] [<Slot B>] [2nd Rec Button] : [<Slot A>] [<Slot B>]	記録メディアごとに録画ボタンの割り当てを行う。

TP1001752408

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[Proxy Rec]

プロキシ記録モードの設定を行います（「プロキシ記録」参照）。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Setting]	[On] / [Off]	[Off]	プロキシ記録モードをオン/オフする。
[Proxy Format]	[HEVC 1920 (16M)] / [HEVC 1920 (9M)] / [AVC 1280 (6M)]	[AVC 1280 (6M)]	プロキシファイル用の映像のサイズを設定する。
[Audio Channel]	[CH1/CH2] / [CH3/CH4]	[CH1/CH2]	プロキシデータに記録するオーディオチャンネルを選択する。

TP1001752409

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[SDI/HDMI Rec Control]

SDI/HDMI記録制御の設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Setting]	[Off] / [SDI/HDMI Remote I/F] / [Parallel Rec]	[Off]	<p>SDI/HDMI出力信号による外部接続機器の記録開始/停止制御を設定する。</p> <p>[Off] : リモート制御しない。</p> <p>[SDI/HDMI Remote I/F] : 本機にメディアを挿入していない状態で、外部接続機器の記録開始/停止制御が可能。本機のメディアとフレーム精度で同期しない。</p> <p>[Parallel Rec] : 本機にメディアを挿入している状態で、外部接続機器の記録開始/停止制御が可能。本機のメディアとフレーム精度で同期する。</p> <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> HDMI出力信号による制御を行う場合は、カメラメニューの [TC/Media] メニュー > [HDMI TC Out] の [Setting] を [On] に設定してください。

TP1001752410

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[Assignable Button]

アサインナブルボタン (<1> ~ <10>) への機能割り当て設定を行います。
割り当て可能な機能は以下のとおりです。

項目	説明
[Off]	機能割り当てなし
[ISO/Gain]	ゲイン値の切り替え
[AGC]	AGC機能のオン/オフ切り替え
[Push AGC]	ボタンを押している間、AGC機能を有効にする
[ND Filter]	バリアブルモードのとき：NDフィルターの透過率を設定する。長押しで [Clear] / [Manual] / [Auto] 切り替え プリセットモードのとき：長押しでプリセット切り替え
[ND Filter Position]	NDフィルターの切り替え
[Auto ND Filter]	オートNDフィルターのオン/オフ即時切り替え
[Push Auto ND]	プッシュオートNDフィルターのオン/オフ切り替え
[Auto Iris]	アイリス機能のオン/オフ切り替え
[Push Auto Iris]	ボタンを押している間、オートアイリス機能を有効にする
[Shutter]	[Shutter] のダイレクトメニューの開始/終了
[Auto Shutter]	オートシャッター機能のオン/オフ切り替え
[AE Level/Mode]	AEレベルを調節する。長押しでAEモードを切り替える
[Backlight]	Backlight/Standard切り替え
[Spotlight]	Spotlight/Standard切り替え
[Preset White Select]	ホワイトバランス プリセットモード値の切り替え
[ATW]	ATW機能のオン/オフ切り替え
[ATW Hold]	ATW機能の動作を一時ホールド
[AF Speed/Sens.]	AFトランジション速度の設定とAF乗り移り感度の設定の切り替え
[Focus Setting]	フォーカスエリアの設定を行う
[Subject Recognition AF]	被写体認識オートフォーカスの動作を切り替える
[Push AF/Push MF]	フォーカスモードがマニュアルフォーカスの場合に、ボタンを押している間はオートフォーカスになる。フォーカスモードがオートフォーカスの場合に、ボタンを押している間はマニュアルフォーカスになる
[Focus Hold]	フォーカスモードがAF時、ボタンを押している間フォーカスを固定する
[S&Q Motion]	スロー&クイックモーション機能のオン/オフ切り替え。長押しで撮影時のフレームレートの設定

項目	説明
[LUT On/Off]	LUTのオン/オフ切り替え。切り替え対象は [Shooting] メニュー→ [LUT On/Off] の [LUT On/Off Button Target] で設定する
[NIGHTSHOT]	ナイトショットモードのオン/オフ切り替え
[Rec]	記録の開始または停止
[Rec Review]	レックレビューのオン/オフ切り替え
[Shot Mark1]	記録中または再生中のクリップにショットマーク1を追加する
[Shot Mark2]	記録中または再生中のクリップにショットマーク2を追加する
[Clip Flag OK]	Add OKを実行する。2回続けて押すとDelete Clip Flagを実行する
[Clip Flag NG]	Add NGを実行する。2回続けて押すとDelete Clip Flagを実行する
[Clip Flag Keep]	Add KEEPを実行する。2回続けて押すとDelete Clip Flagを実行する
[Slot Select]	メモリーカードスロット(A)、(B)の切り替え
[Color Bars]	カラーバーのオン/オフ切り替え
[DURATION/TC/U-BIT]	Time Code/Users Bit/Duration切り替え
[Display]	画面表示のオン/オフ切り替え
[Lens Info]	被写界深度表示の切り替え
[Video Signal Monitor]	映像信号モニター（波形モニターなど）の表示切り替え
[Marker]	マーカー機能のオン/オフ切り替え
[Thumbnail]	サムネイル画面の開始/終了
[Auto Upload (Proxy)]	プロキシファイルの自動転送のオン/オフ切り替え
[Direct Menu]	ダイレクトメニューの開始/終了
[User Menu]	Userメニューの開始/終了

TP1001752411

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[Scene File]

Sceneファイルに関する設定を行います（「ルックの概要」参照）。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Recall]	—	—	内蔵メモリーに保存されているSceneファイルを読み込み、現在の画質設定に適用する。
[Store]	—	—	現在の画質設定状態をSceneファイルとして内蔵メモリーに保存する。
[Delete]	—	—	内蔵メモリーに保存されているSceneファイルを削除する。
[Preset Recall]	[Shooting Mode] が [Custom] で、 [Target Display] が [SDR(BT.709)] のとき： [S-Cinetone] / [ITU709] / [709tone] [Shooting Mode] が [Custom] で、 [Target Display] が [HDR(HLG)] のとき： [HLG Live] / [HLG Mild] / [HLG Natural]	—	プリセット画質（書き換え不可）を現在の画質設定に適用する。

関連項目

- [ルックの概要](#)

TP1001752412

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[Base Look]

基本ルックに関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Select]	[Shooting Mode] が [Custom] で、 [Target Display] が [SDR(BT.709)] のとき： [S-Cinetone] / [ITU709] / [709tone] / User1 ~ User16 [Shooting Mode] が [Custom] で、 [Target Display] が [HDR(HLG)] のとき： [HLG Live] / [HLG Mild] / [HLG Natural] / User1 ~ User16 ログ撮影モードのとき： [s709] / [709(800%)] / [S-Log3] / User1 ~ User16	[Shooting Mode] が [Custom] で、 [Target Display] が [SDR(BT.709)] のとき： [ITU709] [Shooting Mode] が [Custom] で、 [Target Display] が [HDR(HLG)] のとき： [HLG Mild] ログ撮影モードのとき： [s709]	基本ルックを選択する。
[Delete]	—	—	選択した基本ルックを削除する。
[Delete All]	—	—	すべての基本ルックを削除する。
[Input]	[S-Gamut3/SLog3] / [S-Gamut3.Cine/SLog3]	[S-Gamut3.Cine/SLog3]	[Select] で選択している基本ルックの入力Gamutを設定する。
[Output]	[BT.709] / [HLG]	[BT.709]	[Select] で選択している基本ルックの出力色域を設定する。
[AE Level Offset]	0EV / 1/3EV / 2/3EV / 1EV / 4/3EV / 5/3EV / 2EV	0EV	[Select] で選択している基本ルックの露出基準値を設定する。

TP1001752413

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[Reset Paint Settings]

基本ルック以外の [Paint/Look] メニューの設定値をリセットします。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Reset without Base Look]	[Execute] / [Cancel]	—	基本ルック以外の [Paint/Look] メニューの設定値のリセットを実行する。 [Execute] : 実行

TP1001752414

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[Black]

ブラックの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Master Black]	-99.0 ~ +99.0	±0.0	マスターブラックレベルを設定する。
[R Black]	-99.0 ~ +99.0	±0.0	Rブラックレベルを設定する。
[B Black]	-99.0 ~ +99.0	±0.0	Bブラックレベルを設定する。

TP1001752415

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[Knee]

ニー補正の設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Setting]	[On] / [Off]	[Target Display] が [SDR(BT.709)] のとき : [Off] [Target Display] が [HDR(HLG)] のとき : [Off]	ニー補正機能をオン/オフする。 ご注意 ● [Base Look] 設定の [Select] が [ITU709]、[709tone]、[HLG Live]、[HLG Mild]、[HLG Natural] のときのみ有効です。
[Auto Knee]	[On] / [Off]	[Target Display] が [SDR(BT.709)] のとき : [On] [Target Display] が [HDR(HLG)] のとき : [Off]	オートニー機能をオン/オフする。 ご注意 ● [Base Look] 設定の [Select] が [ITU709] または [709tone] のときのみ有効です。
[Point]	75% ~ 109%	90%	ニーポイントを設定する。
[Slope]	-99 ~ +99	±0	ニースロープを設定する。

TP1001752416

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[Detail]

ディテール調整の設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Setting]	[On] / [Off]	[On]	ディテール機能をオン/オフする。
[Level]	-7 ~ +7	±0	ディテールレベルを設定する。
[Manual Setting]	[On] / [Off] / ---	[Off]	ディテール手動調整機能をOn/Offする。
[H/V Ratio]	-2 ~ +2	±0	ディテール手動調整時に水平(H)/垂直(V)ディテールのバランスを設定する。
[B/W Balance]	[Type1] / [Type2] / [Type3] / [Type4] / [Type5]	[Type3]	ディテール手動調整時に下側 (B) / 上側 (W) ディテールのバランスを設定する。
[Limit]	0 ~ 7	1	ディテール手動調整時にディテールのリミットレベルを設定する。
[Crispening]	0 ~ 7	0	ディテール手動調整時にクリスプニングレベルを設定する。
[High Light Detail]	0 ~ 4	0	ディテール手動調整時に高輝度部分のディテールレベルを設定する。

TP1001752417

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[Matrix]

マトリクス補正の設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[User Matrix]	[On] / [Off]	[Off]	ユーザーマトリクス補正機能をオン/オフする。
[User Matrix Level]	-99 ~ +99	±0	映像全域の色の濃さ（サチュレーション）を調整する。
[User Matrix Phase]	-99 ~ +99	±0	映像全域の色合い（フェーズ）を調整する。
[User Matrix R-G]	-99 ~ +99	±0	R-Gのユーザーマトリクスを任意に設定する。
[User Matrix R-B]	-99 ~ +99	±0	R-Bのユーザーマトリクスを任意に設定する。
[User Matrix G-R]	-99 ~ +99	±0	G-Rのユーザーマトリクスを任意に設定する。
[User Matrix G-B]	-99 ~ +99	±0	G-Bのユーザーマトリクスを任意に設定する。
[User Matrix B-R]	-99 ~ +99	±0	B-Rのユーザーマトリクスを任意に設定する。
[User Matrix B-G]	-99 ~ +99	±0	B-Gのユーザーマトリクスを任意に設定する。

TP1001752418

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[Multi Matrix]

マルチマトリクス補正の設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Setting]	[On] / [Off]	[Off]	マルチマトリクス補正機能をオン/オフする。
[Area Indication]	[On] / [Off]	[Off]	<p>[Axis] で選択した調整対象の色軸に該当する対象領域を見分ける表示機能をオン/オフする。撮影映像中の対象領域以外の部分をモノトーンで表示する。</p> <p>ヒント</p> <ul style="list-style-type: none"> マルチマトリクス補正の設定画面では、[Display] ボタンで [Area Indication] のオン/オフを切り替えることができます。 <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> [Area Indication] はすべての映像出力に適用されます。映像出力信号を本線信号として使っている場合などご注意ください。
[Area Indication Control]	[Menu Only] / [Menu & RCP]	[Menu Only]	[Area Indication] の操作対象を設定する。
[Reset]	[Execute] / [Cancel]	—	各軸の色の色相（ヒュー）と飽和度（サチュレーション）をすべて初期値にする。
[Axis]	B / B+ / MG- / MG / MG+ / R / R+ / YL- / YL / YL+ / G- / G / G+ / CY / CY+ / B-	B	軸を選択する。
[Hue]	-99 ~ +99	±0	マルチマトリクス補正の対象となる色の色相（ヒュー）を設定する。
[Saturation]	-99 ~ +99	±0	マルチマトリクス補正の対象となる色の飽和度（サチュレーション）を設定する。

TP1001752419

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[P/T Acceleration]

パン・チルト動作の加減速に関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Ramp Curve]	1～9	8	パン・チルト動作における加減速の加速度を選択する。数字が大きいほど加速度が大きくなる。

TP1001752420

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[Timecode]

タイムコードの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Mode]	[Preset] / [Regen] / [Clock]	[Preset]	タイムコードの歩進モードを設定する。 [Preset] (プリセット) : 設定された値から歩進する。 [Regen] (リジエネ) : 前のクリップのタイムコードに続けて歩進する。 [Clock] (クロック) : 内蔵時計をタイムコードとして使用する。
[Run]	[Rec Run] / [Free Run]	[Rec Run]	[Rec Run] : 記録時のみ歩進する。 [Free Run] : 記録に関係なく常に歩進する。
[Setting]	—	—	タイムコードを任意の値に設定する。 [Set] : 決定
[Reset]	[Execute] / [Cancel]	—	タイムコードを00:00:00:00にリセットする。 [Execute] : 実行
[TC Format]	[DF] / [NDF]	[DF]	タイムコードのフォーマットを設定する。 [DF] : ドロップフレーム [NDF] : ノンドロップフレーム

TP1001752421

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[TC Display]

タイムデータ表示の設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Display Select]	[Timecode] / [Users Bit] / [Duration]	[Timecode]	タイムデータの表示を切り替える。

TP1001752422

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[Users Bit]

ユーザービットに関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Mode]	[Fix] / [Time]	[Fix]	ユーザービットのモードを設定する。 [Fix] : ユーザービットに任意の固定値を使用する。 [Time] : ユーザービットに現在の時分秒を使用する。
[Setting]	—	—	ユーザービットを任意の値に設定する。

TP1001752423

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[HDMI TC Out]

HDMI利用時のタイムコード出力に関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Setting]	[On] / [Off]	[Off]	HDMIを利用して、他の業務用機器にタイムコードを出力するかどうかを設定する。

TP1001752424

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[Clip Name Format]

クリップの名称や削除に関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Clip Number]	[Series] / [Reset]	[Series]	クリップ番号の発番方法を設定する。 [Series]：本機に保持された連番カウンターの番号を起点に発番する方法。ただし、メモリーカード内のクリップのうち一番大きな番号が連番カウンターより大きい番号の場合は、その番号を起点に発番する。 [Reset]：メモリーカード内にあるクリップのうち一番大きな番号を起点に発番する方法。
[Series Counter Reset]	[Execute] / [Cancel]	—	本機に保持された連番カウンターをリセットする。 ヒント ● クリップを記録することにより、そのクリップの番号で連番カウンターを更新します。
[Title Name Settings]	任意の文字を入力する	C	クリップ名のタイトル部分を設定する。

関連項目

- [文字列を入力する](#)

TP1001752425

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[Update Media]

メモリーカード内の管理ファイルを更新します（「メモリーカードを修復する」参照）。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Media(A)]	[Execute] / [Cancel]	—	スロットAのメモリーカード内の管理ファイルを更新する。 [Execute] : 実行
[Media(B)]	[Execute] / [Cancel]	—	スロットBのメモリーカード内の管理ファイルを更新する。 [Execute] : 実行

関連項目

- [メモリーカードを修復する](#)

TP1001752426

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[Format Media]

メモリーカードを初期化します（「メモリーカードをフォーマット（初期化）する」参照）。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Media(A)]	[Full Format] / [Quick Format] / [Cancel]	—	スロットAのメモリーカードを初期化する。
[Media(B)]	[Full Format] / [Quick Format] / [Cancel]	—	スロットBのメモリーカードを初期化する。

関連項目

- [メモリーカードをフォーマット（初期化）する](#)

TP1001752427

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[Media Life]

メモリーカードの残寿命を表示します。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Media(A)]	—	—	スロットAのメモリーカードの残寿命を表示する。
[Media(B)]	—	—	スロットBのメモリーカードの残寿命を表示する。

ご注意

- 残寿命表示に対応したメモリーカードが必要です。

TP1001752428

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[Output Format]

出力フォーマットの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[SDI1]	設定項目について詳しくは、「出力のフォーマットと制限」をご覧ください。	—	SDIとHDMI出力の解像度設定をする。
[SDI2]		—	
[HDMI]		—	

関連項目

- [出力のフォーマットと制限](#)

TP1001752429

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[Display On/Off]

画面表示項目の設定を行います。
表示する場合はOn、表示しない場合はOffを選択します。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値
[File Transfer Status]	[On] / [Off]	[On]
[Rec/Play Status]	[On] / [Off]	[On]
[Tally]	[On] / [Off]	[On]
[Focus Mode]	[On] / [Off]	[On]
[Focus Position]	[On] / [Off]	[On]
[Focus Area Indicator]	[On] / [Off]	[On]
[Subject Recognition Frame]	[On] / [Off]	[On]
[Tracking AF Pointer]	[On] / [Off]	[On]
[Lens Info]	[On] / [Off]	[Off]
[Rec Format]	[On] / [Off]	[On]
[Frame Rate]	[On] / [Off]	[On]
[Zoom Position]	[On] / [Off]	[On]
[Base Look/Rec Look]	[On] / [Off]	[On]
[SDI/HDMI Rec Control]	[On] / [Off]	[On]
[Monitoring Look]	[On] / [Off]	[On]
[Proxy Status]	[On] / [Off]	[On]
[Media Status]	[On] / [Off]	[On]
[Clip Name]	[On] / [Off]	[On]
[White Balance]	[On] / [Off]	[On]
[Scene File]	[On] / [Off]	[On]
[Auto Exposure Mode]	[On] / [Off]	[On]
[Auto Exposure Level]	[On] / [Off]	[On]
[Timecode]	[On] / [Off]	[On]
[ND Filter]	[On] / [Off]	[On]
[Iris]	[On] / [Off]	[On]
[ISO/Gain]	[On] / [Off]	[On]
[Shutter]	[On] / [Off]	[On]

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値
[Level Gauge]	[On] / [Off]	[On]
[Audio Level Meter]	[On] / [Off]	[On]
[Video Level Warning]	[On] / [Off]	[On]
[NIGHTSHOT]	[On] / [Off]	[On]
[Clip Number]	[On] / [Off]	[On]
[Notice Message]	[On] / [Off]	[On]

TP1001752430

5-065-326-01(1) Copyright 2024 Sony Corporation

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[Video Signal Monitor]

映像信号モニターの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Setting]	[Off] / [Waveform] / [Vector] / [Histogram]	[Off]	映像信号モニターの種類を設定する。
[Level Marker 1]	0% ~ 109%	70%	輝度レベルマーカー1のレベルを設定する。
[Level Marker 2]	0% ~ 109%	100%	輝度レベルマーカー2のレベルを設定する。

TP1001752431

カラービデオカメラ
BRC-AM7

【Marker】

マーカー表示の設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Setting]	[On] / [Off]	[On]	すべてのマーカー表示をまとめてオン/オフする。
[Color]	[White] / [Yellow] / [Cyan] / [Green] / [Magenta] / [Red] / [Blue]	[White]	マーカーの信号色を選択する。
[Center Marker]	1 / 2 / 3 / 4 / [Off]	[Off]	センターマーカーを選択する。
[Safety Zone]	[On] / [Off]	[Off]	セーフティゾーンマーカーをオン/オフする。
[Safety Area]	80% / 90% / 92.5% / 95%	90%	セーフティゾーンマーカーの大きさ（画面全体に対する比率）を選択する。
[Aspect Marker]	[Line] / [Mask] / [Off]	[Off]	アスペクトマーカーの比を選択する。
[Aspect Mask]	0 ~ 15	12	マーカー外側のビデオ信号のレベルを設定する。
[Aspect Safety Zone]	[On] / [Off]	[Off]	アスペクトセーフティゾーンマーカーをオン/オフする。
[Aspect Safety Area]	80% / 90% / 92.5% / 95%	90%	アスペクトセーフティゾーンマーカーの大きさ（画面全体に対する比率）を選択する。
[Aspect Select]	1:1 / 4:3 / 13:9 / 14:9 / 15:9 / 17:9 / 1.66:1 / 1.85:1 / 2.35:1 / 2.39:1 / [Custom]	2.39:1	アスペクトマーカーを表示するときのモードを設定する。
[Custom Aspect Ratio]	任意の値を入力する	01.00:01.00	アスペクト比を任意の値に設定する。 ご注意 ● [Aspect Select] で [Custom] を選択した場合に、この設定が適用されます。
[Guide Frame]	[On] / [Off]	[Off]	ガイドフレーム表示をオン/オフする。
[100% Marker]	[On] / [Off]	[Off]	100%マーカーをオン/オフする。
[User Box]	[On] / [Off]	[Off]	ユーザーボックスマーカーの表示をオン/オフする。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[User Box Width]	3 ~ 479	240	ユーザーボックスマーカーの幅（中心から左右端までの距離）を設定する。
[User Box Height]	3 ~ 269	135	ユーザーボックスマーカーの高さ（中心から上下端までの距離）を設定する。
[User Box H Position]	-476 ~ +476	0	ユーザーボックスマーカーの中心の水平位置を設定する。
[User Box V Position]	-266 ~ +266	0	ユーザーボックスマーカーの中心の垂直位置を設定する。

TP1001752432

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[Audio Input]

音声入力の設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[AUDIO IN 1 Select]	[MIC] / [LINE]	[MIC]	AUDIO IN 1端子に接続された機器の種類を選択する。
[AUDIO IN 2 Select]	[MIC] / [LINE]	[MIC]	AUDIO IN 2端子に接続された機器の種類を選択する。
[AUDIO IN 1 MIC +48V]	[On] / [Off]	[Off]	AUDIO IN 1端子に接続された機器のファンタム電源+48Vの有効/無効を表示する。
[AUDIO IN 2 MIC +48V]	[On] / [Off]	[Off]	AUDIO IN 2端子に接続された機器のファンタム電源+48Vの有効/無効を表示する。
[CH1 Input Select]	[AUDIO IN 1] / [MIC (L)]	[AUDIO IN 1]	記録CH1に対する入力元を切り替える。
[CH2 Input Select]	[AUDIO IN 1] / [AUDIO IN 2] / [MIC (R)]	[AUDIO IN 2]	記録CH2に対する入力元を切り替える。
[CH3 Input Select]	[Off] / [AUDIO IN 1] / [MIC (L)]	[AUDIO IN 1]	記録CH3に対する入力元を切り替える。
[CH4 Input Select]	[Off] / [AUDIO IN 1] / [AUDIO IN 2] / [MIC (R)]	[AUDIO IN 2]	記録CH4に対する入力元を切り替える。
[AUDIO IN CH1 MIC Ref.]	-80dB / -70dB / -60dB / -50dB / -40dB / -30dB	-50dB	AUDIO IN CH1からのXLRマイク入力に対するリファレンスレベルを設定する。
[AUDIO IN CH2 MIC Ref.]	-80dB / -70dB / -60dB / -50dB / -40dB / -30dB	-50dB	AUDIO IN CH2からのXLRマイク入力に対するリファレンスレベルを設定する。
[Line Input Reference]	+4dB / 0dB / -3dB / EBUL	+4dB	[AUDIO IN 1 Select] または [AUDIO IN 2 Select] の設定が [LINE] の場合の基準入力レベルを選択する。
[Reference Level]	-20dB / -18dB / -16dB / -12dB / [EBUL]	-20dB	基準入力レベルの1 kHz信号の記録レベルを選択する。
[CH1 Wind Filter]	[On] / [Off]	[Off]	記録CH1に対する風音低減フィルターを設定する。
[CH2 Wind Filter]	[On] / [Off]	[Off]	記録CH2に対する風音低減フィルターを設定する。
[CH3 Wind Filter]	[On] / [Off]	[Off]	記録CH3に対する風音低減フィルターを設定する。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[CH4 Wind Filter]	[On] / [Off]	[Off]	記録CH4に対する風音低減フィルターを設定する。
[CH1 Level Control]	[Auto] / [Manual]	[Auto]	記録CH1の音声入力レベル調整を自動にするか、手動にするかを設定する。
[CH2 Level Control]	[Auto] / [Manual]	[Auto]	記録CH2の音声入力レベル調整を自動にするか、手動にするかを設定する。
[CH3 Level Control]	[Auto] / [Manual]	[Auto]	記録CH3の音声入力レベル調整を自動にするか、手動にするかを設定する。
[CH4 Level Control]	[Auto] / [Manual]	[Auto]	記録CH4の音声入力レベル調整を自動にするか、手動にするかを設定する。
[CH1 Input Level]	0 ~ 99	49	記録CH1の入力レベルを設定する。
[CH2 Input Level]	0 ~ 99	49	記録CH2の入力レベルを設定する。
[CH3 Input Level]	0 ~ 99	49	記録CH3の入力レベルを設定する。
[CH4 Input Level]	0 ~ 99	49	記録CH4の入力レベルを設定する。
[Master Input Level]	0 ~ 99	99	マスター音声入力レベルを設定する。
[Limiter Mode]	[Off] / -6dB / -9dB / -12dB / -15dB / -17dB	[Off]	オーディオ入力レベルの手動調節時の大きな信号に対するリミッター特性を選択する。
[CH1&2 AGC Mode]	[Mono] / [Stereo]	[Stereo]	記録CH1と記録CH2の自動レベル調整モードを設定する。Stereoに設定されているときは、CH間でAGCが連動する。
[CH3&4 AGC Mode]	[Mono] / [Stereo]	[Stereo]	記録CH3と記録CH4の自動レベル調整モードを設定する。Stereoに設定されているときは、CH間でAGCが連動する。
[AGC Spec]	-6dB / -9dB / -12dB / -15dB / -17dB	-6dB	AGC特性を選択する。
[1kHz Tone on Color Bars]	[On] / [Off]	[Off]	カラーバー表示中の1 kHzの基準音声信号をオン/オフする。 ご注意 ● [On] に設定すると、[CH3 Input Select]、[CH4 Input Select] が [Off] の場合でも、1 kHzの基準音声信号を記録CH3、記録CH4に乗せます。

TP1001752433

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[Audio Output]

音声出力の設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[SDI2/HDMI/Strm Out CH]	[CH1/CH2] / [CH3/CH4]	[CH1/CH2]	SDI2/HDMI/ストリーミングに出力される音声チャンネルの組み合わせを設定する。

TP1001752434

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[Display Clip Properties]

クリップ詳細情報画面を表示します。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Display Clip Properties]	—	—	クリップ詳細情報画面を開く。

TP1001752435

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[Set Clip Flag]

クリップフラグの編集を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Add OK]	—	—	OKフラグを付ける。
[Add NG]	—	—	NGフラグを付ける。
[Add KEEP]	—	—	KEEPフラグを付ける。
[Delete Clip Flag]	—	—	すべてのフラグを外す。

TP1001752436

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[Lock/Unlock Clip]

クリップの保護設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Select Clip]	—	—	保護/保護解除するクリップを選択して実行する。
[Lock All Clips]	—	—	すべてのクリップを保護する。
[Unlock All Clips]	—	—	すべてのクリップを保護解除する。

TP1001752437

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[Delete Clip]

クリップを削除します。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Select Clip]	—	—	任意のクリップを削除する。
[All Clips]	—	—	クリップを一括削除する。

TP1001752438

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[Copy Clip]

クリップをコピーします。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Select Clip]	—	—	任意のクリップをコピーする。
[All Clips]	—	—	メディア内のすべてのクリップをコピーする。

TP1001803426

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[Transfer Clip]

クリップを転送します。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Select Clip]	—	—	任意のクリップを転送する。
[All Clips]	—	—	クリップを一括転送する。 ご注意 <ul style="list-style-type: none">登録できる転送ジョブの上限は200件です。

TP1001752439

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[Transfer Clip (Proxy)]

プロキシクリップを転送します。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Select Clip]	—	—	任意のクリップに対応しているプロキシクリップを転送する
[All Clips]	—	—	クリップに対応するプロキシクリップを一括転送する。 ご注意 <ul style="list-style-type: none">登録できる転送ジョブの上限は200件です。

TP1001752440

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[Filter Clips]

表示するクリップの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[OK]	—	—	OKフラグの付いたクリップのみを表示する。
[NG]	—	—	NGフラグの付いたクリップのみを表示する。
[KEEP]	—	—	KEEPフラグの付いたクリップのみを表示する。
[None]	—	—	フラグの付いていないクリップのみを表示する。
[All]	—	—	フラグのありなしによらず、すべてのクリップを表示する。

TP1001752441

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[Customize View]

サムネイル画面の表示を切り替えます。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Thumbnail Caption]	[Date Time] / [Time Code] / [Duration] / [Sequential Number]	[Time Code]	サムネイル画像直下の表示内容を切り替える。

TP1001752442

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[Color Bars]

カラーバーの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Setting]	[On] / [Off]	[Off]	カラーバーをオン/オフする。
[Type]	[ARIB] / 100% / 75% / [SMPTE]	[ARIB]	カラーバーの種類を選択する。

TP1001752443

カラービデオカメラ
BRC-AM7

【Genlock】

Genlock状態の表示を行います（「映像信号の位相を合わせる（ゲンロック）」参照）。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Reference]	[Internal] / [External(HD)] / [External(SD)]	—	Genlockの基準信号の種類を表示する。

関連項目

- [映像信号の位相を合わせる（ゲンロック）](#)

TP1001752444

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[Tally]

記録/タリーランプの設定を行います（「タリー信号を接続する」参照）。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Tally Lamp Brightness]	[High] / [Low] / [Off]	[High]	記録/タリーランプの輝度を設定する。
[G Tally Lamp]	[Enable] / [Disable]	[Enable]	G（緑）タリーランプの有効/無効を設定する。
[Y Tally Lamp]	[Enable] / [Disable]	[Enable]	Y（黄）タリーランプの有効/無効を設定する。
[Tally Control]	[External] / [Internal] / [PTZ AFR]	[Internal]	本機の記録/タリーランプの制御情報を受け付ける対象を選択する。 [External] : カメラ外部からのタリー制御（タリーランプ） [Internal] : カメラの記録動作による制御（記録ランプ） [PTZ AFR] : PTZ AFRの動作状態による制御

関連項目

- [タリー信号を接続する](#)

TP1001752445

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[Rec Review]

レックレビューに関する設定を行います（「記録内容を確認する（レックレビュー）」参照）。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Setting]	[3s] / [10s] / [Clip]	[3s]	レックレビューで直前に記録したクリップを再生する時間を設定する。

関連項目

- [記録内容を確認する（レックレビュー）](#)

TP1001752446

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[Zoom]

ズームに関する設定を行います（「Web Appでズームを調節する」参照）。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Zoom Type]	[Optical Zoom Only] / [On(Clear Image Zoom)]	[Optical Zoom Only]	ズームの種類を設定する。

関連項目

- [Web Appでズームを調節する](#)

TP1001752447

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[Lens]

レンズに関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Distance Display]	[Meter] / [Feet]	[Meter]	レンズ情報とフォーカスポジションの表示単位を設定する。
[Zoom Position Display]	[Number] / [Bar]	[Number]	ズーム位置の表示形式を設定する。

TP1001752448

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[APR]

APRを実行します。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[APR]	[Execute] / [Cancel]	—	APR (Auto Pixel Restoration : イメージセンサーの自動調整) を実行する。 [Execute] : 実行

TP1001752449

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[Wired LAN]

有線LAN接続に関する情報を表示します。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[DHCP]	[On] / [Off]	—	DHCPの有効/無効を表示する。
[IP Address]	—	—	本機のIPアドレスを表示する。
[Subnet Mask]	—	—	本機のサブネットマスクを表示する。
[Gateway]	—	—	デフォルトゲートウェイのIPアドレスを表示する。
[DNS Auto]	[On] / [Off]	—	DNS自動取得の有効/無効を表示する。
[HTTP Port]	—	—	HTTPアクセスポートを表示する。

TP1001752450

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[File Transfer]

ファイルの転送に関する設定を行います（「ファイルの転送について」参照）。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Auto Upload (Proxy)]	[On] / [Off]	[Off]	プロキシファイルの自動転送をOn/Offする。
[Default Upload Server]	Server Settings1～3のDisplay Name	—	ファイルの転送先サーバーを選択する。ここで選択したサーバーは、プロキシファイルの自動転送先、およびサムネイル画面からのファイル転送先のサーバーになる。 [Server Settings1～3] で設定した [Display Name] を表示する。
[Clear Completed Jobs]	[Execute] / [Cancel]	—	転送完了済みのジョブをリストからクリアする。 [Execute] : 実行
[Clear All Jobs]	[Execute] / [Cancel]	—	すべての転送ジョブをリストからクリアする。 [Execute] : 実行
[View Job List]	—	—	転送ジョブ一覧を表示する。

関連項目

- [ファイルの転送について](#)

TP1001752451

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[Language]

表示する言語を設定します。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Select]	—	—	表示する言語を設定する。 [Set] : 決定

TP1001752452

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[Hours Meter]

積算時間を表示します。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Hours(System)]	—	—	積算使用時間（リセット不可）を表示する。
[Hours(Reset)]	—	—	積算使用時間（リセット可）を表示する。
[Reset]	[Execute] / [Cancel]	—	積算使用時間を0にリセットする。 [Execute] : 実行

TP1001752454

カラービデオカメラ
BRC-AM7

【ISO/Gain】メニューの設定値と初期値

【Mode】、【Target Display】、【Base Look】の【Select】の設定によって、【ISO/Gain】メニューの設定範囲と初期設定値が異なります。

【Mode】を【ISO】に設定している場合

カスタム撮影

✓：設定可能

×：設定不可

【Target Display】	【SDR(BT.709)】	【HDR(HLG)】	【SDR(BT.709)】および 【HDR(HLG)】
【Base Look】 – 【Select】	Preset Base Look	Preset Base Look	User Base Look
ISO 250	✓ (【ISO/Gain<L>】初期設定値)	×	×
ISO 320	✓	×	×
ISO 400	✓	×	×
ISO 500	✓	×	×
ISO 640	✓	×	×
ISO 800	✓	×	×
ISO 1000	✓	×	×
ISO 1250	✓	×	×
ISO 1600	✓	✓ (【ISO/Gain<L>】初期設定値)	✓ (【ISO/Gain<L>】初期設定値)
ISO 2000	✓	✓	✓
ISO 2500	✓	✓	✓
ISO 3200	✓	✓	✓
ISO 4000	✓	✓	✓
ISO 5000	✓	✓	✓
ISO 6400	✓	✓	✓
ISO 8000	✓	✓	✓
ISO 12800	✓	✓	✓
ISO 16000	✓	×	×

ログ撮影

✓：設定可能

×：設定不可

設定範囲	
ISO 1600	✓ ([ISO/Gain<L>] 初期設定値)
ISO 2000	✓
ISO 2500	✓
ISO 3200	✓
ISO 4000	✓
ISO 5000	✓
ISO 6400	✓
ISO 8000	✓
ISO 10000	✓
ISO 12800	✓

【Mode】を【dB】に設定している場合

✓ : 設定可能

× : 設定不可

【Target Display】	【SDR(BT.709)】	【HDR(HLG)】	【SDR(BT.709)】 および 【HDR(HLG)】
【Base Look】 – 【Select】	Preset Base Look	Preset Base Look	User Base Look
–3dB	✓	✓	✓
–2dB	✓	✓	✓
–1dB	✓	✓	✓
0dB	✓ ([ISO/Gain<L>] 初期設定値)	✓ ([ISO/Gain<L>] 初期設定値)	✓ ([ISO/Gain<L>] 初期設定値)
1dB	✓	✓	✓
2dB	✓	✓	✓
3dB	✓	✓	✓
4dB	✓	✓	✓
5dB	✓	✓	✓
6dB	✓	✓	✓
7dB	✓	✓	✓
8dB	✓	✓	✓
9dB	✓	✓	✓
10dB	✓	✓	✓
11dB	✓	✓	✓
12dB	✓	✓	✓
13dB	✓	✓	✓

[Target Display]	[SDR(BT.709)]	[HDR(HLG)]	[SDR(BT.709)] および [HDR(HLG)]
[Base Look] – [Select]	Preset Base Look	Preset Base Look	User Base Look
14dB	✓	✓	✓
15dB	✓	✓	✓
16dB	✓	✓	✓
17dB	✓	✓	✓
18dB	✓	✓	✓
19dB	✓	×	×
20dB	✓	×	×
21dB	✓	×	×
22dB	✓	×	×
23dB	✓	×	×
24dB	✓	×	×
25dB	✓	×	×
26dB	✓	×	×
27dB	✓	×	×
28dB	✓	×	×
29dB	✓	×	×
30dB	✓	×	×
31dB	✓	×	×
32dB	✓	×	×
33dB	✓	×	×
34dB	✓	×	×
35dB	✓	×	×
36dB	✓	×	×

ご注意

- スロー&クイックモーションのHFR（ハイフレームレート）撮影時やシステム周波数が119.88P/100P時の最低値は0dBとなります。

TP1001752455

カラービデオカメラ
BRC-AM7

【AGC Limit】メニューの設定値と初期値

【Mode】、【Target Display】、【Base Look】の【Select】の設定によって、【AGC Limit】メニューの設定範囲と初期設定値が異なります。

【Mode】を【ISO】に設定している場合

カスタム撮影

✓：設定可能

×：設定不可

【Target Display】	【SDR(BT.709)】	【HDR(HLG)】	【SDR(BT.709)】 および 【HDR(HLG)】
【Base Look】 – 【Select】	Preset Base Look	Preset Base Look	User Base Look
ISO 320	✓	×	×
ISO 400	✓	×	×
ISO 500	✓	×	×
ISO 640	✓	×	×
ISO 800	✓	×	×
ISO 1000	✓	×	×
ISO 1250	✓	×	×
ISO 1600	✓	×	×
ISO 2000	✓	✓	✓
ISO 2500	✓	✓	✓
ISO 3200	✓	✓	✓
ISO 4000	✓	✓	✓
ISO 5000	✓	✓	✓
ISO 6400	✓	✓ (初期設定値)	✓ (初期設定値)
ISO 8000	✓ (初期設定値)	✓	✓
ISO 12800	✓	✓	✓
ISO 16000	✓	×	×

ログ撮影

✓：設定可能

×：設定不可

設定範囲	
ISO 2000	✓
ISO 2500	✓

設定範囲	
ISO 3200	✓
ISO 4000	✓
ISO 5000	✓
ISO 6400	✓ (初期設定値)
ISO 8000	✓
ISO 10000	✓
ISO 12800	✓

【Mode】を【dB】に設定している場合

✓ : 設定可能

× : 設定不可

【Target Display】	【SDR(BT.709)】	【HDR(HLG)】	【SDR(BT.709)】 および 【HDR(HLG)】
【Base Look】 – 【Select】	Preset Base Look	Preset Base Look	User Base Look
3dB	✓	✓	✓
6dB	✓	✓	✓
9dB	✓	✓	✓
12dB	✓	✓	✓
15dB	✓	✓	✓
18dB	✓	✓ (初期設定値)	✓ (初期設定値)
21dB	✓	×	×
24dB	✓	×	×
27dB	✓	×	×
30dB	✓ (初期設定値)	×	×
33dB	✓	×	×
36dB	✓	×	×

TP1001752456

カラービデオカメラ
BRC-AM7

【Video Format】 / 【Quality】 / 【Bit Rate】 の設定値

【Frequency】 / 【Codec】 の設定によって、【Video Format】 / 【Quality】 / 【Bit Rate】 メニューの設定範囲が異なります。

【Frequency】	【Codec】	【Video Format】	【Quality】		
			【High】	【Mid】	【Low】
119.88	XAVC HS-L 422	3840×2160P	280	280	280
	XAVC HS-L 420	3840×2160P	200	200	200
	XAVC S-L 422	3840×2160P	280	280	280
	XAVC S-L 420	3840×2160P	200	200	200
		1920×1080P	100	60	60
100	XAVC HS-L 422	3840×2160P	280	280	280
	XAVC HS-L 420	3840×2160P	200	200	200
	XAVC S-L 422	3840×2160P	280	280	280
	XAVC S-L 420	3840×2160P	200	200	200
		1920×1080P	100	60	60
59.94	XAVC HS-L 422	3840×2160P	200	100	100
	XAVC HS-L 420	3840×2160P	150	75	45
	XAVC S-L 422	3840×2160P	200	200	200
		1920×1080P	50	50	50
	XAVC S-L 420	3840×2160P	150	150	150
		1920×1080P	50	25	25
	XAVC S-I	3840×2160P	600	600	600
1920×1080P		222	222	222	
50	XAVC HS-L 422	3840×2160P	200	100	100
	XAVC HS-L 420	3840×2160P	150	75	45
	XAVC S-L 422	3840×2160P	200	200	200
		1920×1080P	50	50	50
	XAVC S-L 420	3840×2160P	150	150	150
		1920×1080P	50	25	25
	XAVC S-I	3840×2160P	500	500	500
1920×1080P		185	185	185	

[Frequency]	[Codec]	[Video Format]	[Quality]		
			[High]	[Mid]	[Low]
29.97	XAVC S-L 422	3840×2160P	140	140	140
		1920×1080P	50	50	50
	XAVC S-L 420	3840×2160P	100	60	60
		1920×1080P	50	16	16
	XAVC S-I	3840×2160P	300	300	300
		1920×1080P	111	111	111
25	XAVC S-L 422	3840×2160P	140	140	140
		1920×1080P	50	50	50
	XAVC S-L 420	3840×2160P	100	60	60
		1920×1080P	50	16	16
	XAVC S-I	3840×2160P	250	250	250
		1920×1080P	93	93	93
23.98	XAVC HS-L 422	3840×2160P	100	50	50
	XAVC HS-L 420	3840×2160P	100	50	30
	XAVC S-L 422	3840×2160P	100	100	100
		1920×1080P	50	50	50
	XAVC S-L 420	3840×2160P	100	60	60
		1920×1080P	50	50	50
	XAVC S-I	3840×2160P	240	240	240
		1920×1080P	89	89	89

TP1001803545

カラービデオカメラ
BRC-AM7

撮影モードごとの画質に関する設定状態の保存について

画質に関する設定項目は、以下の撮影モードごとに現在の設定状態が保持されます。撮影モードを切り替えると、切り替え後の撮影モードが保持する設定状態が適用されます。

- [Custom] モードの [SDR(BT.709)]
- [Custom] モードの [HDR(HLG)]
- ログ撮影 ([Flexible ISO])

画質に関する各設定状態は撮影モードごとに以下のように保存されます。

✓ : 保存されます

x : 保存されません

設定項目		撮影モード			
		[Custom]		[Flexible ISO]	
		[SDR(BT.709)]	[HDR(HLG)]		
[Shooting] メニュー	[ISO/Gain]	✓ ¹⁾		✓	
	[White]	[Preset White]	✓		
		上記以外	✓		
	[White Setting]	✓			
	[Offset White]	✓		x	
	[LUT On/Off]	x		✓	
	[Noise Suppression]	[Setting(Custom)] / [Level(Custom)]	✓	✓	x
[Setting(Flexible ISO)] / [Level(Flexible ISO)]		x		✓	
[Paint/Look] メニュー	[Base Look]	[Select]	✓	✓	✓
		[Input] ²⁾	✓		
		[Output] ²⁾	✓		
		[AE Level Offset] ²⁾	✓		
	[Black]	✓	✓	x	
	[Knee]	[Auto Knee]	✓	x	x
		上記以外	✓	✓	x
	[Detail]	✓	✓	x	
	[Matrix]	✓	✓	x	
[Multi Matrix]	✓	✓	x		

1) ISO感度については、[Custom] - [SDR(BT.709)] / [HDR(HLG)] で設定値が個別に保存される場合があります。

2) 設定値は【Base Look】ごとに保持されており、各撮影モードには依存しません。

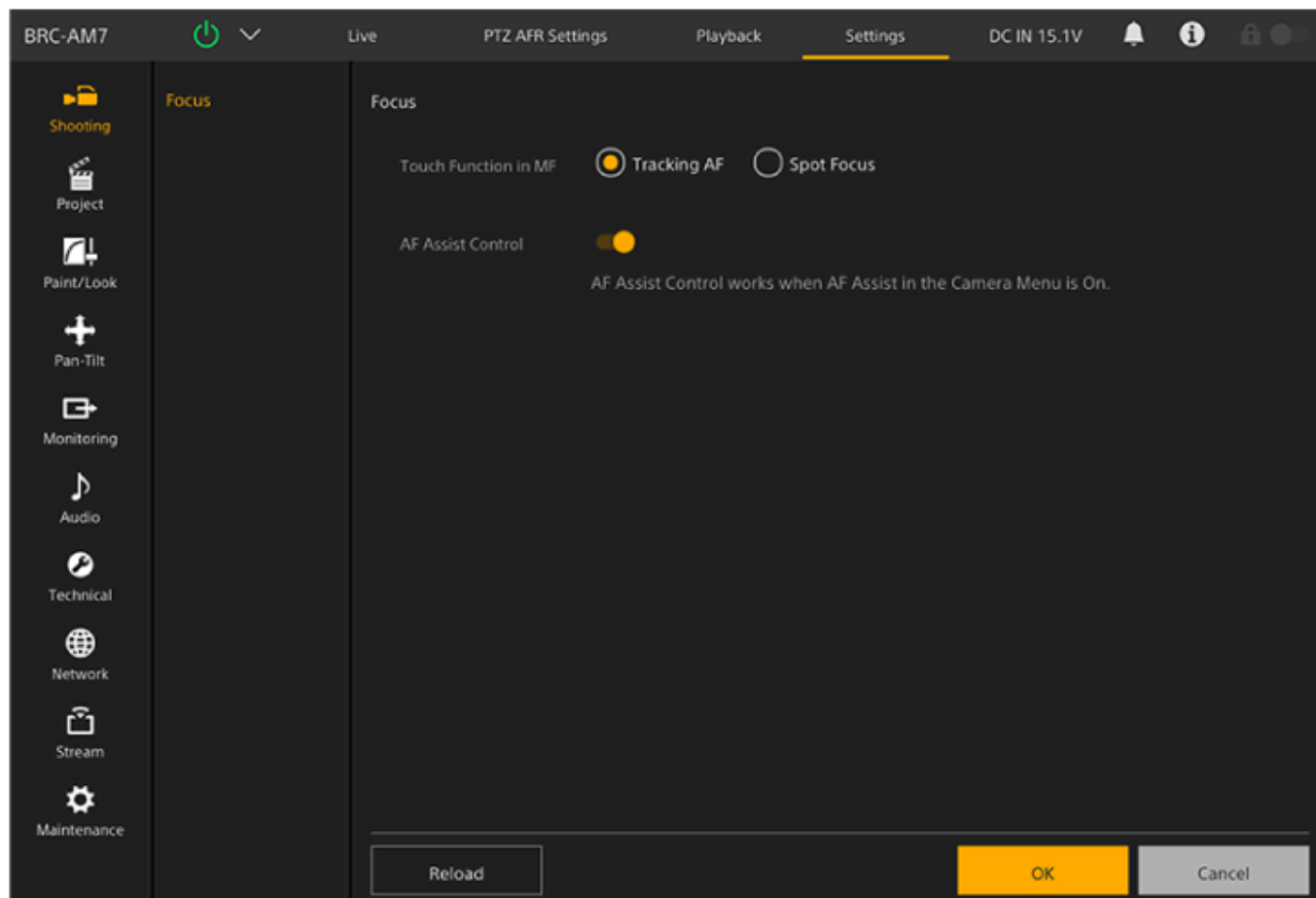
TP1001752457

5-065-326-01(1) Copyright 2024 Sony Corporation

カラービデオカメラ
BRC-AM7

Webメニュー構成

操作画面切り替え部の [Settings] タブを押すと、設定画面が表示されます。
設定画面では、Webメニューで本機の初期設定、ネットワーク設定、撮影、再生に必要な各種設定を行います。



下記のメニューから選択して設定します。

メニューの構成と階層

第1階層	第1階層の概要	第2階層
[Shooting]	撮影に関する設定	[Focus]
[Project]	プロジェクトの基本的な設定	[Base Setting]
		[Rec Format]
		[Simul Rec]
		[Proxy Rec]
		[All File]
[Paint/Look]	画質に関する設定	[Base Look]

第1階層	第1階層の概要	第2階層
[Pan-Tilt]	パン・チルトに関する設定	[P/T Speed]
		[P/T Acceleration]
		[P/T Range Limit]
		[P/T Direction]
		[P/T Preset]
[Monitoring]	ビデオ出力や画面表示出力に関する設定	[Output Format]
		[Output Display]
[Audio]	音声に関する設定	[Audio Input]
		[Audio Output]
[Technical]	技術的な内容の設定	[Tracking Data Output]
		[Tally]
		[IR Remote]
		[RCP/MSU]
[Network]	ネットワークに関する設定	[Camera Name]
		[User]
		[Wired LAN]
		[File Transfer]
		[FTP Server 1]
		[FTP Server 2]
		[FTP Server 3]
		[SSL]
		[SSH]
		[Referer Check]
[Brute Force Attack Protection]		
[Stream]	ストリーミングに関する設定	[Stream]
		[Video Stream]
		[Audio Stream]

第1階層	第1階層の概要	第2階層
[Maintenance]	時計や言語設定などの機器設定	[Language]
		[Clock Set]
		[Reset]
		[Information]
		[System Log]
		[HTTP Access Log]
		[Service]
		[EULA]
		[Software]

TP1001752458

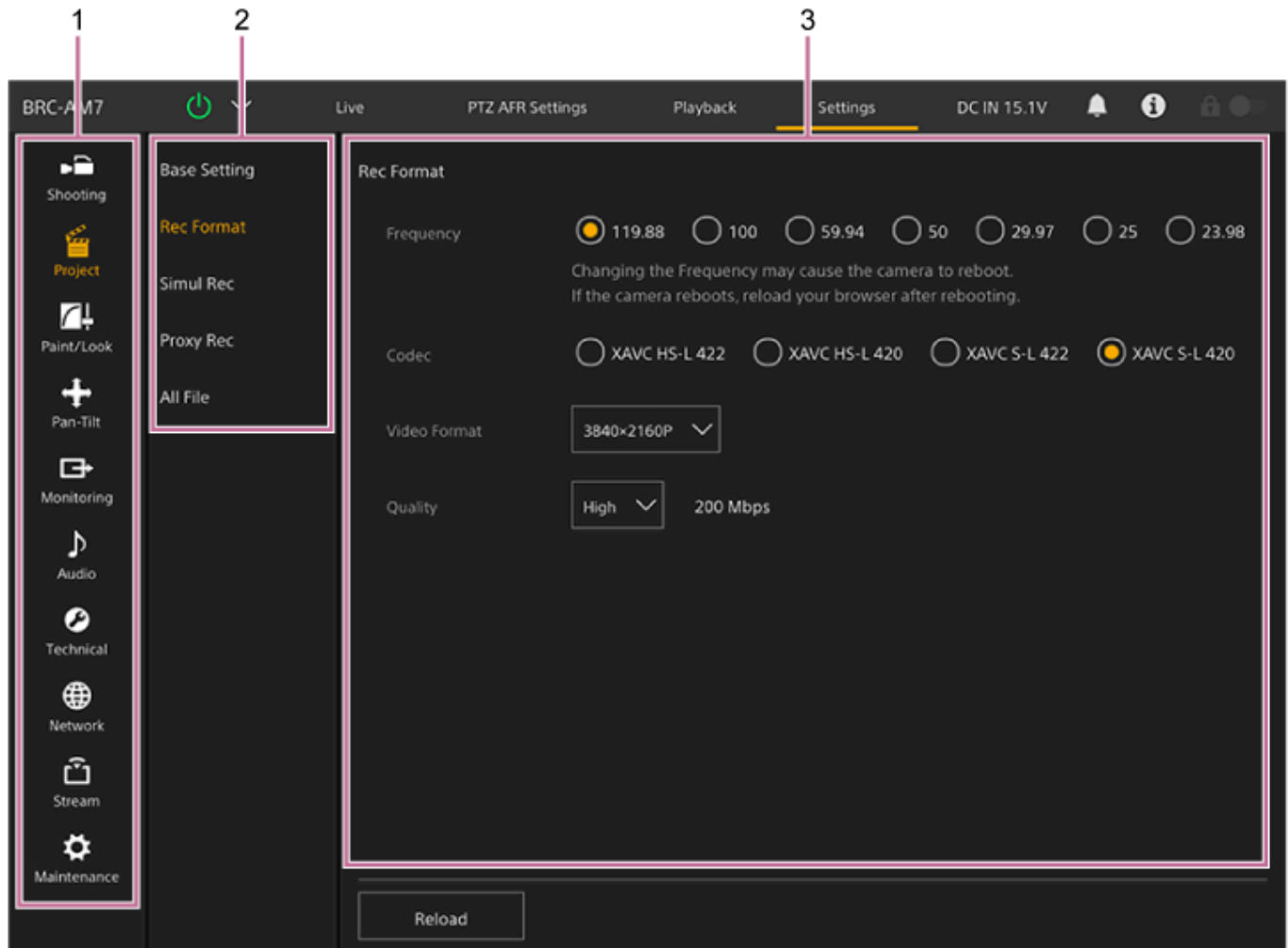
カラービデオカメラ
BRC-AM7

Webメニューの操作方法

操作画面切り替え部の [Settings] タブを押すと、本機の初期設定、ネットワーク設定、撮影、再生に必要な各種設定を行う Webメニューが設定画面に表示されます。

Webメニューはタブレットのタッチ操作やコンピューターのマウス操作などで設定します。

設定したいメニューを押すと、そのメニューで設定できる項目とその設定値が表示されます。



1. メニュー (第1階層)

2. メニュー (第2階層)

3. 設定値

設定値の操作方法

設定値の選択



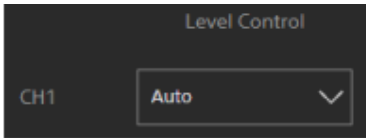
項目のラジオボタンを押します。選択した項目のラジオボタンはオレンジ色になります。

項目のオン/オフ



スイッチを押して、オン/オフを切り替えます。オンにするとスイッチはオレンジ色、オフにするとスイッチは白色になります。

リストから設定値を選択



ドロップダウンボタンを押して表示されるリストから項目を選択します。

数値の選択



<、>を押して、数字を変更します。数値に下線が引かれている場合は、数字を直接入力することもできます。

文字/数字の入力



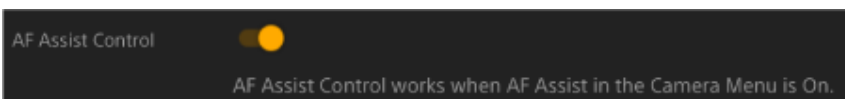
別画面での設定

ボタンを押して、別画面で設定操作を行う場合もあります。



操作ガイド/注意メッセージ

一部の設定値に対して操作の手助けになる情報やユーザーに注意を促すメッセージが表示されます。



設定の保存方法

設定完了後、画面下の [OK] ボタンを押して設定を保存します。

[Cancel] ボタンを押すと、設定内容が破棄され、設定前の状態に戻ります。

[Reload] ボタンを押すと、画面表示が更新されます。

ご注意

- 設定を保存する前に、[Reload] ボタンを押すと、設定内容が破棄されます。
- 設定を保存する前に、ほかのページに移ると、設定内容が破棄されます。

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[Focus]

フォーカスの設定を行います。

項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Touch Function in MF]	[Tracking AF] / [Spot Focus]	[Tracking AF]	MF時にカメラ撮像画面をタッチしたときの動作を設定する。
[AF Assist Control]	[On] / [Off]	[On]	[On] に設定すると、オートフォーカス時、Web Appのフォーカススライダーでフォーカスポジションを調節することができる。 <ul style="list-style-type: none">「Web Appでオートフォーカスの対象を手動設定する (AFアシスト)」参照 <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none">この項目は、カメラメニューの [AF Assist] が [On] のときに有効になります。

関連項目

- [Web Appでオートフォーカスの対象を手動設定する \(AFアシスト\)](#)

TP1001752460

カラービデオカメラ
BRC-AM7

【Base Setting】

基本設定を行います。

項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Shooting Mode]	[Custom] / [Flexible ISO]	[Custom]	撮影モードを設定する。 <ul style="list-style-type: none">「本機の基本動作を設定する」の「撮影モード」参照
[Target Display]	[SDR(BT.709)] / [HDR(HLG)]	[SDR(BT.709)]	カスタムモード時の記録/出力の色域を設定する。

関連項目

- [本機の基本動作を設定する](#)

TP1001752461

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[Rec Format]

記録フォーマットの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Frequency]	119.88 / 100 / 59.94 / 50 / 29.97 / 25 / 23.98	59.94	システム周波数を選択する。
[Codec]	[XAVC HS-L 422] / [XAVC HS-L 420] / [XAVC S-L 422] / [XAVC S-L 420] / [XAVC S-I]	[XAVC S-L 420]	クリップの記録・再生コーデックを設定する。
[Video Format]	設定項目について、詳細は下記をご覧ください。 [Video Format] / [Quality] / [Bit Rate] の設定値	—	画像サイズおよびスキャン方式を設定する。
[Quality]		—	記録ビットレートを設定する。
[Bit Rate]		—	記録ビットレートを表示する。

関連項目

- [\[Video Format\] / \[Quality\] / \[Bit Rate\] の設定値](#)

TP1001752462

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[Simul Rec]

2スロット同時記録の設定を行います（「メモリーカードAとメモリーカードBの両方に記録する（2スロット同時記録）」参照）。

項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Setting]	[On] / [Off]	[Off]	本線同時記録機能のオン/オフと記録先メディアを一括設定する。
[Rec Button]	[Slot A] / [Slot B] / [Slot A/Slot B]	[Slot A/Slot B]	記録メディアごとに録画ボタンの割り当てを表示する。 設定はカメラメニューの [Project] メニュー > [Simul Rec] の [Rec Button Set] で行う。
[2nd Rec Button]	[Slot A] / [Slot B] / [Slot A/Slot B]	[Slot A/Slot B]	

関連項目

- [メモリーカードAとメモリーカードBの両方に記録する（2スロット同時記録）](#)

TP1001752463

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[Proxy Rec]

プロキシ記録モードの設定を行います（「プロキシ記録の概要」参照）。

項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Setting]	[On] / [Off]	[Off]	プロキシ記録モードをオン/オフする。

関連項目

- [プロキシ記録の概要](#)

TP1001752464

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[All File]

Allファイルの操作を行います（「設定データの保存と読み込みについて」参照）。

項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Load All File]	—	—	Web Appを実行しているデバイスから、Allファイルの本機に読み込む。 ご注意 <ul style="list-style-type: none">Allファイルの本機に読み込むと、本機は再起動します。再起動後、Webブラウザでページをリロード（再読み込み）してください。
[Save All File]	—	—	本機の各種設定をAllファイルとして、Web Appを実行しているデバイスに保存する。

関連項目

- [設定データの保存と読み込みについて](#)

TP1001752465

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[Base Look]

基本ルックを本機に読み込みます。
画面に選択可能な基本ルックが表示されます。適用中の基本ルックには基本ルック番号の左に●が付いています。

No.	Base Look Name	AUDIO IN CH	Output	AE Level Offset	
● 1	(No LUT)	S-Gamut3.Cine_SLog3	BT.709	0EV	Import
2	(No LUT)	S-Gamut3.Cine_SLog3	BT.709	0EV	Import
3	(No LUT)	S-Gamut3.Cine_SLog3	BT.709	0EV	Import
4	(No LUT)	S-Gamut3.Cine_SLog3	BT.709	0EV	Import
5	(No LUT)	S-Gamut3.Cine_SLog3	BT.709	0EV	Import
6	(No LUT)	S-Gamut3.Cine_SLog3	BT.709	0EV	Import
7	(No LUT)	S-Gamut3.Cine_SLog3	BT.709	0EV	Import
8	(No LUT)	S-Gamut3.Cine_SLog3	BT.709	0EV	Import
9	(No LUT)	S-Gamut3.Cine_SLog3	BT.709	0EV	Import
10	(No LUT)	S-Gamut3.Cine_SLog3	BT.709	0EV	Import
11	(No LUT)	S-Gamut3.Cine_SLog3	BT.709	0EV	Import

【No.】：基本ルック番号

【Base Look Name】：基本ルック名

【Input】：基本ルックの入力信号

【Output】：基本ルックの出力信号

【AE Level Offset】：基本ルックの露出基準オフセット値

基本ルックを追加するには

[Import] ボタンを押すと、新しい基本ルックを取り込みます。表示される画面の指示に従って操作してください。取り込んだ後はカメラメニューで [Input]、[Output]、[AE Level Offset] を適切に設定してください。詳細は「好みの基本ルックをインポートする」をご覧ください。

関連項目

- [好みの基本ルックをインポートする](#)

TP1001752466

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[P/T Speed]

パン・チルトの速度に関する設定を行います。

項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Speed Step]	[Normal] / [Extended]	[Extended]	<p>パン・チルト駆動の速度ステップ数を設定する。 [Normal] : 速度を24段階で指定できる。 [Extended] : 速度を127段階で指定できる。</p> <p>ヒント</p> <ul style="list-style-type: none"> Web Appのジョイスティック操作では過敏な動作を避けるため最高速は60°/秒（[Speed Mode] が [Normal] ）または40°/秒（[Speed Mode] が [Slow] ）に制限されています。
[Speed Mode]	[Normal] / [Slow]	[Normal]	<p>パン・チルト駆動の速度モードを設定する。</p> <p>[Speed Step] が [Normal] （24段階）の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> [Speed Mode] が [Normal] : 最低速 0.05°/秒～最高速 60°/秒 [Speed Mode] が [Slow] : 最低速 0.05°/秒～最高速 40°/秒 <p>[Speed Step] が [Extended] （127段階）の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> [Speed Mode] が [Normal] : 最低速 0.02°/秒～最高速 180°/秒 [Speed Mode] が [Slow] : 最低速 0.004°/秒～最高速 180°/秒

TP1001752467

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[P/T Acceleration]

パン・チルトの速度に関する設定を行います。

項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Acceleration]	1～9	8	パン・チルト動作における加減速の加速度を選択する。数字が大きいほど加速度が大きくなる。

TP1001752468

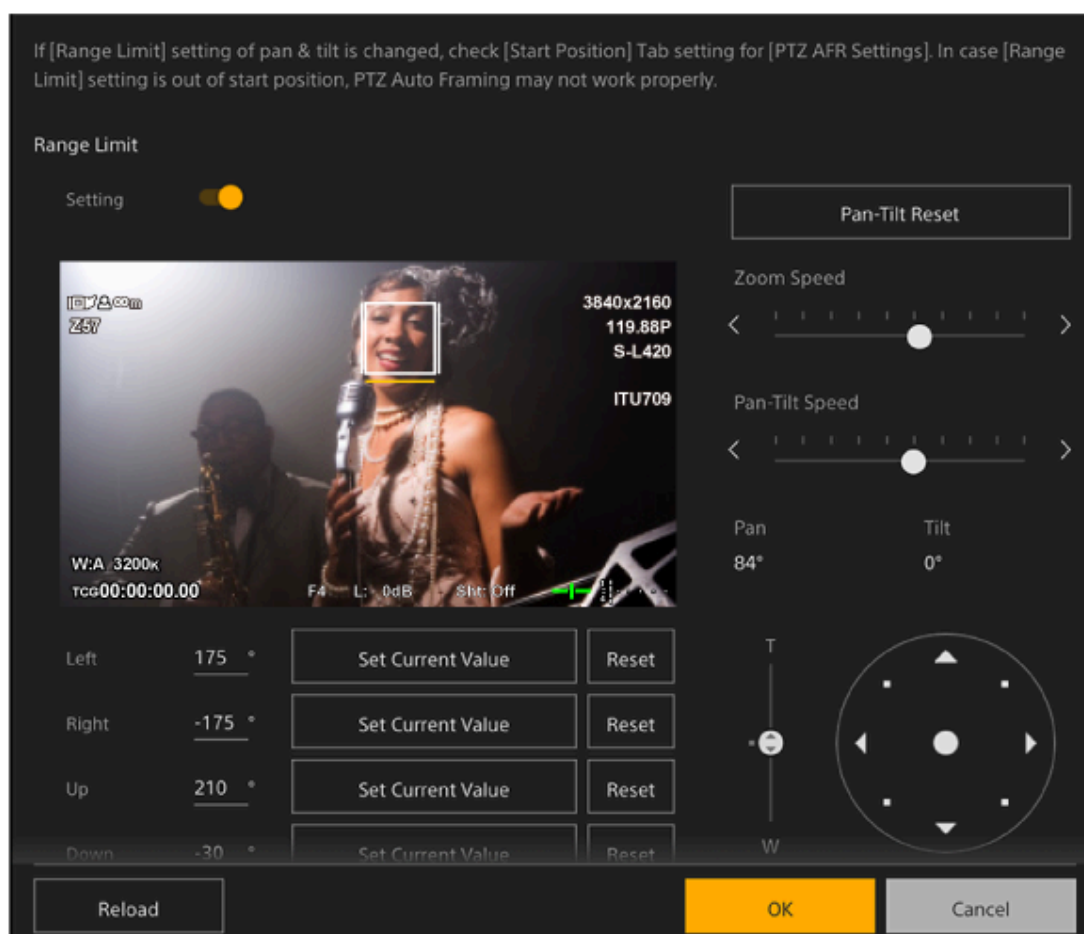
カラービデオカメラ
BRC-AM7

[P/T Range Limit]

パン・チルトの可動範囲の制限に関する設定を行います。
以下の画面でパン・チルトの可動範囲を制限してください。

ご注意

- 電源オン時、およびパン・チルトリセット実行時は、この範囲制限設定は無視されます。本機の周囲にある障害物を避ける目的には使用できません。



1 [Setting] スイッチをオンにする。

パン・チルトの可動範囲制限機能が有効になります。

2 カメラのパン・チルト操作で映像を確認する。

3 可動を制限したい位置が決まったら、それぞれの位置で [Left]、[Right]、[Up]、[Down] の [Set Current Value] ボタンを押す。

- [Left] : カメラ左側
- [Right] : カメラ右側
- [Up] : カメラ上側
- [Down] : カメラ下側

Left	175 °	Set Current Value	Reset
Right	-175 °	Set Current Value	Reset
Up	210 °	Set Current Value	Reset
Down	-30 °	Set Current Value	Reset

制限位置が設定され、数値（角度）で表示されます。
制限を解除するには、それぞれの位置の [Reset] ボタンを押します。

4 [OK] ボタンを押す。

設定した制限位置より外側への可動が制限されます。

ご注意

- 設定したパン・チルトの制限位置より外側のカメラ位置をプリセットすることはできません。
- [Pan-Tilt] メニュー > [P/T Direction] メニュー内の [Ceiling] の設定を変更した場合、設定した制限位置の設定は工場出荷時の設定に戻ります。
- 再生中、サムネイル表示中、パン・チルトエラー中、パン・チルト未初期化の場合は設定を変更できません。

TP1001752469

5-065-326-01(1) Copyright 2024 Sony Corporation

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[P/T Direction]

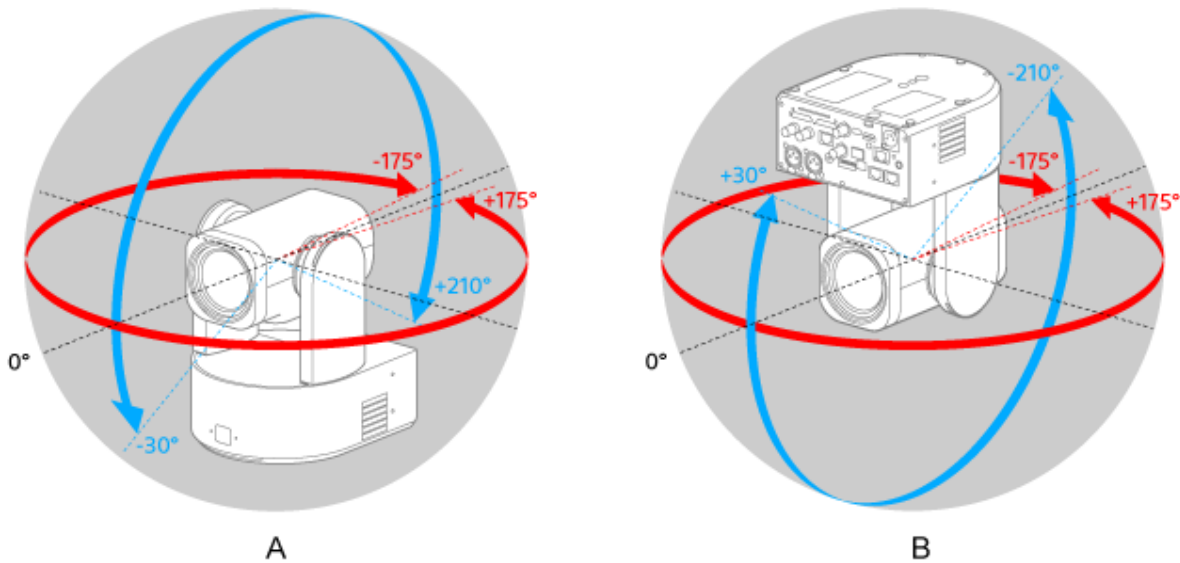
パン・チルトの動作方向に関する設定を行います。

項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Ceiling]	[On] / [Off]	[Off]	デスクトップ設置時は [Off] に、天吊り設置時には [On] を選択する。[Ceiling] を [On] にすると、[Pan Direction] は自動的に [Opposite] になる。
[Pan Direction]	[Normal] / [Opposite]	[Normal]	パンの駆動方向を設定する。設定を変更すると駆動方向が逆転する。
[Tilt Direction]	[Normal] / [Opposite]	[Normal]	チルトの駆動方向を設定する。設定を変更すると駆動方向が逆転する。

ご注意

- [Ceiling] の設定変更を確定すると、パン・チルトの座標が反転するため、すべてのプリセットポジションが消去されます。

[Ceiling] の設定によってパン・チルトの動作範囲は下図のように変更されます。



A: [Ceiling] が [Off] のとき
B: [Ceiling] が [On] のとき

TP1001752470

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[P/T Preset]

プリセットポジションに関する設定を行います。

[Acceleration]

プリセットポジション呼び出し動作の加減速を設定します。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Ramp Curve]	1～9	9	パン・チルトプリセット動作の加減速を設定する。 数字が大きいくほど加速度が大きくなる。

[Pan-Tilt Speed]

パン・チルト速度を設定します。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Setting Way]	[Separate] / [Common]	[Separate]	プリセットポジションのパン・チルト速度設定方法を個別にするか、共通にするかを設定する。
[Default Speed]	1～127	127	プリセット保存時のプリセット駆動速度を設定する。
[Common Speed]	1～127	127	プリセットの共通速度を設定する。

[Default]

プリセットポジションを保存したときに設定される既定値を設定します。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Zoom Speed]	0～32766	32766	ズーム速度を設定する。
[Focus Recall]	[On] / [Off]	[On]	フォーカス設定の復元を行う/行わないを設定する。
[MF Speed]	0～32766	32766	マニュアルフォーカスのフォーカス速度を設定する。

TP1001752471

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[Output Format]

出力フォーマットの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[SDI1/SDI2/HDMI]	設定項目について詳しくは、「出力のフォーマットと制限」をご覧ください。	—	出力解像度を設定する。

関連項目

- [出力のフォーマットと制限](#)

TP1001752472

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[Output Display]

出力信号に関する設定を行います。

項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[SDI1]	[On] / [Off]	[Off]	SDI1出力信号にメニューやステータスを重畳する/しないを設定する。
[SDI2/HDMI/Stream]	[On] / [Off]	[On]	SDI2, HDMI, Stream出力信号にメニューやステータスを重畳する/しないを設定する。 ご注意 <ul style="list-style-type: none">● 本設定は、HDMI出力信号およびストリーミング、Web Appカメラ映像部の映像にも反映されます。

TP1001752473

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[Audio Input]

CH1～CH4の音声入力に関する設定を行います。

項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[AUDIO IN 1 Select]	[MIC] / [LINE]	[MIC]	AUDIO IN 1端子に接続された機器の種類を選択する。
[AUDIO IN 2 Select]	[MIC] / [LINE]	[MIC]	AUDIO IN 2端子に接続された機器の種類を選択する。
[AUDIO IN 1 MIC +48V]	[On] / [Off]	[Off]	AUDIO IN 1端子に接続された機器のファンタム電源+48Vの有効/無効を選択する。
[AUDIO IN 2 MIC +48V]	[On] / [Off]	[Off]	AUDIO IN 2端子に接続された機器のファンタム電源+48Vの有効/無効を選択する。
[Level Control]	[Auto] / [Manual]	[Auto]	音声入力レベル調整を自動にするか、手動にするかを設定する。
[Level]	0 ~ 99	49	入力レベルを設定する。
[Input Select]	[Off] / [AUDIO IN 1] / [AUDIO IN 2] / [MIC (L)] / [MIC (R)]	CH1 : [AUDIO IN 1] CH2 : [AUDIO IN 2] CH3 : [AUDIO IN 1] CH4 : [AUDIO IN 2]	音声の入力元を設定する。 CH1の場合： [AUDIO IN 1] / [MIC (L)] CH2の場合： [AUDIO IN 1] / [AUDIO IN 2] / [MIC (R)] CH3の場合： [Off] / [AUDIO IN 1] / [MIC (L)] CH4の場合： [Off] / [AUDIO IN 1] / [AUDIO IN 2] / [MIC (R)]
[Wind Filter]	[On] / [Off]	[Off]	風音低減フィルターをオン/オフする。

TP1001752474

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[Audio Output]

音声出力に関する設定を行います。

項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[SDI2/HDMI/Strm Out CH]	[CH1/CH2] / [CH3/CH4]	[CH1/CH2]	SDI2/HDMI/ストリーミングに出力される音声チャンネルの組み合わせを設定する。

ご注意

- 本設定はストリーミングの出力音声にも反映されます。

TP1001752475

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[Tracking Data Output]

トラッキング情報 (free-dプロトコル準拠) の出力に関する設定を行います。

項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Transfer Mode]	[Off] / [Always] / [On Demand]	[Off]	トラッキング情報の出力方法を選択する。
[Camera ID]	0~255	255	本機のIDを設定する。
[Destination Address]	IPv4アドレス	-	[Transfer Mode] が [Always] のとき、トラッキング情報の宛先IPアドレスを設定する。
[Destination Port]	1024~65534	40000	[Transfer Mode] が [Always] のとき、トラッキング情報の宛先ポート番号を設定する。
[Listen Port]	1024~65534	40000	[Transfer Mode] が [On Demand] のとき、クライアントからの要求を待ち受ける本機のポート番号を設定する。

TP1001752476

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[Tally]

記録/タリーランプに関する設定を行います（「タリー信号を接続する」参照）。

[Tally]

記録/タリーランプに関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Tally Lamp Brightness]	[High] / [Low] / [Off]	[High]	記録/タリーランプの輝度を設定する。
[G Tally Lamp]	[Enable] / [Disable]	[Enable]	G（緑）タリーランプの有効/無効を設定する。
[Y Tally Lamp]	[Enable] / [Disable]	[Enable]	Y（黄）タリーランプの有効/無効を設定する。
[Tally Control]	[External] / [Internal] / [PTZ AFR]	[Internal]	本機の記録/タリーランプの制御情報を受け付ける対象を選択する。

[TSL UMD]

TSL UMDプロトコルによるタリーの制御方法を設定します。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Setting]	[On] / [Off]	[Off]	TSL UMDプロトコルによるタリー制御の有効/無効を設定する。
[Index]	0～65534	1	TSL UMDプロトコルによるタリー制御を受け付けるインデックス番号を設定する。
[Port Number]	1024～65534	8900	TSL UMDプロトコルによるタリー制御を受け付けるポート番号を設定する。

関連項目

- [タリー信号を接続する](#)

TP1001752477

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[IR Remote]

赤外線リモコンに関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Setting]	[On] / [Off]	[On]	赤外線リモコンによる本機の操作の有効/無効を設定する。

TP1001752478

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[RCP/MSU]

RCP/MSU（別売）と接続するための設定を行います。
詳細は「RCP/MSU（別売）と接続する」をご覧ください。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の 初期設定値	内容
[CNS Mode]	[Off] / [Bridge] / [MCS] / [PC Control]	[Off]	RCP/MSUとの接続モードを設定する。
[Master IP Address]	Ipv4のアドレスを設定	0.0.0.0	LAN上でマルチカメラシステムを構築する場合のマスター機器のIPアドレスを設定する。
[Camera No.]	カメラ番号（1～96）を入力	1	LAN上でマルチカメラシステムを構築する場合のカメラ番号をシステム内で番号が重複しないように設定する。

ご注意

- 必要に応じてRCP/MSU側の設定を行ってください。
- マルチカメラシステムにはMSUが必要です。
- MSUが複数台ある場合、いずれか1台のMSUをマスターに設定し、それ以外のMSUはクライアントに設定してください。

TP1001752479

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[Camera Name]

カメラ名（本機名）に関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Camera Name]	—	BRC-AM7	カメラ名を設定する。

Camera Nameは次の文字を使用して0～8文字で入力できます。

英数字

記号 (スペース!#\$`*+-.;/;<=>@[¥]^_`{|})

TP1001752480

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[User]

本機にアクセスするユーザーに関する設定を行います。

管理者ユーザー (Administrator) に関する設定 (必須)

項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[User Name]	—	admin	ユーザー名を設定する。
[Current Password]	—	—	パスワードを変更する場合、現在のパスワードを入力する。
[New Password]	—	—	新しいパスワードを入力する。
[Re-Type Password]	—	—	確認のため、新しいパスワードをもう一度入力する。

一般ユーザー (User1~User 9) に関する設定 (任意)

項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[User Name]	—	—	ユーザー名を設定する。
[Current Password]	—	—	パスワードを変更する場合、現在のパスワードを入力する。
[New Password]	—	—	新しいパスワードを入力する。
[Re-Type Password]	—	—	確認のため、新しいパスワードをもう一度入力する。

TP1001752481

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[Wired LAN]

[Status]

ネットワークの状態を表示します。

項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Host Name]	—	—	ホスト名を表示する。
[MAC Address]	—	—	本機のMACアドレスを表示する。
[Ethernet Status]	—	—	現在の通信速度を表示する。
[IP Address]	—	—	本機のIPアドレスを表示する。
[Subnet Mask]	—	—	本機のサブネットマスクを表示する。
[Gateway]	—	—	本機のIPv4デフォルトゲートウェイを表示する。
[Primary DNS Server]	—	—	本機のプライマリDNSを表示する。
[Secondary DNS Server]	—	—	本機のセカンダリDNSを表示する。
[IPv6 Address 1]	—	—	本機のIPv6アドレス1を表示する。
[IPv6 Address 2]	—	—	本機のIPv6アドレス2を表示する。
[IPv6 Gateway]	—	—	本機のIPv6デフォルトゲートウェイを表示する。
[Link-local IPv6 Address]	—	—	本機のIPv6リンクローカルアドレスを表示する。

[IPv4]

ネットワークのIPv4に関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[DHCP]	[On] / [Off]	[On]	[DHCP] をオン/オフする。
[IP Address]	—	—	[DHCP] がオフのときに、IPv4アドレスを設定する。
[Subnet Mask]	—	—	[DHCP] がオフのときに、サブネットマスクを設定する。
[Gateway]	—	—	[DHCP] がオフのときに、IPv4デフォルトゲートウェイを設定する。

[IPv6]

ネットワークのIPv6に関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Obtain an IP Address Automatically]	[On] / [Off]	[On]	IPv6アドレスの自動取得をオン/オフする。
[IP Address]	—	—	[Obtain an IP Address Automatically] がオフのときに、IPv6アドレスを設定する。
[Prefix Length]	—	—	[Obtain an IP Address Automatically] がオフのときに、プレフィックスを設定する。
[Gateway]	—	—	[Obtain an IP Address Automatically] がオフのときに、IPv6デフォルトゲートウェイを設定する。

[Common]

ネットワークのIPv4/IPv6の共通設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[HTTP Port]	80、1024～65534	80	HTTPのポート番号を設定する。
[DNS Auto]	[On] / [Off]	[On]	DNSのアドレスをDHCPサーバーから取得するかどうかを設定する。
[Primary DNS Server]	IPv4/IPv6アドレス	—	[DNS Auto] がオフのときに、プライマリーDNSを設定します。
[Secondary DNS Server]	IPv4/IPv6アドレス	—	[DNS Auto] がオフのときに、セカンダリーDNSを設定します。

TP1001752482

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[File Transfer]

ファイルの転送に関する設定を行います。

項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Auto Upload (Proxy)]	[On] / [Off]	[Off]	プロキシクリップの自動転送をOn/Offする。
[Default Upload Server]	Server Settings1～3の [Display Name]	[Server Settings1]	ファイルの転送先サーバーを選択する。ここで選択したサーバーは、プロキシクリップの自動転送先、およびサムネイル画面からのファイル転送先のサーバーになる。 [Server Settings1～3] で設定した [Display Name] を表示する。

TP1001752483

カラービデオカメラ
BRC-AM7

【FTP Server 1】、【FTP Server 2】、【FTP Server 3】

ファイルのFTP転送に関する設定を行います。

設定内容は【FTP Server 1】、【FTP Server 2】、【FTP Server 3】ですべて共通です。

項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Display Name]	—	—	転送先設定のメニュー上の表示名を設定する。
[Service]	—	—	サーバーの種類を表示する。
[Host Name]	—	—	転送先サーバーのホスト名を設定する。
[Port]	21, 990, 1024～65534	21	転送先サーバーのポート番号を設定する。
[User Name]	—	—	転送先サーバー接続の認証用ユーザー名を設定する。
[Password]	—	—	転送先サーバー接続の認証パスワードを設定する。
[Passive Mode]	[On] / [Off]	[Off]	パッシブモードをオン/オフする。
[Destination Directory]	—	—	転送先のディレクトリー名を設定する。
[Using Secure Protocol]	[On] / [Off]	[Off]	セキュアなFTP転送を行うか [On]、行わないか [Off] を設定する。
[Root Certificate]	—	—	セキュアなFTP転送ためのルート証明書を読み込む。 [Load] ボタンを押して表示される画面でルート証明書を選択する。 [Delete] ボタンを押すと、読み込んだルート証明書が削除される。
[Root Certificate Status]	—	—	ルート証明書の読み込み状態を表示する。
[Reset]	—	—	【Server Settings】の設定を初期値に戻す。

TP1001752484

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[SSL]

SSLに関する設定を行います。

[SSL]

SSL機能の有効/無効を設定します。

項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Function]	[Disable] / [Enable] / [Enable (Allow HTTP connection for some clients)]	[Disable]	SSL機能の有効/無効を設定する。

[SSL Server Authentication]

SSLのサーバー認証に関する設定を行います。

項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Certificate Options]	[Use a self-signed certificate (For test use)] / [Use an external certificate]	—	SSLサーバーの証明書のインストール方法を設定する。
[Status]	—	—	[Certificate Options] で [Use a self-signed certificate (For test use)] を選択したときに、SSLサーバー証明書の有効性が表示される。
[Issuer DN]	—	—	[Certificate Options] で [Use a self-signed certificate (For test use)] を選択したときに、SSLサーバー証明書の発行者の識別名が表示される。
[Subject DN]	—	—	[Certificate Options] で [Use a self-signed certificate (For test use)] を選択したときに、SSLサーバー証明書のサブジェクト識別名が表示される。
[Available Period]	—	—	[Certificate Options] で [Use a self-signed certificate (For test use)] を選択したときに、SSLサーバー証明書の有効期間が表示される。
[Extended Key Usage]	—	—	[Certificate Options] で [Use a self-signed certificate (For test use)] を選択したときに、拡張キーの使用法が表示される。
[Delete]	—	—	[Certificate Options] で [Use a self-signed certificate (For test use)] を選択したときに、表示されるボタン。 インストールされているSSLサーバー証明書を削除できる。

項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Import]	—	—	[Certificate Options] で [Use an external certificate] を選択したときに、リストから外部のSSLサーバー証明書をインストールできる。
[Private Key Password]	—	—	[Certificate Options] で [Use an external certificate] を選択したときにSSLサーバー証明書の秘密鍵情報のパスワードが設定できる。
[Reset]	—	—	秘密鍵パスワードの表示をクリアし、新しいパスワードの入力を可能にするボタン。
[Self-Signed Certificate Generation]	—	—	[Certificate Options] で [Use a self-signed certificate (For test use)] を選択したときに、[Generate] ボタンを押して、自己署名証明書を生成することができる。

TP1001752485

カラービデオカメラ
BRC-AM7

【SSH】

SSHに関する設定を行います。

Camera Remote SDKを利用したアプリケーションで本機をご使用の場合、SSHを有効にする必要があります。アプリケーションが信頼できる場合のみ、有効にしてください。

アプリケーションの動作によって生じたいかなる不利益に対しても、ソニーはその責を負いかねます。

【SSH】

SSHを設定します。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Setting]	[On] / [Off]	—	SSH機能の有効/無効を設定する。
[User Name]	—	—	ユーザー名を設定・表示する。
[Password]	—	—	パスワードを設定する。
[Fingerprint]	—	—	フィンガープリントを表示する。
[Reset]	—	—	ユーザー名とパスワードをリセットする。

【Camera】

カメラの型名およびシリアル番号を表示します。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Model Name]	—	—	カメラの型名を表示する。
[Serial Number]	—	—	カメラのシリアル番号を表示する。

TP1001803546

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[Referer Check]

Refererチェックに関する設定を行います。

項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Setting]	[On] / [Off]	[On]	Refererチェックの有効/無効を設定する。

[Exception List]

Refererチェックの例外リストに関する設定を行います。

Exception List

No. 1 Host Name Port Number 80

Set Delete

No.	Host Name	Port Number
1		80
2		80
3		80
4		80
5		80
6		80
7		80
8		80
9		80
10		80

項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[No.]	1～10	—	リストから例外の番号を設定する。
[Host Name]	—	—	例外のホスト名を設定する。
[Port Number]	—	—	例外のポート番号を設定する。
[Set]	—	—	押すと、設定した例外が例外リストに登録される。
[Delete]	—	—	削除したい例外を選択して押すと、登録した例外が例外リストから削除される。

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[Brute Force Attack Protection]

Brute Force Attack Protectionに関する設定を行います。

項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Setting]	[On] / [Off]	[On]	[Brute Force Attack Protection] をオン/オフする。
[Count]	3~100	8	攻撃と判定する回数を設定する。 [Setting] がオンのときに設定できる。
[Release Mode]	[Always] / [Timer]	[Timer]	解除条件を設定する。 [Setting] がオンのときに設定できる。 [Always] : アタッカーリストから削除しない。 [Timer] : [Release Time] で設定した解除時間を過ぎるとアタッカーリストから削除する。
[Release Time]	30~86400 s	60	解除時間を設定する。 [Setting] がオンのときに設定できる。 [Release Mode] が [Timer] のとき、解除時間を過ぎるとアタッカーリストから削除される。

アタッカーが検出されると、アタッカーリストの情報が表示されます。

TP1001752487

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[Stream]

ストリーミング方式の設定を行います（「ストリーミングについて」参照）。

[Stream Setting]

ストリーミングの Protokol に関する設定を行います。

項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Setting]	[RTSP] / [RTMP] / [SRT-Caller] / [SRT-Listener] /NDI HX/ [Off]	[RTSP]	ストリーミングの Protokol を選択する。

ご注意

- RTMPを使用する場合は、あらかじめ [Stream] メニュー-> [Audio Stream] の [Setting] を [On] に設定してください。

[RTSP]

[Stream Setting] が [RTSP] のときに表示される項目です。
RTSPストリーミングに関する設定を行います。

項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Port Number]	554, 1024~65534	554	RTSPのポート番号を設定する。
[Time Out]	0~600	60	RTSP配信のKeep Aliveコマンドでタイムアウトを設定する。
[Authentication]	[On] / [Off]	[On]	RTSPの認証をOn/Offする。
[Video Port Number 1]	1024~65534	51000	ユニキャスト配信のRTSPで映像1を送信するポート番号を設定する。
[Video Port Number 2]	1024~65534	53000	ユニキャスト配信のRTSPで映像2を送信するポート番号を設定する。
[Audio Port Number]	1024~65534	57000	ユニキャスト配信のRTSPでオーディオを送信するポート番号を設定する。

[RTMP]

[Stream Setting] が [RTMP] のとき表示される項目です。
RTMPストリーミングに関する設定を行います。

項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Server URL]	—	—	RTMPまたはRTMPSの接続先のURLを設定する。
[Stream Key]	—	—	RTMPサーバー側から取得したストリームキーを設定する。

項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Root Certificate]	—	—	RTMPサーバーに接続するために必要なルート証明書を読み込む。 [Load] ボタンを押して表示される画面でルート証明書を選択する。 [Delete] ボタンを押すと、読み込んだルート証明書が削除される。 [Root Certificate Status] に状態が表示される。

[SRT]

[Stream Setting] が [SRT-Caller] または [SRT-Listener] のときに表示される項目です。
SRTストリーミングに関する設定を行います。

項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Destination]	—	—	本機がCallerとして動作するとき、接続先のURLを設定する。
[Port Number]	1024~65534	4201	本機がListenerとして動作するときの待ち受けPort番号を設定する。
[Latency]	20~8000 ms	120	遅延量を設定する。
[TTL]	1~255	64	TTL値を設定する。
[Encryption]	[Off] / [AES128] / [AES256]	[Off]	暗号化の有効/無効と暗号方式を設定する。
[Passphrase]	0または10~79文字以内	0	暗号化に使うパスフレーズを設定する。[Clear] を押すと、入力したパスフレーズが消去される。
[ARC]	[On] / [Off]	[On]	Adaptive Rate Control機能をOn/Offする。

NDI|HX

[Stream Setting] が [NDI|HX] のときに表示される項目です。
NDI|HXに関する設定を行います。

項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Source Name]	—	—	NDI Source Nameが表示される。
[Group]	[On] / [Off]	[Off]	NDIのグルーピング機能をOn/Offする。
[Group Name]	—	—	NDIのグルーピング機能が [On] のときに表示される。 グループ名を設定する。
[Discovery Server 1]	—	—	NDIディスカバリーサーバー1を設定する。
[Discovery Server 2]	—	—	NDIディスカバリーサーバー2を設定する。
[Multicast Mode]	[On] / [Off]	[Off]	マルチキャスト配信をOn/Offする。

項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Multicast Prefix]	239.255.0.0	239.255.0.0	[Multicast Mode] が [On] のときに表示される。マルチキャスト配信で使うプリフィックスを設定する。
[Multicast Netmask]	255.255.0.0	255.255.0.0	[Multicast Mode] が [On] のときに表示される。マルチキャストアドレスの範囲を決めるネットマスクを設定する。
[Multicast TTL]	1~256	3	[Multicast Mode] が [On] のときに表示される。マルチキャスト配信のTTL値を設定する。
[Multi-TCP Mode]	[On] / [Off]	[Off]	Multi-TCPモードをOn/Offする。
[Unicast UDP Mode]	[On] / [Off]	[On]	Unicast UDPモードをOn/Offする。

関連項目

- [ストリーミングについて](#)

TP1001752488

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[Video Stream]

ストリーミングのビデオコーデックに関する設定を行います。

[Video Stream 1]

ビデオコーデック1に関する設定を行います。

項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Codec 1]	[H.264] / [H.265]	[H.264]	映像1のコーデックを設定する。
[Size 1]	3840x2160 / 1920x1080 / 1280x720 / 640x360	1920x1080	映像1の画像サイズを設定する。
[Frame Rate 1]	<ul style="list-style-type: none"> 設定できるフレームレートについては「ストリーミングのビデオコーデックを設定する」をご覧ください。 	—	映像1のフレームレートを設定する。
[I-Picture Mode 1]	[Time] / [Frame]	[Time]	映像1のIDR-Frameの挿入間隔を時間とフレームから選択する。
[I-Picture Interval 1]	1 / 2 / 3 / 4 / 5 s	1	[I-Picture Mode 1] が [Time] のときに表示される。 H.264とH.265のIDR-Frameを挿入する間隔を時間で設定する。
[I-Picture Ratio 1]	15~30フレーム	30	[I-Picture Mode 1] が [Frame] のときに表示される。 H.264とH.265のIDR-Frameを挿入する間隔をフレーム数で設定する。
[Profile 1]	[H.264] のとき： [high] / [main] / [baseline] [H.265] のとき： [main]	[H.264] のとき： [high]	H.264またはH.265のプロファイルを設定する。
[Bit Rate Compression Mode 1]	[CBR] / [VBR]	[VBR]	映像1のビットレート制御モードを設定する。
[Bit Rate 1]	512 / 768 / 1000 / 2000 / 3000 / 4000 / 5000 / 6000 / 7000 / 8000 / 16000 / 24000 / 32000 / 50000 / 64000 / 80000 kbps	16000	[Bit Rate Compression Mode 1] が [CBR] のときのビットレートの目標値を設定する。
[Quality 1]	1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / 7 / 8 / 9 / 10	6	[Bit Rate Compression Mode 1] が [VBR] のときに表示される。 H.264またはH.265の品質を設定する。

[Video Stream 2]

ビデオコーデック2に関する設定を行います。

項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Codec 2]	[H.264] / [H.265] / [Off]	[Off]	映像2のコーデックを設定する。
[Size 2]	3840x2160 / 1920x1080 / 1280x720 / 640x360 / 512x270	1920x1080	映像2の画像サイズを設定する。
[Frame Rate 2]	<ul style="list-style-type: none"> 設定できるフレームレートについては「ストリーミングのビデオコーデックを設定する」をご覧ください。 	—	[Codec 2] が [Off] 以外有的时候に表示される。 映像2のフレームレートを設定する。
[I-Picture Mode 2]	[Time] / [Frame]	[Time]	[Codec 2] が [Off] 以外有的时候に表示される。 映像2のIDR-Frameの挿入間隔を時間とフレームから選択する。
[I-Picture Interval 2]	1 / 2 / 3 / 4 / 5 s	1	[Codec 2] が [Off] 以外で、かつ [I-Picture Mode 2] が [Time] のときに表示される。 H.264とH.265のIDR-Frameを挿入する間隔を時間で設定する。
[I-Picture Ratio 2]	15~300フレーム	30	[Codec 2] が [Off] 以外で、かつ [I-Picture Mode 2] が [Frame] のときに表示される。 H.264とH.265のIDR-Frameを挿入する間隔をフレーム数で設定する。
[Profile 2]	[H.264] のとき: [high] / [main] / [baseline] [H.265] のとき: [main]	—	H.264またはH.265のプロファイルを設定する。
[Bit Rate Compression Mode 2]	[CBR] / [VBR]	[VBR]	[Codec 2] が [Off] 以外有的时候に表示される。 映像2のビットレート制御モードを設定する。
[Bit Rate 2]	512 / 768 / 1000 / 2000 / 3000 / 4000 / 5000 / 6000 / 7000 / 8000 / 16000 / 24000 / 32000 / 50000 / 64000 / 80000 kbps	8000	[Codec 2] が [Off] 以外で、かつ [Bit Rate Compression Mode 2] が [CBR] のときのビットレートの目標値を設定する。
[Quality 2]	1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / 7 / 8 / 9 / 10	6	[Codec 2] が [Off] 以外で、かつ、[Bit Rate Compression Mode 2] が [VBR] のとき表示される。 H.264またはH.265の品質を設定する。

[Video Stream 3]

ビデオコーデック3に関する設定を行います。

項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Codec 3]	[JPEG]	[JPEG]	映像3のコーデックを設定する。
[Size 3]	1280x720 / 640x360	1280x720	映像3の画像サイズを設定する。

項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Frame Rate 3]	<ul style="list-style-type: none"> 設定できるフレームレートについては「ストリーミングのビデオコーデックを設定する」をご覧ください。 	—	映像3のフレームレートを設定する。
[Quality 3]	1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / 7 / 8 / 9 / 10	6	品質を設定する。

関連項目

- [ストリーミングのビデオコーデックを設定する](#)

TP1001752489

5-065-326-01(1) Copyright 2024 Sony Corporation

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[Audio Stream]

ストリーミングのオーディオコーデックに関する設定を行います。

項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Setting]	[On] / [Off]	[Off]	オーディオのストリーミング送信をオン/オフする。
[Codec]	[AAC (128kbps)] / [AAC (256kbps)]	[AAC (128kbps)]	[Setting] がオンのときに設定できる。ストリーミングのオーディオコーデックを設定する。

TP1001752490

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[Language]

表示する言語を設定します。

項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Language]	[English] / [日本語] / [Français] / [Deutsch] / [Italiano] / [Español] / [Português] / [русский] / [Polski] / [Türkçe] / [中文(繁)] / [中文(簡)] / [한국어] / [हिंदी]	[English]	表示する言語を設定する。

TP1001752491

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[Clock Set]

内蔵時計に関する設定を行います。

項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Current Date & Time]	—	—	本機に設定されている現在時刻が表示されます。
[PC Clock]	—	—	設定に使用しているタブレットやコンピュータの現在時刻が表示される。
[Date & Time Format]	[yyyy-mm-dd hh:mm:ss] / [mm-dd-yyyy hh:mm:ss] / [dd-mm-yyyy hh:mm:ss]	[yyyy-mm-dd hh:mm:ss]	日付/時刻の表示形式を設定する。
[12 h] / [24 h]	[12 h] / [24 h]	[24 h]	時刻の12時間表示/24時間表示を設定する。
[Time Setting]	[Keep current setting] / [Synchronize with PC] / [Manual setting] / [Synchronize with NTP]	—	日付と時刻の設定方法を設定する。
[yy-mm-dd hh:mm:ss]	yy : 19~37 mm : 01~12 dd : 01~31 hh : 00~23 mm : 00~59 ss : 00~59 (秒)	—	[Time Setting] が [Manual setting] のときに表示される。 手動で日付と時刻を設定する。
[NTP Auto]	[On] / [Off]	[Off]	[Time Setting] が [Synchronize with NTP] のときに表示される。 NTPサーバーのIPアドレスをDHCPサーバーから取得する/しないを設定する。
[NTP Server]	IPv4/IPv6アドレスまたはホスト名	—	[Time Setting] が [Synchronize with NTP] で、かつ [NTP Auto] が [Off] のときに表示される。 時刻同期するNTPサーバーを指定する。
[Time Zone]	[UTC -12:00] ~ [UTC+14:00]	—	タイムゾーンを選択する。

TP1001752493

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[Reset]

本機の初期化を行います。

[Reboot]

本機を再起動します。

項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Reboot]	[Execute]	—	<p>本機を再起動する。 [Execute] : 実行</p> <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> 再起動完了後、Webブラウザでページをリロード（再読み込み）してください。

[Reset]

本機の設定を初期化します。

項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[All Reset (except for Network Settings)]	[Execute]	—	<p>ネットワーク設定以外の本機の設定を初期化する。 [Execute] : 実行</p> <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> インポートした基本ルック/LUTファイルは削除されません。
[Network Reset]	[Execute]	—	<p>本機のネットワーク設定を初期化する。 [Execute] : 実行</p> <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> Network Resetを実行すると本機は再起動します。再起動完了後、Webブラウザでページをリロード（再読み込み）してください。
[Factory Default]	[Execute]	—	<p>本機の設定を工場出荷状態に戻す。 [Execute] : 実行</p> <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> インポートした基本ルック/LUTファイルは削除されます。 Factory Defaultを実行すると本機は再起動します。再起動完了後、Webブラウザでページをリロード（再読み込み）してください。

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[Information]

カメラの情報を表示します。また、ソフトウェアのアップデートができます。

[Camera]

カメラの情報表示とソフトウェアのアップデートを行います。

項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Model Name]	—	—	カメラの型名を表示する。
[Serial Number]	—	—	カメラのシリアル番号を表示する。
[Version Number]	—	—	カメラのソフトウェアのバージョンを表示する。
[Version Up]	—	—	[Choose File] ボタンを押して表示される画面の指示に従ってカメラのバージョンアップを実行する。 ご注意 <ul style="list-style-type: none">バージョンアップ後に本機は再起動します。再起動完了後、Webブラウザでページをリロード（再読み込み）してください。

TP1001752495

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[System Log]

System Logに関する設定を行います。

項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Log Level]	[Critical, Warning & Info] / [Critical & Warning] / [Critical]	[Critical, Warning & Info]	システムログに記録するレベルを設定する。
[Log Size]	200~1024	1024	システムログに保存するログのサイズを設定する。
[Download as File]	—	—	[Download] ボタンを押して表示される画面でシステムログをタブレットやコンピューターに保存する。

取得したログは以下のように表示されます。

```
[INFO ] 2022-02-07 12:58:20 MODEL-NAME|9100030 Log configuration (level, size) has been changed. (Success)
[INFO ] 2022-02-07 12:58:48 MODEL-NAME|9100030 System started.
[INFO ] 2022-02-09 12:27:32 MODEL-NAME|9100030 System started.
[INFO ] 2022-02-09 12:28:56 MODEL-NAME|9100030 System started.
[INFO ] 2022-02-09 12:29:20 MODEL-NAME|9100030 Start firmware update sequence.
[WARNING] 2022-02-09 12:29:20 MODEL-NAME|9100030 Entering external sync state.
[INFO ] 2022-02-09 12:40:47 MODEL-NAME|9100030 System rebooting.
[CRITICAL] 2022-02-09 12:54:11 MODEL-NAME|9100030 Camera block boot-up sequence failed.
[INFO ] 2022-02-09 12:54:18 MODEL-NAME|9100030 System started.
[INFO ] 2022-02-09 13:10:24 MODEL-NAME|9100030 System started.
[WARNING] 2022-02-09 13:54:39 MODEL-NAME|9100030 Entering external sync state.
[INFO ] 2022-02-09 13:54:40 MODEL-NAME|9100030 It has turned into stand-by state.
[WARNING] 2022-02-09 13:56:01 MODEL-NAME|9100030 Returned from external sync state.
[INFO ] 2022-02-09 13:56:08 MODEL-NAME|9100030 It has turned into power-on state.
[INFO ] 2022-02-15 09:46:50 MODEL-NAME|9100030 System started.
[INFO ] 2022-02-15 10:04:32 MODEL-NAME|9100030 System started.
[INFO ] 2022-02-15 10:05:52 MODEL-NAME|9100030 Start firmware update sequence.
[WARNING] 2022-02-15 10:05:53 MODEL-NAME|9100030 Entering external sync state.
[INFO ] 2022-02-15 10:17:23 MODEL-NAME|9100030 System rebooting.
[INFO ] 2022-02-15 10:27:05 MODEL-NAME|9100030 System started.
[INFO ] 2022-02-15 10:34:01 MODEL-NAME|9100030 System started.
```

TP1001752496

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[HTTP Access Log]

HTTP Access Logに関する設定を行います。

項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Log Level]	[Critical, Warning & Info] / [Critical & Warning] / [Critical]	[Critical, Warning & Info]	HTTPアクセスログに記録するレベルを設定する。
[Log Size]	200～1024	1024	HTTPアクセスログに保存するログのサイズを設定する。
[Download as File]	—	—	[Download] ボタンを押して表示される画面でHTTPアクセスログをタブレットやコンピューターに保存する。

TP1001752497

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[Service]

本機の機器情報を取得します。ソニーのサービス窓口へお問い合わせの際、ご使用ください。

項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[I agree to download device information.]	—	—	<p>機器情報取得の許諾に合意する場合はチェックを付けて [OK] ボタンを押す。</p> <p>[Download] ボタンが表示されるのでこれを押す。しばらく待つとWebブラウザがdeviceinformation.datファイルのダウンロードを開始する。</p> <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none">ダウンロード完了後、本機は再起動します。自動で再起動しない場合は手動で再起動してください。再起動完了後、Webブラウザでページをリロード (再読み込み) してください。

TP1001752498

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[EULA]

End User License Agreementを表示します。

TP1001752499

5-065-326-01(1) Copyright 2024 Sony Corporation

カラービデオカメラ
BRC-AM7

[Software]

ソフトウェアライセンスを表示します。

TP1001752500

5-065-326-01(1) Copyright 2024 Sony Corporation

カラービデオカメラ
BRC-AM7

外部モニターや記録装置を接続する

記録・再生画像を外部モニターに表示させるときは、本機の映像出力を外部モニターに適した設定にして、接続するモニターに応じた接続ケーブルを使用してください。

外部レコーダーを接続して、本機の出力信号を記録することもできます。

外部モニターにカメラ映像部と同様の各種ステータス情報やメニューなどを表示させることができます。Webメニューの [Monitoring] メニュー > [Output Display] で画面表示させたい系統を [On] にしてください。

ご注意

- HDMI端子に接続したモニターがWebメニューやカメラメニューの [Monitoring] メニューで設定したHDMI出力フォーマットに対応していない場合、Web Appにカメラ映像は出力されません。またSDI2やストリーミング映像も出力できません。
- [Output Display] の [SDI1]、[SDI2/HDMI/Stream] の両方を [Off] に設定することもできますが、カメラメニューなど、画面表示を前提とする機能は使用できなくなります。また、本機の異常通知などは本機のランプの点灯/点滅やWeb App右上の通知マーク表示に限られます。状態の詳細を把握するには、[Output Display] を [On] にしてください。

ヒント

- 工場出荷時は、[Output Display] の [SDI1] は [Off]、[SDI2/HDMI/Stream] は [On] に設定されています。ストリーミングを本線映像として使いたい場合は、[SDI] を [On]、[SDI2/HDMI/Stream] を [Off] に設定し、カメラの状態はSDI1に接続したモニターで監視してください。

SDI OUT端子 (BNC型)

Webメニューまたはカメラメニューの [Monitoring] メニューで、出力フォーマットを設定します。
接続には市販の75Ω同軸ケーブルを使用してください。

ご注意

- 本機と外部機器の間のアースが確実に接地されていることを確認してから、電源を入れてください。

75Ω同軸ケーブルを接続した後に、本機と外部機器の電源を入れることをおすすめします。

やむを得ず、電源投入状態で外部機器を接続する場合は、75Ω同軸ケーブルを外部機器に接続した後に、本機と接続してください。

本機と同時に外部機器で記録を開始するには

SDI信号出力時は、カメラメニューの [Project] メニュー > [SDI/HDMI Rec Control] の [Setting] を [SDI/HDMI Remote I/F] または [Parallel Rec] に設定すると、SDI OUT 1端子に接続した外部機器にRECトリガー信号を出力することによって、本機と同期した記録が可能になります。

ご注意

- SDI OUT 2端子は対応していません。
- 接続した外部機器がRECトリガー信号に対応していない場合は動作しません。
- カメラメニューの [Project] メニュー > [SDI/HDMI Rec Control] の [Setting] が [SDI/HDMI Remote I/F] の場合、記録メディアが挿入されていないときは、録画START/STOPボタンの操作に応じてRECトリガー信号のみ出力されます。

HDMI OUT端子 (Type Aコネクター)

カメラメニューの [Monitoring] メニューで、出力のOn/Offや出力フォーマットを設定します。

本機と同時に外部機器で記録を開始するには

HDMI信号出力時は、カメラメニューの [TC/Media] メニュー > [HDMI TC Out] の [Setting] を [On] にして、
[Project] メニュー > [SDI/HDMI Rec Control] の [Setting] を [SDI/HDMI Remote I/F] または [Parallel Rec] に設定すると、HDMI OUT端子に接続した外部機器にRECトリガー信号を出力することによって、本機と同期した記録が可能になります。

ご注意

- 接続した外部機器がRECトリガー信号に対応していない場合は動作しません。
- カメラメニューの [Project] メニュー > [SDI/HDMI Rec Control] の [Setting] が [SDI/HDMI Remote I/F] の場合、記録メディアが挿入されていないときは、録画START/STOPボタンの操作に応じてRECトリガー信号のみ出力されます。

TP1001752501

5-065-326-01(1) Copyright 2024 Sony Corporation

カラービデオカメラ
BRC-AM7

RCP/MSUとの接続について

RCP-3500/3501などのリモートコントロールパネル（以下「RCP」と表記）やMSU-3500などのマスターセットアップユニット（以下「MSU」と表記）と本機をLANケーブルで接続することで、それらの機器から本機の機能の一部をコントロールできます。

関連機器の構成や用途に応じて接続方法が異なります。

- 本機とRCPを1対1で接続したい場合は「本機とRCPを1対1で接続する」をご覧ください。
- MSU、またはカメラコントロールソフトウェアで複数台のカメラを接続したい場合は「MSU/カメラリモートコントロールソフトウェアを使ったマルチカメラ環境で本機を使用する」をご覧ください。

関連項目

- [本機とRCPを1対1で接続する](#)
- [MSU/カメラリモートコントロールソフトウェアを使ったマルチカメラ環境で本機を使用する](#)

TP1001752502

カラービデオカメラ
BRC-AM7

本機とRCPを1対1で接続する

ご注意

- 「対応機能一覧」を参照して、使用したい機能の動作条件を満たすように本機を設定した後、本機とRCPとの接続を以下の手順で有効にしてください。

- 1 各機器の電源を入れる。
- 2 カメラのWebメニューの [Technical] メニュー > [RCP/MSU] - [CNS Mode] を [Bridge] に設定する。
- 3 RCPで以下の設定を行う。
 1. 接続モードをBridge Modeにする。
 2. カメラのIPアドレスを登録する。設定方法については、RCPの取扱説明書をご覧ください。

関連項目

- [対応機能一覧](#)

TP1001752503

カラービデオカメラ
BRC-AM7

MSU/カメラリモートコントロールソフトウェアを使ったマルチカメラ環境で本機を使用する

MSUまたはカメラリモートコントロールソフトウェアで複数台のカメラを接続します。

ご注意

- 「対応機能一覧」を参照して、使用したい機能の動作条件を満たすように本機を設定した後、本機とMSUまたはカメラリモートコントロールソフトウェアとの接続を以下の手順で有効にしてください。

① 各機器の電源を入れる。

② MSUまたはカメラリモートコントロールソフトウェアでシステムのネットワーク設定を行う。

設定方法については、MSUまたはカメラリモートコントロールソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

③ カメラのWebメニューの [Technical] メニュー > [RCP/MSU] で以下の設定を行う。

1. MSUを使用する場合は [CNS Mode] を [MCS]、カメラリモートコントロールソフトウェアを使用する場合は [CNS Mode] を [PC Control] に設定する。
2. [Master IP Address] にMasterとなるMSU、またはカメラリモートコントロールソフトウェアのIPアドレスを設定する。
3. [Camera No.] にカメラの登録先となるカメラ番号を設定する。

関連項目

- [対応機能一覧](#)

TP1001752504

カラービデオカメラ
BRC-AM7

対応機能一覧

使用できる機能と動作条件を以下に示します。

操作パネル	本機で動作する機能	動作条件
IRIS	アイリス手動調節	—
AUTO IRIS	Auto Irisのオン/オフ切り替え	—
ND	NDフィルターのプリセットポジション ([Clear] / [Preset1] ~ [Preset3]) 切り替え	カメラメニューの [Shooting] メニュー > [ND Filter] — [Mode] が [Preset] の場合に有効です。
MASTER GAIN	ゲイン手動調節 (3 dB単位)	撮影モードが [Custom]、かつカメラメニューの [Shooting] メニュー > [ISO/Gain] — [Mode] が [dB] の場合に有効です。 RCP/MSUのdB値の表示値は3 dB単位に丸めた値になります。
WHITE (R/B)	ホワイトバランス ([R Gain] / [B Gain]) の手動調節	[White Mode] が [Memory A (R/B)] または [Memory A (T/T)] の場合に有効です。
WHITE (Color Temp)	ホワイトバランス(色温度・Tint)の手動調節 <ul style="list-style-type: none"> ● RCP - [Color Temp] : ホワイトバランスの色温度 ● RCP - [Balance] : ホワイトバランスのTint値 	
ATW	ATW (自動追尾ホワイトバランス) 機能のオン/オフ切り替え	撮影モードが [Custom] の場合に有効です。
BLACK R/B	ブラックバランスの調節	撮影モードが [Custom] の場合に有効です。

操作パネル	本機で動作する機能	動作条件
MASTER BLACK	マスターブラックレベルの調節	
DETAIL	<ul style="list-style-type: none"> ディテール機能のオン/オフ切り替え ディテールレベル設定 [H/V Ratio] 設定 [Crispening] 設定 	
User Matrix	<ul style="list-style-type: none"> ユーザーマトリクス補正機能のオン/オフ切り替え マトリクス補正值 (R-G/R-B/G-R/G-B/B-R/B-G) の設定 	
Multi Matrix	<ul style="list-style-type: none"> Multi Matrix補正機能のオン/オフ切り替え Multi Matrix補正の対象となる色の色相 (ヒュー)、飽和度 (サチュレーション) の設定 Multi Matrix補正の対象となる色に該当する領域を見分ける表示機能 (Gate機能) のオン/オフ切り替え <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> カメラとRCP/MSUをBridgeモードで接続した場合のみ設定できます。 	<ul style="list-style-type: none"> 撮影モードが [Custom] の場合に有効です。 [H/V Ratio] 設定、[Crispening] 設定は、カメラメニューの [Paint/Look] メニュー > [Detail] — [Manual Setting] が [On] の場合に有効です。
Knee	ニー補正機能のオン/オフ切り替え オートニー機能のオン/オフ切り替え ニーポイント、ニースロープの設定	
BARS	カラーバーのオン/オフ切り替え <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> カメラとRCP/MSUをBridgeモードで接続した場合のみ設定できます。 	
SHUTTER	<ul style="list-style-type: none"> シャッター機能のオン/オフ切り替え シャッタースピード値設定 (オートシャッターのオン/オフ設定、アングルシャッター設定、スローシャッター設定、ECS設定はできません。) <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定したシャッタースピード値によってはRCPのシャッター設定値が表示されないことがあります。 RCPから操作できないシャッター動作状態の場合、RCPのシャッター設定値が正しく表示されないことがあります。 	オートシャッターがOnのときは、RCPからのシャッターのオン/オフを切り替えたり、シャッタースピード値設定を変更してもオートシャッターが動作し続けます。シャッター設定が [Angle] の時は、RCPからのシャッターのオン/オフ切り替え、およびシャッタースピード値設定操作はできません。

ご注意

- ご使用の機能の動作条件を満たすように本機を設定した後、本機とRCP/MSUの接続を有効にしてください。接続を有効にした後に動作条件を整えた場合、予期しない動作をすることがあります。

カラービデオカメラ
BRC-AM7

リモートコントローラーRM-IP500（別売）での操作について

ソニーの業務用リモートコントローラーRM-IP500のソフトウェアバージョン 2.5以降で、本機を操作することができます。通信方式はVISCA（RS-422準拠）またはVISCA over IP (LAN)です。

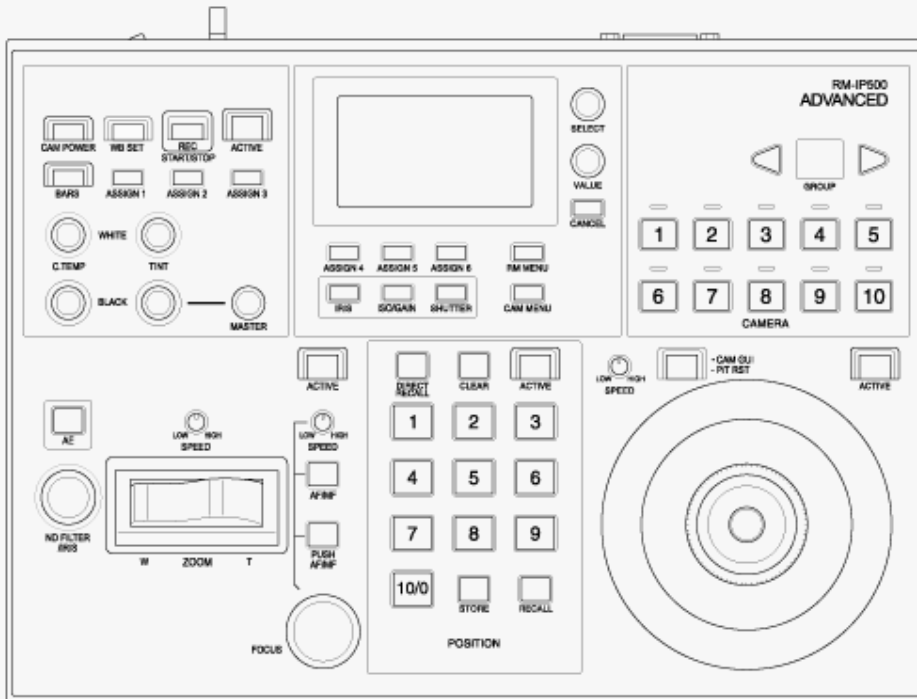
操作対象項目によっては本機の画面表示が必要となりますので、画面表示を確認できるモニターを併せてご用意ください。リモートコントローラーRM-IP500では以下の操作が可能です。

- 操作対象カメラの選択
- 画角の調節（パン・チルト、ズーム）
- フォーカスの調節（タッチ操作を除く）
- プリセットポジションの登録、呼び出し
- PTZオートフレーミングのオン、オフ、一時停止からの再開
- 本機のメニュー操作（Webメニューを除く）
- 明るさの調節
- ホワイトバランスの調節
- ブラックバランスの調節
- 音声入力レベルの調節
- 録画の開始・停止
- 本機の各種アサインボタン機能

RM-IP500の操作について、詳しくはRM-IP500の取扱説明書をご覧ください。

ヒント

- RM-IP500をご使用になる場合は、RM-IP500に付属するパネルシートをご活用ください。



パネルシートを使用した状態

カラービデオカメラ
BRC-AM7

リモートコントローラーRM-IP500を有線LANで接続する

- 1 本機のSETUPスイッチ4をONにして、VISCA over IP通信を「有効」に設定する。



ご注意

- スイッチの設定は本機の電源再投入後に反映されます。

- 2 RM-IP500を本機と同じネットワークに接続する。
- 3 RM-IP500の取扱説明書の準備手順に従って、RM-IP500のVISCA over IP (LAN)接続の設定を行う。

RMメニューのAUTO IP SETUP>ASSIGN CAMで、本機を割り当てます。

- 4 必要に応じてRM-IP500のRMメニューの以下の項目でボタン・つまみに本機の機能を割り当てる。

SW ASSIGN
AE CONFIG2
WB MODE

- 機能の割り当てについては、RM-IP500の取扱説明書をご覧ください。
- VISCA (RS-422準拠) での接続方法については、「本機と別売のリモートコントローラーをRS-422で有線接続する」をご覧ください。

関連項目

- [本機をネットワーク機器に有線接続する](#)
- [本機と別売のリモートコントローラーをRS-422で有線接続する](#)

TP1001752507

カラービデオカメラ
BRC-AM7

Camera Remote SDKについて

Camera Remote SDK (Software Development Kit) はソフトウェア開発者自身がソニーのカメラを使ったソリューションやアプリケーションを開発する環境を提供します。開発者はこのSDKを使うことにより、ソニーのカメラをホストPCからリモート制御を行ない、撮影や画像転送といった独自のアプリケーションを開発することが可能となります。また、このSDKはカメラ設定の変更、シャッターリリース、ライブビューモニタリングなど多くの機能を提供します。

詳細は、下記のページをご覧ください。

<https://www.sony.net/CameraRemoteSDK/>

TP1001868328

カラービデオカメラ
BRC-AM7

外部機器との同期について

本機のGENLOCK端子を介して、本機を複数台使用して撮影するときなど、特定の基準信号に同期させたり、タイムコードを合わせるすることができます。

- ゲンロックについては「映像信号の位相を合わせる（ゲンロック）」をご覧ください。
- タイムコード合わせについては「他機のタイムコードにロックさせる」をご覧ください。

関連項目

- [映像信号の位相を合わせる（ゲンロック）](#)
- [他機のタイムコードにロックさせる](#)

TP1001752508

カラービデオカメラ
BRC-AM7

映像信号の位相を合わせる (ゲンロック)

GENLOCK 端子に基準信号を入力することによって、ゲンロックが可能です。
入力できる基準信号は、選択している記録フォーマットのシステム周波数によって異なります。

記録フォーマットのシステム周波数	入力可能な基準信号
119.88	1920x1080 59.94i 720x486 59.94i
100	1920x1080 50i 720x576 50i
59.94	1920x1080 59.94i 720x486 59.94i
50	1920x1080 50i 720x576 50i
29.97	1920x1080 59.94i 720x486 59.94i
25	1920x1080 50i 720x576 50i
23.98	1920x1080 23.98PsF 1920x1080 23.98P

外部同期の状態はカメラメニューの [Technical] メニュー > [Genlock] の [Reference] で確認できます。

ご注意

- 基準信号が不安定な場合は、ゲンロックできません。
- サブキャリアは同期しません。

TP1001752509

カラービデオカメラ
BRC-AM7

他機のタイムコードにロックさせる

タイムコード供給源となる機器は、タイムコード出力が更新されるモード (Free RunやClock) に設定してください。

1 カメラメニューの [TC/Media] メニュー > [Timecode] を次のように設定する。

- [Mode] を [Preset] に設定
- [Run] を [Free Run] に設定

2 [DURATION/TC/U-BIT] 機能が割り当てられたアサインボタンを押して、画面にタイムコードを表示させる。

3 GENLOCK端子とTC IN端子に、それぞれHDまたはSDのリファレンスビデオ信号およびそれに同期した基準タイムコードを供給する。

本機のタイムコードジェネレーターが基準タイムコードにロックし、画面に「EXT-LK」と表示されます。
ロックしてから約10秒経過した後は、外部からの基準タイムコードの接続を外しても、外部ロック状態は保たれます。

ご注意

- 供給する基準タイムコードとリファレンスビデオ信号が、SMPTEタイムコードの規格を満たした位相関係にあることを確認してください。
- 外部ロックの操作をすると、タイムコードは瞬時に外部のタイムコードにロックし、外部タイムコードの値と同じ値がタイムデータ表示部に出ますが、タイムコードジェネレーターが安定するまでの数秒間は、記録を開始しないでください。
- リファレンスビデオ信号の周波数と本機のフレーム周波数が同じでないと、正しくロックできず、本機が正常に動作できません。この場合、タイムコードも外部のタイムコードに正しくロックできません。
- 接続を外した場合、基準タイムコードに対し1時間で1フレームずれる場合があります。

外部ロックを解除するには

カメラメニューの [TC/Media] メニュー > [Timecode] の設定を変更してください。

システム周波数を変更した場合や、特殊記録モード (スロー&クイックモーション) での記録を開始した場合も、外部ロックは解除されます。

TP1001752510

カラービデオカメラ
BRC-AM7

外部マイクや外部オーディオ機器を接続する

外部マイクや外部オーディオ機器などの信号を入力すると、本機の記録映像や出力映像に音声を重畳することができます。

1 外部マイクや外部オーディオ機器と接続するXLRケーブルを用意する。

本機にはXLR3ピンメスのオーディオ入力端子が2個、φ3.5 mmステレオミニジャックのMIC入力端子が1個あります。

- AUDIO IN 1端子を使用する場合、Webメニューまたはカメラメニューの [Audio] メニュー > [Audio Input] の [AUDIO IN 1 Select] で設定します。外部マイクを接続するときは選択肢から [MIC] を選択、外部オーディオ機器を接続する場合は [LINE] を選択します。
- AUDIO IN 2端子を使用する場合、Webメニューまたはカメラメニューの [Audio] メニュー > [Audio Input] の [AUDIO IN 2 Select] で設定します。外部マイクを接続するときは選択肢から [MIC] を選択、外部オーディオ機器を接続する場合は [LINE] を選択します。

2 本機の電源を切り、XLRケーブルをAUDIO IN端子に接続する。

同時または代わりに、MIC端子にφ3.5 mmステレオミニプラグを持つマイクを接続して使用することもできます。

3 Webメニューの [Audio] メニュー > [Audio Input] で接続する機器のファンタム電源+48Vの有効/無効を設定する。

手順1で [MIC] を選択した場合に設定できます。

- [AUDIO IN 1 Select] のファンタム電源を有効にする場合は、[AUDIO IN 1 MIC +48V] のスイッチをオンに、無効にする場合はスイッチをオフにします。
- [AUDIO IN 2 Select] のファンタム電源を有効にする場合は、[AUDIO IN 2 MIC +48V] のスイッチをオンに、無効にする場合はスイッチをオフにします。

ご注意

- 設定を [On] にして+48V電源に対応していない機器を接続すると、接続機器が故障する恐れがあります。接続前にご確認ください。

4 Webメニューの [Audio] メニュー > [Audio Input] - [CH1 Input Select] ~ [CH4 Input Select] で、各チャンネルの音源を設定する。

TP1001752511

カラービデオカメラ
BRC-AM7

コンピューターでクリップを管理・編集する

コンピューターでクリップを管理・編集することができます。

カードリーダー（別売）を使ってクリップを取り込む

コンピューターにCFexpress Type AカードリーダーまたはSDカードリーダーを接続して、Catalyst Browseなど、本機の記録フォーマットに対応したソフトウェアを使用してクリップを取り込んでください。

ノンリニア編集システムを使う

ノンリニア編集システムには、本機で記録したフォーマットに対応した編集ソフトウェア（別売）が必要です。

TP1001752512

カラービデオカメラ
BRC-AM7

光ファイバー信号を出力する

本機のOPTICAL端子に、SFP+モジュール（別売）を接続することで、SDI信号を光変換した信号が出力できます。フォーマットごとの信号帯域に合ったSFP+モジュールをご使用ください。

信号帯域

- 4K (59.94P、50P)の場合：12G
- 4K (59.94P、50P以外)の場合：6G
- HD (59.94P、50P)の場合：3G
- HD (59.94P、50P以外)の場合：1.5G

ご注意

- 下記の規格に準拠しているモジュールをご使用ください。
 - SFF規格
SFF-8083/SFF-8418/SFF-8419*/SFF-8432/SFF-8433/SFF-8071/SFF-8472
* Power Level I (1.0W)
 - SDI規格
ST297/ST292/ST424/ST425/ST2081/ST2082
- SFP+モジュールには、SDI OUT 1端子と同一の信号が出力されます。
- 本機は光ファイバー信号入力には対応していません。
- 光ファイバー信号出力には、SFP+モジュールを使用してください。動作確認済のSFP+モジュールに関しては、お買い上げ店、またはソニーの相談窓口にお問い合わせください。

TP1001752513

カラービデオカメラ
BRC-AM7

タリー信号を接続する

タリー信号の制御について説明します。

リモートコントローラーからの信号でタリーランプを点灯させる

RM-IP500などの外部機器からVISCA over IPのコマンドにより、タリーランプを点灯させることができます。Webメニューまたはカメラメニューの [Technical] メニュー > [Tally] の [Tally Control] を [External] に設定してください。

外部機器からタリーランプを点灯させる

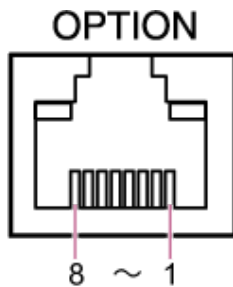
RM-IP500やスイッチャーなどの外部機器から本機のタリーランプを赤色または緑色に点灯させることができます。タリーの制御はネットワークコマンドによる通信、および本機のOPTION端子へのタリー信号入力により行うことができます。Webメニューまたはカメラメニューの [Technical] メニュー > [Tally] > [Tally Control] を [External] に設定してください。

OPTION端子にタリー信号を入力する場合は、7番ピンをGND（4、5ピンのどちらか）に短絡することでタリーランプを緑色に、8番ピンをGND（4、5ピンのどちらか）に短絡することでタリーランプを赤色に点灯させることができます。

ご注意

- [Tally Control] を [External] に設定すると、タリーランプに本機の記録状態は表示されなくなります。
- Red TallyとGreen Tallyが同時に入力されたとき、本機のタリーランプは赤点灯します。

OPTION端子のピン仕様



ピン番号	信号方向	信号仕様
1	—	Open
2	—	Open
3	OUT*1	<ul style="list-style-type: none"> ● Green Tally点灯出力 ● Green Tally点灯時はLowを出力 ● Green Tally消灯時はHi-Z（Open Drain出力）
4	—	GND(Ground)
5	—	GND(Ground)
6	OUT*1	<ul style="list-style-type: none"> ● Red Tally点灯出力 ● Red Tally点灯時はLowを出力 ● Red Tally消灯時はHi-Z（Open Drain出力）

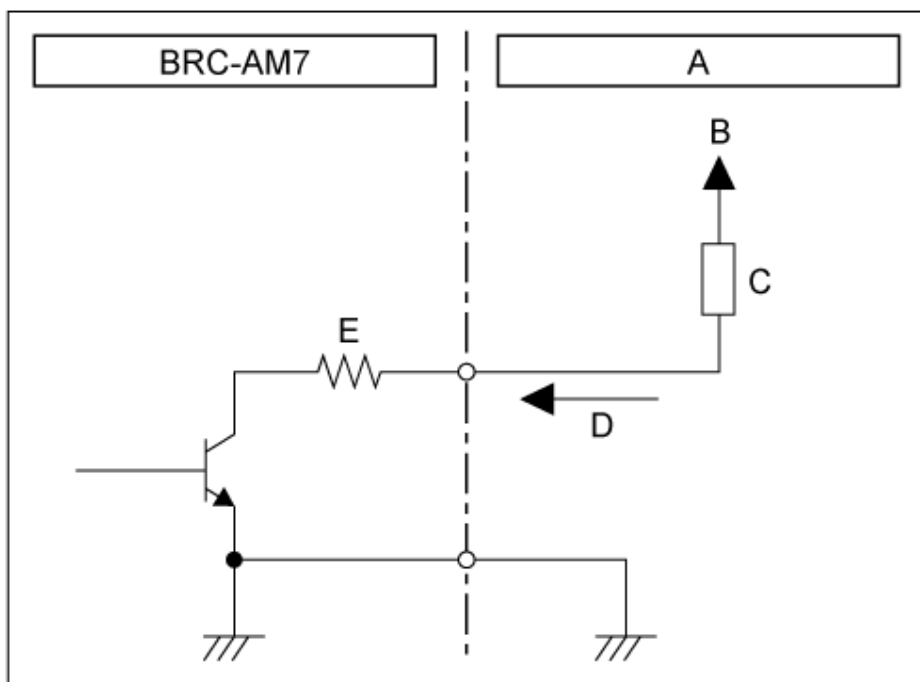
ピン番号	信号方向	信号仕様
7	IN	Green Tally外部制御入力 Ground (4、または5ピンのどちらか) に短絡することで、本機のタリーが緑色で点灯
8	IN	Red Tally外部制御入力 Ground (4、または5ピンのどちらか) に短絡することで、本機のタリーが赤色で点灯

*1 OUT出力はタリーランプと必ずしも一致しません。

本機の信号で外部機器のタリーランプを点灯させる

OPTION端子の3および6番ピンを以下のように接続して、本機の信号で外部機器のタリーランプを点灯させることができます。

OPTION端子の3、6番ピン接続例



- A : 外部機器
- B : 推奨電圧 : 5 V (最大14 V)
- C : 負荷
- D : 最大負荷電流 : 100 mA
- E : 4.7Ω

ご注意

- 7、8ピンに電圧を加えないでください
- OPTION端子には電圧を印可するような外部機器を接続しないでください。
- 3、6ピンに定格を超える突入電流、逆起電力を印加すると、故障、発煙、発火の原因となります。
- 出力信号は、Webメニューまたはカメラメニューの [Technical] メニュー > [Tally] の [Tally Control] の設定に従います。
 [Internal] : 本機の記録動作状態
 [External] : 本機がIN信号やリモートコントローラなどから受けたRed/Green各タリー信号の論理和
 [PTZ AFR] : 出力されません

TP1001752514

カラービデオカメラ
BRC-AM7

トラッキングデータ (free-d) を出力する

本機は、パン・チルト・ズーム、フォーカスおよびアイリスのトラッキング情報を同期信号にあわせて出力することができます。

データの出力は業界標準であるfree-dプロトコルに準拠しており、常時出力する方法と、クライアントからの要求に応じて出力する方法のどちらかを選択できます。お使いのVR/ARシステムに応じて出力方法を選択してください。

1 本機の電源が入っていることを確認する。

2 トラッキングデータの出力方法を設定する。

常時出力する場合

1. Webメニューの [Technical] メニュー > [Tracking Data Output] の [Transfer Mode] の設定で [Always] を選択する。
2. [Camera ID] で本機のIDを設定する。
3. [Destination Address] に出力先のIPアドレスを指定する。
4. [Destination Port] に出力先のポート番号を指定する。
5. [OK] ボタンを押す。

クライアントからの要求に応じて出力する場合

1. Webメニューの [Technical] メニュー > [Tracking Data Output] の [Transfer Mode] の設定で [On Demand] を選択する。
2. [Camera ID] で本機のIDを設定する。
3. [Listen Port] でクライアントからの要求を待ち受けるポート番号を指定する。
4. [OK] ボタンを押す。

データの出力形式について

ヒント

- 技術情報の詳細は「free-dインテグレーションマニュアル」に記載しています。ソニーの営業担当にお問い合わせください。

本機が出力するトラッキングデータは、free-dプロトコルのType D0/D1で規定された形式に従って下記のデータを格納して出力されます。

Type D0 – poll/command

記号	内容	説明
<D0>	Message type	
<CA>	Camera ID	
<CD>	command	次のコマンドに対応 <ul style="list-style-type: none"> ● 00 Stop stream mode ● 01 Start stream mode
<CK>	Checksum	

Type D1 – camera position/orientation data

記号	内容	説明
<D1>	Message type	
<CA>	Camera ID	
<PH><PM><PL>	Camera Pan Angle	Panの角度 (-175°~175°)
<TH><TM><TL>	Camera Tilt Angle	Tiltの角度 (-30°~210°)
<RH><RM><RL>	Camera Roll Angle	非対応 (常時0)
<XH><XM><XL>	Camera X-Position	非対応 (常時0)
<YH><YM><YL>	Camera Y-Position	非対応 (常時0)
<HH><HM><HL>	Camera Height	非対応 (常時0)
<ZH><ZM><ZL>	Camera Zoom	焦点距離
<FH><FM><FL>	Camera Focus	ピント距離
<SH><SL>	Spare/User Defined	アイリスの位置
<CK>	Checksum	

ご注意

- 以下の状態のときにトラッキングデータが遅延したり、値が更新されない場合があります。
 - S&QモーションがONのとき
 - カメラメニューを表示しているとき
 - サムネイル画面を表示しているとき
 - 記録したクリップを再生中のとき
 - Webメニューを表示しているとき

TP1001752515

カラービデオカメラ
BRC-AM7

使用上のご注意

プライバシー通知

本カメラのトラッキング機能は、自動的に被写体を識別しパン、チルト、ズーム機能をコントロールして被写体を画像に収めるためにAIによるトラッキング機能および顔認識技術を使用します。この機能では、ご利用者様がトラッキング対象として選択した被写体の方の顔の「生体」データを処理することがあります。この認識データは一定期間カメラに保存され、ソニーには送られません。取得されたそのほかの骨格情報や顔の情報は、カメラに保存されず、この認識データはカメラの電源をオフまたはスタンバイにすることまたはトラッキング機能を停止することで削除することができます。

本カメラの機能を使用することにより、ご利用者様は適用されるデータ保護法にしたがって被写体の方の画像やデータを収集、使用することについて責任を負うこととなります。本カメラで使用されているトラッキング機能および顔認識技術について被写体の方にお伝えすることをおすすめいたします。質問がありましたら、ソニーカスタマーサポートまでご連絡ください。

ご利用上の注意

- 本カメラで撮影する際は、他人のプライバシーを尊重し、撮影場所の現地のプライバシー法や規制、道徳基準に準拠してください。
- 本カメラを違法または不適切な目的のために使用しないでください。
- 本カメラを中傷、虐待、いやがらせ、ストーキング行為、脅迫、またはプライバシー権やパブリシティ権など他人の法的権利を侵害する行為に使用しないでください。
- 本カメラは軍事用途または法執行を目的とした利用を想定した製品ではありません。

輸送・梱包する場合のご注意

接続したケーブル類を取り外して、本機に強い振動や衝撃を与えないようにして輸送・梱包してください。

結露について

本機を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときなど、機器表面や内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。結露が起きたときは電源を切り、結露がなくなるまで放置し、結露がなくなってからご使用ください。結露時のご使用は機器の故障の原因となる場合があります。

本機搭載のCMOSイメージセンサーの現象

ご注意

- 撮影画面に出る下記の現象は、イメージセンサー特有の現象で、故障ではありません。

● 白点

イメージセンサーは非常に精密な技術で作られていますが、宇宙線などの影響により、まれに画面上に微小な白点が発生する場合があります。

これはイメージセンサーの原理に起因するもので故障ではありません。定期的にAPRを実行してください。

また、下記の場合、白点が見えやすくなります。

- 高温の環境で使用するとき
- ゲイン（感度）を上げたとき

● フリッカー

蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯、LEDによる照明下で撮影すると、画面が明滅したり、色が変わったように見えることがあります。

レンズ/パン・チルト駆動部について

レンズやパン・チルト駆動部は、長期間操作しないと内部に塗布されたグリースの粘度が高まり、動かなくなることがあります。レンズやパン・チルト回転台は、定期的に動かしてください。

有寿命部品について

- ファン、内蔵の充電式電池は有寿命部品として定期的な交換が必要です。

常温でのご使用の場合、5年を目安に交換してください。ただし、交換時期は目安であり、部品の寿命を保証するものではありません。

交換の際はお買い上げ店にご相談ください。

- 電解コンデンサの寿命は約5年です。（常温で1日に6時間、毎日、通常に使用すると想定した場合）したがって、使用時間が上記より長い場合は、その分寿命は短くなります。

長期間機器を使用させていただくために、定期点検を実施することをお願いします。点検につきましては、ソニーのサービス窓口にご相談ください。

内蔵の充電式電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切と関係なく保持するために、充電式電池を内蔵しています。内蔵の充電式電池は、本機の電源の入/切に関わらず、DC IN電源を接続した状態、または本機にPOE++で電源が供給されている状態で24時間経過すれば充電されます。電源につながらないまま1か月近くまったく使わないと完全に放電してしまいます。充電してから使ってください。ただし、充電式電池が充電されていない場合でも、使用時の日時を記録する必要がなければ本機を使えます。

使用場所・保管場所について

水平な場所、空調のある場所に保管してください。

次のような場所での使用・保管は避けてください。

- 雨や水が直接かかる場所（軒下なども含む）
- 屋外や40℃を超える暑い場所
真夏、窓を閉め切った自動車内は50℃を越えることがあります。
- 0℃を下回る寒い場所
- 湿気・ほこりの多い所。雨が当たる所。
- 振動や衝撃のある所。
- 放射線やX線および強力な磁気が発生する所。
- 強力な電波を発生するテレビやラジオの送信所の近く。
- 直射日光が長時間当たる場所や暖房器具の近く。

レーザービームについてのご注意

レーザービームはCMOSイメージセンサーに損傷を与えることがあります。レーザービームを使用した撮影環境では、CMOSイメージセンサー表面にレーザービームが照射されないように充分注意してください。特に医療用などの強力なレーザー光の場合は、反射光や散乱光でも損傷を与えることがあります。

携帯電話などによる電波障害を防止するために

携帯電話などを本機の近くで使用すると、誤動作を引き起こしたり、映像、音声などに影響を与えることがあります。携帯電話などはできるだけ本機に近づけないようにしてください。

医療機器に近づけない

本製品（付属品を含む）は磁石を使用しているため、ペースメーカー、水頭症治療用圧可変式シャントなどの医療機器に影響を与える恐れがあります。本製品をこれらの医療機器をご使用の方に近づけないでください。これらの医療機器を使用されている場合、本製品のご使用前に担当医師にご相談ください。

セキュリティに関するご注意

- 通信を行う機器でセキュリティ対策を行わなかった結果、または、通信仕様上の、やむを得ない事情により、データ漏洩等、セキュリティ上の問題が発生した場合、弊社ではそれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。
- 使用環境によってはネットワーク上の意図せぬ第三者から製品にアクセスされる可能性があります。本機をネットワークに接続する際には、セキュアなネットワークであることをご確認の上ご使用ください。
- セキュリティの面から、製品をネットワークに接続してご使用になる際は、ブラウザでコントロール画面にアクセスし、アクセス制限設定を工場出荷時の設定値から変更して設定することを強く推奨します。また、パスワードには他人に推測されにくく、十分な長さのある文字列を設定して厳重に保管することを推奨します。
- 本製品のネットワークへの接続には、ルーターやファイアウォールなどの保護機能を通して接続をしてください。このような接続をしない場合、セキュリティ上の問題が生じる可能性があります。

電源について

- 本機に電源スイッチはありません。本機の電源を切る場合は、操作が完了していることを確認後、電源をスタンバイ状態にしてから、電源ケーブルを抜いてください。POE++給電の場合は、LANケーブルを抜いてください。
- 電源は必要に応じて電源プラグを抜き差ししやすい場所からとってください。

- ほこりが付きやすい場所のコンセントを使用する場合は、トラッキング防止のため定期的にコンセント周りを清掃してください。
- 使用しないときは電源を切ってください。

可動部についての注意

- 可動部に異物が混入しないようにしてください。
- 可動部を手で動かす場合は負荷がかからないようにしてください。故障の原因になります。
- 動作中に可動部の操作を妨げることはしないでください。けがや故障の原因になります。
- 本機を長期間使用しないと、可動部が正常に動作しなくなることがあります。定期的に本機のパン・チルト操作をしてください。

連続運用についての注意

- 本機は、24時間365日通電（電源スタンバイ状態）が可能です。
- 必ず事前に撮影テストを行い、正常に撮影されていることを確認ください。
 - － 本機は、24時間以上の連続撮影は保証できません。
 - － 24時間以上の撮影を行う場合は、一度電源をスタンバイ状態にして再度起動してください。
- 本機を使用中、万一これらの不具合により撮影されなかった場合の撮影内容の補償については、ご容赦ください。
- お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。
- 本製品を使用したことによるお客様、または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切の責任を負いかねます。
- 諸事情による本製品に関連するサービスの停止、中断について、一切の責任を負いかねます。

記録機能についての注意

- 必ず事前に記録テストを行い、正常に記録されていることを確認してください。本機や記録メディアなどを使用中、万一これらの不具合により記録されなかった場合の記録内容の補償については、ご容赦ください。
- お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。
- 本製品を使用したことによるお客様、または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本機内、記録メディア等に記録されたデータの損失、修復、複製の責任は負いかねます。
- 諸事情による本製品に関連するサービスの停止、中断について、一切の責任を負いかねます。

TP1001752516

5-065-326-01(1) Copyright 2024 Sony Corporation

カラービデオカメラ
BRC-AM7

出力のフォーマットと制限

出力のフォーマットと制限について説明します。

ご注意

- 出力フォーマットの解像度はWebメニューまたはカメラメニューの [Project] メニュー > [Rec Format] の [Frequency]、[Codec] および [Video Format] の設定によって制限されます。
- 出力フォーマットの解像度は、S&Qのフレームレートとの組み合わせによっても制限されます。下記の「SDI OUT/HDMI OUT端子の出力フォーマット」の表に加えて、以下の設定条件をすべて満たす場合、HDMI出力はFHD以下になります。
 - [Shooting] メニュー > [S&Q Motion] の [Setting] が [On]
 - [Shooting] メニュー > [S&Q Motion] の [Frame Rate] が60fpsを超える値
- 上記条件を満たした場合、3840×2160Pとなっている選択肢はグレーアウトされ選択できなくなります。
- 再生画像の解像度より大きな解像度が設定されている場合、映像は出力されません。

SDI1/SDI2/HDMI OUT端子の出力フォーマット

[Project] – [Rec Format]		[Monitoring] – [Output Format]		
[Frequency]	[Video Format]	[SDI1]	[SDI2]	[HDMI]
100/119.88Hz	3840×2160	3840×2160P	1920×1080P (Lvl A) (出力停止)	1920×1080P 1920×1080i
		(出力停止)	1920×1080P (Lvl A)	3840×2160P
		1920×1080P (Lvl A) (初期設定値)	1920×1080P (Lvl A) (初期設定値) (出力停止)	1920×1080P (初期設定値) 1920×1080i
		1920×1080P (Lvl B)	1920×1080P (Lvl A) (出力停止)	1920×1080P 1920×1080i
		1920×1080i	(出力停止)	1920×1080i
		1920×1080P (Lvl A) (初期設定値)	1920×1080P (Lvl A) (初期設定値) (出力停止)	1920×1080P (初期設定値) 1920×1080i
	1920×1080	1920×1080P (Lvl A) (初期設定値)	1920×1080P (Lvl A) (初期設定値) (出力停止)	1920×1080P (初期設定値) 1920×1080i
		1920×1080P (Lvl B)	1920×1080P (Lvl A) (出力停止)	1920×1080P 1920×1080i
		1920×1080i	(出力停止)	1920×1080i
		1920×1080P (Lvl A) (初期設定値)	1920×1080P (Lvl A) (初期設定値) (出力停止)	1920×1080P (初期設定値) 1920×1080i
		1920×1080P (Lvl B)	1920×1080P (Lvl A) (出力停止)	1920×1080P 1920×1080i
		1920×1080i	(出力停止)	1920×1080i

[Project] – [Rec Format]		[Monitoring] – [Output Format]			
[Frequency]	[Video Format]	[SDI1]	[SDI2]	[HDMI]	
50/59.94Hz	3840×2160	3840×2160P	1920×1080P (Lvl A)	3840×2160P	
			1920×1080P (Lvl A)	1920×1080P	
			(出力停止)	1920×1080i	
		1920×1080P (Lvl A) (初期設定値)	1920×1080P (Lvl A) (初期設定値)	1920×1080P (初期設定値)	
			(出力停止)	1920×1080i	
			1920×1080P (Lvl B)	1920×1080P (Lvl A)	1920×1080P
	1920×1080	1920×1080P (Lvl A) (初期設定値)	1920×1080P (Lvl A) (初期設定値)	1920×1080P (Lvl A) (初期設定値)	1920×1080P (初期設定値)
				(出力停止)	1920×1080i
			1920×1080P (Lvl B)	1920×1080P (Lvl A)	1920×1080P
				(出力停止)	1920×1080i
		1920×1080i	(出力停止)	(出力停止)	1920×1080i
			(出力停止)	(出力停止)	720×480P、 720×576P
			3840×2160P	1920×1080P	3840×2160P
				1920×1080P	1920×1080P
1920×1080P	1920×1080P				
25/29.97Hz	3840×2160	1920×1080PsF (初期設定値)	-	1920×1080i (初期設定値)	
			1920×1080P	1920×1080P	
			1920×1080PsF (初期設定値)	(出力停止)	1920×1080i (初期設定値)
	1920×1080	1920×1080P	1920×1080P	1920×1080P	
		1920×1080PsF (初期設定値)	(出力停止)	1920×1080i (初期設定値)	
		1920×1080PsF	1920×1080P	1920×1080P	
23.98Hz	3840×2160	1920×1080PsF	1920×1080P	3840×2160P	
			1920×1080P	1920×1080P	
			1920×1080P (初期設定値)	1920×1080P (初期設定値)	1920×1080P (初期設定値)
	1920×1080	1920×1080PsF	1920×1080P	1920×1080P	
		1920×1080P (初期設定値)	1920×1080P (初期設定値)	1920×1080P (初期設定値)	
		1920×1080PsF	1920×1080P	1920×1080P	

カラービデオカメラ
BRC-AM7

トラブル時の対処

電源

症状	原因	対策
電源が入らない。	電源ケーブルがDC IN端子にしっかり接続されていない。	奥までしっかり差し込んでください。
	電源ケーブルがDC IN電源や電源コンセントにしっかり接続されていない。	奥までしっかり差し込んでください。
	PoE++対応の給電装置と本機のLANケーブルがしっかり接続されていない。	ロックするまで確実に差し込んでください。
	LANケーブルがVISCA IN/OUT端子またはOPTION端子に接続され、LAN端子に接続されていない。	LANケーブルをLAN端子に正しく接続してください。
	PoE++ (IEEE802.3bt Type4 Class8準拠)に対応していない給電装置と接続している。	PoE++ (IEEE802.3bt Type4 Class8準拠)に対応した給電装置を接続してください。
	PoE++給電装置が給電できるトータルの電力制限を超えている。	PoE++給電装置の取扱説明書をお読みください。
	PoE++給電に対応していないカテゴリのネットワークケーブルが接続されている。	LAN端子にカテゴリ5e以上のネットワークケーブルをご使用ください。
カメラ、PoE++給電装置、周辺機器のアースが接続されていない。	カメラ、PoE++給電装置、周辺機器のアースを接続してください。	

映像出力

症状	原因	対策
映像が出ない。	接続した機器と正しく接続されていない。	接続した機器と正しく接続してください。
	初期設定が完了していない。	Web Appを使用して初期設定を完了してください。
HDMIから映像が出ない。	HDMI出力先の機器で対応していない信号を設定している。	HDMIの出力フォーマット設定を変更するか、出力信号に対応した機器をご使用ください。
	使用するHDMI規格に対応したケーブルが使われていない。	使用するHDMI規格に対応したケーブルを使ってください。
SDIから映像が出ない。	使用するSDI規格に対応したケーブルが使われていない。	使用するSDI規格に対応したケーブルをご使用ください。
	SDI端子に接続されたモニターが出力信号に対応していない。	使用するSDIの規格に対応したモニターをご使用ください。
	HDMI出力先の機器で対応していない信号を設定している。	SDI2端子はHDMI出力の影響を受けます。HDMIの出力フォーマット設定を変更するか、出力信号に対応した機器をご使用ください。
	HDMIがSD解像度に設定されている。	HDMIをSD解像度以外に設定してください。

症状	原因	対策
光ファイバーから映像が出ない/乱れる。	SFF対応規格およびSMPTE規格に準拠していないまたは、Power Level I (1.0W)を満たしていないモジュールを使っている。	「光ファイバー信号を出力する」を参照してください。
外部同期使用時に映像が出ない/乱れる。	設定した映像信号フォーマットに適した外部同期信号を入力していない。	設定した映像信号フォーマットに適した外部同期信号を入力してください。
音声にノイズが発生する。	カメラ、POE++給電装置、周辺機器のアースが接続されていない。	本機、POE++給電装置、周辺機器のアースを接続してください。
	周辺に強い電界や磁界を発生する機器（テレビやラジオの送信アンテナ、アマチュア無線送信装置、エアコンのモーター、電源トランスなど）がある環境で使っている。	強い電界や磁界を発生させる機器から離してください。
[Menu] ボタンを押してもカメラメニューが表示されない。	カメラメニューを表示させたい出力系統がカメラメニューを重畳しない設定になっている。	Webメニューの [Monitoring] メニュー > [Output Display] の [SDI1] または [SDI2/HDMI/Stream] のいずれか使用する系統を [On] に設定してください。
	PTZオートフレーミング中は、SDI2/HDMI出力信号にカメラメニューを重畳できない。	Webメニューの [Monitoring] メニュー > [Output Display] の [SDI1] を [On] に設定して、SDI1出力信号をご利用ください。

リモートコントローラー

赤外線リモコン

症状	原因	対策
赤外線リモコンのボタンを押しても動作しない。	赤外線リモコン操作が無効に設定されている。	Webメニューの [Technical] メニュー > [IR Remote] の [Setting] を [On] にしてください。
	赤外線リモコンのIDと本機のIDの設定が異なる。	本機端子部のSETUPスイッチ1および2番と、赤外線リモコンのCAMERA SELECTスイッチの設定を揃えてください。
	電池が消耗しているか、電池の極性が間違っている。	赤外線リモコンを、IR受光部近くで操作して、Power LEDが点滅しない場合は、電池を交換してください。
	初期設定が完了していない。	Web Appを使用して初期設定を完了してください。
操作したいカメラ以外が動いてしまう。	操作したいカメラ以外に赤外線が届いている。	操作の必要のないカメラはWebメニューの [Technical] メニュー > [IR Remote] の [Setting] を [Off] にしてください。
	操作したいカメラとそれ以外のカメラに、同じIDが設定されている。	本機端子部のSETUPスイッチ1および2番と、赤外線リモコンのCAMERA SELECTスイッチで、IDをカメラごとに覚えてください。

RM-IP500

症状	原因	対策
リモートコントローラーRM-IP500からカメラが操作できない。	カメラに電源が接続されていない。	本機のPOWERランプが緑色またはオレンジ色で点灯していることを確認してください。
	カメラまたはリモートコントローラーがネットワークに接続されていない。	本機とリモートコントローラーの接続を確認してください。
	カメラの初期設定が完了していない。	Web Appを使用して初期設定を完了してください。
	VISCA (RS-422準拠) またはVISCA over IP通信が有効になっていない。	本機の端子部にあるSETUPスイッチの4番をONにして再起動してください。
	RM-IP500を接続方法と違う設定にしている。	RM-IP500の取扱説明書で、VISCA RS-422 (シリアル) 接続とLAN接続の切替方法をご確認ください。
	カメラのIPアドレスが変更されている。	Webメニューまたはカメラメニューの [Network] メニュー > [Wired LAN] でカメラのIPアドレスを確認してください。
リモートコントローラーRM-IP500のAUTO IP SETUPでカメラのIPアドレスを変更できない。	カメラの起動から20分以上経過した。	本機を再起動してください。AUTO IP SETUPでIPアドレスを変更できるのは、本機が起動してから20分以内です。

Web App


症状	原因	対策
Webブラウザがつかない。	カテゴリ5e以上のLANケーブルが接続されていない。	カテゴリ5e以上のLANケーブルを接続してください。
	LANに正常に接続されていないか、接続先のネットワークが正常動作していない。	LAN端子のLINKのLEDが点灯していることを確認してください。LINKのLEDが点灯していない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
	カメラに電源が接続されていない。	「電源が入らない」をご覧ください。
	本機に有効なIPアドレスが設定されていない。	ネットワークリセットを実行してください。 <ul style="list-style-type: none"> ● ネットワークのリセットについては「本機の設定を初期化する」をご覧ください。 <p>本機を強制固定IPアドレスモードにして、192.160.0.200などに設定したコンピューターと1対1で接続してください。Webブラウザで192.160.0.100を指定するとWeb Appが開きます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 詳しくは「本機をネットワーク機器に有線接続する」をご覧ください。
	設定したIPアドレスが他の機器と重複している。	他の周辺機器のIPアドレスが重複していないことを確認してください。 <p>Webブラウザを開いたコンピューターと物理的に1対1で接続してから、本機を強制固定IPアドレスモードで起動させてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 詳しくは「本機をネットワーク機器に有線接続する」をご覧ください。
	強制固定IPアドレスモードに設定された機器が同じネットワークに接続されていて、IPアドレスが重複している。	本機のSETUPスイッチ8（強制固定IPアドレスモード）をOFFにしてから再起動してください。
	設定したサブネットマスクが、設置先のネットワークサブネットと一致していない。	ネットワークリセットを実行してください。 <ul style="list-style-type: none"> ● ネットワークのリセットについては「本機の設定を初期化する」をご覧ください。
	同じローカルネットワークの本機をプロキシサーバー経由でアクセスしている。	プロキシサーバーを使用しない設定にしてください。
	本機に設定したデフォルトゲートウェイが間違っている。	ネットワークリセットを実行してください。 <ul style="list-style-type: none"> ● ネットワークのリセットについては「本機の設定を初期化する」をご覧ください。
	入力したURLが異なっている。	正しいURLを入力し直してください。 <ul style="list-style-type: none"> ● Web AppのURLについては「WebブラウザでWeb Appにアクセスする」をご覧ください。
	HTTP Portが異なっている。	外部モニターにカメラメニューを表示し、[Network]メニュー > [Wired LAN] で [HTTP Port] 設定を確認してください。80以外に設定してある場合は、Webブラウザに入力したホスト名またはIPアドレスにHTTP Portを追加してください。 例) HTTP Portが8080の場合http://<IP Address>:8080

症状	原因	対策
	本機のHTTPポート番号がフィルタリング対象になっている。	本機のHTTPポート番号をフィルタリング対象外のポートに変更してください。
	Webブラウザの古いキャッシュが悪影響を及ぼしている。	Webブラウザからキャッシュを削除してください。
二次元コード（QRコード）を読んでもWeb Appにつながらない。	mDNSに対応していない機器が使用されている。	mDNSに対応している機器をご使用ください。 対応していない機器を使用する場合は、WebブラウザにIPアドレスを直接入力してください。
	タブレットまたはコンピューターを、カメラと異なるネットワークに接続している。	タブレットまたはコンピューターを、本機と同じローカルネットワークに接続してください。
URLを手入力してもWeb Appにつながらない。	mDNSに対応していない機器が使用されている。	mDNSに対応している機器を使用してください。
	タブレットまたはコンピューターを、カメラと異なるネットワークに接続している。	タブレットまたはコンピューターを、本機と同じローカルネットワークに接続してください。
認証画面が連続して表示される。	正しいユーザー名やパスワードが入力されていない。	登録済みのユーザー名やパスワードを入力してください。登録したユーザー情報を忘れてしまった場合、「端子部」の「RESETスイッチ」を参照して、ネットワーク接続用のユーザー情報を初期化してください。
	別のWebブラウザでログイン中のユーザーが、ユーザー名またはパスワードを変更している。	本機の管理者に正しいユーザー名、またはパスワードを確認してください。
カメラ映像がWeb Appに表示されない。	カメラのHDMI出力が720x480または720x576に設定されている。	本機のHDMI出力の解像度を変更してください。
	カメラのHDMI出力信号に非対応のHDMIモニターが接続されている。	HDMIモニターを取り外してください。または、HDMI出力の設定内容に対応したHDMIモニターをご使用ください。
	本機が再起動してセッションが切断された。	1分ほど待ってから、Webブラウザをリロードしてください。
	Webブラウザの古いキャッシュが悪影響を及ぼしている。	Webブラウザからキャッシュを削除してください。
Web Appに表示されるカメラ映像の解像度が低い。	Web Appで使う映像3の解像度が低く設定されている。	Webメニューの [Stream] メニュー > [Video Stream] の [Size 3] の設定を大きくしてください。
[Menu] ボタンを押してもカメラメニューが表示されない。	SDI2/HDMI出力信号にカメラメニューを重畳しない設定になっている。	Webメニューの [Monitoring] メニュー > [Output Display] の [SDI2/HDMI/Stream] を [On] に設定してください。
設定画面の設定値がうまく更新されない/表示されない。	Web Appの設定画面は、他のWeb Appなどで変更した設定は自動的に反映されない。	Web Appの設定画面下部の [Reload] ボタンを押してください。表示している設定画面の設定値を再取得して更新します。
	インターネット一時ファイルの設定が影響している。	Webブラウザの古いキャッシュを削除してください。

症状	原因	対策
設定ファイルやログのダウンロードができない。	Webブラウザでファイルのダウンロード機能が無効になっている。	Webブラウザでファイルのダウンロード機能を有効にしてください。
Web Appの設定画面は操作できるが、ライブ操作画面と再生操作画面を操作できない。	Web Appの操作画面がロックされている。	Web App右上の画面操作ロックスイッチを  (Operation Unlock) にしてください。
Web Appの画面表示に時間がかかる。	複数のユーザーが同時に本機のストリーミング映像を参照している。	Web Appの同時使用数を減らしてください。
画像が乱れる/カクカクする。	通信路の輻輳などにより映像情報が適切に伝送されない。	通信帯域に余裕をもたせるため、ストリーミングするビットレートをさげるか、[Video Stream 3] の [Size] でサイズの小さい項目を選択するか、フレームレートを下げて使用してください。
	タブレットのWebブラウザが複数立ち上がっていて、メモリーを圧迫している。	バックグラウンドで動作しているWebブラウザを閉じてください。
	Webブラウザのタブを開きすぎていて、動作が遅くなっている。	使っていないタブは閉じてください。
	Webブラウザのキャッシュや閲覧履歴の過剰な蓄積により動作が遅くなっている。	Webブラウザのキャッシュを削除してください。

撮影

パン・チルト

症状	原因	対策
カメラが期待通りの位置に止まらない。	パン・チルトリセットが実行されていない。 カメラヘッドに、想定外の力がかかり、パン・チルト制御にずれが生じている。	「パン・チルトリセットを行う」を参照して、パン・チルトのリセットを実行してください。
 (パンチルトホーム) ボタンを押したときに、カメラが正面を向かない。	天吊り設置の設定になっている。	Webメニューの [Pan-Tilt] メニュー > [P/T Direction] の [Ceiling] の設定を実際の設置に合わせて設定し、電源を入れ直してください。なお天吊り設置状態では、端子部側がカメラの正面になります。
パン・チルトの動作が制限される。	パン・チルトリミットが設定されている。	「P/T Range Limit」を参照して、必要に応じてパン・チルトリミットの設定を解除してください。
	パン・チルトエラーが発生している。	「パン・チルトリセットを行う」を参照して、パン・チルトのリセットを実行してください。

症状	原因	対策
パン・チルトが操作と逆方向に動作する。	天吊り設置の設定と実際の設置が一致していない。	Webメニューの [Pan-Tilt] メニュー > [P/T Direction] メニュー内の [Ceiling] の設定を実際の設置に合わせて設定してください。
	パン・チルトの動作方向に関する設定が変更されている。	Webメニューの [Pan-Tilt] メニュー > [P/T Direction] メニュー 内の設定を確認してください。
パン・チルトの動作開始時や動作終了時に滑らかに移動開始/停止しない。	パン・チルト動作の加減速の設定値が大きすぎる。	Webメニューまたはカメラメニューの [Pan-Tilt] メニュー > [P/T Acceleration] の [Ramp Curve] の設定でパン・チルト動作の加減速の設定値を小さくすることで動作開始時や動作終了時の動きが滑らかになる場合があります。一方で、意図した速度まで到達する時間が長くなります。
プリセットポジションの保存ができない。	全画素超解像ズームが働いている状態では、プリセットの保存ができない。	全画素超解像ズームの倍率を1倍に戻してください。( (ズーム倍率) の右に倍率が表示されていない状態)
プリセットポジションの再生時に画角がずれてしまう。	画角の保存時と再生時の環境温度が大きく異なっている。	プリセットポジションを保存しなおしてください。
Web Appの画角操作部がグレイアウトされて操作できない。	サムネイル画面の表示中および再生中はパン・チルト操作できない。	再生操作画面を表示させてサムネイル画面の表示または再生を中止してください。
	Web Appにカメラ映像を表示できないときは、パン・チルト動作ができない。	「トラブル時の対処」の「Web App」を参照してください。
Web Appの画角操作部の下に「Execute Pan-Tilt Reset」と表示されている	パン・チルトエラーが発生している。	「パン・チルトリセットを行う」を参照して、パン・チルトのリセットを実行してください。

記録・再生

症状	原因	対策
録画START/STOPボタンを押しても記録が始まらない。	メモリーカードの容量がいっぱいになっている。	十分な空き容量のあるメモリーカードに交換してください。
	修復が必要なメモリーカードが入っている。	「メモリーカードを修復する」を参照してメモリーカードを修復してください。
	記録/タリーランプがタリーランプに設定されていて、記録状態がランプで判別できない。	「タリー信号を接続する」を参照して、記録/タリーランプの動作を記録ランプに設定してください。
	POE++給電をしている。	DC IN端子から給電してください。
音声が記録できない。	マイクが接続されていない。	端子部のAUDIO IN 1、AUDIO IN 2またはMIC端子にマイクや音声機器を接続してください。
	[Master Input Level] の設定値が最小になっている。	[Master Input Level] を調節してください。

症状	原因	対策
記録した音声が入りすぎている。	音声入力レベルの設定値が高すぎる。	[CH1 Input Level] ~ [CH4 Input Level] および [Master Input Level] を調節してください。
		音楽ライブ会場など大音量の環境でマイクを使用する場合はまず、[AUDIO IN 1 MIC Ref.]、[AUDIO IN 2 MIC Ref.] を調節してください。
雑音が多い。	音声入力レベルの設定値が低すぎる。	[Audio Input Level] および [Audio] メニュー > [Audio] の [Audio Input] の [AUDIO IN 1 MIC Ref.] または [AUDIO IN 2 MIC Ref.] の設定値を調節してください。
クリップを再生できない。	クリップが編集されている。	コンピューターでフォルダーやファイル名を変更したり、クリップを加工したりすると、再生できない場合があります。故障ではありません。
	クリップが本機以外のカメラで記録されている。	本機以外のカメラで記録したクリップは、再生できなかったり、正しいサイズで表示されなかったりすることがあります。故障ではありません。

ファイル転送

症状	原因	対策
ファイル転送が失敗する。	サーバーのユーザー名/パスワードが間違っている。	サーバーのユーザー名/パスワードが間違っている可能性があります。正しい値を入力してください。

IPストリーミング

症状	原因	対策
ストリーミングできない。	本機のストリーミングを視聴するクライアントアプリに入力したユーザー名またはパスワードが間違っている。	本機のストリーミング方式に [RTSP]、[SRT-Listener]、[NDI HX] のいずれかを設定した場合、クライアントアプリには本機に設定したユーザー名・パスワードを入力する必要があります。正しいユーザー名とパスワードを入力してください。
	ストリーミングのプロトコルが設定されていない。	Webメニュー > [Stream] の [Stream Setting] で目的のプロトコルを選択してください。
	RTSPのセッションが6本以上設定されている。	セッション数を5本以内にしてください。
	UDPのポート番号が正しく設定されていない。	Webメニュー の [Stream] メニュー > [Stream] の [Stream Setting] で目的のプロトコルで使うポート番号などの設定を確認してください。
	UDP通信がブロックされている。	セキュリティ対策ソフトの設定を確認してください。
音声が入りすぎない。	ストリーミングの音声出力が [Off] になっている。	Webメニューの [Stream] メニュー > [Audio Stream] の [Setting] を [On] にしてください。
ストリーミングが切断される。	ストリーミング中にプロトコルに関する設定またはストリーミングのコーデック設定が変更された。	プロトコルに関する設定およびストリーミングのコーデックに関する設定は、ストリーミングを開始する前に設定してください。
[Video Stream 1] の画像サイズを 3840x2160 に設定できない。	[Output Format] の HDMI の画像サイズが 1920x1080 に設定されている。	ストリーミングに使う画像サイズは、HDMI の画像サイズより大きくすることはできません。Webメニューの [Monitoring] メニュー > [Output Format] で HDMI の画像サイズを変更してください。

症状	原因	対策
[Video Stream 1] のフレームレートを60fpsまたは50fpsに設定できない。	ストリーミングのフレームレートが29.97以下に設定されている。	ストリーミングに使うフレームレートは、システム周波数の制限を受けます。Webメニューの [Rec Format] メニュー > [Frequency] でシステム周波数を変更してください。
[Video Stream 3] のストリームを取得できない。	[Video Stream 3] は RTSP/SRT/NDIには対応していない。	[Video Stream 1] または [Video Stream 2] をお使いください。
RTSPやSRTの画面がうまく更新されない、表示されない。	RTSPまたはSRTで利用するポート番号がフィルタリング対象になっている。	RTSPまたはSRTのポート番号を、ストリーミングを受信する機器のフィルタリング対象外に変更してください。または、本機のRTSPまたはSRTで利用するポート番号を変更してください。
画像が乱れる/カクカクする。	通信路の輻輳などにより映像情報が適切に伝送されない。	通信帯域に余裕をもたせるため、ストリーミングするビットレートさげるか、[Video Stream 2] のコーデック ([Codec 2]) を [Off] にしてください。
	通信路にて映像パケットの順序入れ替えが発生している。	本機側と受信側で同じインターネットサービスプロバイダーをお使いください。
NDI機器として検出されない。	ストリーミングのプロトコルが NDI HXに設定されていない。	NDI機器として検出されるにはストリーミングのプロトコルをNDI HXに設定する必要があります。Webメニュー > [Stream] の [Stream Setting] で [NDI HX] を選択してください。

外部機器との接続

外部同期

症状	原因	対策
外部同期できない。	設定した映像信号フォーマットに適した外部同期信号を入力していない。	設定した映像信号フォーマットに適した外部同期信号を入力してください。
	ダブルターミネーションしている。	本機は75Ω終端を内蔵しています。信号源と1対1で接続するか、分配機を使用してください。

Tally

症状	原因	対策
タリーが点灯しない。	タリーランプの明るさがOffに設定されている。	Webメニューの [Technical] メニュー > [Tally] の [Tally Lamp Brightness] を適切な明るさに設定してください。
	記録/タリーランプの設定が記録ランプまたはPTZ AFRになっている。	「タリー信号を接続する」を参照して、記録/タリーランプの動作をタリーランプに設定してください。
	RM-IP500と接続していて、VISCA over IPが無効になっている。	本機の端子部にあるSETUPスイッチの4をONに設定してください。
	OPTION端子の接続が間違っている。または、対象pinがGNDに短絡していない。	「タリー信号を接続する」に従ってOPTION端子の7pin、8pinをGNDに短絡してください。

関連項目

- [本機の設定を初期化する](#)
- [本機をネットワーク機器に有線接続する](#)
- [WebブラウザでWeb Appにアクセスする](#)

- 光ファイバー信号を出力する
- 端子部
- パン・チルトリセットを行う
- [P/T Range Limit]
- メモリーカードを修復する
- タリー信号を接続する

TP1001752518

5-065-326-01(1) Copyright 2024 Sony Corporation

カラービデオカメラ
BRC-AM7

エラー/警告表示

本機では警告、注意、動作確認などが必要な状況では、カメラ映像部のメッセージ表示、前面のPOWERランプとNETWORKランプ、および記録/タリーランプの点滅でお知らせします。

ご注意

- 記録/タリーランプの点滅表示は、Webメニューまたはカメラメニューの [Technical] メニュー > [Tally] の [Tally Control] が [Internal] かつ [Tally Lamp Brightness] が [Off] 以外の場合のみ有効です。

エラー表示

POWERランプとNETWORKランプが以下のように点滅した場合、以下のように対処してください。

POWERランプ	NETWORKランプ	原因と対策
オレンジ色で低速点滅	緑色で低速点滅	機器が正常に動作できない状態です。詳細はWebメニューの [Maintenance] メニュー > [System Log] をご覧ください。スタンバイ状態にする、または電源を入れなおしても復旧しない場合、ソニーのサービス窓口までご相談ください。
オレンジ色で高速点滅	緑色で高速点滅	機器に異常が発生しています。ソニーのサービス窓口までご相談ください。

次のような表示が出た場合は、本機は動作を停止します。

メッセージ表示	記録/タリーランプ	原因と対策
E+エラーコード	高速点滅	本体の異常の可能性がります。カメラ映像部に●RECと表示されていても記録は止まっています。電源を切り、接続している機器やケーブル類、メディアに異常がないか確認してください。これらに異常がないときは、再度電源を入れ、エラーが継続する場合はソニーのサービス窓口にご連絡ください。本機の状態によっては、エラー表示や警告音が出ない可能性があります。

警告表示

次のような表示が出た場合は、メッセージに従って対策してください。

メッセージ表示	記録/タリーランプ	原因と対策
[Temperature High]	点滅	内部温度が上昇しました。いったん電源を切り、温度が下がるまで使用を中止してください。
[Media Temperature High]	点滅	CFexpressカードの温度が上昇しました。カードを交換するか、温度が下がるまでカードの使用を中止してください。
[Voltage Low]	点滅	DC IN電圧が低くなっています (段階1)。供給電源を確認してください。
[Pan-Tilt has overloaded.]	点滅	パン・チルト機構に過剰な負荷がかかっています。引っかけりなどがないか、本体を確認してください。

メッセージ表示	記録/タ リーラン プ	原因と対策
[Insufficient Voltage]	高速点滅	DC IN電圧が低すぎます（段階2）。 メディア記録・再生、PTZオートフレーミング、パン・チルト動作が停止し使用できません。一度電源を切り、電源電圧を上げるか、ケーブルを短いものに変えて接続し直してください。 ¹⁾
[Media Near Full]	点滅	メモリーカードの残量が少なくなっています。 早い機会に交換してください。
[Media Full]	高速点滅	メモリーカードの残量がないため、記録、コピーはできません。 交換してください。
[Clips Near Full]	点滅	メモリーカードに記録できる残りのクリップ数が少なくなっています。 早い機会に交換してください。
[Clips Full]	高速点滅	メモリーカードに記録できるクリップ数の上限に達しました。 これ以上記録やコピーはできません。交換してください。
[Last Clip Recording]	点滅	記録中のクリップの記録を完了すると、記録可能なクリップ数の上限に達します。 新しいメモリーカードをご用意ください。
[Media(A) Life Near End] ²⁾	点滅	メモリーカードの寿命が僅かです。早めに交換してください。
[Media(A) Life End] ²⁾	高速点滅	メモリーカードの寿命がきました。交換してください。
[Media(A) Near Full] ²⁾	点滅	同時記録機能使用時
[Media(A) Full] ²⁾	高速点滅	同時記録機能使用時
[Media(A) Clips Near Full] ²⁾	点滅	同時記録機能使用時
[Media(A) Clips Full] ²⁾	高速点滅	同時記録機能使用時
[Media(A) Last Clip Rec] ²⁾	点滅	同時記録機能使用時

1) 表示されるDC IN電圧値は端子部の電圧を表示しています。また、負荷の変動が大きいため一時的に電圧が低下している場合があります。供給電源の電圧値と大きく異なる場合は短く太いケーブルを使用するか、電源電圧を上げてください。

2) スロットBに入れたカードの場合は(B)

注意・動作確認表示

画面中央部分に次のような注意・動作確認表示が現れることがあります。この場合は次表に従って対処してください。

表示内容	原因と対策
[Backup Battery End] [Please Change]	バックアップ電池の残量が不足しています。 本機を24時間以上電源に接続して、バックアップ電池を充電してください。
[Unknown Media(A)] ¹⁾ [Please Change]	パーティションが切られているメモリーカードや、本機で扱えるクリップ数を超えて記録されたメモリーカードが挿入されました。 本機では使用できませんので、交換してください。

表示内容	原因と対策
[Cannot Use Media(A)] ¹⁾ [Unsupported File System]	ファイルシステムの異なるカードまたはフォーマットされていないカードが挿入されました。 本機では使用できませんので、交換または本機でフォーマットしてください。
[Media Error] [Media(A) Needs to be Restored] ¹⁾	メモリーカードに異常が発生し、修復が必要な状態になりました。 メモリーカードの修復を行ってください。
[Media Error] [Cannot Record to Media(A)] ¹⁾	メモリーカードが故障して、記録ができなくなりました。 再生は可能ですので、コピーをとるなどして、新しいメモリーカードに交換することをおすすめします。
[Media Error] [Cannot Use Media(A)] ¹⁾	メモリーカードが故障して記録も再生もできなくなりました。 本機では扱えませんので、他のカードに交換してください。
[Media(A) Error] ¹⁾ [Recording Halted] [Playback Halted]	メモリーカードに異常が発生したため、記録または再生が停止しました。 頻繁に起きる場合には、メモリーカードを交換してください。
[Media Reached Rewriting Limit] [Change Media(A)] ¹⁾	メモリーカードの寿命がきました。 バックアップをとり、速やかに交換してください。継続して使用すると、正常に記録・再生できない可能性があります。 詳しくは、メモリーカードの取扱説明書を参照してください。
[The specified address is invalid.]	指定したアドレスが間違っています。 正しく設定しているか確認してください。
[Cannot Use Specified Port Number]	指定したポート番号が間違っています。 正しく設定しているか確認してください。
[Cannot add auto upload job of Proxy file because maximum number of upload jobs was reached.]	転送ジョブの数が上限に達しています。 不要なジョブをクリアしてください。また、プロキシファイルの自動転送先設定が間違っている可能性があります。正しく設定しているか確認してください。
[Fan Stopped]	Fanが動作停止しています。 ほこりや異物が挟まっていないか確認してください。 ほこりや異物を除去してもエラーが継続する場合は、ソニーのサービス窓口にご連絡ください。

1) スロットBに入れたカードの場合は(B)

RTMPストリーミングエラー情報一覧

本機で表示されるエラー情報は以下のとおりです。必要に応じて次に示す処置を行ってください。

エラーコード		説明	処置
RTMP	RTMPS		
1002 1004	2002 2004	RTMPサーバーに接続できません。	サーバーURLの設定が正しいか確認してください。 ネットワーク接続を確認してください。
1003	2003	ドメイン名を解決できません。	サーバーURLの設定が正しいか確認してください。 DNSサーバー接続を確認してください。
-	2005 2008	CRLエラー	サーバーURLの設定が正しいか確認してください。 接続先が信頼できるサイトか確認してください。
	2006	CA証明書エラー	時刻設定が正しいか確認してください。 CA証明書が正しいか確認してください。

エラーコード		説明	処置
RTMP	RTMPS		
-	2007	CA証明書がインストールされていません。 サーバー証明書の検証エラーです。	CA証明書をインストールしてください。 接続先が信頼できるサイトか確認してください。
4002		RTMPセッションを切断しました。	RTMPサーバー側から切断されている可能性があります。 サービスの推奨コーデックパラメーターと一致するかどうかを確認してください。
4003		ネットワーク回線の品質が低いです。	ネットワーク接続を確認してください。
その他		その他のエラーです。	

SRTストリーミングエラー情報一覧

本機で表示されるエラー情報は以下のとおりです。必要に応じて次に示す処置を行ってください。

エラーコード	説明	処置
SRT-Caller		
1001	予期せぬエラー	本機が正常に動作していない可能性があります。本機の電源を入れなおしてください。
1002	設定変更による通信の切断	設定が変更されたため、通信が切断されました。 再度、接続してください。
5001	予期せぬエラー	本機が正常に動作していない可能性があります。本機の電源を入れなおしてください。
5005	接続失敗	接続先設定が正しいか確認してください。
5006	暗号方式エラー	暗号設定が正しいか確認してください。
5007	予期せぬエラー	本機が正常に動作していない可能性があります。本機の電源を入れなおしてください。
5008	予期せぬエラー	
5009	送信失敗	通信中に切断が発生しました。 ネットワーク接続を確認してください。

TP1001752519

カラービデオカメラ
BRC-AM7

メニュー項目一覧

本機で使用するメニュー項目の一覧を以下に示します。

表の見かた

- 「カメラメニュー」 および 「Webメニュー」
 - : 設定項目あり
 - ▲ : 一部の設定項目あり
 - : 設定項目なし
- 「All File」 および 「Scene File」
 - Yes : 設定項目がAll FileまたはScene Fileに保存される
 - No : 設定項目が保存されない
- 「All Reset (except for Network Settings)」
 - Webメニューの [Reset] メニュー > [Reset] で [All Reset (except for Network Settings)] を実行したとき
 - Yes : ネットワーク設定以外の項目の初期化対象項目
 - No : 対象外項目
- 「Network Reset」
 - Webメニューの [Reset] メニュー > [Reset] で [Network Reset] を実行したとき
 - Yes : ネットワーク設定の初期化対象項目
 - No : 対象外項目
- 「Factory Default」
 - Yes : 工場出荷時へのリセット対象項目
 - No : 対象外項目

[Shooting]

設定項目 (第2階層メニュー)	カメラ メニュー	Webメ ニュー	All File	Scene File	All Reset (except for Network Settings)	Network Reset	Factory Default
[ISO/Gain]	●	–	Yes	No	Yes	Yes	Yes
[ND Filter]	●	–	Yes	No	Yes	No	Yes
[Shutter]	●	–	Yes	No	Yes	No	Yes
[Auto Exposure]	●	–	Yes	No	Yes	No	Yes
[White]	●	–	Yes	No	Yes	No	Yes
[White Setting]	●	–	Yes	No	Yes	No	Yes
[Offset White]	●	–	Yes	No	Yes	No	Yes
[Focus]	●	▲	Yes	No	Yes	No	Yes
[S&Q Motion]	●	–	Yes	No	Yes	No	Yes
[LUT On/Off]	●	–	Yes	No	Yes	No	Yes
[NIGHTSHOT]	●	–	Yes	No	Yes	No	Yes

設定項目 (第2階層メニュー)	カメラ メニュー	Webメ ニュー	All File	Scene File	All Reset (except for Network Settings)	Network Reset	Factory Default
[Noise Suppression]	●	—	Yes	No	Yes	No	Yes
[Flicker Reduce]	●	—	Yes	No	Yes	No	Yes

[Project]

設定項目 (第2階層メニュー)	カメラ メニュー	Webメ ニュー	All File	Scene File	All Reset (except for Network Settings)	Network Reset	Factory Default
[Base Setting]	●	●	Yes	No	Yes	No	Yes
[Rec Format]	●	●	Yes	No	Yes ^{*1}	No	Yes
[Flexible ISO Setting]	●	—	Yes	No	Yes	No	Yes
[Simul Rec]	●	●	Yes	No	Yes	No	Yes
[Proxy Rec]	●	▲	Yes	No	Yes	No	Yes
[SDI/HDMI Rec Control]	●	—	Yes	No	Yes	No	Yes
[Assignable Button]	●	—	Yes	No	Yes	No	Yes
[All File]	—	●	No	No	No	No	No

*1 [Frequency] は対象外

[Paint/Look]

設定項目 (第2階層メニュー)	カメラ メニュー	Webメ ニュー	All File	Scene File	All Reset (except for Network Settings)	Network Reset	Factory Default
[Scene File]	●	—	No	No	No	No	No
[Base Look]	●	▲	Yes ^{*1}	No	Yes ^{*1}	No	Yes ^{*1}
[Reset Paint Settings]	●	—	No	No	No	No	No
[Black]	●	—	Yes	Yes	Yes	No	Yes
[Knee]	●	—	Yes	Yes	Yes	No	Yes
[Detail]	●	—	Yes	Yes	Yes	No	Yes
[Matrix]	●	—	Yes	Yes	Yes	No	Yes
[Multi Matrix]	●	—	Yes ^{*2}	Yes ^{*2}	Yes	No	Yes

*1 基本ルックとしてインポートしたLUTデータは対象外

*2 [Axis] は対象外

[Pan-Tilt]

設定項目 (第2階層メニュー)	カメラ メニュー	Webメ ニュー	All File	Scene File	All Reset (except for Network Settings)	Network Reset	Factory Default
[P/T Speed]	–	●	No	No	Yes	No	Yes
[P/T Acceleration]	●	●	No	No	Yes	No	Yes
[P/T Range Limit]	–	●	No	No	Yes	No	Yes
[P/T Direction]	–	●	No	No	Yes	No	Yes
[P/T Preset]	–	●	No	No	Yes	No	Yes

[TC/Media]

設定項目 (第2階層メニュー)	カメラ メニュー	Webメ ニュー	All File	Scene File	All Reset (except for Network Settings)	Network Reset	Factory Default
[Timecode]	●	–	Yes ^{*1}	No	Yes	No	Yes
[TC Display]	●	–	Yes	No	Yes	No	Yes
[Users Bit]	●	–	Yes ^{*1}	No	Yes	No	Yes
[HDMI TC Out]	●	–	Yes	No	Yes	No	Yes
[Clip Name Format]	●	–	*2	No	Yes	No	Yes
[Update Media]	●	–	No	No	No	No	No
[Format Media]	●	–	No	No	No	No	No
[Media Life]	●	–	No	No	No	No	No

*1 [Setting] は対象外

*2 [Auto Naming] は対象、[Camera ID] は対象外

[Monitoring]

設定項目 (第2階層メニュー)	カメラ メニュー	Webメ ニュー	All File	Scene File	All Reset (except for Network Settings)	Network Reset	Factory Default
[Output Format]	●	●	Yes	No	Yes	No	Yes
[Output Display]	–	●	Yes	No	Yes	No	Yes
[Display On/Off]	●	–	Yes	No	Yes	No	Yes
[Video Signal Monitor]	●	–	Yes	No	Yes	No	Yes
[Marker]	●	–	Yes	No	Yes	No	Yes

[Audio]

設定項目 (第2階層メニュー)	カメラメニュー	Webメニュー	All File	Scene File	All Reset (except for Network Settings)	Network Reset	Factory Default
[Audio Input]	●	▲	Yes	No	Yes	No	Yes
[Audio Output]	●	▲	Yes	No	Yes	No	Yes

[Thumbnail]

設定項目 (第2階層メニュー)	カメラメニュー	Webメニュー	All File	Scene File	All Reset (except for Network Settings)	Network Reset	Factory Default
[Display Clip Properties]	●	—	No	No	No	No	No
[Set Clip Flag]	●	—	No	No	No	No	No
[Lock/Unlock Clip]	●	—	No	No	No	No	No
[Delete Clip]	●	—	No	No	No	No	No
[Copy Clip]	●	—	No	No	No	No	No
[Transfer Clip]	●	—	No	No	No	No	No
[Transfer Clip (Proxy)]	●	—	No	No	No	No	No
[Filter Clips]	●	—	No	No	No	No	No
[Customize View]	●	—	Yes	No	Yes	No	Yes

[Technical]

設定項目 (第2階層メニュー)	カメラメニュー	Webメニュー	All File	Scene File	All Reset (except for Network Settings)	Network Reset	Factory Default
[Color Bars]	●	—	*1	No	*1	No	Yes
[Genlock]	●	—	No	No	No	No	No
[Tracking Data Output]	—	●	Yes	No	Yes	No	Yes
[Tally]	●	●	Yes	No	Yes	No	Yes
[Rec Review]	●	—	Yes	No	Yes	No	Yes
[Zoom]	●	—	Yes	No	Yes	No	Yes
[IR Remote]	—	●	No	No	Yes	No	Yes
[Lens]	●	—	Yes	No	Yes	No	Yes

設定項目 (第2階層メニュー)	カメラ メニュー	Webメ ニュー	All File	Scene File	All Reset (except for Network Settings)	Network Reset	Factory Default
[APR]	●	—	No	No	No	No	No

*1 [Type] は対象、[Setting] は対象外

[Network]

設定項目 (第2階層メニュー)	カメラ メニュー	Webメ ニュー	All File	Scene File	All Reset (except for Network Settings)	Network Reset	Factory Default
[Camera Name]	—	●	No	No	No	No	Yes
[User]	—	●	No	No	No	Yes	Yes
[Wired LAN] *1	▲	●	No	No	No	Yes	No
[File Transfer]	●	▲	Yes	No	Yes	No	Yes
[FTP Server 1]	—	●	No	No	Yes	No	Yes
[FTP Server 2]	—	●	No	No	Yes	No	Yes
[FTP Server 3]	—	●	No	No	Yes	No	Yes
[SSL]	—	●	No	No	No	Yes	Yes
[SSH]	—	●	No	No	No	Yes	Yes
[Referer Check]	—	●	No	No	No	Yes	Yes
[Brute Force Attack Protection]	—	●	No	No	No	Yes	Yes

*1 カメラメニューでは設定対象外（設定値の表示のみ）

[Stream]

設定項目 (第2階層メニュー)	カメラメ ニュー	Webメニ ュー	All File	Scene File	All Reset (except for Network Settings)	Network Reset	Factory Default
[Stream Setting]	—	●	No	No	Yes	No	Yes
[Video Stream]	—	●	Yes	No	Yes	No	Yes
[Audio Stream]	—	●	Yes	No	Yes	No	Yes

[Maintenance]

設定画面 (第2階層メニュー)	カメラ メニュー	Webメ ニュー	All File	Scene File	All Reset (except for Network Settings)	Network Reset	Factory Default
[Language]	●	●	Yes	No	Yes	No	Yes

設定画面 (第2階層メニュー)	カメラ メニュー	Webメ ニュー	All File	Scene File	All Reset (except for Network Settings)	Network Reset	Factory Default
[Clock Set]	●	●	Yes*1	No	Yes*2	No	Yes
[Reset]	—	●	No	No	No	No	No
[Hours Meter]	●	—	No	No	No	No	No
[Information]	—	●	No	No	No	No	No
[System Log]	—	●	No	No	No	No	Yes
[HTTP Access Log]	—	●	No	No	No	No	Yes
[Service]	—	●	No	No	No	No	No
[EULA]	—	●	No	No	No	No	No
[Software]	—	●	No	No	No	No	No

*1 日時情報は対象外

*2 [Time Zone]、日時情報は対象外

PTZ AFR設定画面

設定画面	対象機能	All File	Scene File	All Reset (except for Network Settings)	Network Reset	Factory Default
[Initial Setup]	すべて	No	No	No	No	No
[Framing]	すべて	No	No	Yes	No	Yes
[Tracking Operation]	すべて	Yes	No	Yes	No	Yes
[Start Position]	スタートポジ ションの設定	No	No	Yes	No	Yes
[Detection Settings]	すべて	Yes	No	Yes	No	Yes
[Others]	すべて	Yes	No	Yes	No	Yes

TP1001752520

カラービデオカメラ
BRC-AM7

プリセットポジションの保存項目

表中の「Yes」はプリセットポジションに保存される、「No」は保存されないことを示します。

パン・チルト関係

表示場所	項目	保存対象
ライブ操作画面の画角操作部	パン・チルトポジションの角度	Yes
	[Pan-Tilt Speed]	No
Webメニューの [Pan-Tilt]	[P/T Speed]	No
	[P/T Acceleration]	No
	[P/T Range Limit]	No
	[P/T Direction]	No
	[P/T Preset] - [Pan-Tilt Speed] - [Default Speed]	Yes ¹⁾

1) プリセットポジション保存時の設定値を、そのプリセットポジションの値として保存します。保存後は、プリセットポジションごとに値を変更できます。詳しくは「プリセットポジションを復元するときの移動速度 (Pan-Tilt/Zoom/Focus) を変更する」をご覧ください。

ズーム関係

表示場所	項目	保存対象
ライブ操作画面の画角操作部	ズームポジション (焦点距離)	Yes
	[Zoom Speed]	No
Webメニューの [Pan-Tilt] - [P/T Preset] - [Default]	[Zoom Speed]	Yes ¹⁾
カメラメニューの [Technical] > [Zoom]	[Zoom Type]	No

1) プリセットポジション保存時の設定値を、そのプリセットポジションの値として保存します。保存後は、プリセットポジションごとに値を変更できます。詳しくは「プリセットポジションを復元するときの移動速度 (Pan-Tilt/Zoom/Focus) を変更する」をご覧ください。

フォーカス関係

表示場所	項目	保存対象
ライブ操作画面のカメラ映像部	リアルタイムトラッキングAFで指定した追尾対象	No
	スポットフォーカスで指定した座標	No

表示場所	項目	保存対象
ライブ操作画面の  (Focus) タブ	[Touch Focus] スイッチ	No
	[Auto Focus] スイッチ	Yes
	[Focus Hold] ボタンの状態	No
	[Push AF/MF] ボタンの状態	No
	[Subject Recognition AF]	Yes
	[AF Subj. Shift Sens.]	Yes
	[AF Transition Speed]	Yes
	フォーカスポジション	Yes ¹⁾
Webメニューの [Shooting] メニュー > [Focus]	[Touch Function in MF]	No
	[AF Assist Control]	No
Webメニューの [Pan-Tilt] - [P/T Preset] - [Default]	[Focus Recall]	Yes ²⁾
	[MF Speed]	Yes ²⁾
カメラメニューの [Shooting] メニュー > [Focus]	[Focus Area] で設定したフォーカスエリアのサイズと位置	Yes

1) [Auto Focus] スイッチがOnのときは復元されません。Offのときは復元されます。

2) プリセットポジション保存時の設定値を、そのプリセットポジションの値として保存します。保存後は、プリセットポジションごとに値を変更できます。詳しくは「プリセットポジションを復元するときの移動速度 (Pan-Tilt/Zoom/Focus) を変更する」をご覧ください。

関連項目

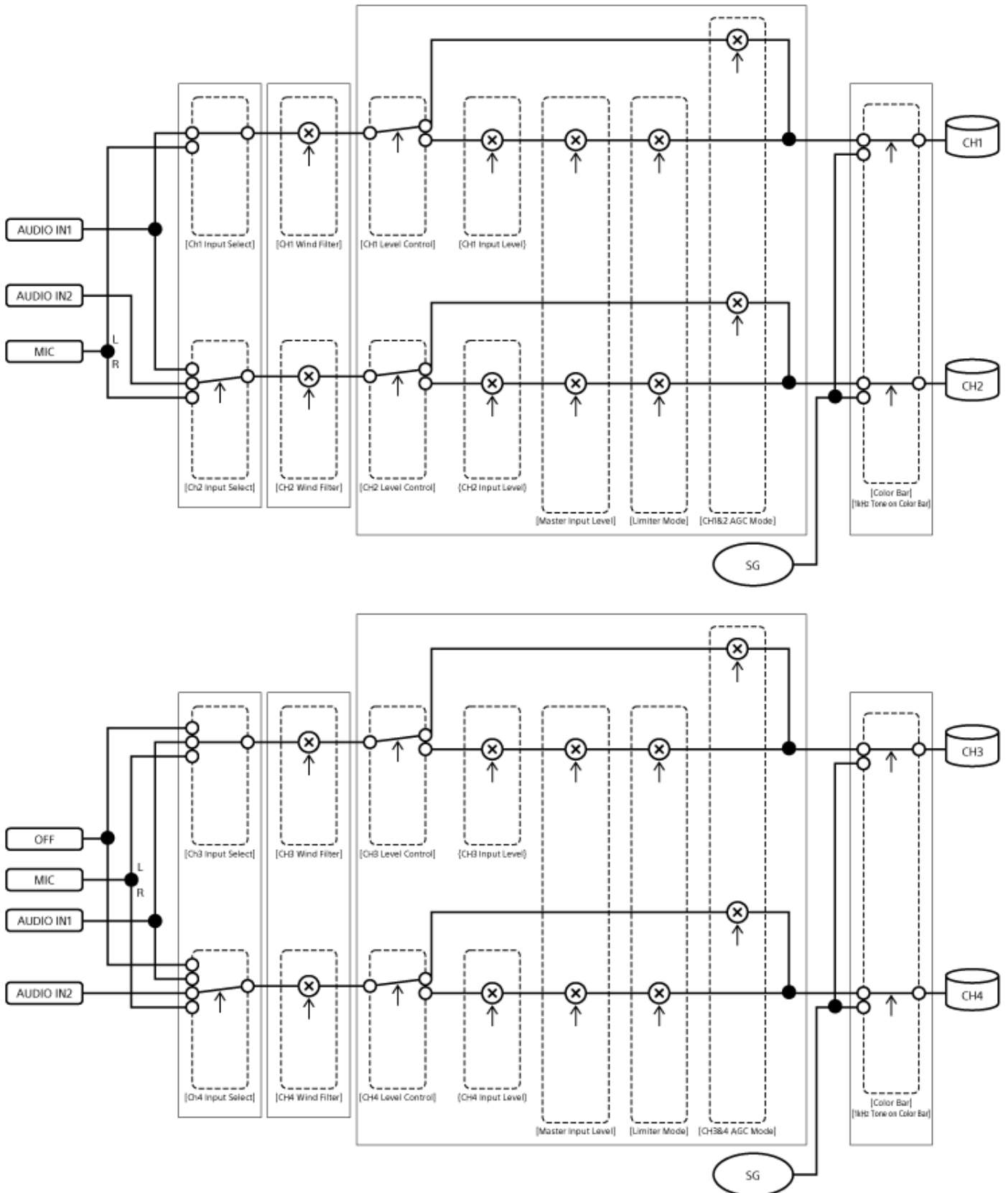
- [プリセットポジションを復元するときの移動速度 \(Pan-Tilt/Zoom/Focus\) を変更する](#)

TP1001752522

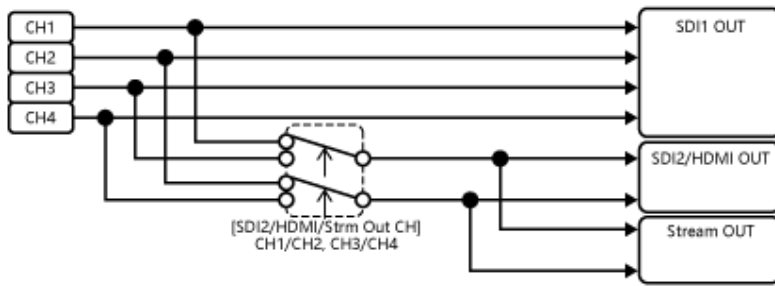
カラービデオカメラ
BRC-AM7

ブロックダイアグラム

Audio Input



Audio Output



TP1001752523

5-065-326-01(1) Copyright 2024 Sony Corporation

カラービデオカメラ
BRC-AM7

ライセンスについて

MPEG-4 AVC Patent Portfolio Licenseについて

本製品は、MPEG LA, LLCがライセンス活動を行っているAVC PATENT PORTFOLIO LICENSEの下、次の用途に限りライセンスされています：

(i) 消費者が個人的または他の報酬を受けていない使用目的で、MPEG-4 AVC規格に合致したビデオ信号（以下、AVC VIDEOとといいます）にエンコードすること。

(ii) AVC VIDEO（消費者が個人的または他の報酬を受けていない目的でエンコードしたもの、若しくはMPEG LAよりライセンスを取得したプロバイダーがエンコードしたものに限られます）をデコードすること。

なお、その他の用途に関してはライセンスされていません。プロモーション、商業的に利用することに関する詳細な情報につきましては、MPEGLA, LLCのホームページをご参照ください。

GPL/LGPL適用ソフトウェアの入手について

本製品はGPL/LGPL適用のソフトウェアを使用しており、お客様には、これらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせします。

これらのソースコードはインターネットのサーバーからダウンロードすることが可能です。以下のURLにアクセスすれば、具体的なダウンロードの方法がわかるようになっています。

<https://oss.sony.net/Products/Linux/>

なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。

μT-Kernelソースコードについて

本製品は、トロンフォーラム（www.tron.org）のT-License 2.1に基づきμT-Kernelソースコードを利用しています。

TP1001752524

カラービデオカメラ
BRC-AM7

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定の事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

このヘルプガイドをもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときは

お買い上げの店、またはソニーの相談窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合、ご要望により有料修理させていただきます。

TP1001752525

カラービデオカメラ
BRC-AM7

仕様

一般

質量

- 約3.5 kg

外形寸法

「外形寸法」をご覧ください。

電源電圧

- DC 12 V (XLR-4ピン)
- PoE++ (IEEE802.3bt Type4 Class8準拠)

消費電力

- DC IN電源 132 W以下
- PoE++ 71.3 W以下

動作温度

- 0 °C～40 °C

保存温度

- -20 °C～+60 °C

記録フォーマット (ビデオ)

- XAVC HS Long 422/420
- XAVC S Long 422/420
- XAVC S-I Intra

記録フォーマット (オーディオ)

- LPCM 24ビット、48 kHz、4チャンネル

記録フレームレート

- XAVC HS Long 422/420
3840×2160/119.88P*、100P*、59.94P、50P、23.98P
 - XAVC S Long 422/420
3840×2160/119.88P*、100P*、59.94P、50P、29.97P、25P、23.98P
1920×1080/119.88P*、100P*、59.94P、50P、29.97P、25P、23.98P
 - XAVC S Intra
3840×2160/59.94P、50P、29.97P、25P、23.98P
1920×1080/59.94P、50P、29.97P、25P、23.98P
- *スロー&クイックモーションがオンのとき、119.88P、100Pは使用できません。

記録・再生時間

- XAVC HS Long 420
3840×2160/59.94P
約80分 (CEA-G160T使用時)
- XAVC S Long 420
3840×2160/59.94P
約80分 (CEA-G160T使用時)

- 1920×1080/59.94P
約270分（CEA-G160T使用時）
- XAVC S Intra
3840×2160/59.94P
約25分（CEA-G160T使用時）
1920×1080/59.94P
約75分（CEA-G160T使用時）

ご注意

- 記録再生時間は、使用条件やメモリーの特性などにより、多少の誤差が生じる場合があります。また、記録・再生時間は、1クリップとして連続記録したときの時間です。記録するクリップ数によっては記載の時間より短くなる場合があります。

パン・チルト駆動部

- パン駆動範囲/速度：±175度、0.004度/秒～最大180度/秒
- チルト駆動範囲/速度：-30度～210度、0.004度/秒～最大180度/秒
- 静粛性：NC25以下
- プリセットポジション数：100個
使用するリモコンにより使えるプリセット数は異なります（Webアプリケーション:100、RM-IP500：100、付属赤外線リモコン：3）

カメラ部

撮像素子

- 1.0型ExmorRS CMOSイメージセンサー

画素数

- 約1400万画素

オートフォーカス

- 検出方式：位相差検出方式/コントラスト検出方式

内蔵NDフィルター

- [Clear]：なし
- 1：1/4ND
- 2：1/16ND
- 3：1/64ND
- リニア可変ND：1/4ND～1/128ND

シャッタースピード

- 64フレーム～1/8000秒（23.98P時）

シャッターアングル

- 5.6°～360°、2～64frame

スロー&クイックモーション

- XAVC S QFHD：1～120 fps
- XAVC S HD：1～240 fps

ホワイトバランス

- 2000 K～15000 K

ゲイン

- -3 dB～+36 dB（1 dB単位）

基本ルック

- [S-Cinetone]、[ITU709]、[709tone]、[s709]、[709(800%)]、[S-Log3]、[HLG Live]、[HLG Mild]、[HLG Natural]

レンズ部

- ズーム比：光学20倍、超解像30倍（4K解像度）/40倍（フルHD解像度）
- 焦点距離：f=24 mm～480 mm（35 mm換算）
- F値：F2.8（ワイド端）～F4.5（テレ端）
- 水平画角：約75度
- 最短撮影距離：10 mm

オーディオ部

サンプリング周波数

- 48 kHz

量子化特性

- 24ビット

周波数特性

- 本体XLR入力MICモード時：20 Hz ～ 20 kHz（±3 dB以内）
- 本体XLR入力LINEモード時：20 Hz ～ 20 kHz（±3 dB以内）

ダイナミックレンジ

- 本体XLR入力MICモード時：80 dB（Typical）
- 本体XLR入力LINEモード時：90 dB（Typical）

ひずみ率

- 本体XLR入力MICモード時：0.08%以下（入力レベル-40 dBu時）
- 本体XLR入力LINEモード時：0.08%以下（入力レベル+14 dBu時）

入出力部

入力

DC IN端子

- XLR-4ピン、11～17 V、12 A（最大）

AUDIO IN端子

- AUDIO IN 1 / AUDIO IN 2：XLR-3ピン×2、凹
LINE / MIC / MIC+48V切り替え可能
MIC：Reference -30 dBu ～ -80 dBu
- MIC：φ3.5 mmステレオミニジャック、プラグインパワー対応

GENLOCK IN端子

- BNC端子、1.0 Vp-p、75 Ω

TC IN端子

- BNC端子

出力

SDI OUT 1 (12G)端子 / SDI OUT 2端子

- SDI OUT 1(12G)：12G-SDI出力BNC端子、12G-SDI / 6G-SDI / 3G-SDI（Level A/B） / HD-SDI
- SDI OUT 2：3G-SDI出力BNC端子、3G-SDI(Level A) / HD-SDI

HDMI端子

- Type-A端子

OPTICAL出力端子

- SFP+準拠

* 12G-SDI出力端子と同一の信号が出力されます。本機は光信号入力には対応していません。

入出力

LAN（ネットワーク）端子

- RJ-45 1000BASE-T

OPTION端子

- RJ-45 タリール入出力端子

VISCA IN端子 / VISCA OUT端子

- 制御プロトコル：VISCA RS-422

メディアスロット部

- CFexpress Type A/SDカードスロット（2）

付属品

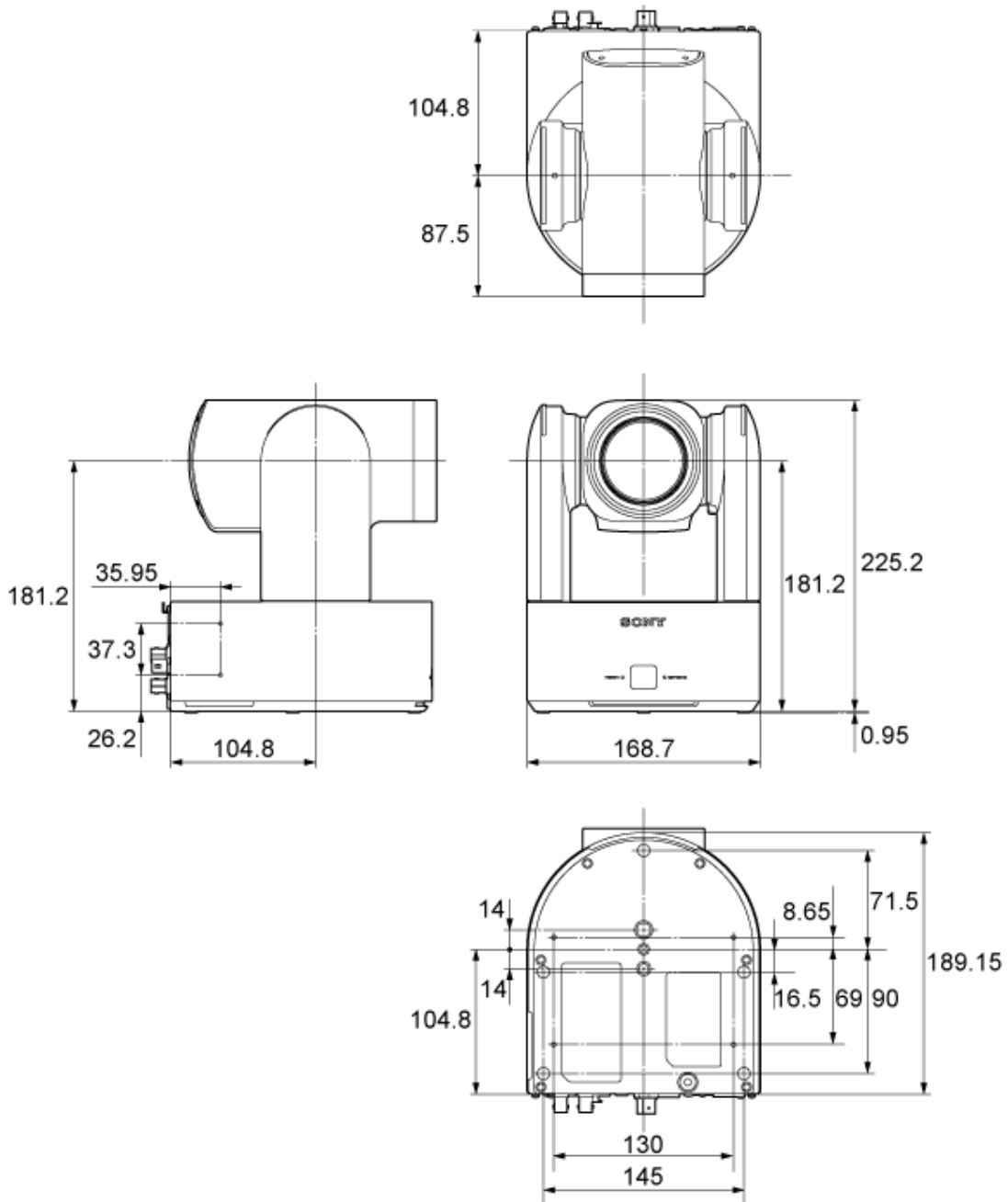
- 赤外線リモコン（1）
- QRコードシール（1）
- 安全のために（2）
- 保証書（1）
- シーリングブラケット(A)（1）
- シーリングブラケット(B)（1）
- 落下防止ワイヤーロープ（1）
- ネジ +PSW M3×8（6）
- 落下防止ワイヤーロープ固定用ステンレスネジ +PSW M4×8（1）

外形寸法

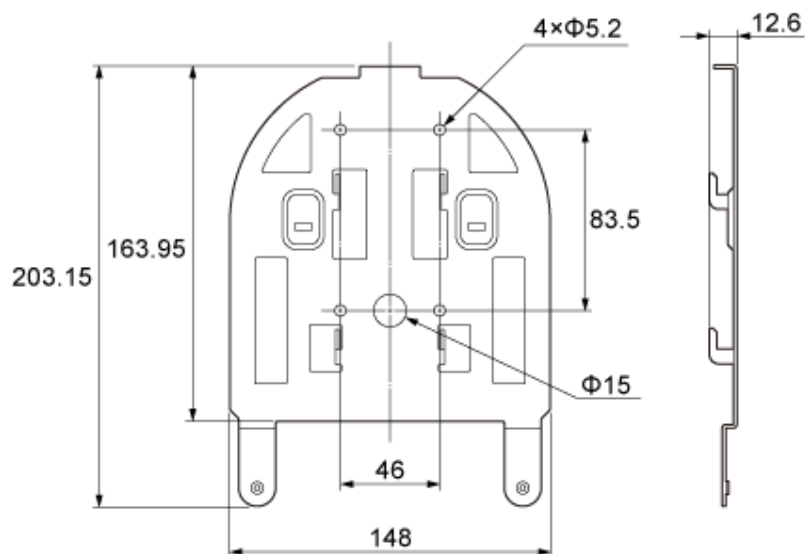
外形寸法は概算値です。

単位：mm

カメラ本体



シーリングブラケット (B)



仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

カラービデオカメラ
BRC-AM7

商標について

- “XAVC”および **XAVC** はソニーグループ株式会社の登録商標です。
- **HDMI**、HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface、HDMIのトレードドレスおよび HDMIのロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。
- Microsoft、Windowsは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mac、macOSはApple Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
- “Catalyst Browse” ロゴはソニーグループ株式会社の商標または登録商標です。
- IOSは、米国シスコの商標もしくは登録商標です。
- iPadOS、Safari、iPadは、米国およびその他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- Android、Google Chromeは、Google LLCの商標または登録商標です。
- Wi-FiはWi-Fi Allianceの登録商標です。
- SDXCロゴはSD-3C,LLCの商標です。
- CFexpress Type Aロゴ、CFexpressはCompactFlash Associationの商標です。
- NewTek™およびNDI® は、NewTek, Inc. の登録商標です。
- JavaScript は、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Intel、インテル、Intel ロゴ、Intel Core は、アメリカ合衆国および/またはその他の国におけるIntel Corporation またはその子会社の商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。
- その他の各社名および各商品名は各社の登録商標または商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

TP1001752527